

平成 28 年度
かわさき市民アンケート
報 告 書

川 崎 市

目 次

I 調査概要.....	1
II 調査回答者の属性	5
1 第1回アンケートの回答者	7
2 第2回アンケートの回答者	10
III 調査結果.....	15
① 第1回アンケート調査の結果.....	17
1 町内会・自治会の活性化について	19
1-1 町内会・自治会への加入の有無	19
1-2 町内会・自治会への加入の主なきっかけ	21
1-3 町内会・自治会に加入しない理由	23
1-4 町内会・自治会の活動参加の有無	25
1-5 町内会・自治会活動に参加しない理由	27
1-6 町内会・自治会などで参加できると思う活動	29
1-7 町内会・自治会活動に積極的になるためにやるべきこと	31
2 女性活躍推進及び働き方の意識について	33
2-1 仕事を選ぶ際に重視すること	33
2-2 管理職以上への昇進のイメージ	35
2-3 女性の活躍機会の広がり	37
2-4 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由	39
2-5 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと	41
2-6 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの	43
2-7 男性が家事・育児・介護を行うイメージ	45
2-8 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと	47
2-9 女性のリーダーが増えることの影響	49
② 第2回アンケート調査の結果.....	51
1 定住状況について	53
1-1 居住年数.....	53
1-2 定住意向.....	55
1-3 転居意向の理由	57
1-4 転居先の希望.....	59
2 生活環境の評価について	62
2-1 生活環境の満足度	62
2-2 総合的な生活環境の満足度	73

3	関心ごとと行動範囲について	76
3-1	関心を持っていること	76
3-2	行動範囲.....	79
4	市政に対する評価と要望について	84
4-1	市政の仕事でよくやっていると思うこと	84
4-2	市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	87
4-3	施策や事業の総合的な満足度.....	90
5	市民の防災意識について	92
5-1	大地震など大規模な災害に備えるための家庭内の取組	92
5-2	「災害用伝言ダイヤル」の認知・利用経験.....	94
5-3	「災害用伝言版」の認知・利用経験	96
5-4	川崎市の災害情報の入手手段の認知・利用経験.....	98
6	川崎市の都市交通について	103
6-1	鉄道の利用頻度	103
6-2	鉄道利用の不満点	105
6-3	バスの利用頻度	108
6-4	バス利用の不満点	110
6-5	どのような場合に自動車を利用するか.....	113
6-6	今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所.....	116
6-7	市の交通政策について	119
7	介護予防の取組について	127
7-1	介護予防の取組へのきっかけ	127
8	ボランティアについて	129
8-1	ボランティア活動を始めるための状況.....	129
8-2	ボランティア活動の参加特典について	131
IV	調査票.....	133

I 調査概要

1. 調査の目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18 年度から実施することとしたものである。

昭和 50 年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

今年度は、調査対象を満 18 歳以上の男女に引き下げるとともに、第 1 回調査は、調査方法をインターネットモニター調査として実施した。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎市全域
- (2) 調査の対象者 川崎市在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 第 1 回 インターネットモニター登録者から事前調査により抽出
第 2 回 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 第 1 回 1,500 標本回収まで実施
第 2 回 3,000 標本（平成 28 年 10 月抽出）
- (5) 調査方法 第 1 回 インターネット調査
第 2 回 郵送法（郵便配布－郵送回収・はがき督促を 1 回）
※インターネット回答との併用
- (6) 調査期間 第 1 回 平成 28 年 8 月 31 日（水）～ 9 月 5 日（月）
第 2 回 平成 28 年 11 月 7 日（月）～ 11 月 28 日（月）
- (7) 調査委託機関 株式会社 マーケティングリサーチサービス

3. 調査項目

◎第 1 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 町内会・自治会の活性化について	(Q1～Q9)
(2) 女性活躍推進及び働き方の意識について	(Q10～Q18)

◎第 2 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 定住状況について	(問 1～問 4)
(2) 生活環境の評価について	(問 5～問 6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 7～問 8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 9～問 10)
(5) 市民の防災意識について	(問 11～問 13)
(6) 川崎市の都市交通について	(問 14～問 22)
(7) 介護予防の取組について	(問 23)
(8) ボランティアについて	(問 24～問 25)

4. 回収状況

	第 1 回	第 2 回
(1) 標本数	1,500 標本回収まで	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,500	1,351
(3) 有効回収率		45.0%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 標本誤差

※標本誤差は、無作為抽出を実施した第 2 回調査にのみ適用される。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数 (川崎市の 18 歳以上人口)
n=比率算出の基数 (回答者数)
p=回答の比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は下記ようになる。

回答比率(p) 基数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,400	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
1,351	±2.31%	±3.08%	±3.52%	±3.77%	±3.85%
1,300	±2.35%	±3.14%	±3.59%	±3.84%	±3.92%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

注／この表の見方

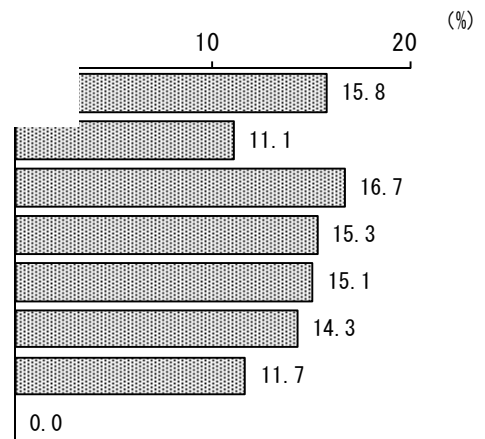
標本誤差とは、今回 (第 2 回調査) のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が 1,400 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.70%以内 (56.30~63.70%) である」とみることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 第1回アンケートの回答者

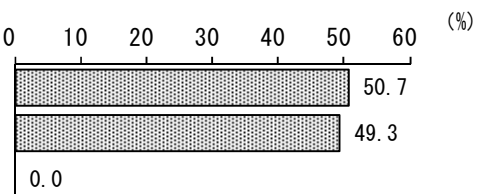
1. 居住区

	基数	構成比
1 川崎区		
2 幸区	166	11.1
3 中原区	251	16.7
4 高津区	229	15.3
5 宮前区	227	15.1
6 多摩区	215	14.3
7 麻生区	175	11.7
(無回答)	0	0.0
全 体	1,500	100.0



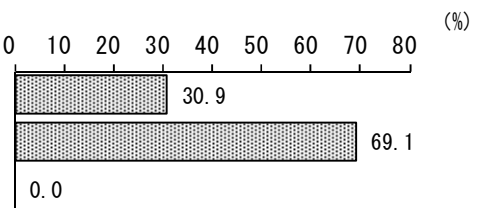
2. 性別

	基数	構成比
1 男性	761	50.7
2 女性	739	49.3
(無回答)	0	0.0
全 体	1,500	100.0



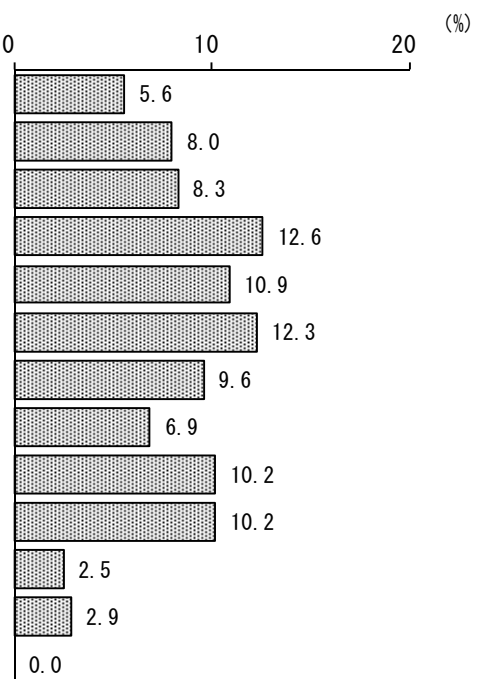
3. 婚姻

	基数	構成比
1 未婚	463	30.9
2 既婚（事実婚、離死別含む）	1037	69.1
3 無回答	0	0.0
全 体	1,500	100.0

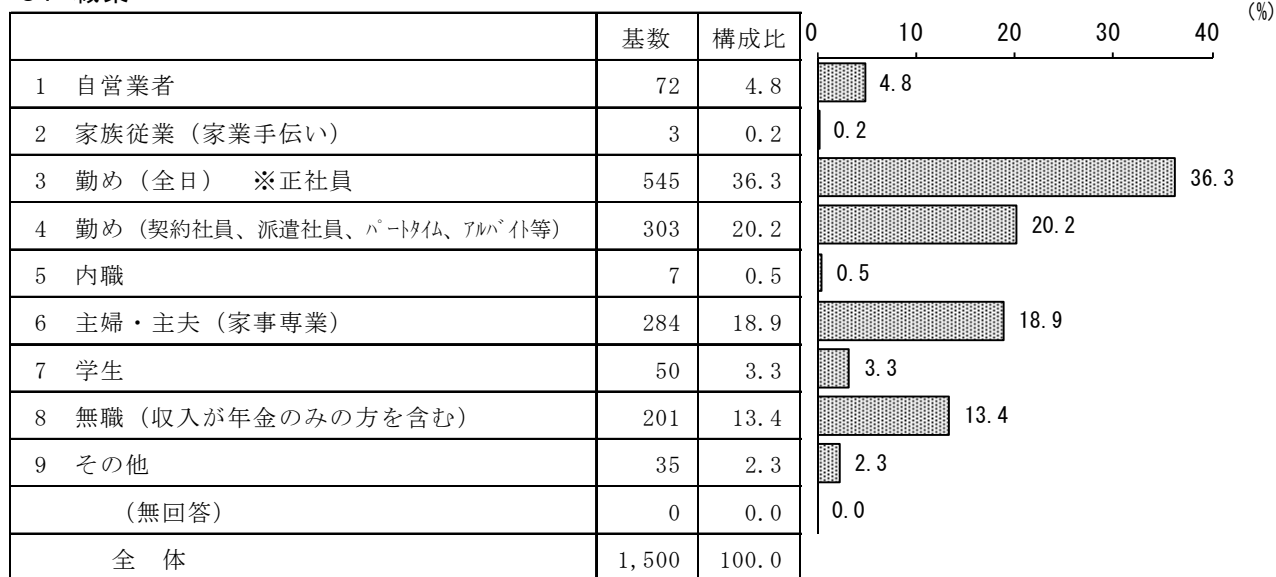


4. 年齢

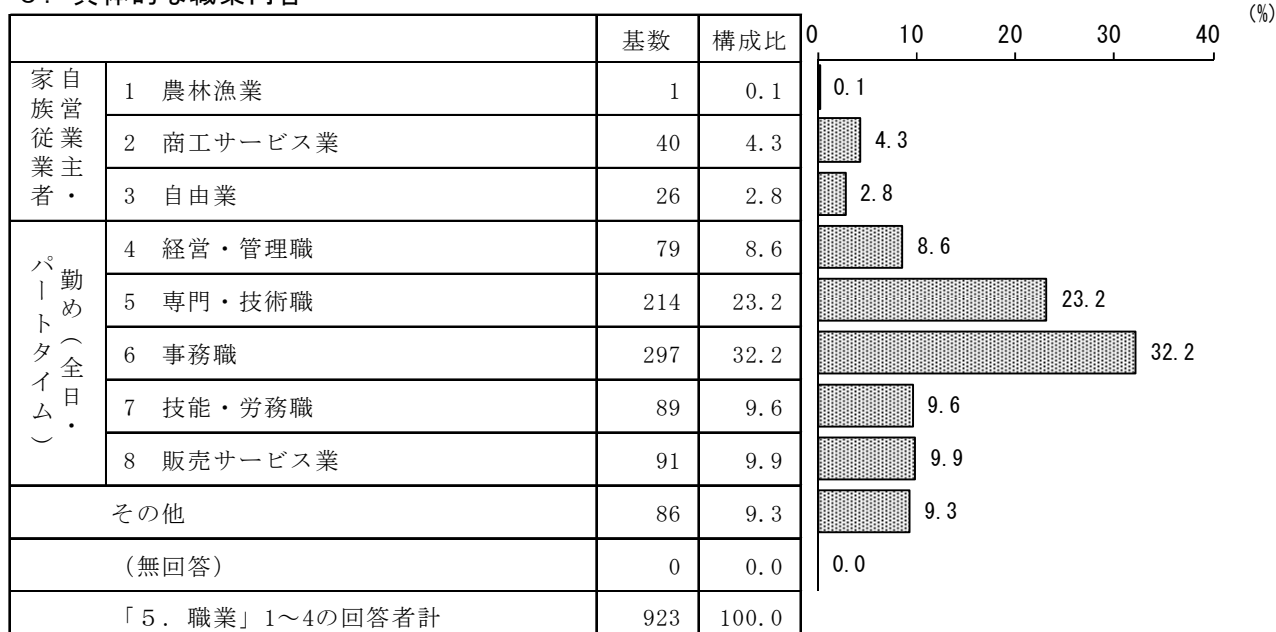
	基数	構成比
1 18～24歳	84	5.6
2 25～29歳	120	8.0
3 30～34歳	125	8.3
4 35～39歳	189	12.6
5 40～44歳	163	10.9
6 45～49歳	185	12.3
7 50～54歳	144	9.6
8 55～59歳	103	6.9
9 60～64歳	153	10.2
10 65～69歳	153	10.2
11 70～74歳	37	2.5
12 75歳以上	44	2.9
(無回答)	0	0.0
全 体	1,500	100.0



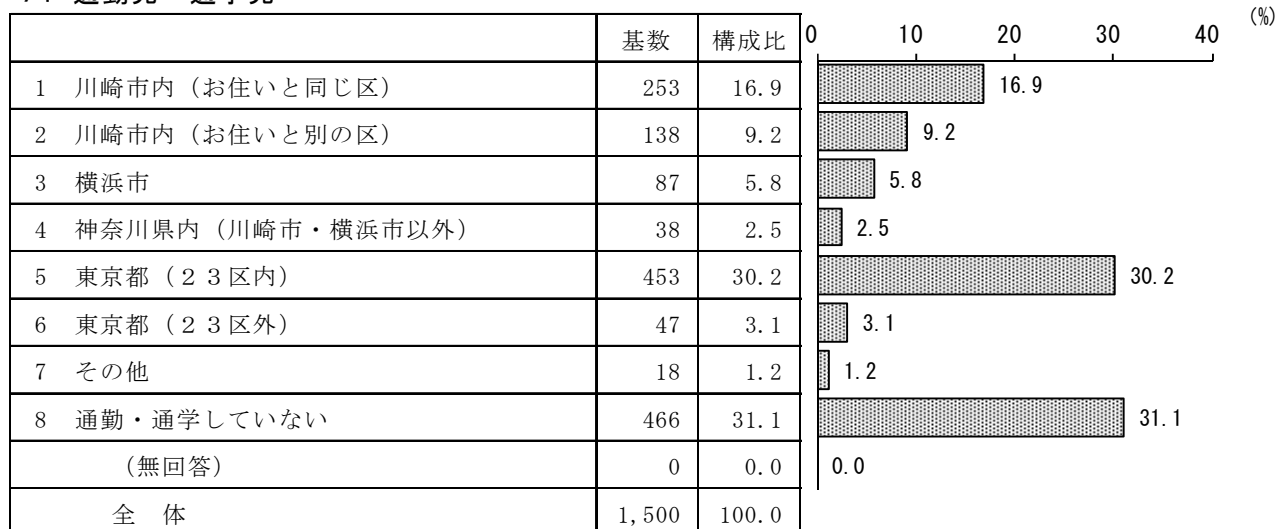
5. 職業



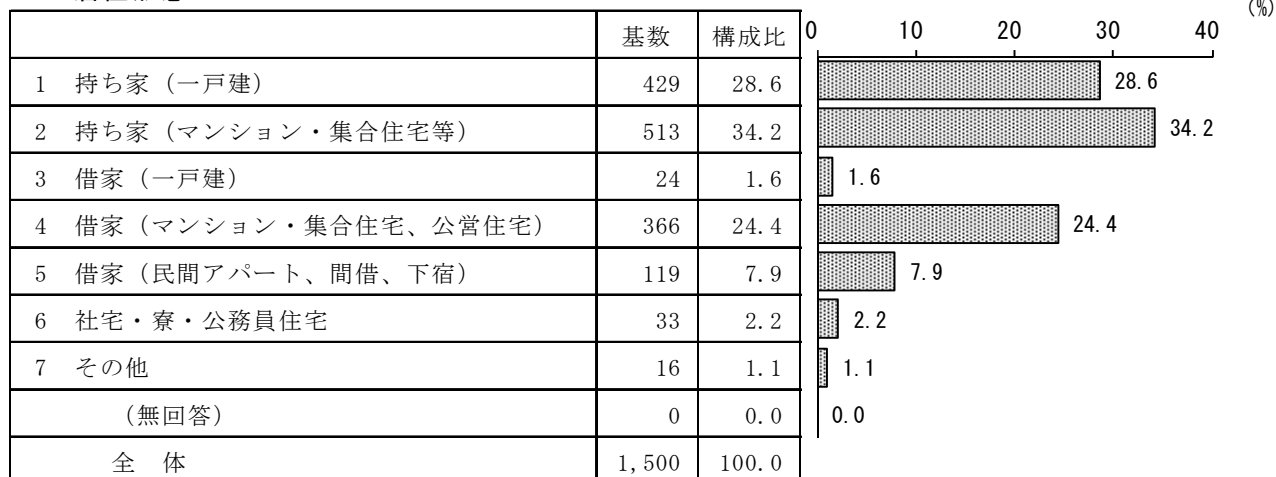
6. 具体的な職業内容



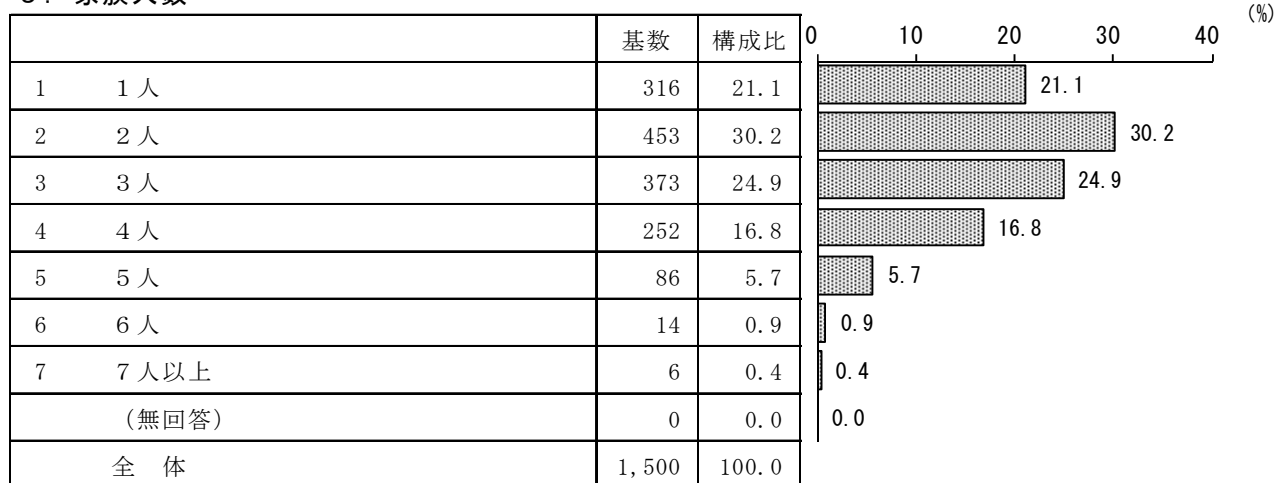
7. 通勤先・通学先



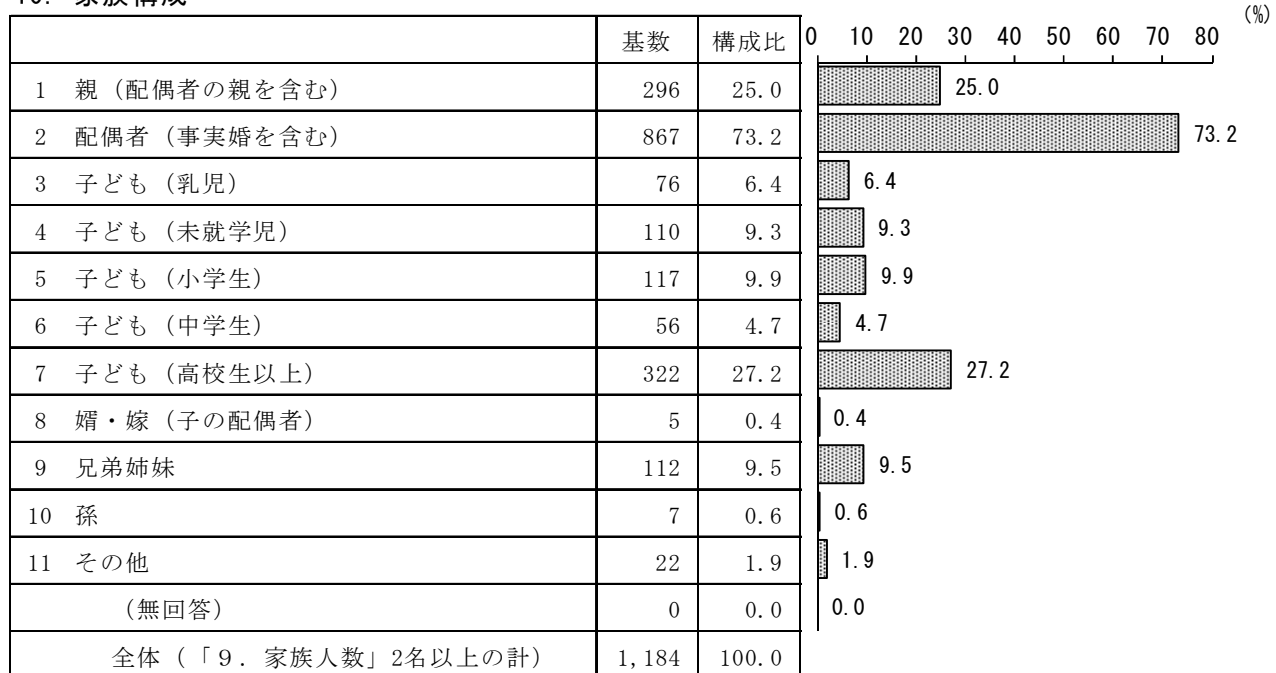
8. 居住形態



9. 家族人数



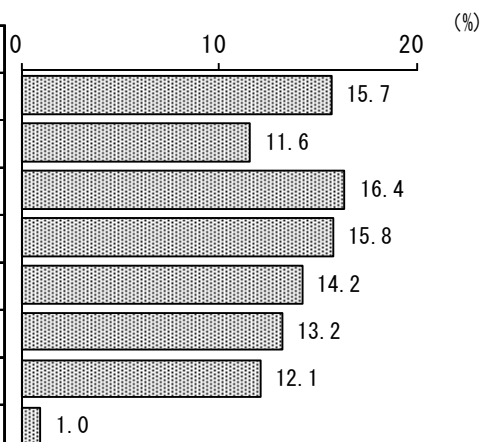
10. 家族構成



2 第2回アンケートの回答者

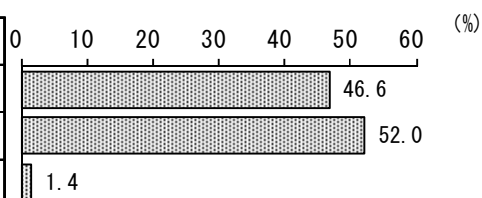
1. 居住区

	基数	構成比
1 川崎区	212	15.7
2 幸区	157	11.6
3 中原区	221	16.4
4 高津区	213	15.8
5 宮前区	192	14.2
6 多摩区	179	13.2
7 麻生区	164	12.1
(無回答)	13	1.0
全 体	1,351	100.0



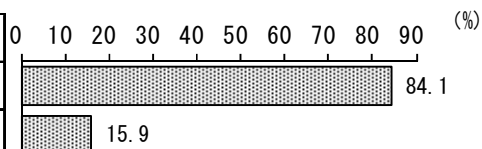
2. 性別

	基数	構成比
1 男性	630	46.6
2 女性	702	52.0
(無回答)	19	1.4
全 体	1,351	100.0



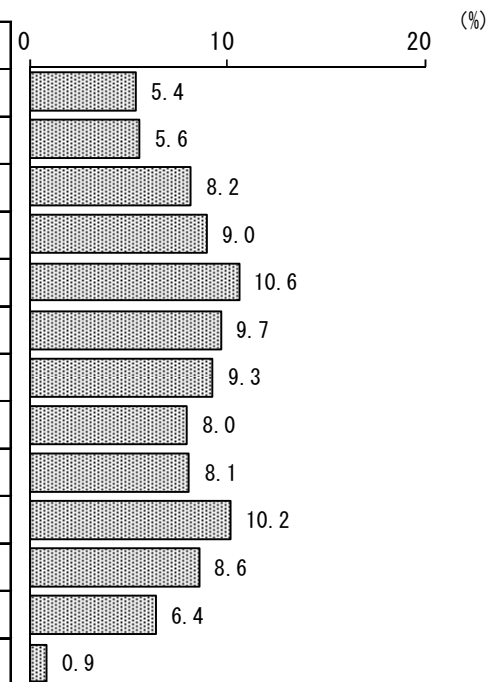
3. 回答方法

	基数	構成比
1 郵送	1136	84.1
2 インターネット	215	15.9
全 体	1,351	100.0



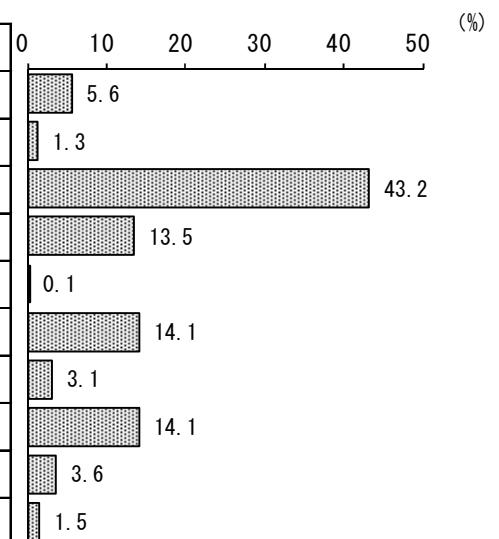
4. 年齢

	基数	構成比
1 18～24歳	73	5.4
2 25～29歳	76	5.6
3 30～34歳	111	8.2
4 35～39歳	121	9.0
5 40～44歳	143	10.6
6 45～49歳	131	9.7
7 50～54歳	125	9.3
8 55～59歳	108	8.0
9 60～64歳	110	8.1
10 65～69歳	138	10.2
11 70～74歳	116	8.6
12 75歳以上	87	6.4
(無回答)	12	0.9
全 体	1,351	100.0



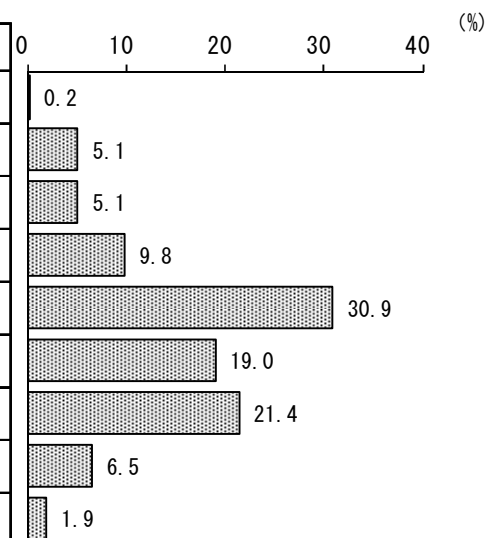
5. 職業

	基数	構成比
1 自営業主	76	5.6
2 家族従業（家業手伝い）	17	1.3
3 勤め（全日）	583	43.2
4 勤め（パートタイム）	182	13.5
5 内職	1	0.1
6 主婦・主夫（家事専業）	191	14.1
7 学生	42	3.1
8 無職（収入が年金のみの方を含む）	190	14.1
9 その他	49	3.6
(無回答)	20	1.5
全 体	1,351	100.0

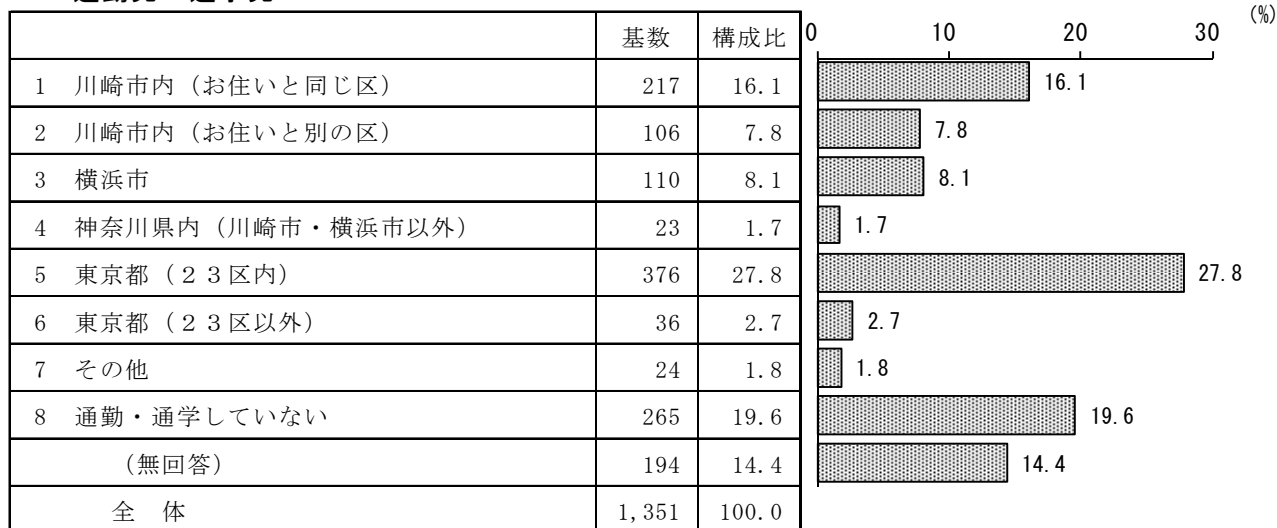


6. 具体的な職業内容

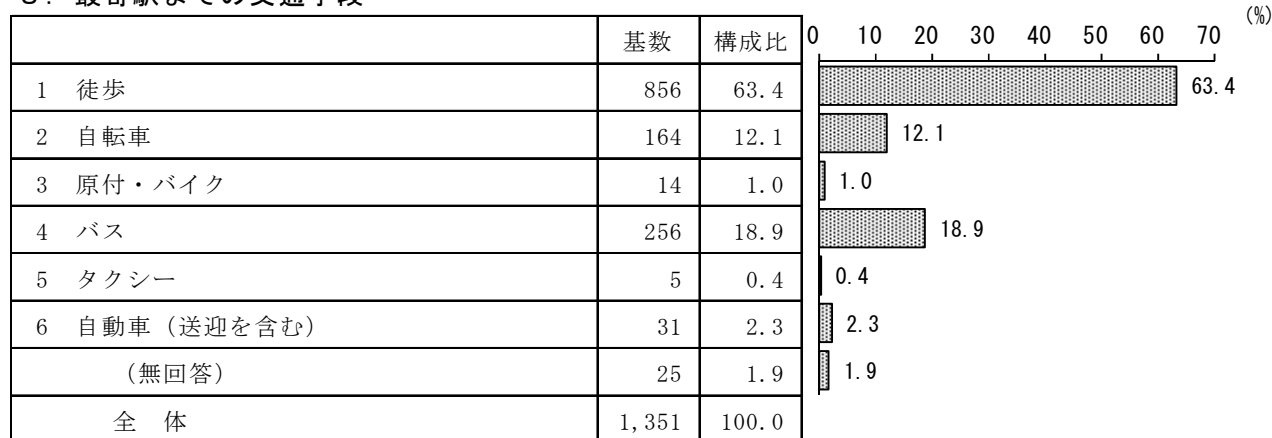
	基数	構成比
家族従業者・自営業主	1 農林漁業	2 0.2
	2 商工サービス業	44 5.1
	3 自由業	44 5.1
パート勤め（全日・パート）	4 経営・管理職	84 9.8
	5 専門・技術職	265 30.9
	6 事務職	163 19.0
	7 技能・労務職	184 21.4
	8 販売サービス業	56 6.5
(無回答)	16	1.9
「5. 職業」1～4の回答者計	858	100.0



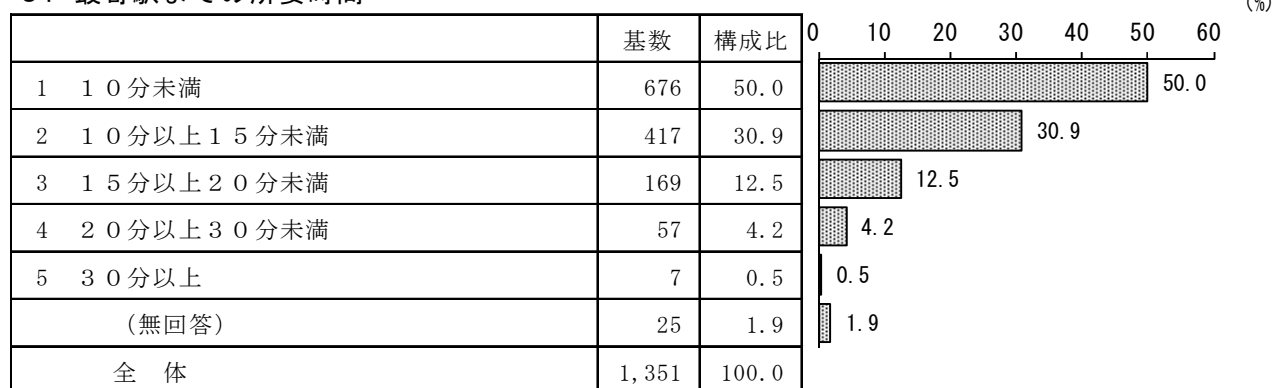
7. 通勤先・通学先



8. 最寄駅までの交通手段



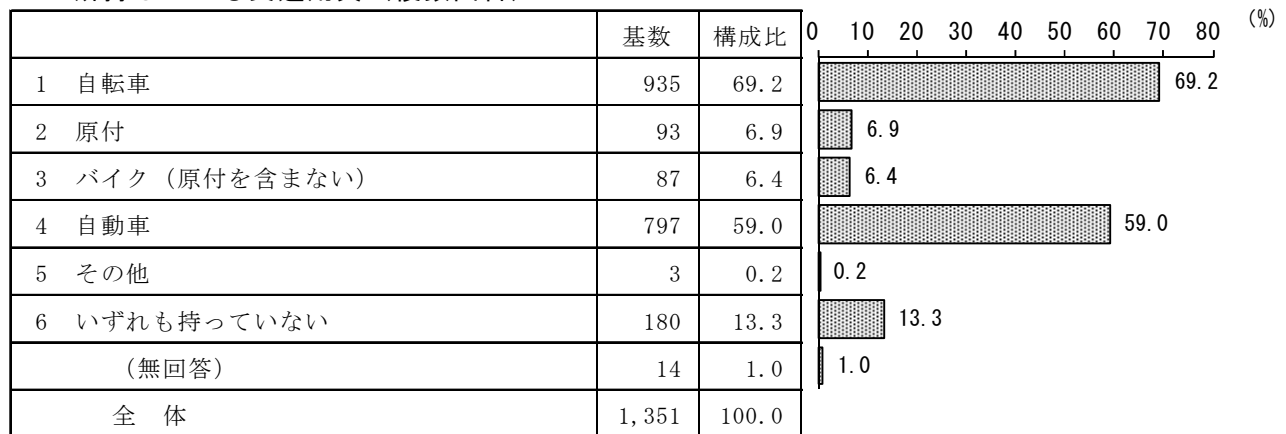
9. 最寄駅までの所要時間



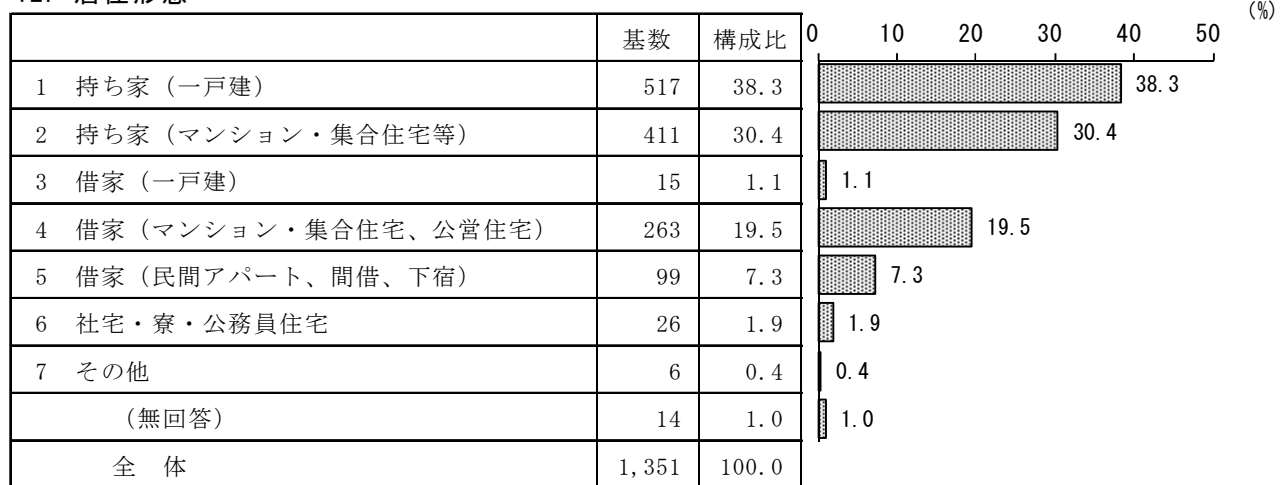
10. 所持している運転免許（複数回答）



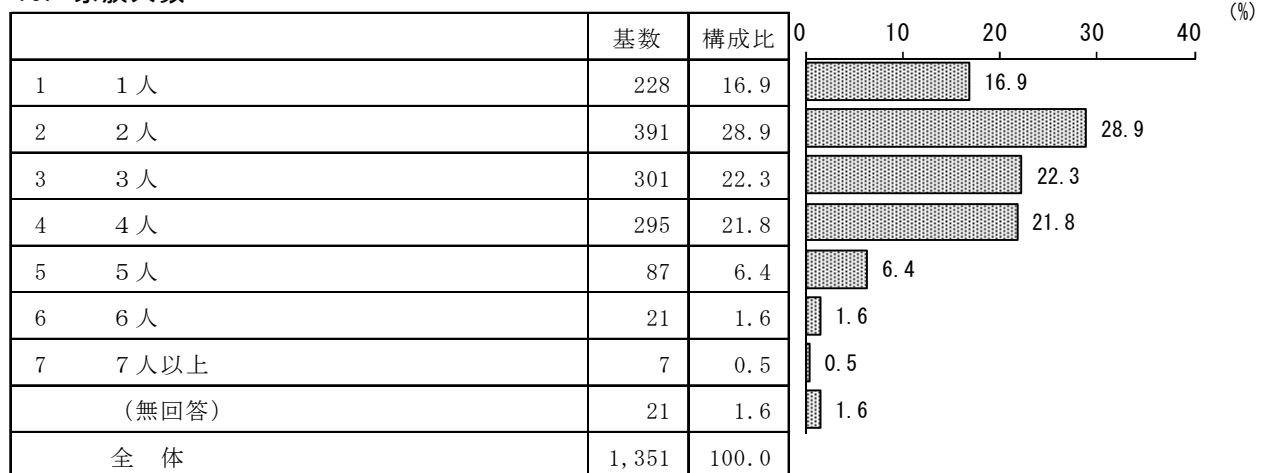
11. 所持している交通用具（複数回答）



12. 居住形態



13. 家族人数



14. 中学生以下の子どもの有無



15. 65歳以上の方との同居



Ⅲ 調査結果

① 第 1 回アンケート調査の結果

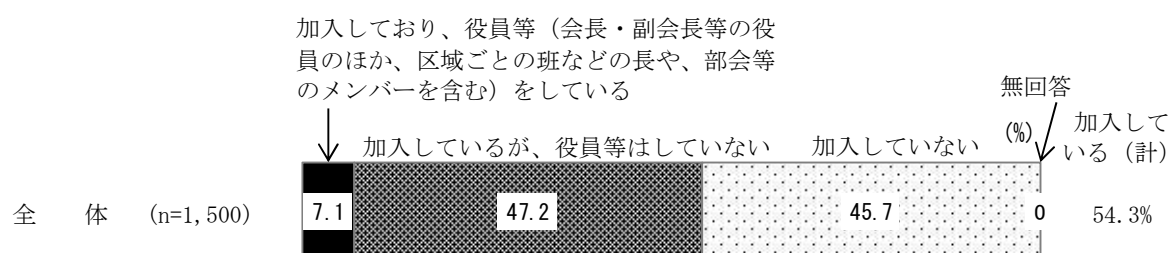
1 町内会・自治会の活性化について

1-1 町内会・自治会への加入の有無

◎加入している（計）が54.3%

Q1. あなたは、町内会・自治会に加入していますか。

図表1-1 町内会・自治会への加入の有無

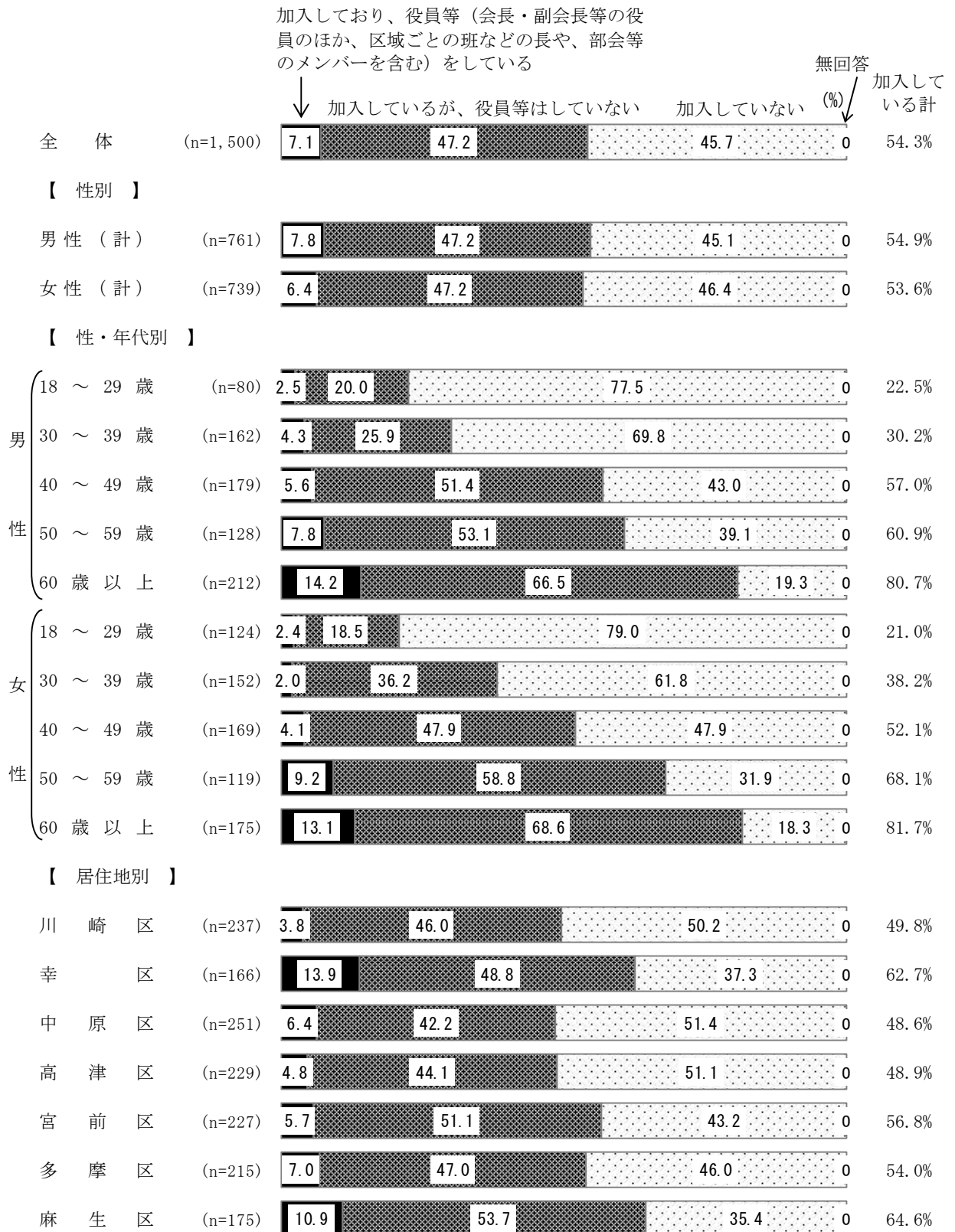


町内会・自治会への加入は、「加入しており、役員等（会長・副会長等の役員のほか、区域ごとの班などの長や、部会等のメンバーを含む）をしている」（7.1%）、「加入しているが、役員等はしていない」（47.2%）を合わせた「加入している（計）」は54.3%であった。

※平成28年4月1日現在の川崎市における町内会・自治会加入率は63.2%となっている。本アンケートでは「加入している（計）」が54.3%となっているが、インターネット調査のため、高齢者の回答が少なかったこと等が影響したものと考えられる。

(第1回アンケート)

図表1-2 町内会・自治会への加入の有無(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男女共に年齢が高くなるほど「加入している(計)」の割合が高くなる傾向がある。また、「役員等をしている」割合についても同様の傾向が見られる。

男女共に60歳以上では、8割以上の方が加入しており、役員をしている割合も他の年代に比べて高い。

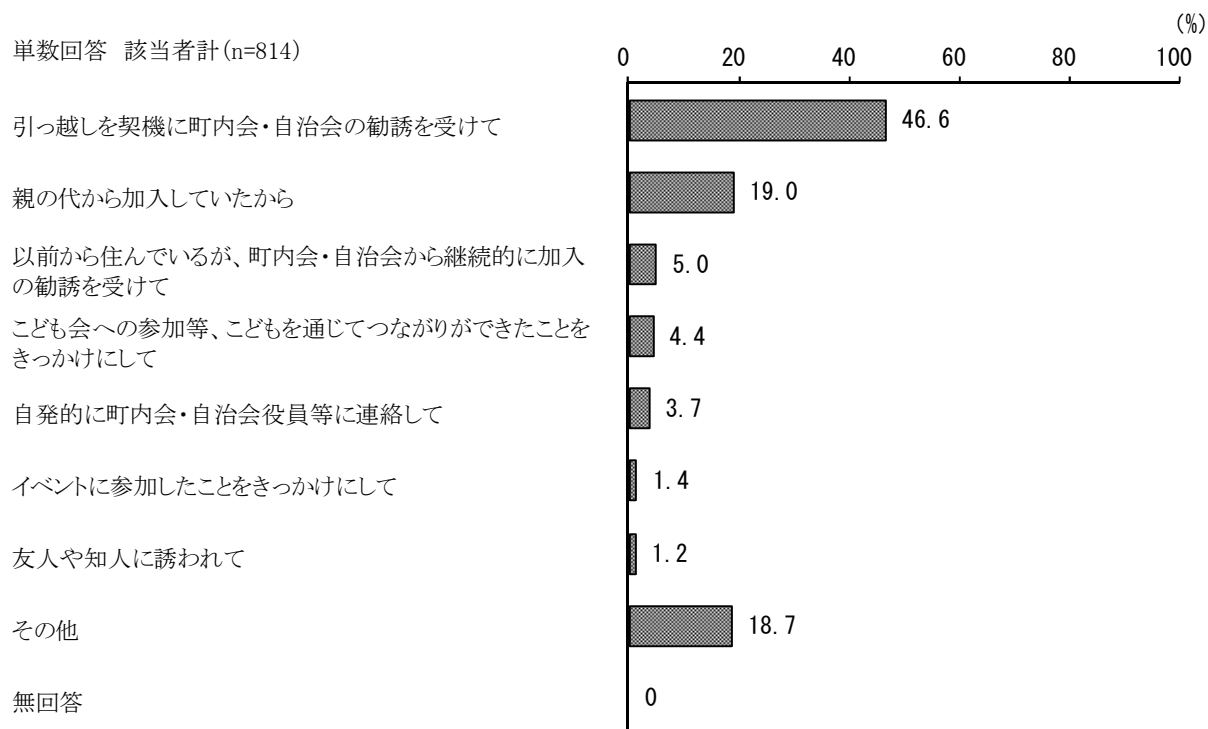
居住区別では、幸区、麻生区で「加入している(計)」が全体に比べて高い傾向が見られる。

1-2 町内会・自治会への加入の主なきっかけ

◎「引っ越しを契機に町内会・自治会の勧誘を受けて」が46.6%

Q2. あなたが、町内会・自治会に加入した主なきっかけを教えてください。

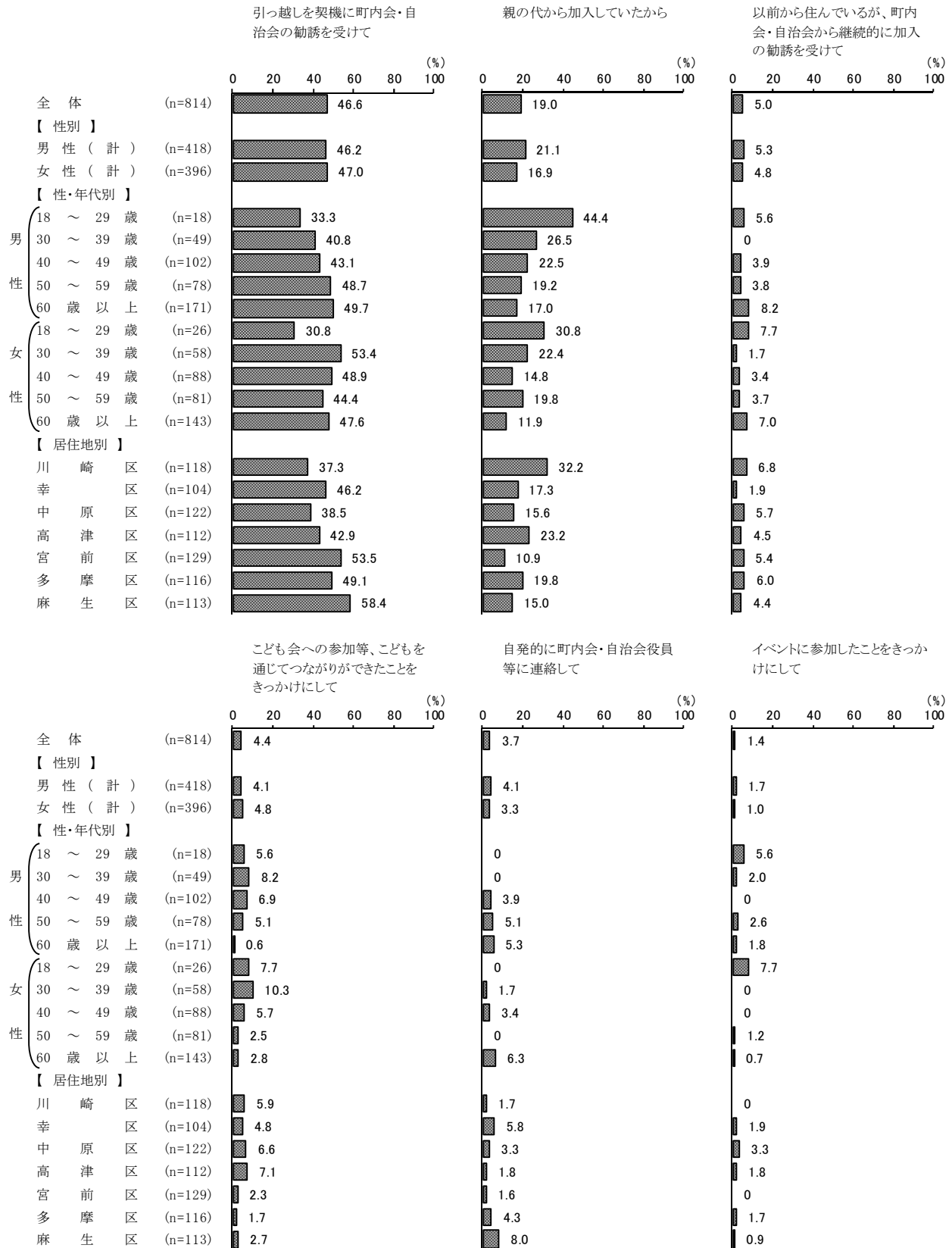
図表 1-3 町内会・自治会への加入の主なきっかけ



町内会・自治会への加入の主なきっかけは、「引っ越しを契機に町内会・自治会の勧誘を受けて」(46.6%) が最も多く、次いで「親の代から加入していた」(19.0%) の順となっている。

(第1回アンケート)

図表1-4 町内会・自治会への加入の主なきっかけ(性/年齢別・居住区別 上位6項目)



性/年齢別では、「引越しを契機に町内会・自治会の勧誘を受けて」は、女性の30～39歳(53.4%)で最も高い。「親の代から加入していたから」は、男性の18～29歳(44.4%)で最も高い。

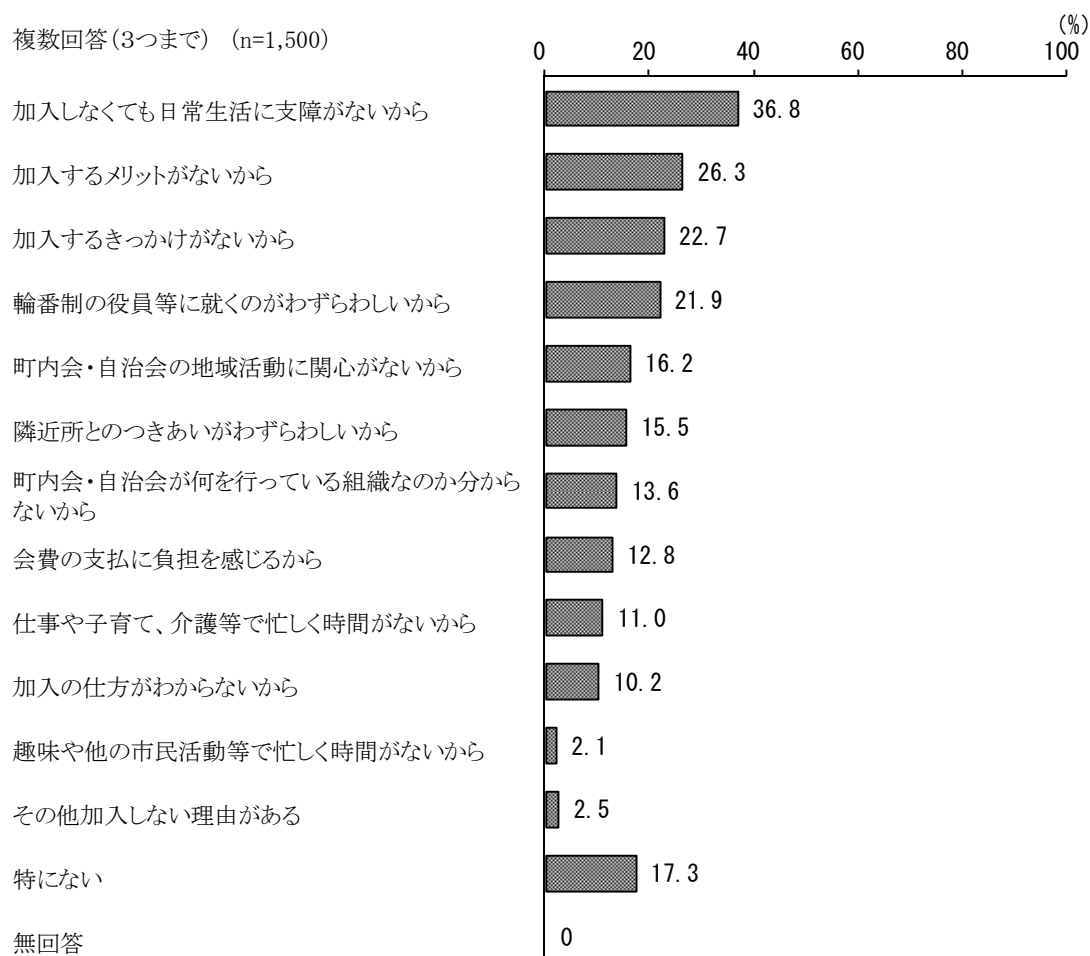
居住区別では、「引越しを契機に町内会・自治会の勧誘を受けて」は麻生区(58.4%)で最も高く、「親の代から加入していたから」は川崎区(32.2%)で最も高い。

1－3 町内会・自治会に加入しない理由

◎「加入しなくても日常生活に支障がないから」が36.8%

Q3. 町内会・自治会の加入率は低下傾向にあります。地域住民が、町内会・自治会に加入しない主な理由は何だと思いますか。町内会・自治会に加入していない人は個人的な理由を、加入している人は考えられる一般的な理由を選択してください。(3つまで)

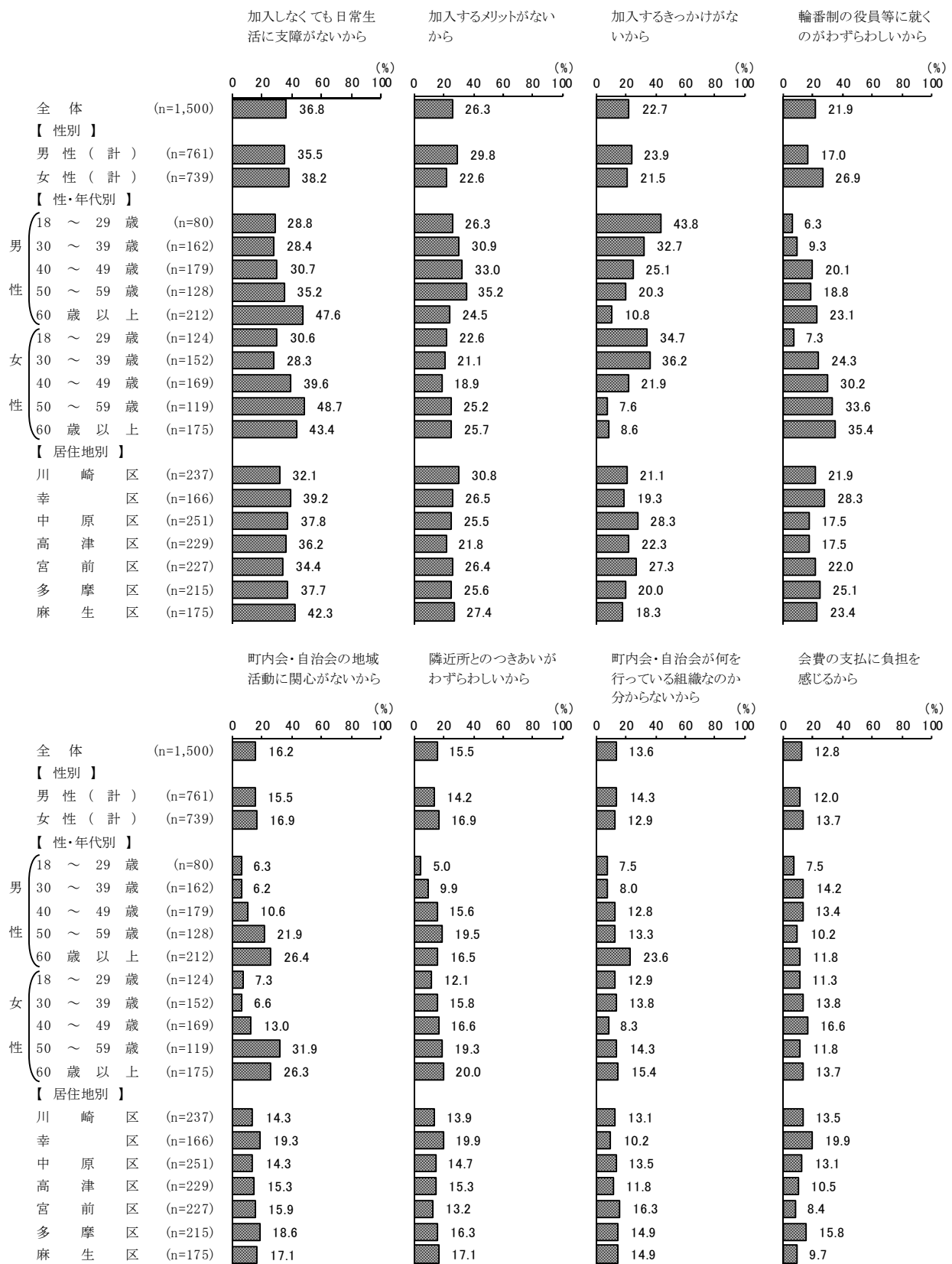
図表1－5 町内会・自治会に加入しない理由



町内会・自治会に加入しない理由は、「加入しなくても日常生活に支障がないから」(36.8%)が最も高い。次いで、「加入するメリットがないから」(26.3%)、「加入するきっかけがないから」(22.7%)、「輪番制の役員等に就くのがわずらわしいから」(21.9%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表1-6 町内会・自治会に加入しない理由(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



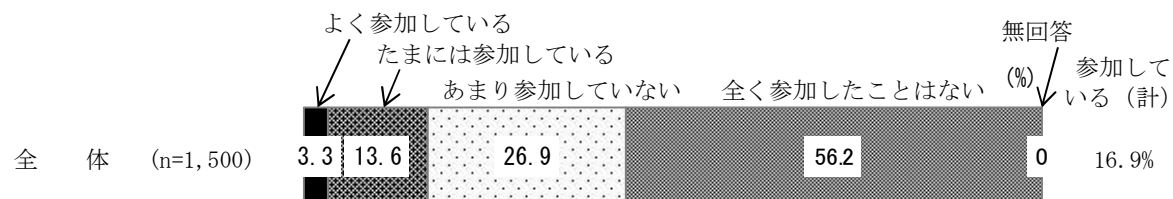
性/年齢別では、「加入しなくても日常生活に支障がないから」「町内会・自治会の地域活動に関心がないから」「輪番制の役員等に就くのがわずらわしいから」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向があり、「加入するきっかけがないから」は、年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向が見られる。

1－4 町内会・自治会の活動参加の有無

◎「参加している（計）」が16.9%

Q 4. 町内会・自治会はさまざまな活動を行っていますが、あなたは町内会・自治会の活動にどの程度参加していますか。

図表 1－7 町内会・自治会の活動参加の有無

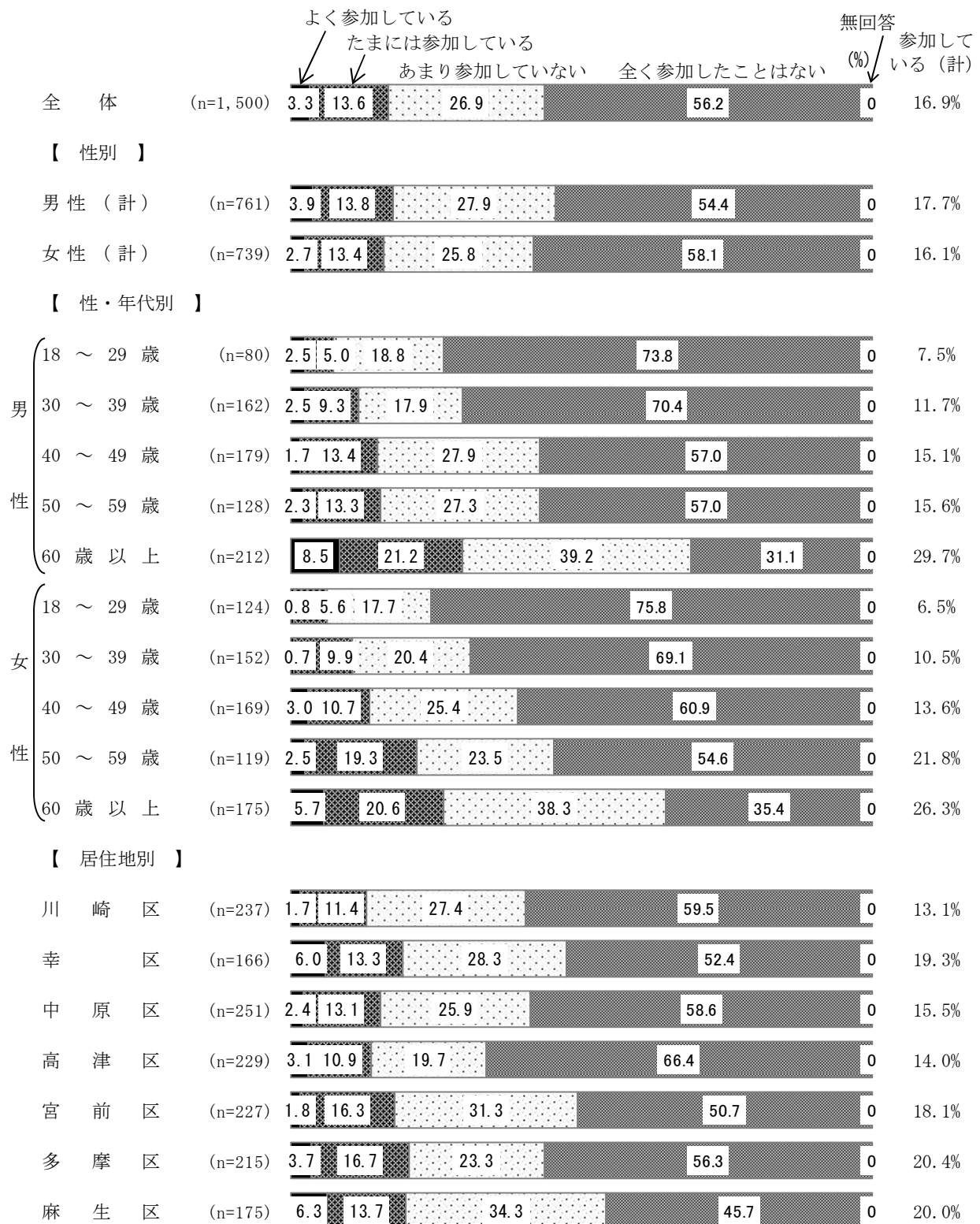


町内会・自治会の活動参加は、「よく参加している」（3.3%）、「たまには参加している」（13.6%）を合わせた「参加している（計）」は16.9%であった。

一方で、「全く参加したことはない」が56.2%と半数を超えている。

(第1回アンケート)

図表1-8 町内会・自治会の活動参加の有無(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男女共に年齢が高くなるほど「参加している(計)」の割合が高くなる傾向がある。ただし、男女共に18~29歳では、「参加している(計)」が1割に達していない。

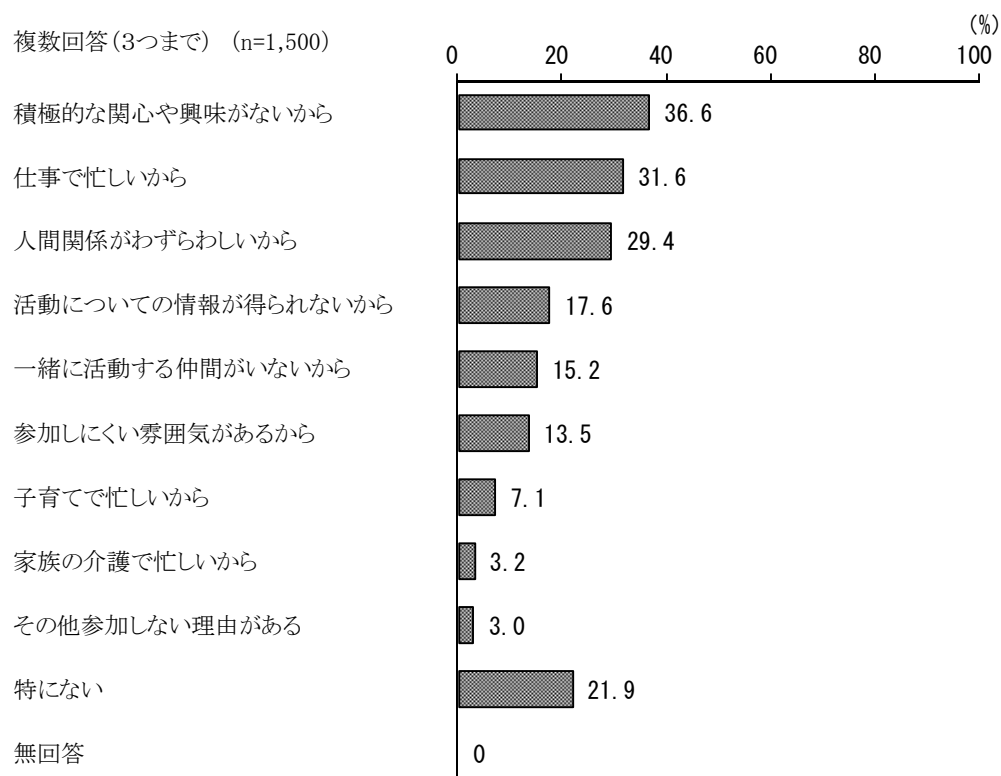
居住区別では、麻生区で「参加している(計)」に「あまり参加していない」を加えた参加したことがある人が5割を超えている。

1－5 町内会・自治会活動に参加しない理由

◎「積極的な関心や興味がないから」が36.6%

Q 5. 町内会・自治会はさまざまな活動を行っていますが、地域住民が町内会・自治会活動に参加しない主な理由は何だと思いますか。活動に参加していない人は個人的な理由を、活動に参加している人は考えられる一般的な理由を選択してください。(3つまで)

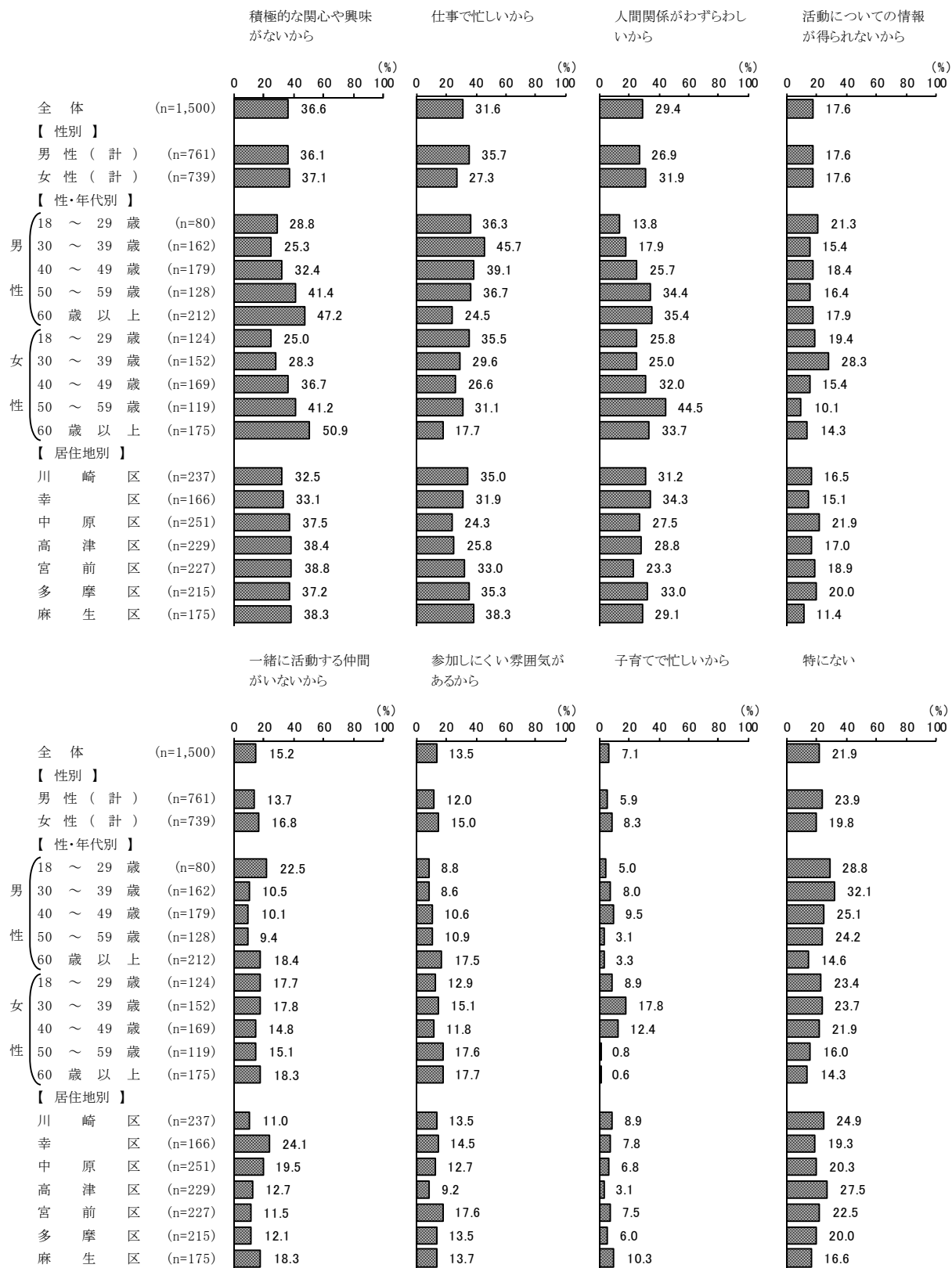
図表 1－9 町内会・自治会活動に参加しない理由



町内会・自治会活動に参加しない理由は、「積極的な関心や興味がないから」(36.6%)が最も高い。次いで、「仕事で忙しいから」(31.6%)、「人間関係がわずらわしいから」(29.4%)の順となっている。一方で、「特になし」も約2割見られる。

(第1回アンケート)

図表 1-10 町内会・自治会活動に参加しない理由（性／年齢別・居住区別 上位 8 項目）



性／年齢別では、「積極的な関心や興味がないから」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。

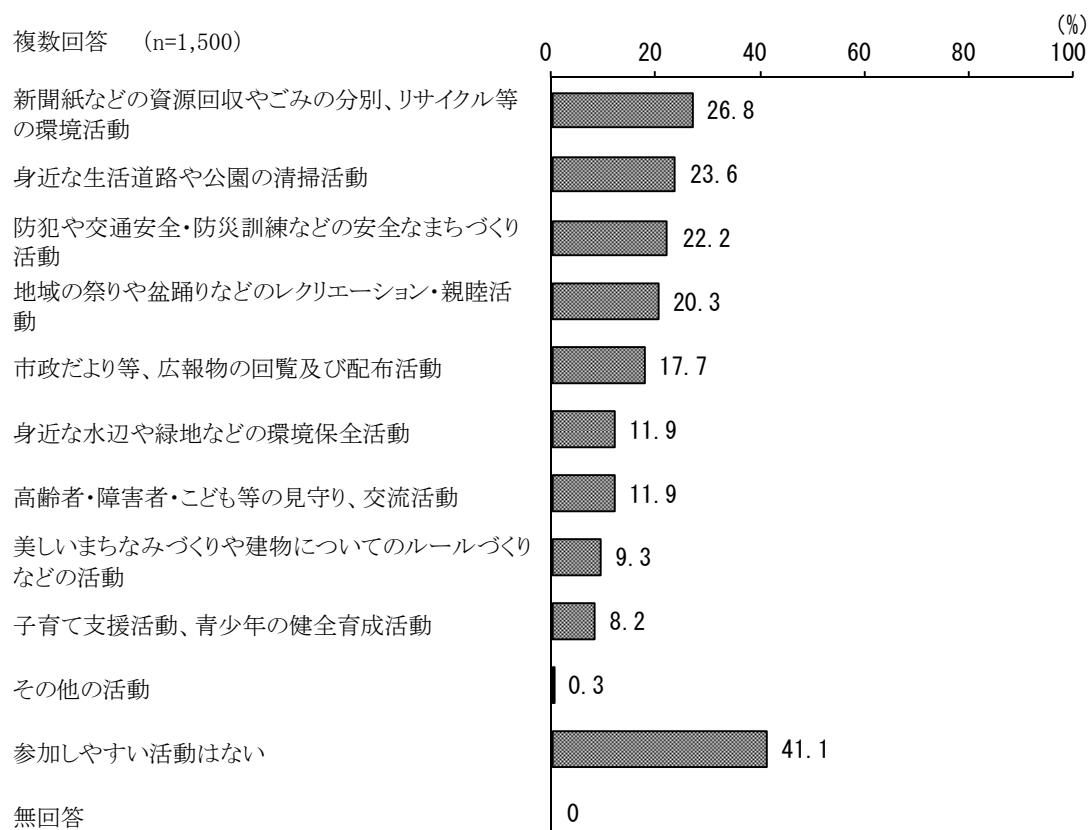
居住区別では、「特にない」は、高津区（27.5%）で最も高い。

1-6 町内会・自治会などで参加できると思う活動

◎「新聞紙などの資源回収やごみの分別、リサイクル等の環境活動」が26.8%

Q6. 地域においては、次のようなさまざまな活動が、町内会・自治会などによって行われています。これらの活動のうち、あなたが、参加できると思う活動はどの活動ですか。

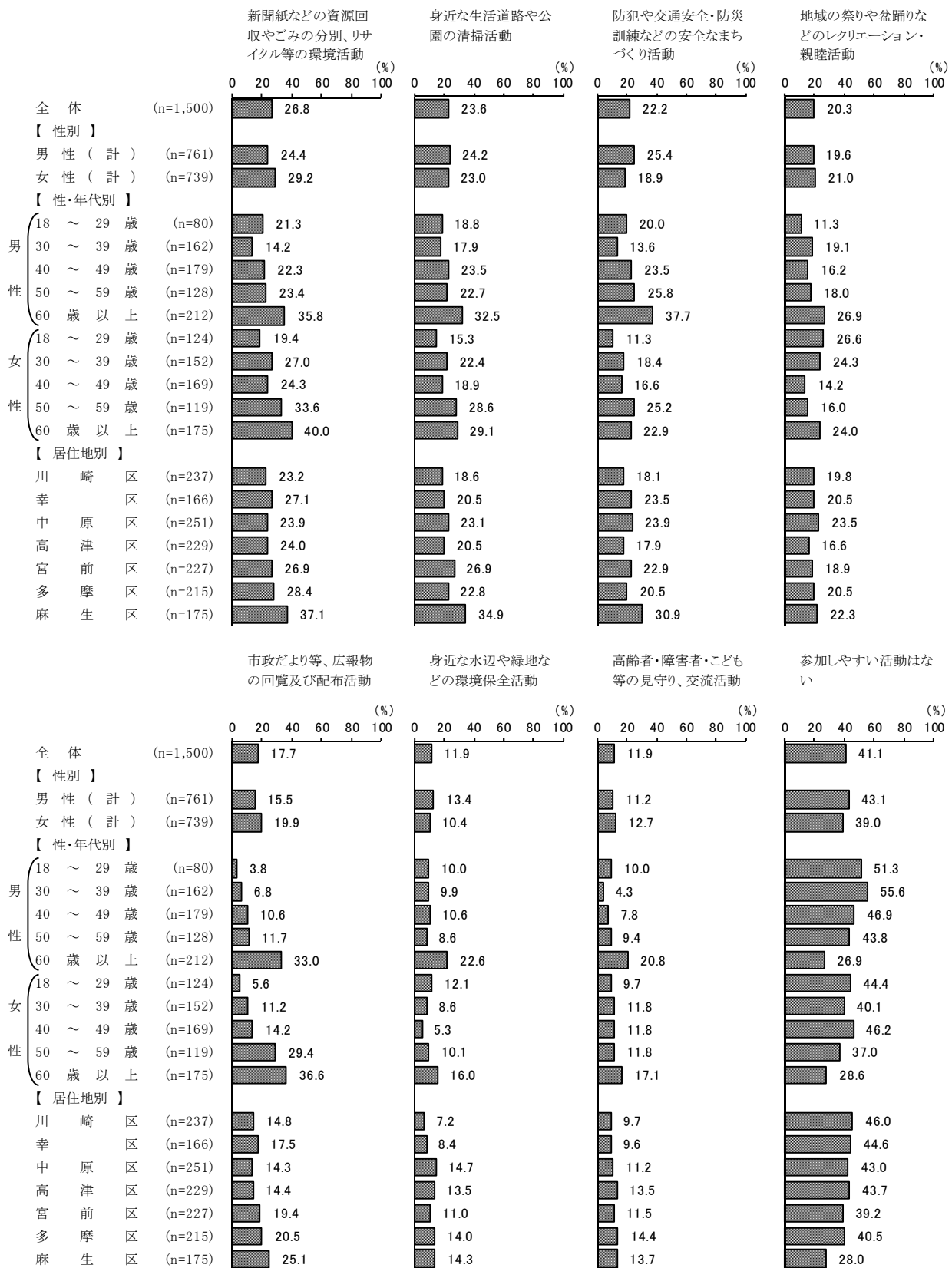
図表 1-11 町内会・自治会などで参加できると思う活動



町内会・自治会などで参加できると思う活動は、「参加しやすい活動はない」(41.1%)が最も多いものの、これ以外では「新聞紙などの資源回収やごみの分別、リサイクル等の環境活動」(26.8%)が最も高い。次いで、「身近な生活道路や公園の清掃活動」(23.6%)、「防犯や交通安全・防災訓練などの安全なまちづくり活動」(22.2%)、「地域の祭りや盆踊りなどのレクリエーション・親睦活動」(20.3%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表1-12 町内会・自治会などで参加できると思う活動(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、男性の60歳以上で、上位8項目の全てで高い傾向が見られる。「新聞紙などの資源回収やごみの分別、リサイクル等の環境活動」では、女性の60歳以上(40.0%)が最も高い。

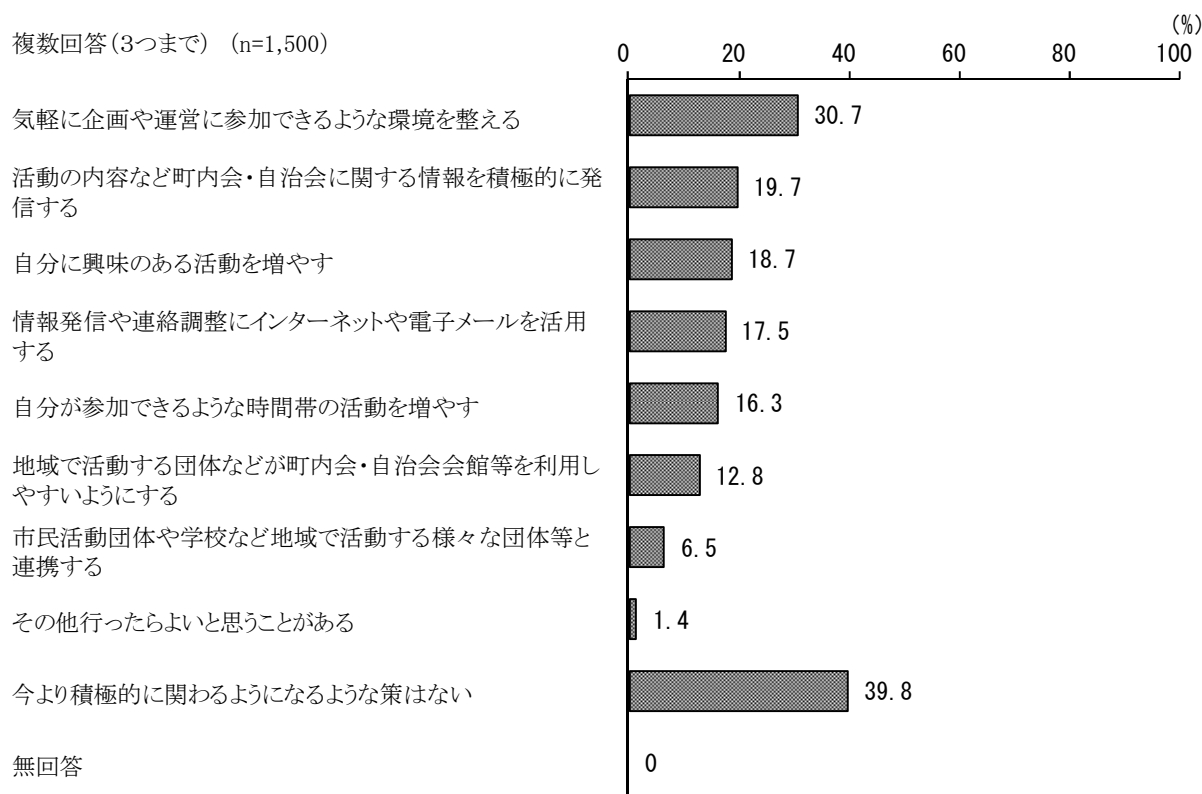
居住区別では、「新聞紙などの資源回収やごみの分別、リサイクル等の環境活動」、「身近な生活道路や公園の清掃活動」、「防犯や交通安全・防災訓練などの安全なまちづくり活動」の上位3項目で、麻生区が最も高い。

1-7 町内会・自治会活動に積極的になるためにやるべきこと

◎「気軽に企画や運営に参加できるような環境を整える」が30.7%

Q7. あなたが、今より積極的に町内会・自治会活動に関わるようになるには、町内会・自治会がどのようなことを行うとよいと思いますか。(3つまで)

図表 1-13 町内会・自治会活動に積極的になるためにやるべきこと

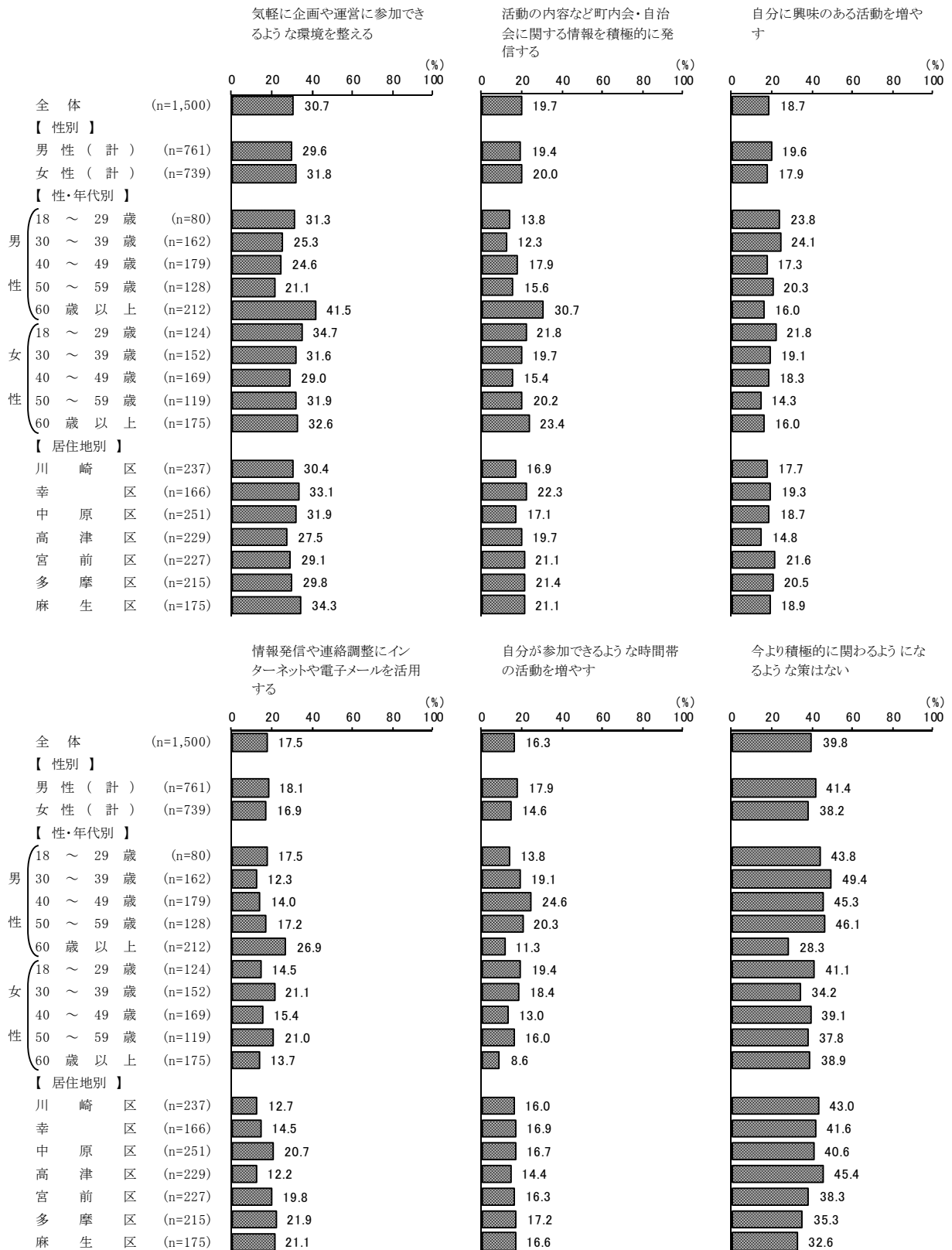


町内会・自治会活動に積極的になるためにやるべきことでは、「今より積極的に関わるようになるような策はない」(39.8%)が最も多いものの、これ以外では「気軽に企画や運営に参加できるような環境を整える」(30.7%)が最も高い。次いで、「活動の内容など町内会・自治会に関する情報を積極的に発信する」(19.7%)、「自分に興味のある活動を増やす」(18.7%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表1-14 町内会・自治会活動に積極的になるためにやるべきこと

(性／年齢別・居住区別 上位6項目)



性／年齢別では、男性の60歳以上は、「気軽に企画や運営に参加できるような環境を整える」(41.5%)、「活動の内容など町内会・自治会に関する情報を積極的に発信する」(30.7%)、「情報発信や連絡調整にインターネットや電子メールを活用する」(26.9%)で、それぞれ最も高い。

居住区別では、「情報発信や連絡調整にインターネットや電子メールを活用する」で、川崎区(12.7%)、高津区(12.2%)が、全体に比べ低い。

2 女性活躍推進及び働き方の意識について

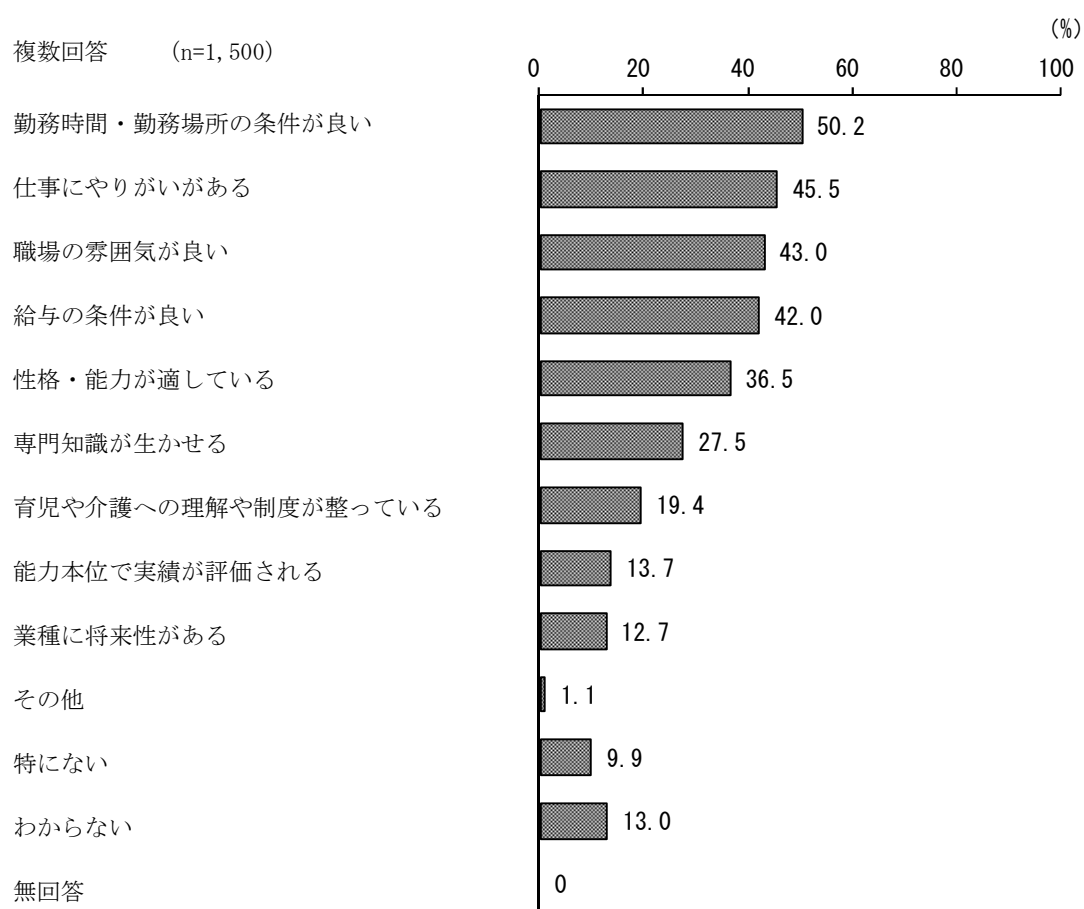
2-1 仕事を選ぶ際に重視すること

◎「勤務時間・勤務場所の条件が良い」が50.2%

Q10. あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、または、したいことは何ですか。

※現在就業していない方も、過去に働いていた時や、今後働く場合を想定してお答えください。

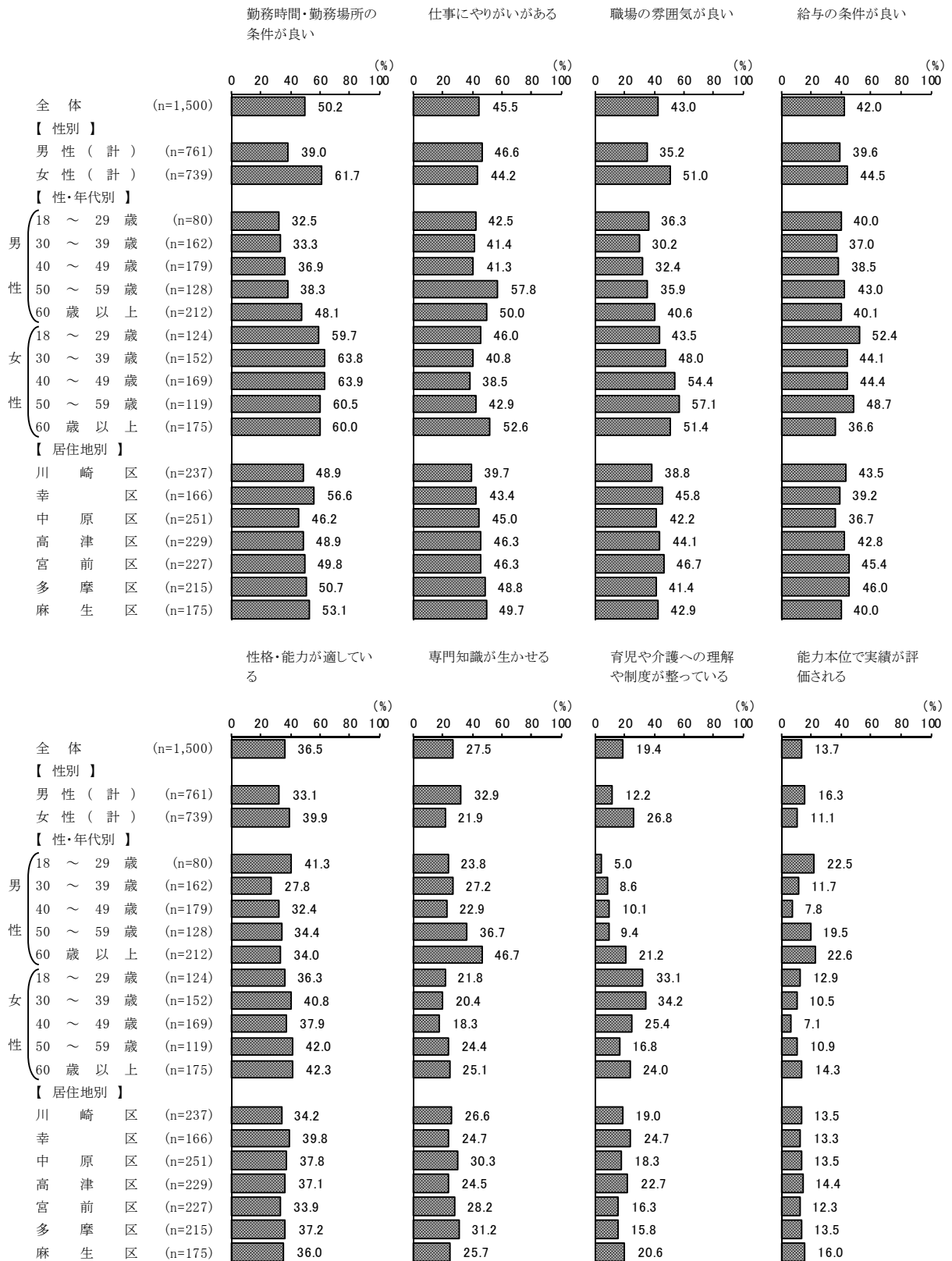
図表2-1 仕事を選ぶ際に重視すること



仕事を選ぶ際に重視することは、「勤務時間・勤務場所の条件が良い」(50.2%)が最も高い。次いで、「仕事にやりがいがある」(45.5%)、「職場の雰囲気が良い」(43.0%)、「給与の条件が良い」(42.0%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-2 仕事を選ぶ際に重視すること(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



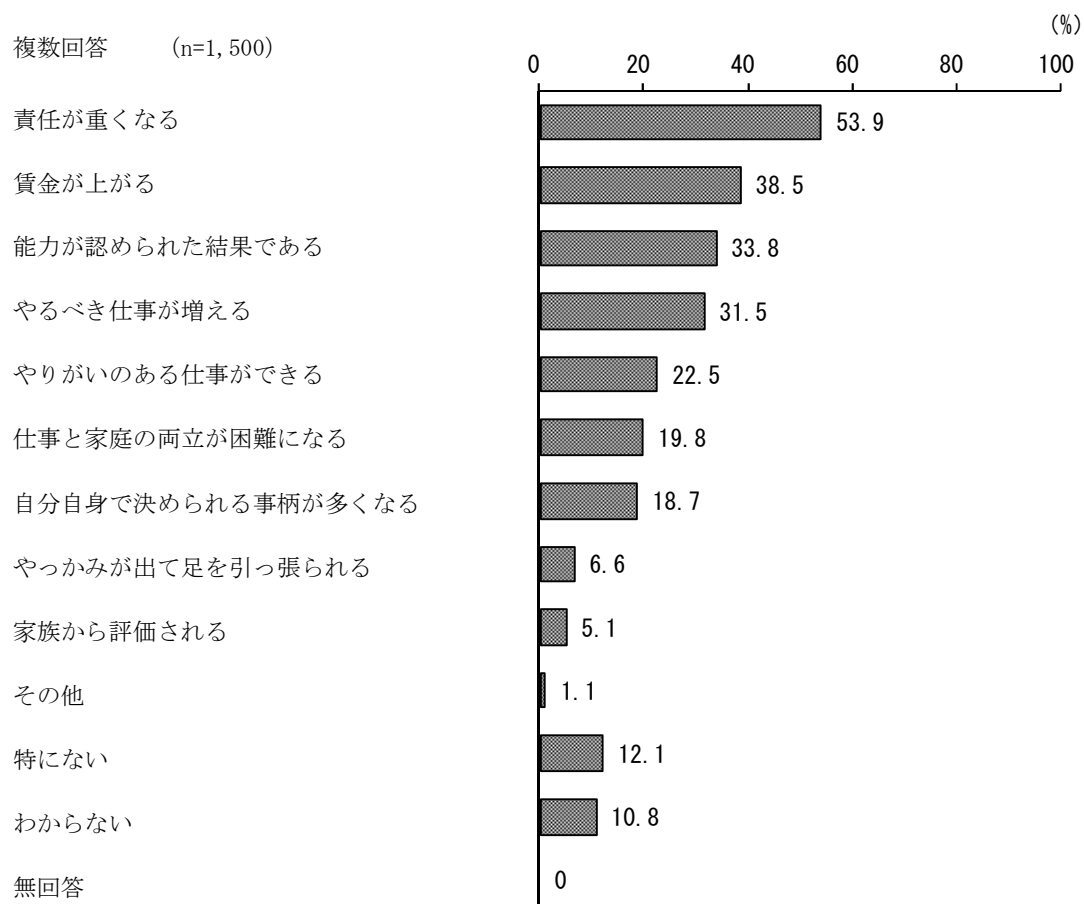
性/年齢別では、「勤務時間・勤務場所の条件が良い」「職場の雰囲気が良い」「性格・能力が適している」「育児や介護への理解や制度が整っている」は女性で高く、「専門知識が生かせる」は男性で高い。居住区別で特に目立った点は見られない。

2-2 管理職以上への昇進のイメージ

◎「責任が重くなる」が53.9%

Q11. あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

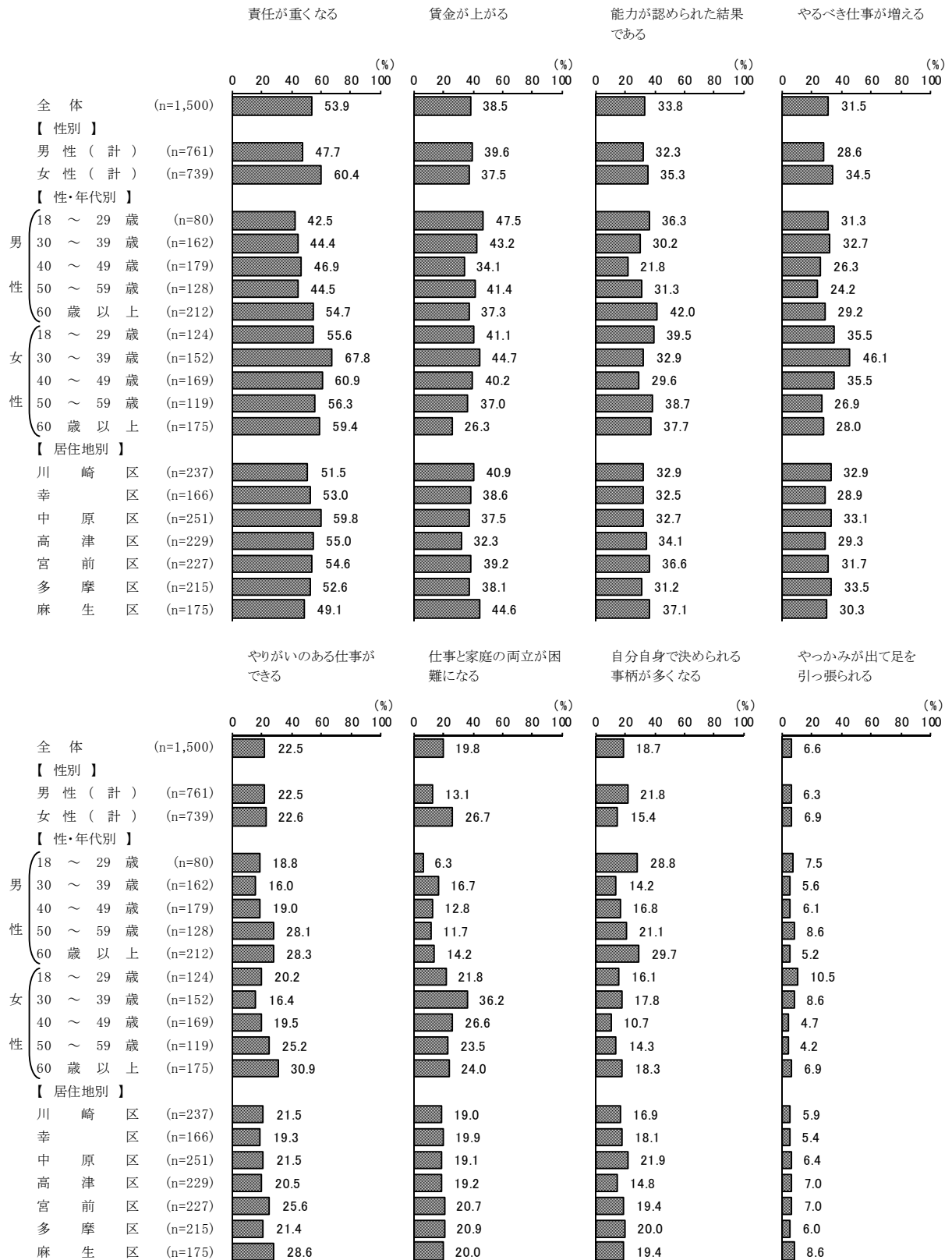
図表2-3 管理職以上への昇進のイメージ



管理職以上への昇進のイメージは、「責任が重くなる」(53.9%)が最も高い。次いで、「賃金が上がる」(38.5%)、「能力が認められた結果である」(33.8%)、「やるべき仕事が増える」(31.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-4 管理職以上への昇進のイメージ(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



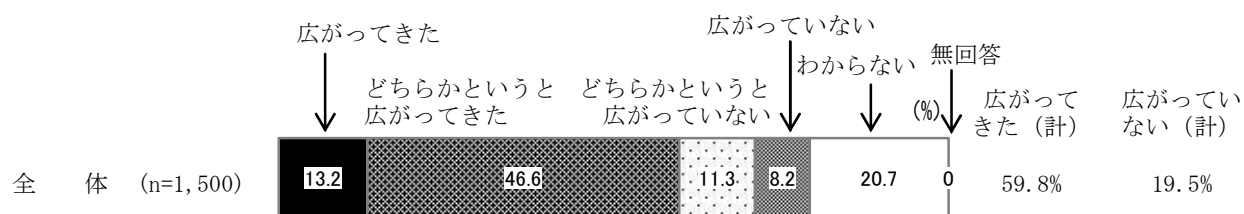
性/年齢別では、「責任が重くなる」「やるべき仕事が増える」「仕事と家庭の両立が困難になる」は、女性、特に 30~39 歳で高い。また、「自分自身で決められる事柄が多くなる」は、男性、特に 18~29 歳、60 歳以上で高い。

2－3 女性の活躍機会の広がり

◎「広がってきた（計）」が59.8%

Q 1 2. あなたはここ数年の間に働く場において、女性が活躍する機会が広がってきたと思いますか。

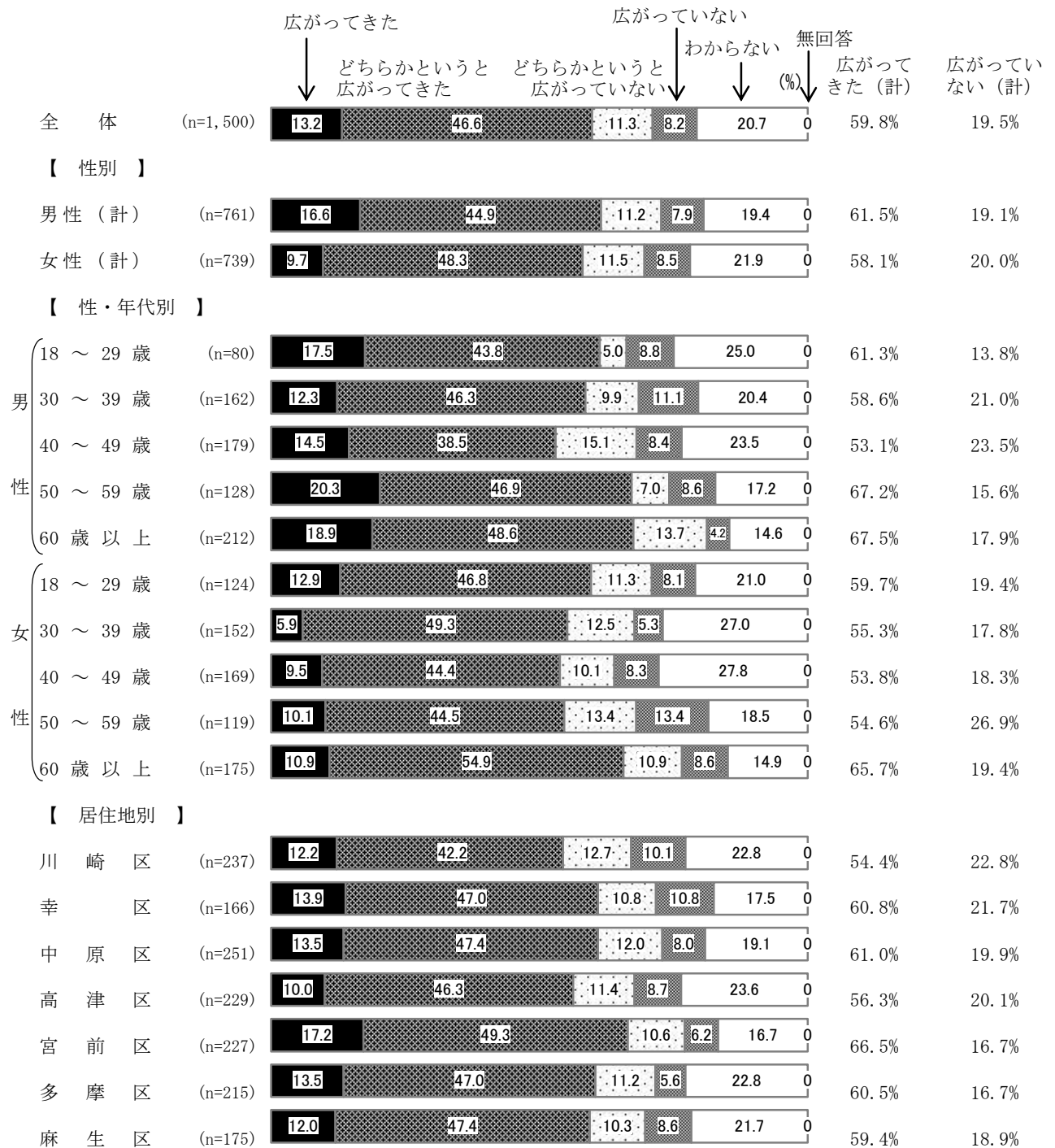
図表 2－5 女性の活躍機会の広がり



女性の活躍機会の広がりには、「広がってきた」(13.2%)、「どちらかというと広がってきた」(46.6%)を合わせた「広がってきた（計）」が59.8%であった。

(第1回アンケート)

図表2-6 女性の活躍機会の広がり(性/年齢別・居住区別)



性別では、「広がってきた(計)」では、男女で大きな差は見られないが、「広がってきた」では、女性(9.7%)は、男性(16.6%)に比べ低く、特に女性の30～39歳(5.9%)で低い。年齢別では、男女とも40～49歳で「広がってきた(計)」が低い。

居住区別では、宮前区で「広がってきた(計)」(66.5%)が高い。

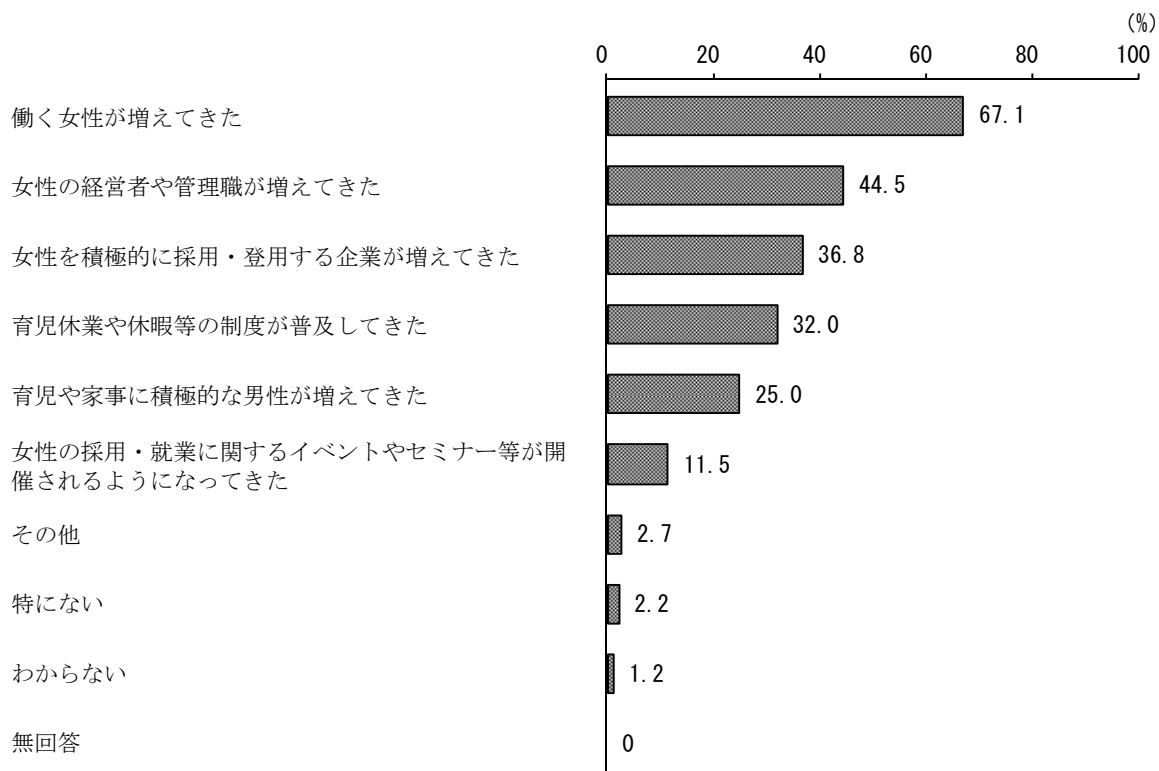
2-4 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由

◎「働く女性が増えてきた」が67.1%

Q13. 働く場において、女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由は何ですか。

図表2-7 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由

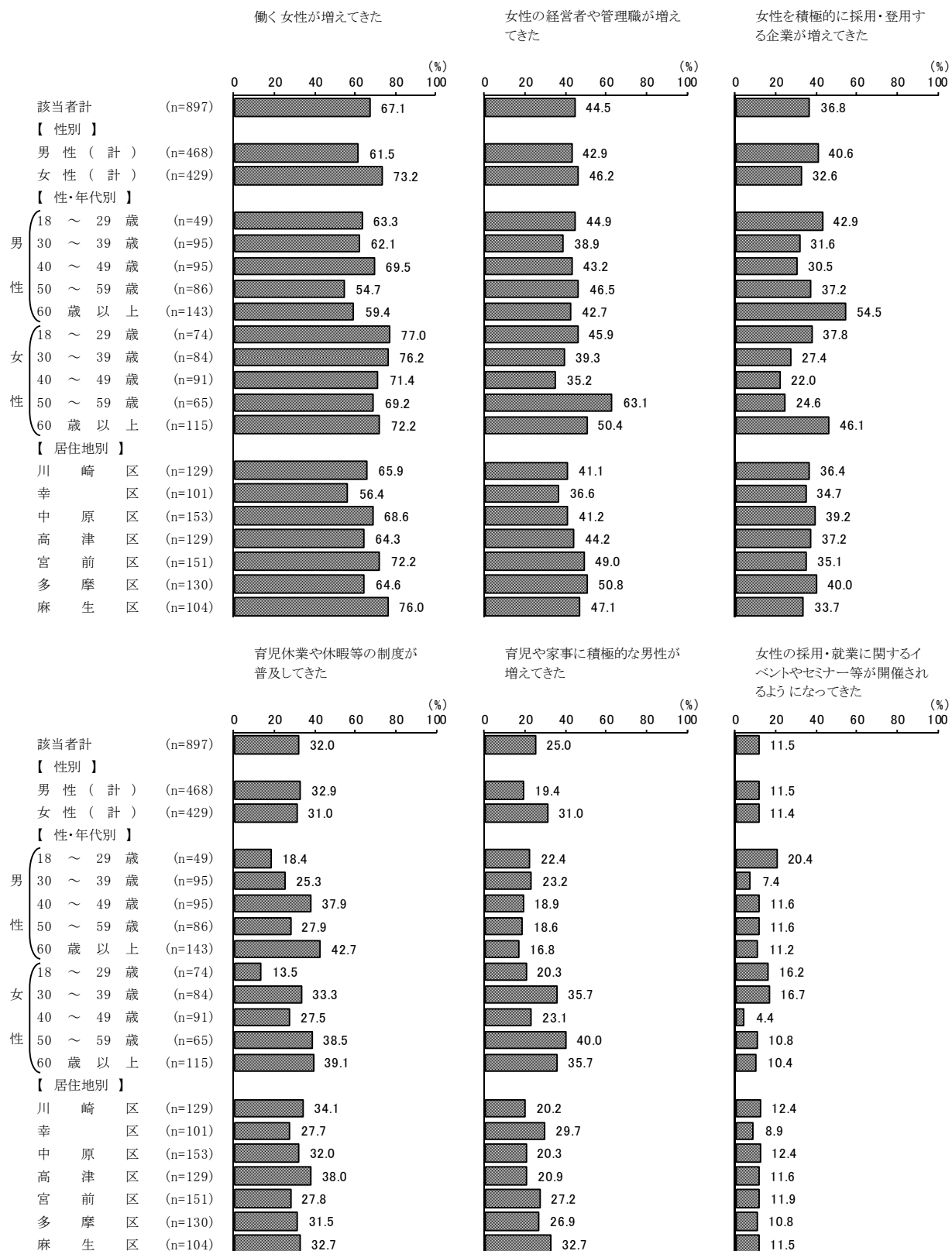
複数回答 該当者計：Q12で「広がってきた」「どちらかという広がってきた」いずれかに回答した方（n=897）



女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由は、「働く女性が増えてきた」（67.1%）が最も高い。次いで、「女性の経営者や管理職が増えてきた」（44.5%）、「女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた」（36.8%）、「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」（32.0%）の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-8 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由(性/年齢別・居住区別 上位6項目)



性/年齢別では、「働く女性が増えてきた」は、女性（73.2%）で高く、「女性の経営者や管理職が増えてきた」は、女性の50～59歳（63.1%）で最も高い。「女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた」は、男女共に60歳以上で高い。「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」は男女共に18～29歳で低い。居住区別では、「働く女性が増えてきた」は麻生区（76.0%）で高い。

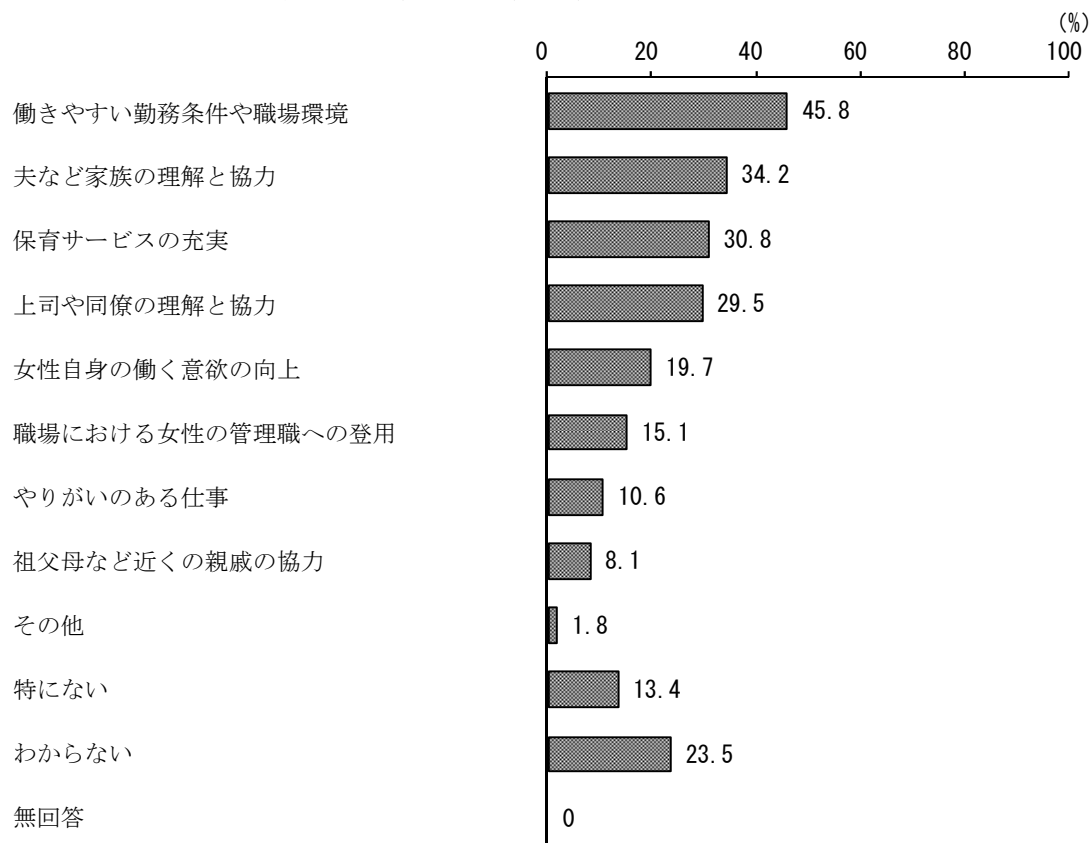
2-5 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと

◎「働きやすい勤務条件や職場環境」が45.8%

Q14. 働く場において、女性が活躍する機会が広がるために必要なことは何だと思いますか。

図表2-9 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと

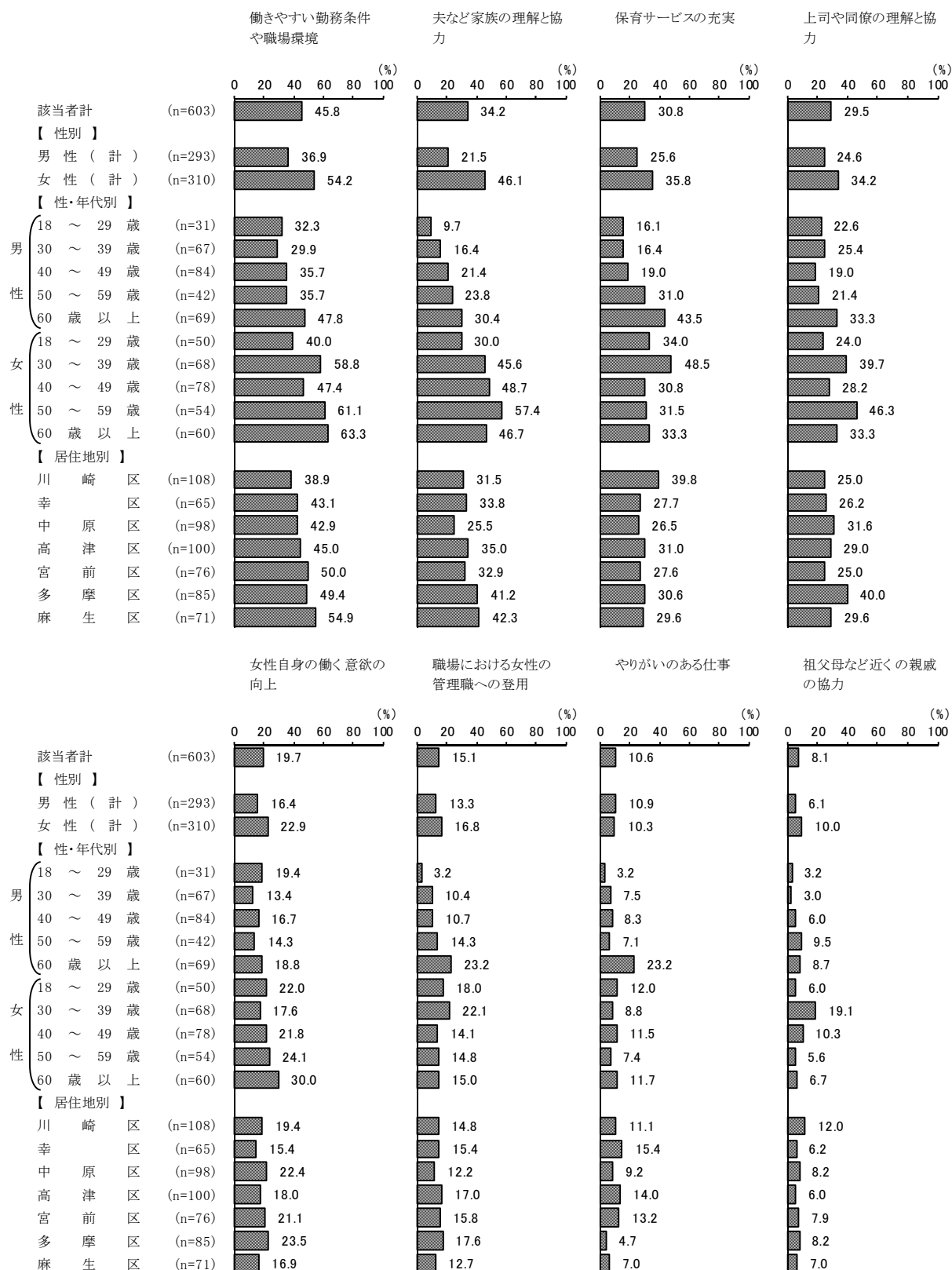
複数回答 該当者計：Q12 で「どちらかというところ広がっていない」「広がっていない」「わからない」のいずれかに回答した方 (n=603)



女性が活躍する機会が広がるために必要なことは、「働きやすい勤務条件や職場環境」(45.8%)が最も高い。次いで、「夫など家族の理解と協力」(34.2%)、「保育サービスの充実」(30.8%)、「上司や同僚の理解と協力」(29.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-10 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、「働きやすい勤務条件や職場環境」は女性の30～39歳、50歳以上で高い。「夫など家族の理解と協力」は女性の50～59歳(57.4%)で最も高い。「保育サービスの充実」は女性の30～39歳(48.5%)で最も高い。

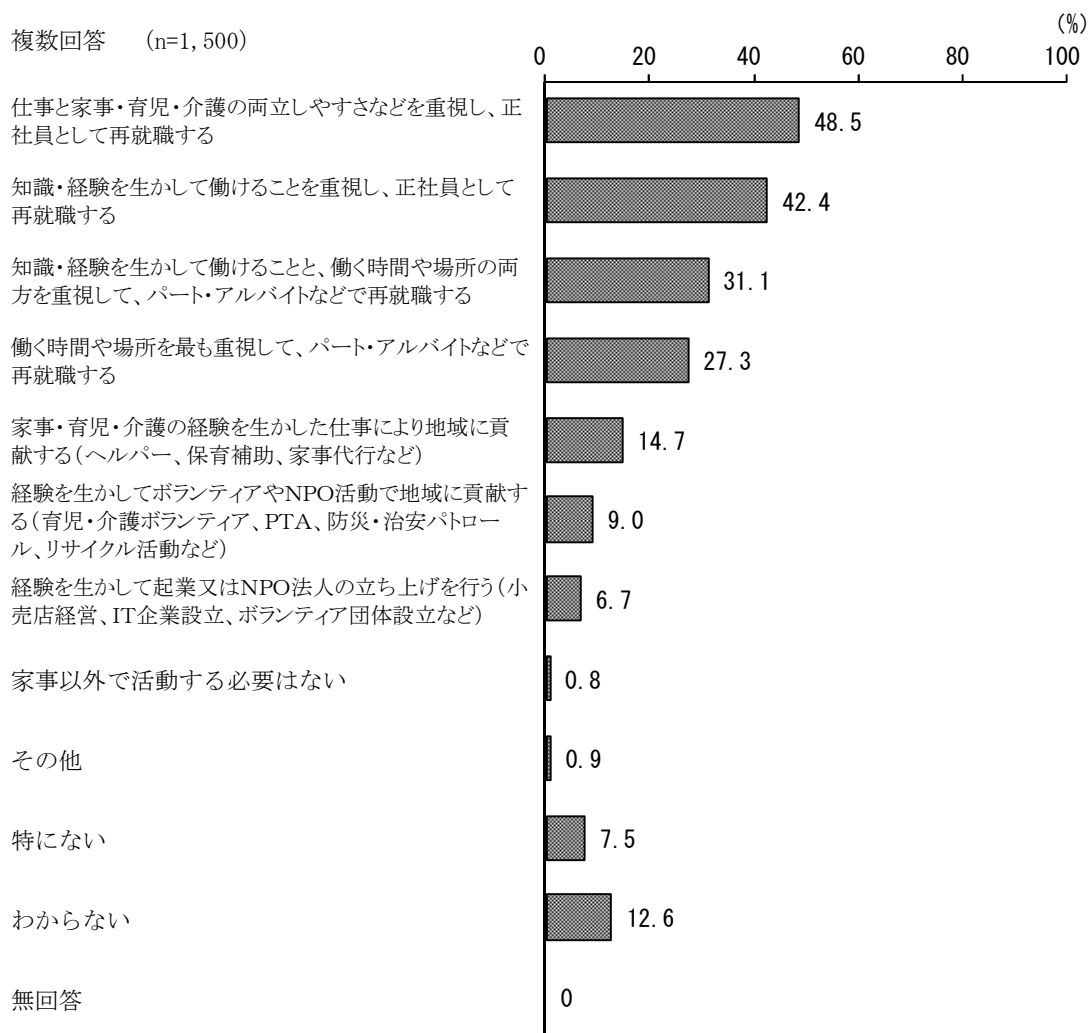
居住区別では、「保育サービスの充実」は川崎区(39.8%)で高く、「上司や同僚の理解と協力」は多摩区(40.0%)で高い。

2-6 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの

◎「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する」が48.5%

Q15. いったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。

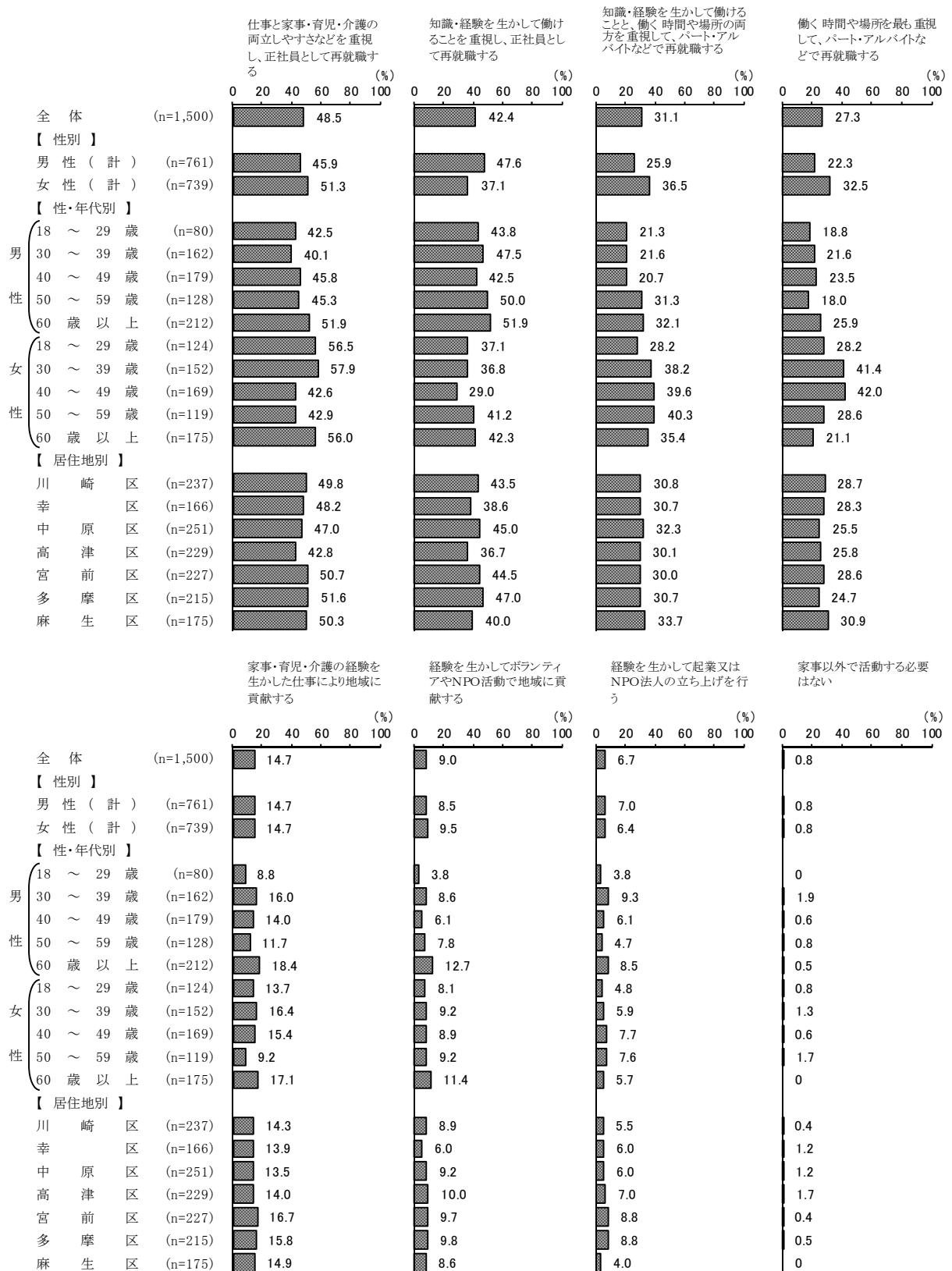
図表2-11 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの



女性の再就職の仕方としてよいと思うものは、「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する」(48.5%)が最も高い。次いで、「知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」(42.4%)、「知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」(31.1%)、「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」(27.3%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-12 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



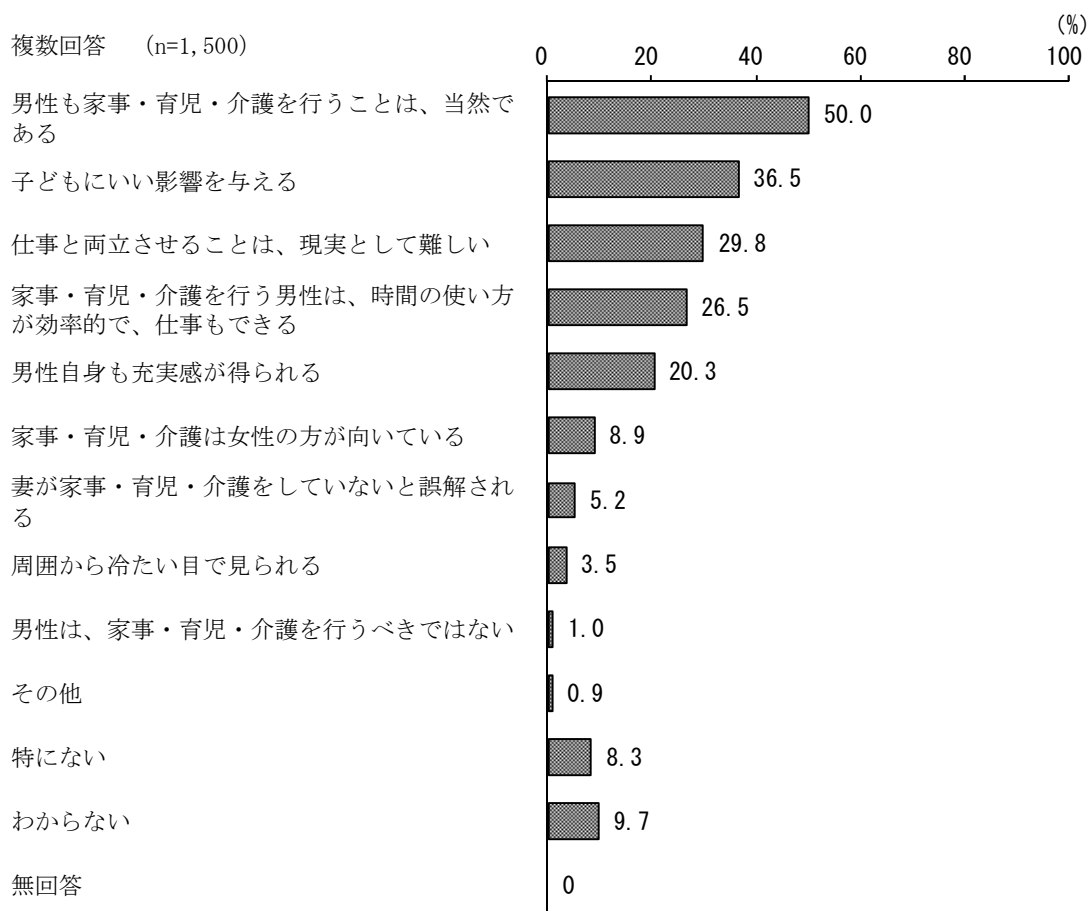
性/年齢別では、「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する」は、女性、特に18～29歳(56.5%)、30～39歳(57.9%)、60歳以上(56.0%)で高い。「知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」は男性、特に男性の50～59歳(50.0%)、60歳以上(51.9%)で高い。居住区別で特に目立った点は見られない。

2-7 男性が家事・育児・介護を行うイメージ

◎「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」が50.0%

Q16. あなたは、男性が家事・育児・介護を行うことについてどのようなイメージをお持ちですか。

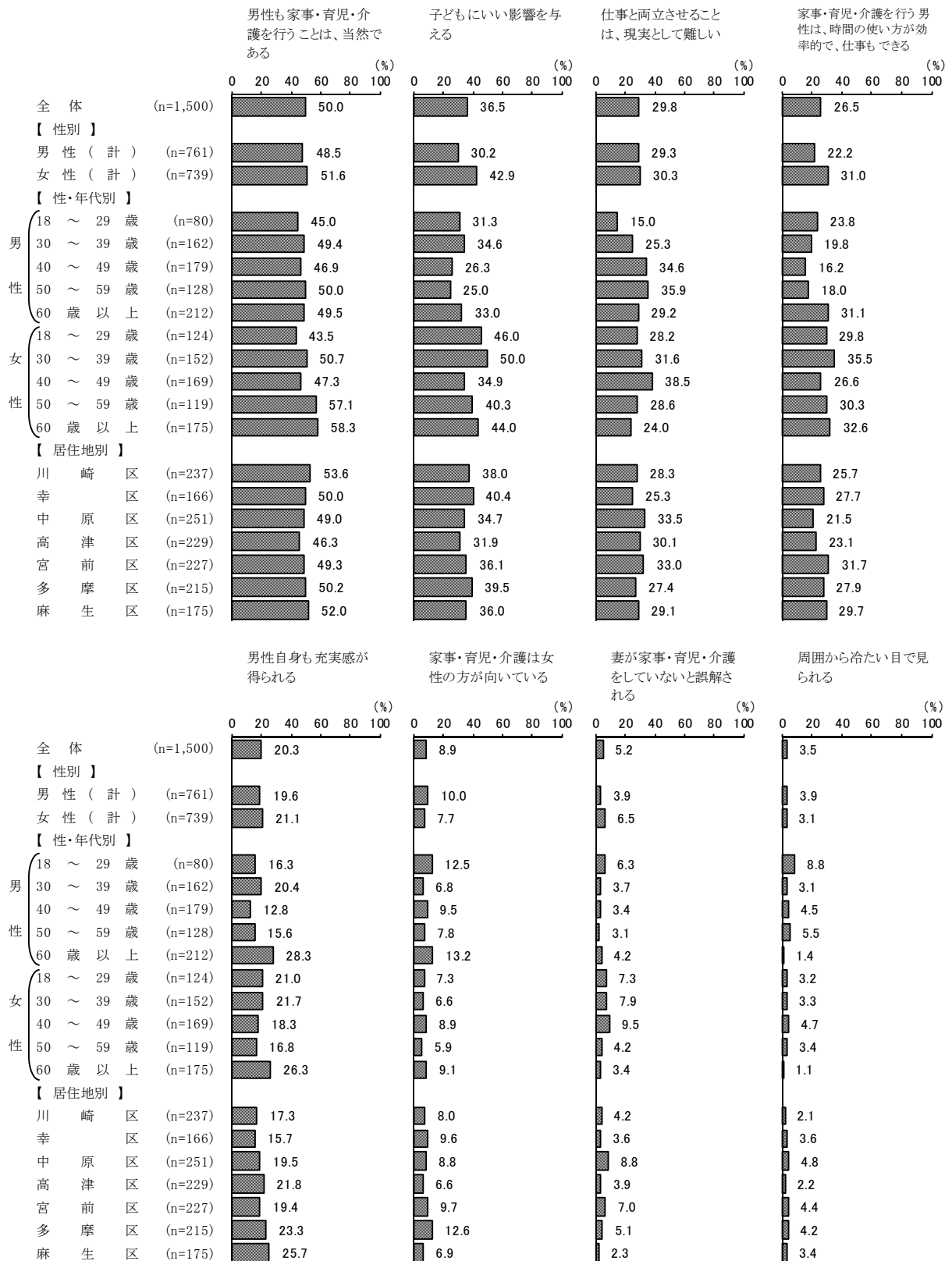
図表2-13 男性が家事・育児・介護を行うイメージ



男性が家事・育児・介護を行うイメージは、「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」(50.0%)が最も高い。次いで、「子どもにいい影響を与える」(36.5%)、「仕事と両立させることは、現実として難しい」(29.8%)、「家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」(26.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-14 男性が家事・育児・介護を行うイメージ（性／年齢別・居住区別 上位8項目）



性／年齢別では、「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」は、女性の60歳以上(58.3%)、男性の50～59歳(50.0%)で最も高い。「子どもにいい影響を与える」「家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」は、女性、特に30～39歳で高い。「仕事と両立させることは、現実として難しい」は女性の40～49歳(38.5%)、男性の50～59歳(35.9%)で最も高い。

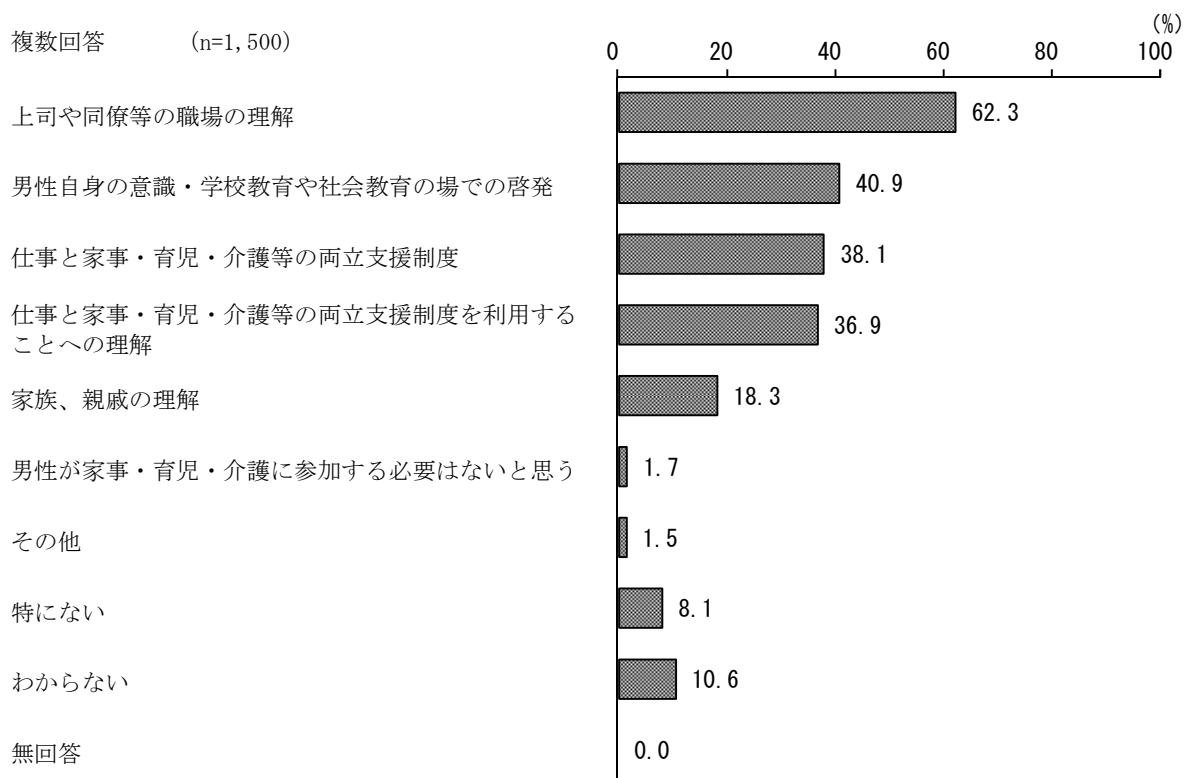
居住区別で特に目立った点は見られない。

2-8 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと

◎「上司や同僚等の職場の理解」が62.3%

Q17. あなたは、男性が家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。

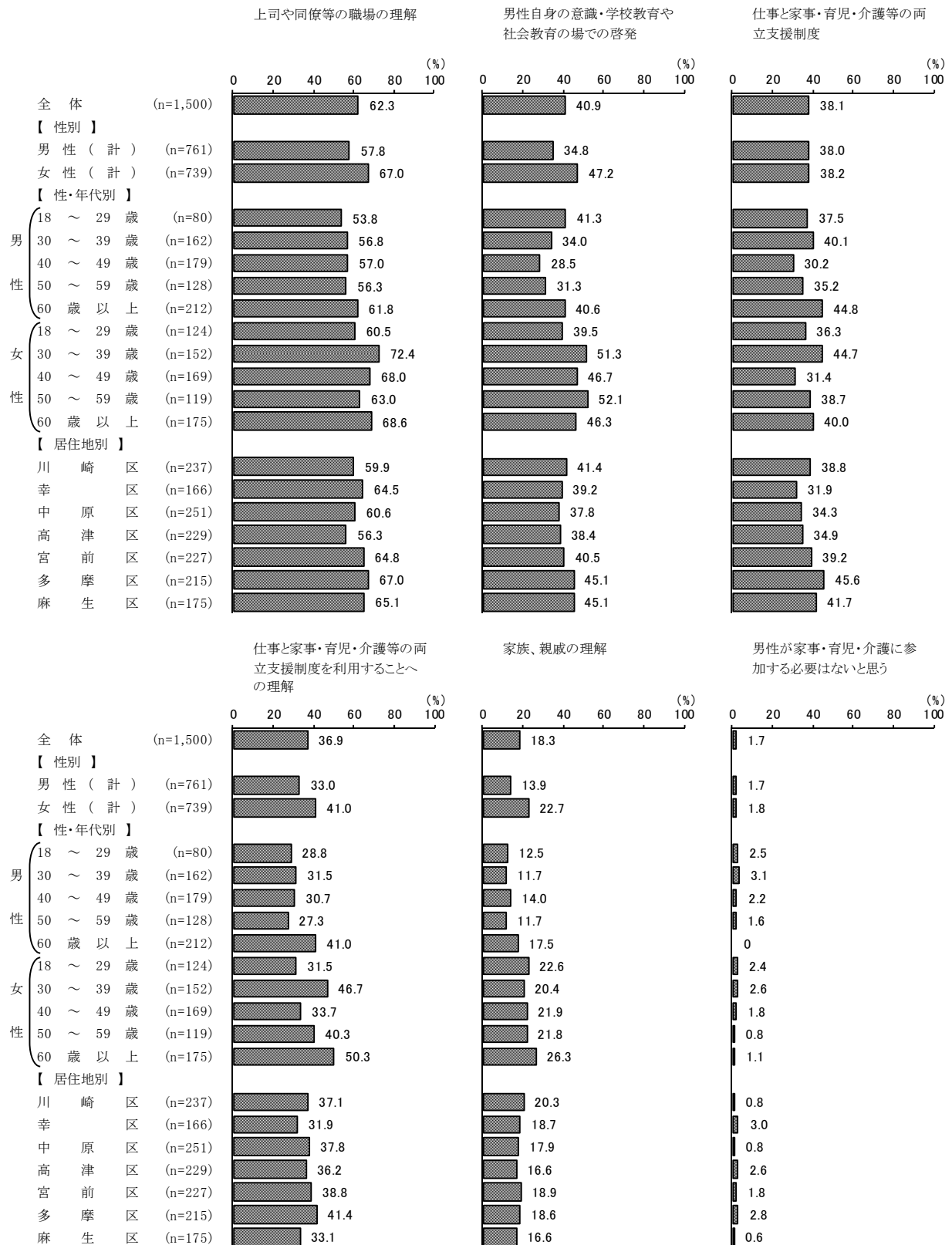
図表2-15 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと



男性が家事・育児・介護に参加するために必要なことは、「上司や同僚等の職場の理解」(62.3%)が最も高い。次いで、「男性自身の意識・学校教育や社会教育の場での啓発」(40.9%)、「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度」(38.1%)、「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度を利用することへの理解」(36.9%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-16 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと
(性／年齢別・居住区別 上位6項目)



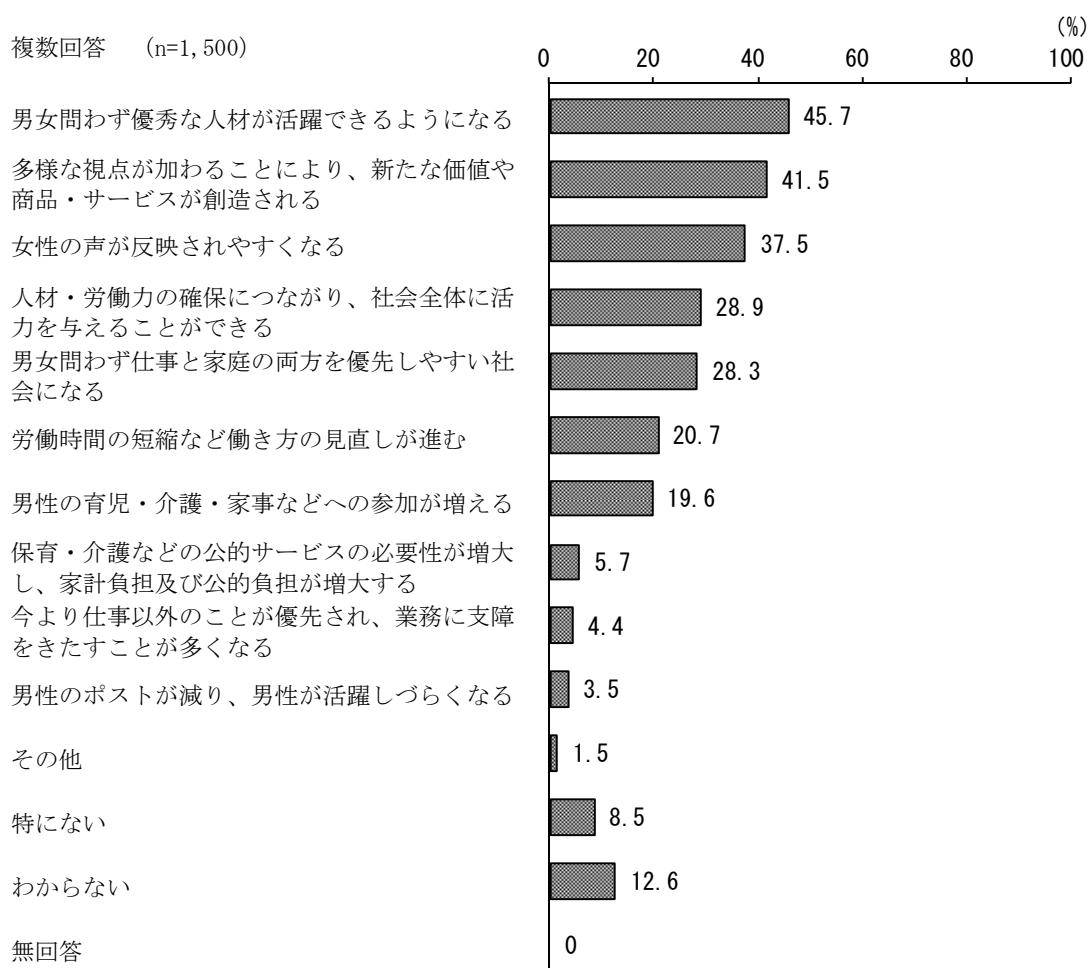
性／年齢別では、「上司や同僚等の職場の理解」は女性の30～39歳（72.4%）で高い。「男性自身の意識・学校教育や社会教育の場での啓発」は、女性、特に30～39歳（51.3%）と50～59歳（52.1%）で高い。「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度」は男性の60歳以上（44.8%）、女性の30～39歳（44.7%）で高い。

2-9 女性のリーダーが増えることの影響

◎「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が45.7%

Q18. あなたは、政治・経済・地域における女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。

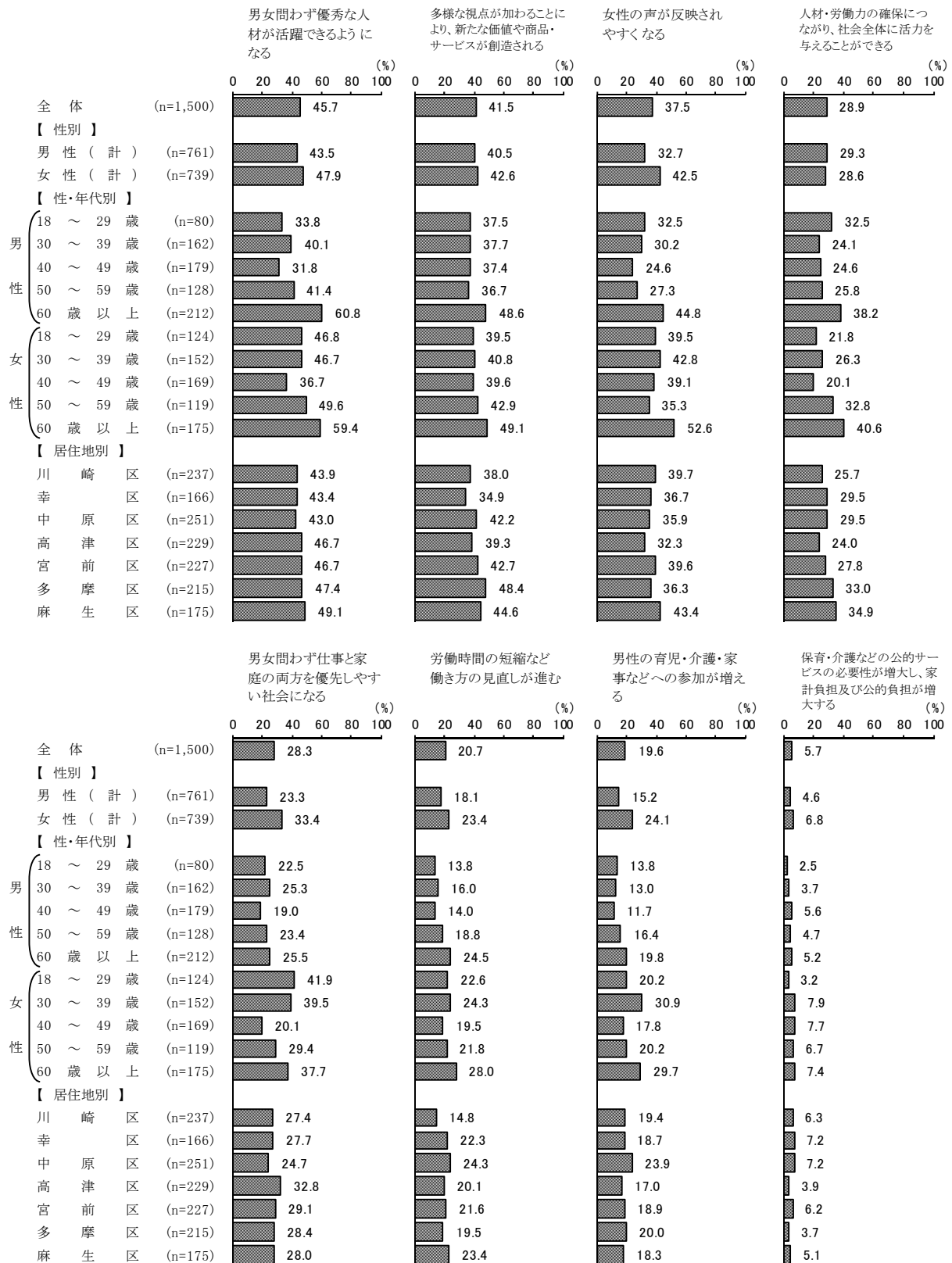
図表2-17 女性のリーダーが増えることの影響



女性のリーダーが増えることの影響は、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(45.7%)が最も高い。次いで、「多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される」(41.5%)、「女性の声が反映されやすくなる」(37.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-18 女性のリーダーが増えることの影響(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、上位4項目の「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」「多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される」「女性の声が反映されやすくなる」「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」で男女とも60歳以上の回答割合が高い。また、「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」では、女性の特に18~29歳(41.9%)、30~39歳(39.5%)、60歳以上(37.7%)で高い。居住区別で大きな違いは見られない。

② 第2回アンケート調査の結果

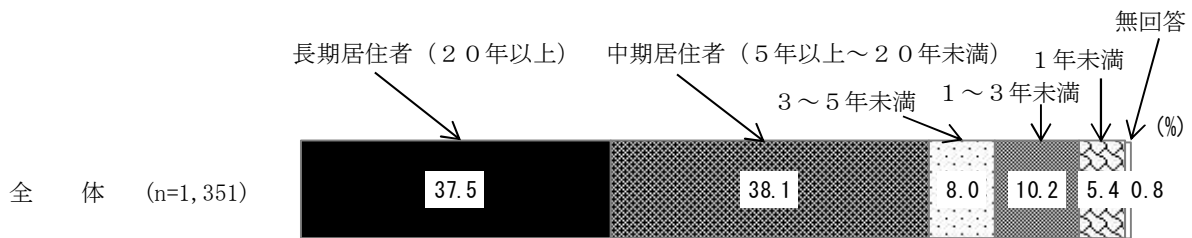
1 定住状況について

1-1 居住年数

◎＜長期居住者＞が37.5%、＜中期居住者＞が38.1%

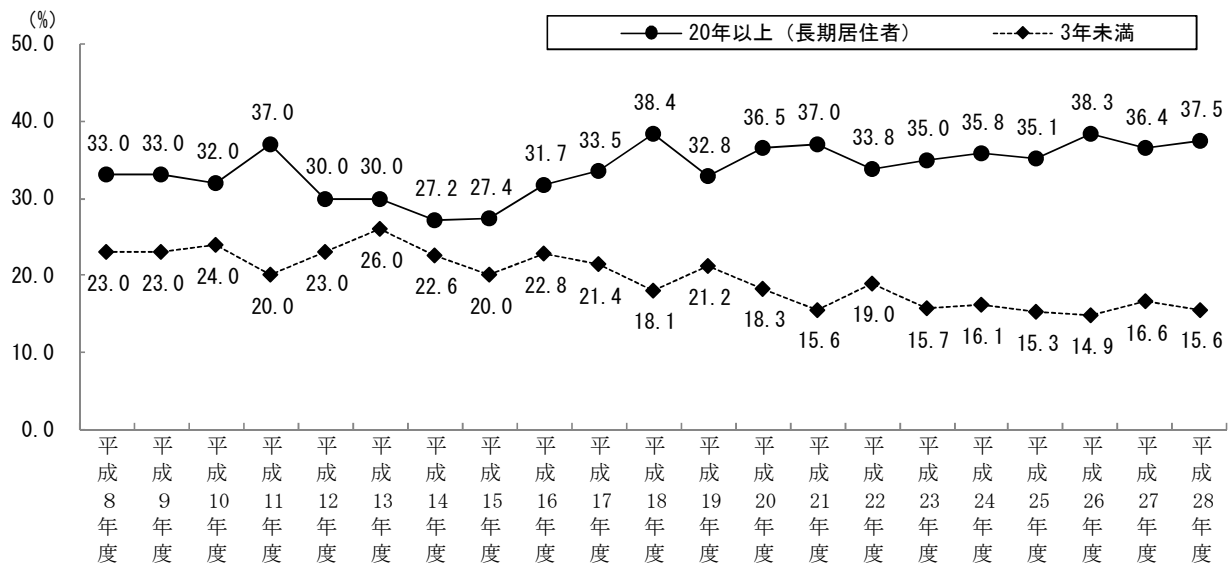
問1 あなたは、今のところにお住いになって、何年になりますか。(〇は1つ)

図表1-1 居住年数



居住年数「20年以上」の＜長期居住者＞は37.5%、「5～20年未満」の＜中期居住者＞は38.1%となっており、5年以上の居住者が7割強を占めている。

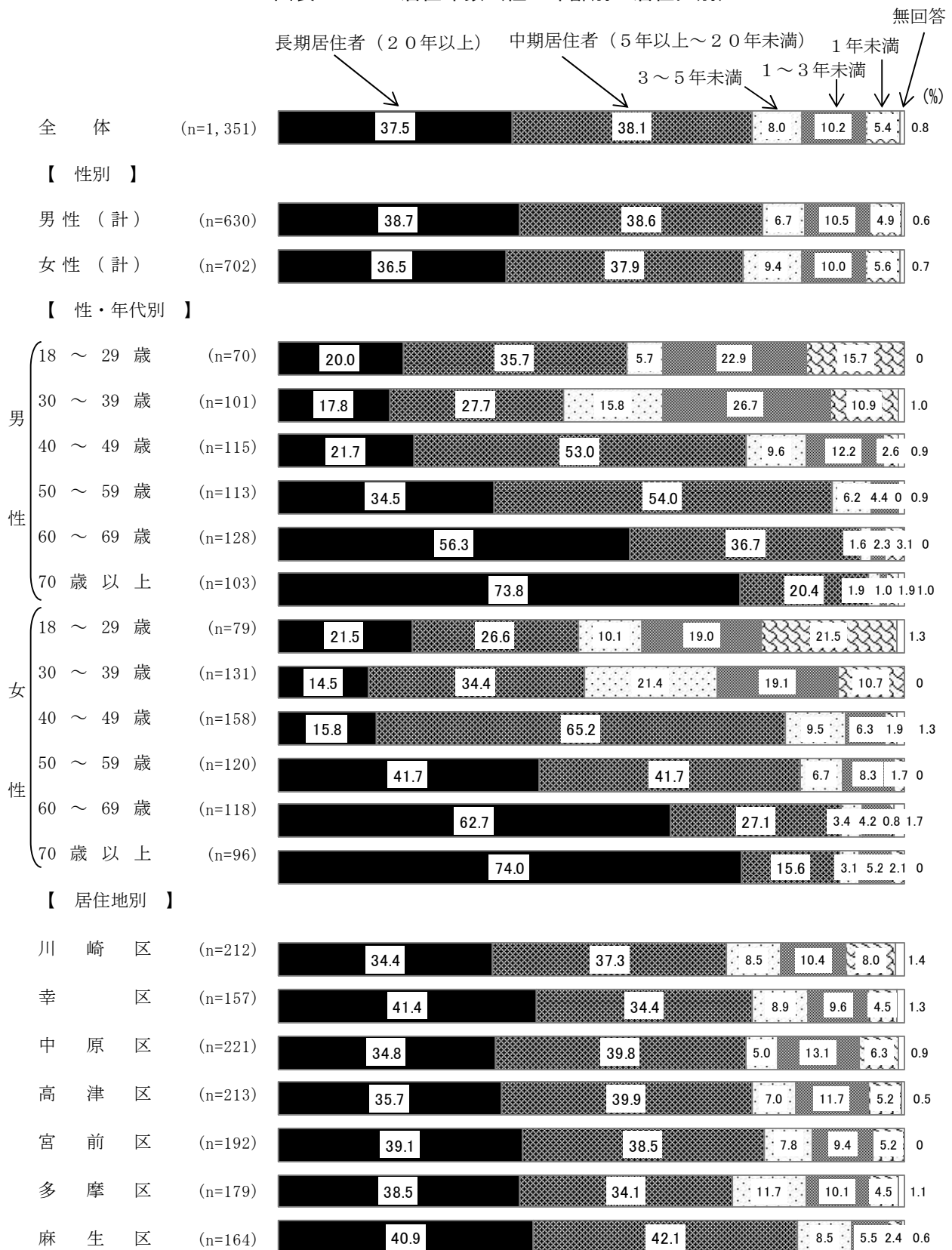
図表1-2 居住年数(経年比較)



過去の推移では、10年前(平成18年度)と比較すると、＜長期居住者は＞38.4%から37.5%に減少している。「3年未満」は、18.1%から15.6%に減少している。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は、10年前の20.3ポイントに対し、今年度は21.9ポイントと増加している。

また、平成14年以降から続く、長期居住者の占める割合が増加している傾向に変わりはない。

図表 1-3 居住年数 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、5年未満の短期居住者は、男女共に18～29歳、30～39歳で多い。

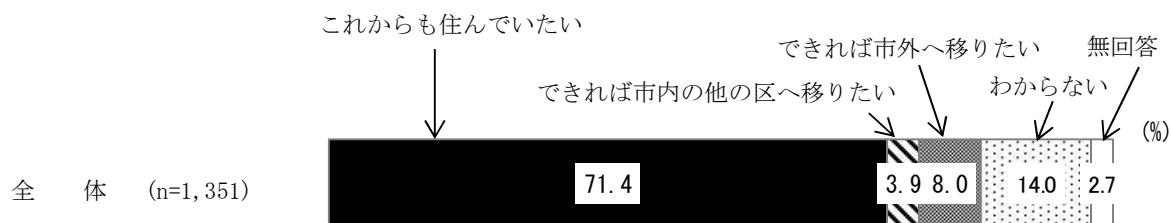
居住区別では、＜長期居住者＞は、「幸区」(41.4%)が最も高く、次いで「麻生区」(40.9%)、「宮前区」(39.1%)の順となっている。「3年未満」は、中原区(19.4%)が最も高く、次いで川崎区(18.4%)、高津区(16.9%)の順となっている。

1-2 定住意向

◎「これからも住んでいたい」が71.4%

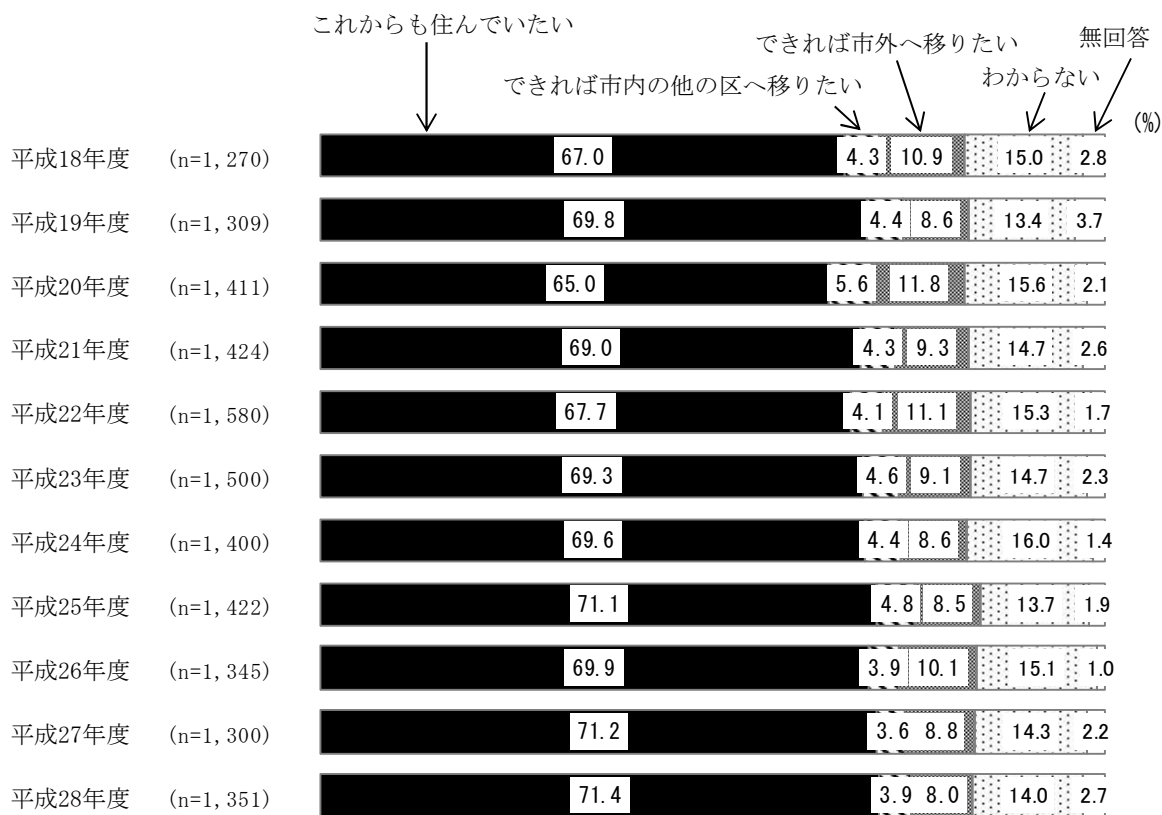
問2 あなたは、これからも今のところにお住いになりたいですか。(○は1つ)

図表1-4 定住意向



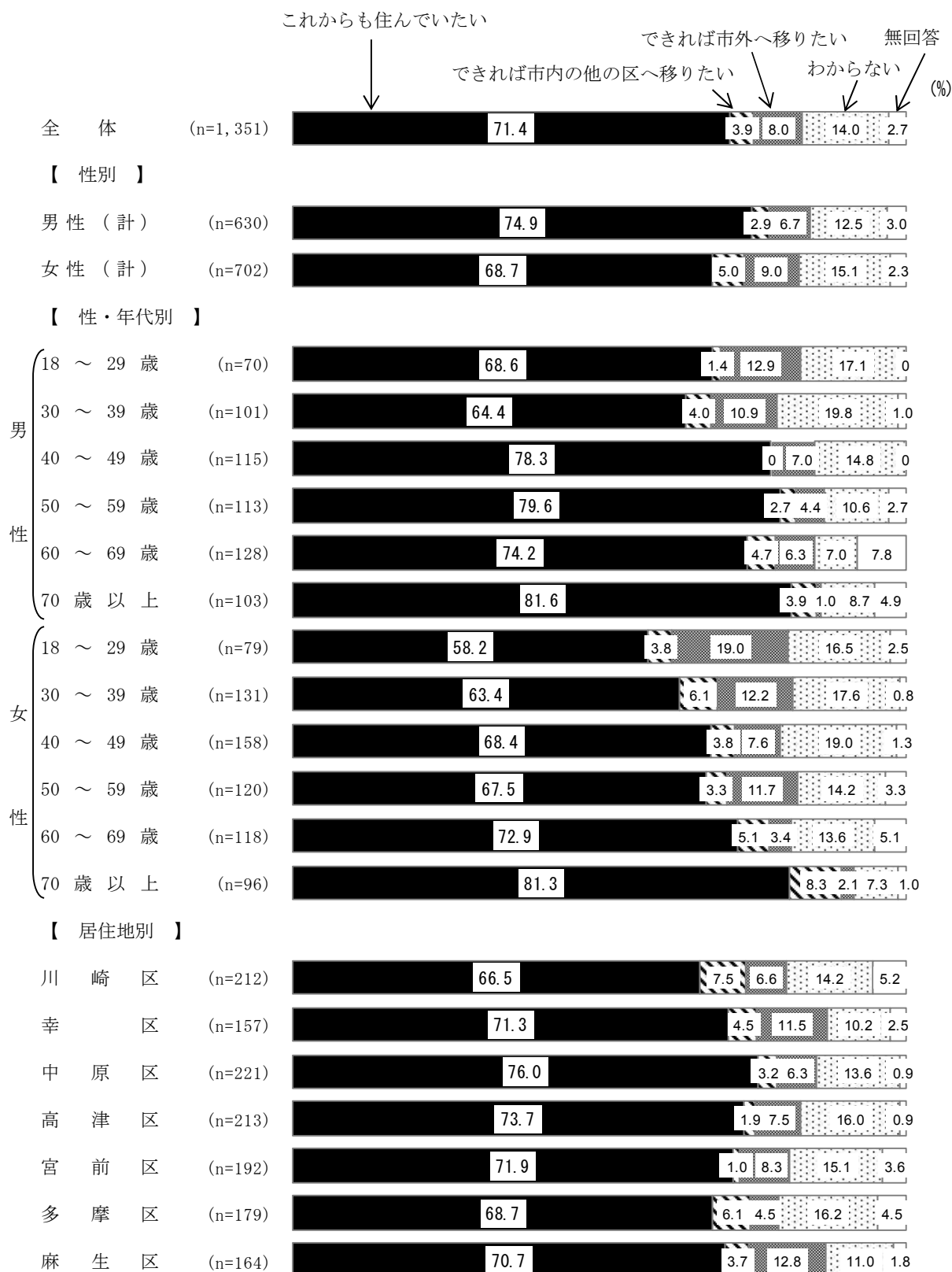
定住意向は、「これからも住んでいたい」(71.4%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」は3.9%、「できれば市外へ移りたい」は8.0%となっている。

図表1-5 定住意向(経年比較)



過去の推移では、10年前(平成18年度)と比較すると、「これからも住んでいたい」は、67.0%から71.4%へ4.4ポイント増加している。

図表1－6 定住意向（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「これから住んでいたい」は、男女ともにおおむね高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上（男性：81.6%、女性：81.3%）が高くなっている。

居住区別では、「これから住んでいたい」は、中原区（76.0%）で最も高く、次いで高津区（73.7%）、宮前区（71.9%）の順となっている。

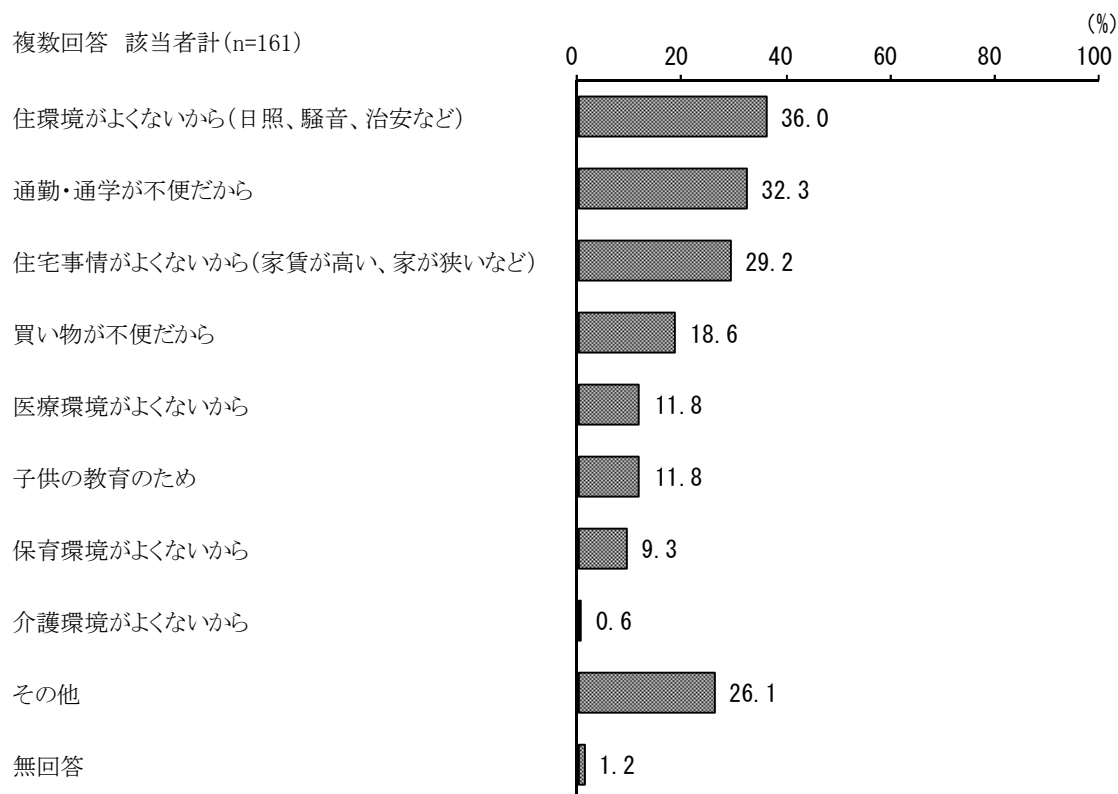
1-3 転居意向の理由

◎「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」が36.0%

問3 問2で、『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方への質問。あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

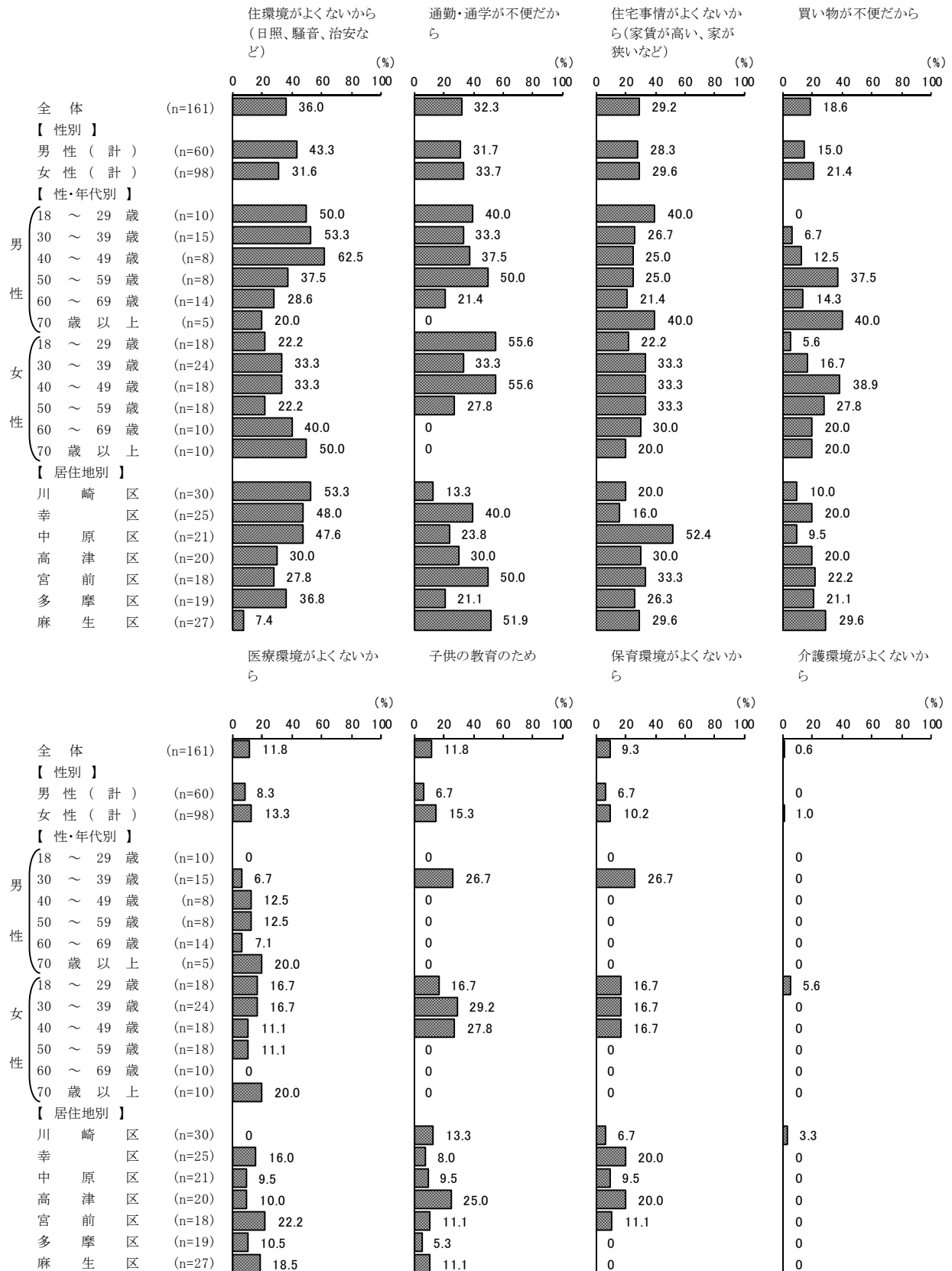
図表 1-7 転居意向の理由



転居意向の理由は、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」（36.0%）が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」（32.3%）、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」（29.2%）の順となっている。

(第2回アンケート)

図表1-8 転居意向の理由(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



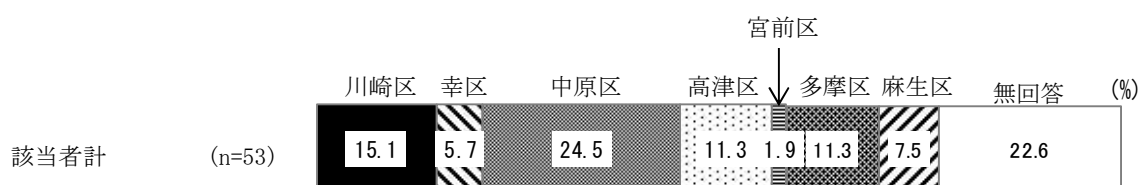
基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

1-4 転居先の希望

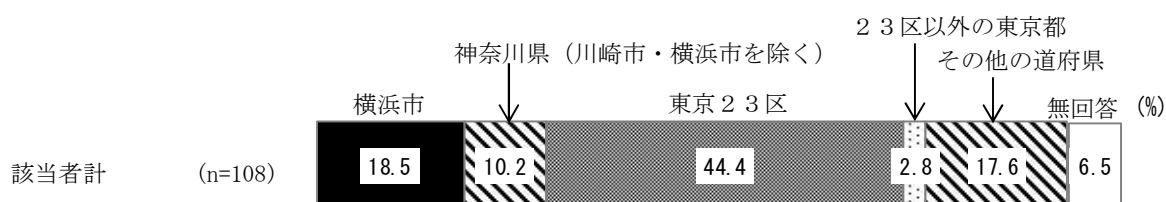
◎市内では「中原区」が24.5%、市外では「東京23区」が44.4%

問4 問2で『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。あなたは、どこに住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図表1-9 転居先の希望(市内)



図表1-10 転居先の希望(市外)

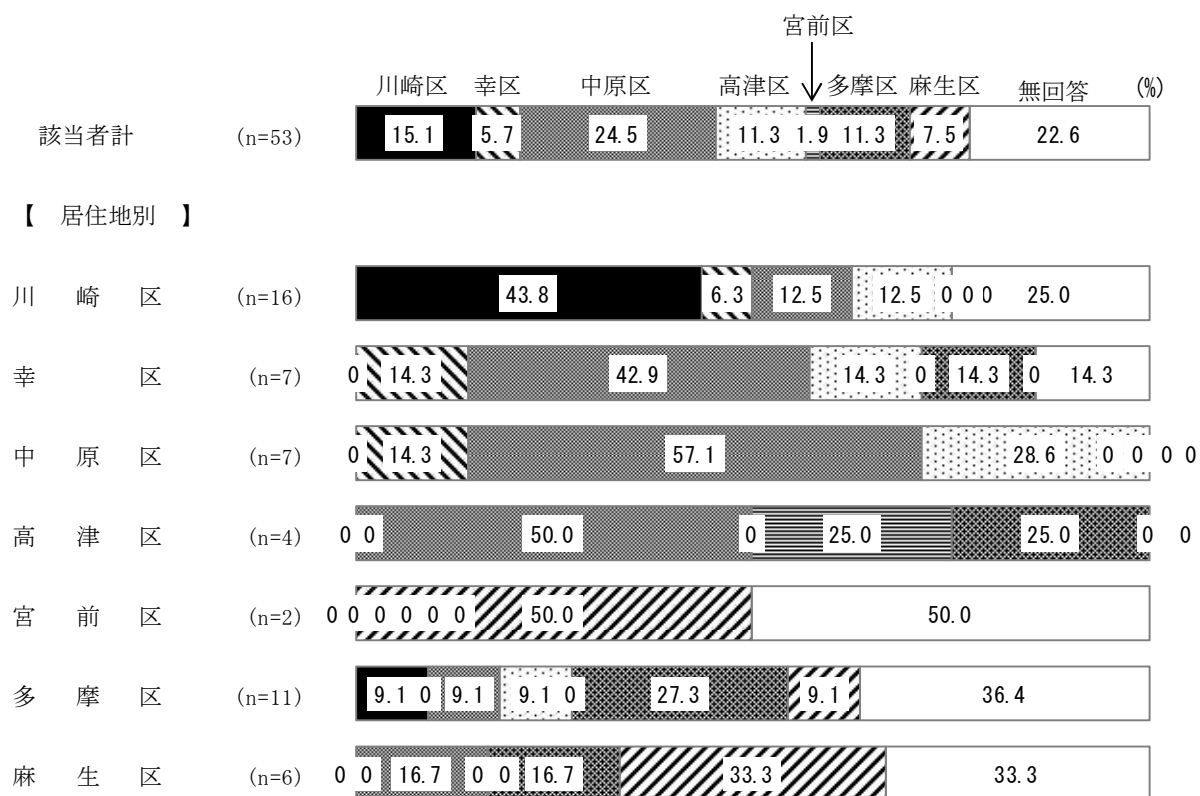


転居先の希望(市内)では、「中原区」(24.5%)が最も高く、次いで「川崎区」(15.1%)、「高津区」及び「多摩区」(11.3%)の順となっている。

転居先の希望(市外)では、「東京23区」(44.4%)が最も高く、次いで「横浜市」(18.5%)、「その他の道府県」(17.6%)の順となっている。

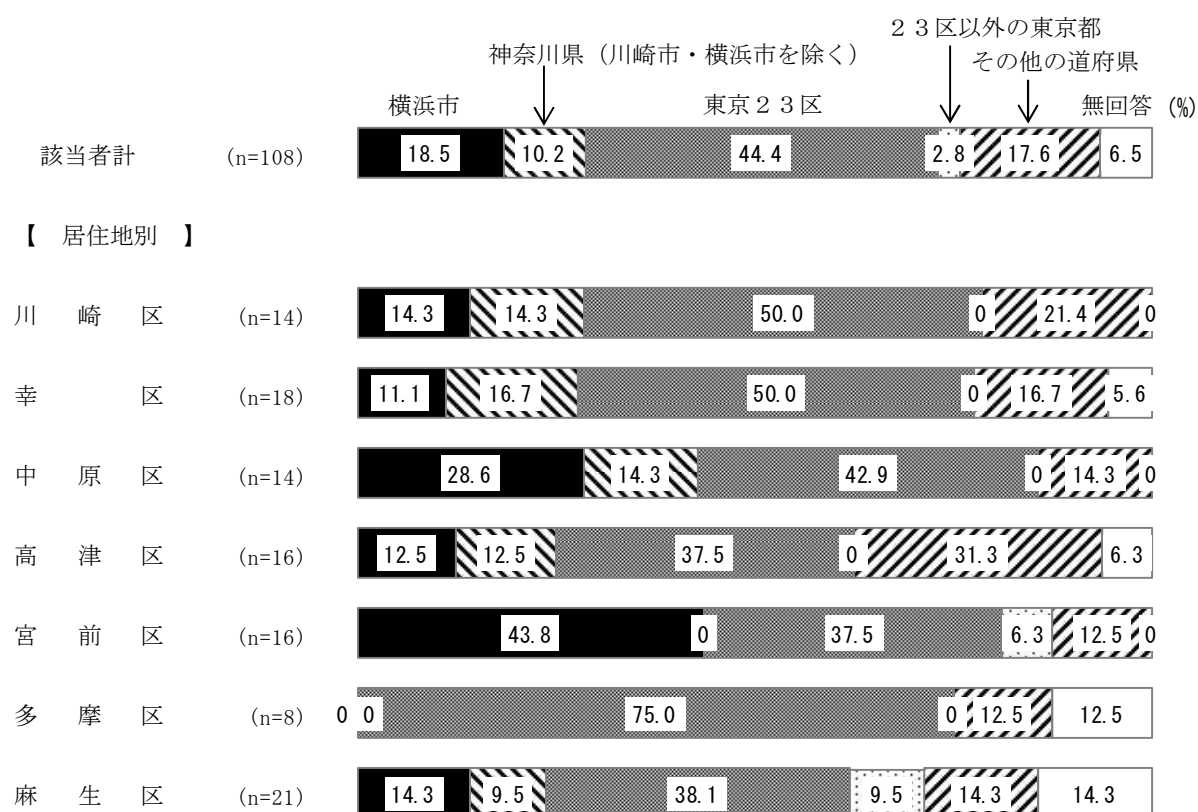
(第2回アンケート)

図表 1-11 転居先の希望 (市内、居住区別)



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表 1-12 転居先の希望 (市外、居住区別)



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

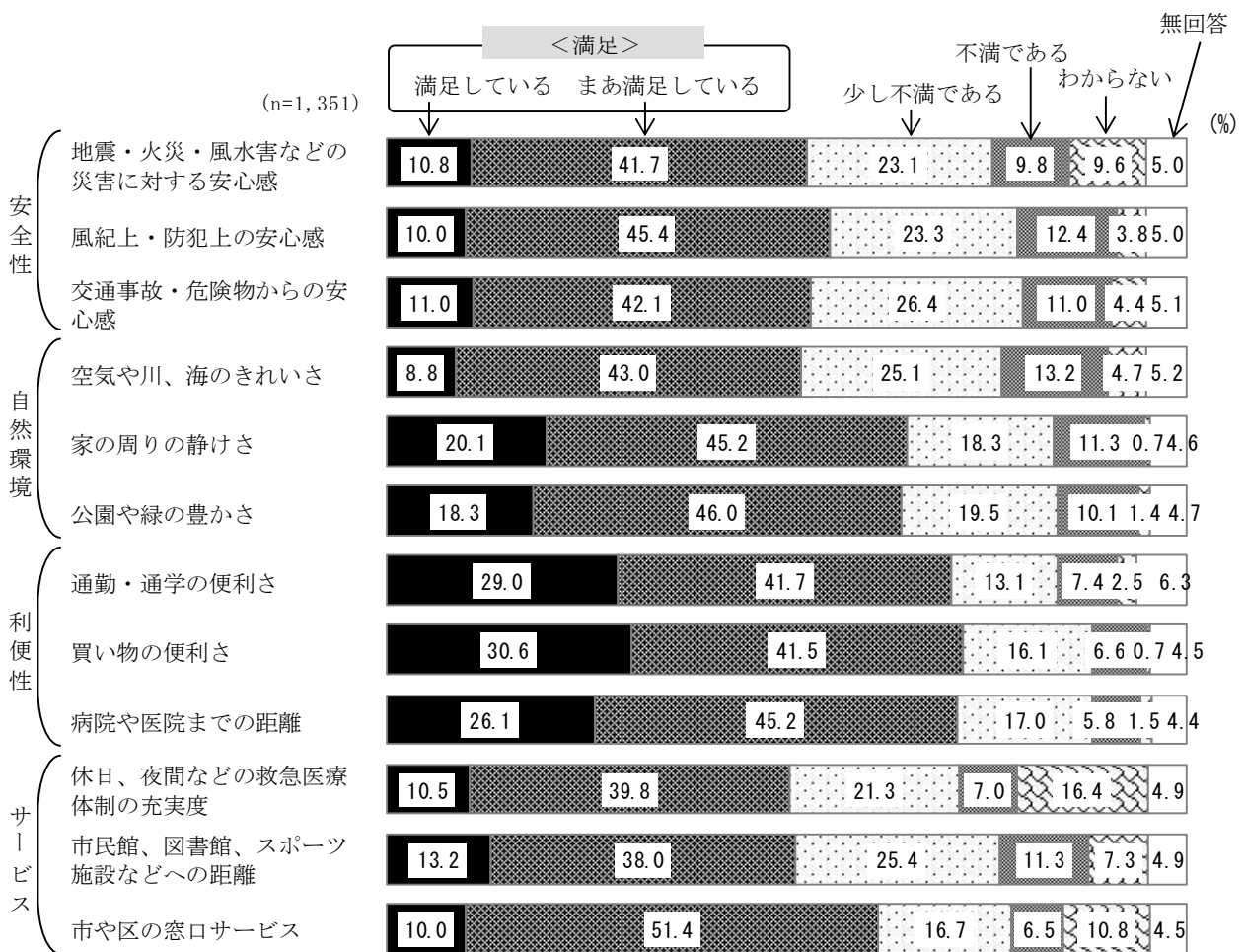
2 生活環境の評価について

2-1 生活環境の満足度

◎＜満足＞が多いのは「買い物の便利さ」、「病院や医院までの距離」、「通勤・通学の便利さ」の利便性

問5 お住いの周りの生活環境についてうかがいます。あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表2-1 生活環境の満足度

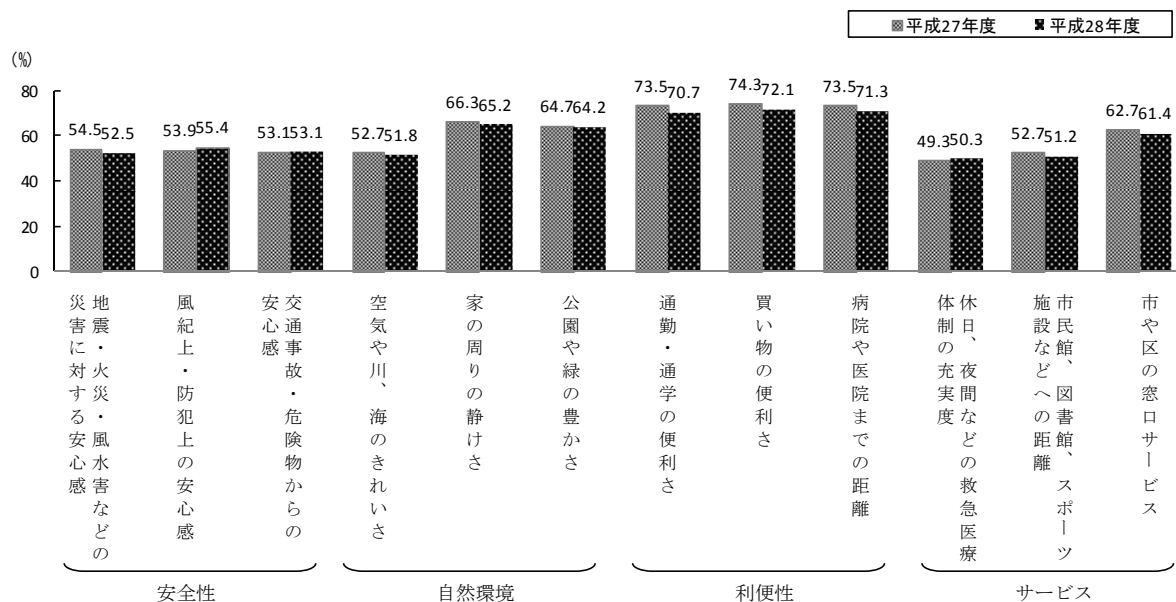


生活環境の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた＜満足＞は、『利便性』の項目が高く、「買い物の便利さ」(72.1%)、「病院や医院までの距離」(71.3%)、「通勤・通学の便利さ」(70.7%)で7割を超えている。一方、＜満足＞が最も低いのは、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」(50.3%)となっている。

図表2-2 生活環境の満足度（＜満足＞、経年比較）

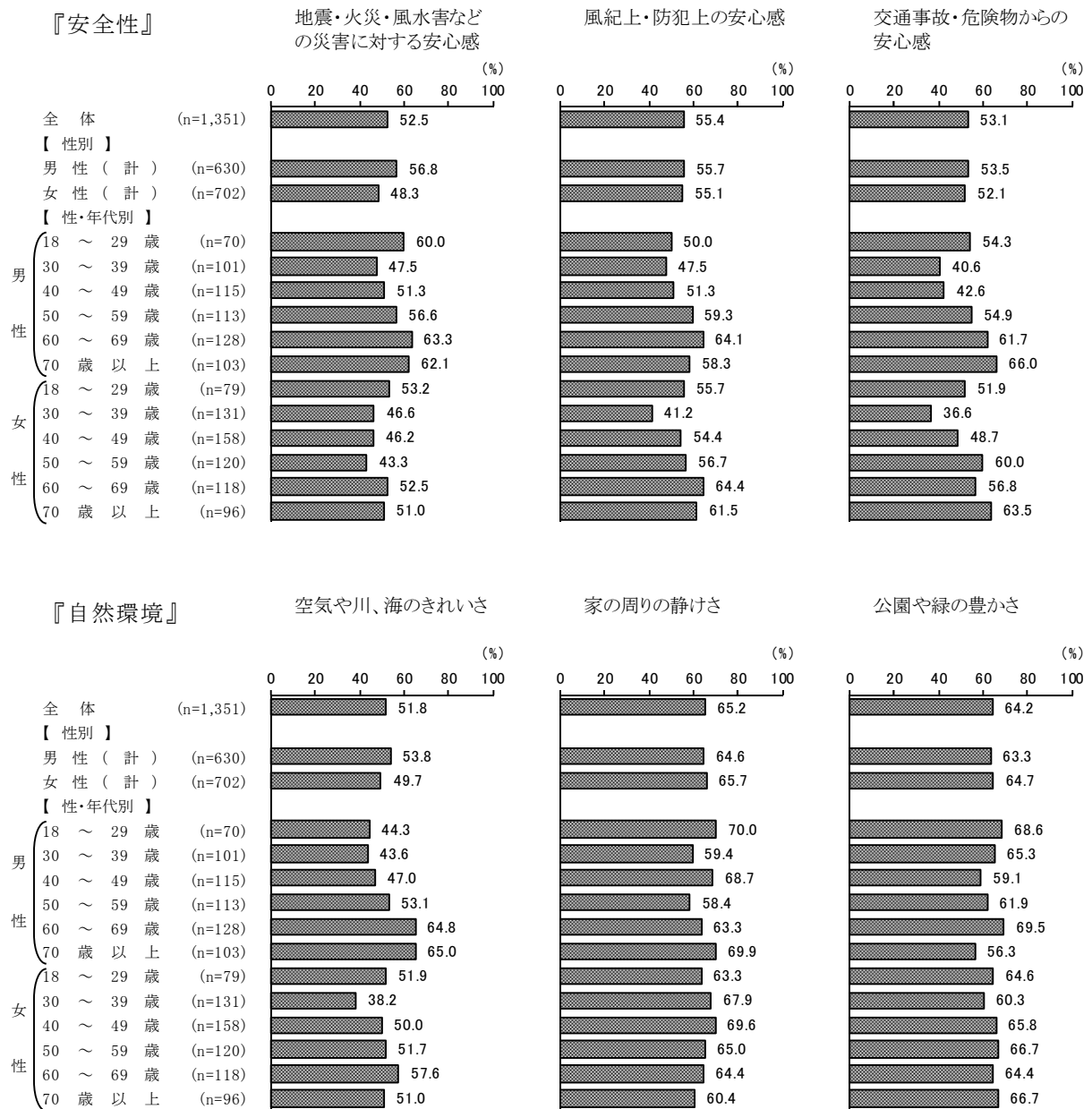
「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通安全・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
平成27年度 (n=1,300)		54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7
平成28年度 (n=1,351)		52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



平成27年度調査と比較すると、目立った変化は見られない。

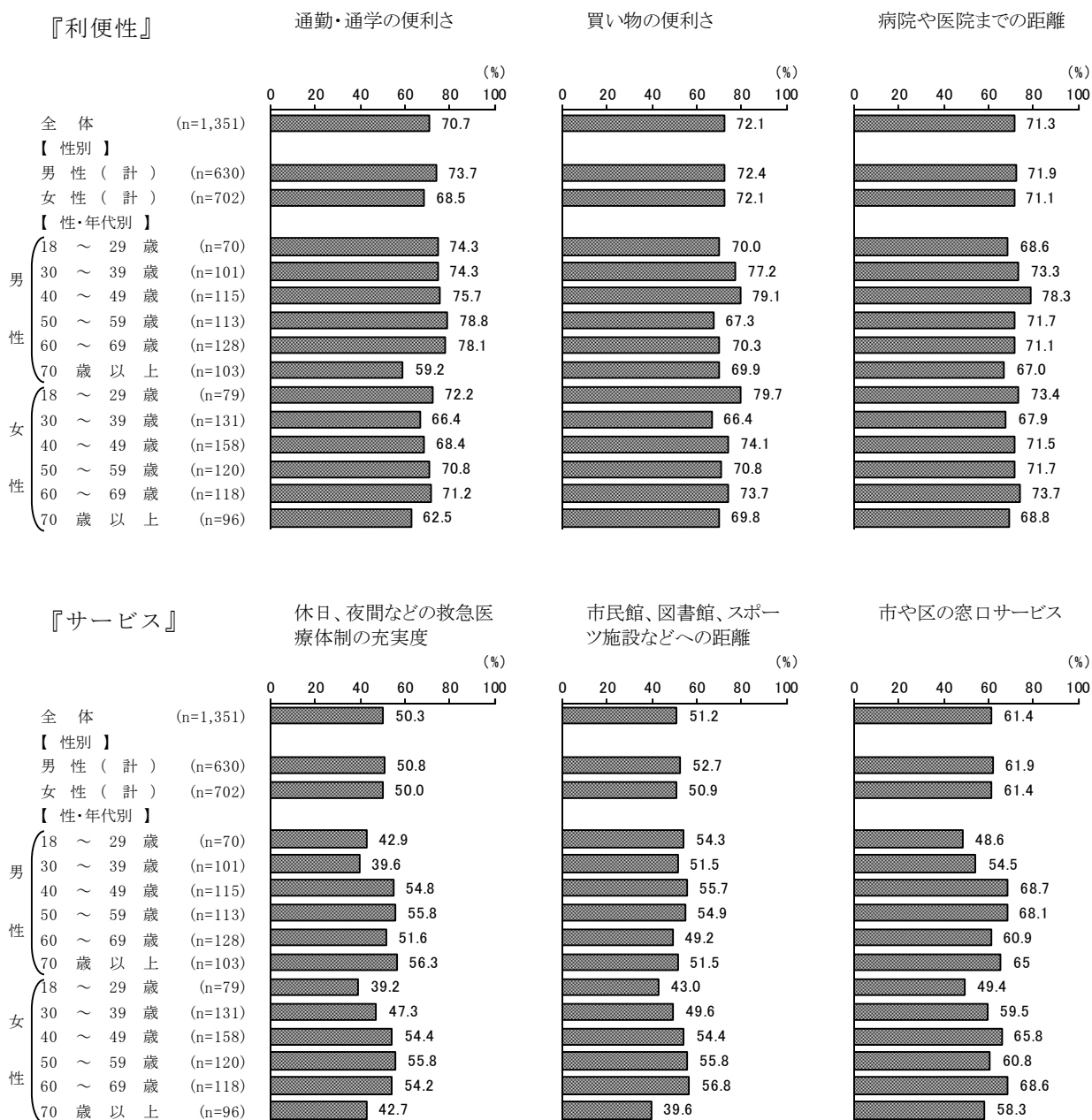
図表 2-3 生活環境の満足度（＜満足＞、性／年齢別）



性／年齢別で『安全性』をみると、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」は、男性、特に 60～69 歳（63.3%）、70 歳以上（62.1%）で高い。「風紀上・防犯上の安心感」は、男女共に 60～69 歳で、「交通事故・危険物からの安心感」は男女共に 70 歳以上で最も高い。

『自然環境』では、「空気や川、海のきれいさ」は、男性、特に 60～69 歳と 70 歳以上で高い。

図表 2-4 生活環境の満足度（＜満足＞、性／年齢別）



性／年齢別で『利便性』をみると、「通勤・通学の便利さ」は、男性、特に 50～59 歳（78.8%）と 60～69 歳（78.1%）で高い。

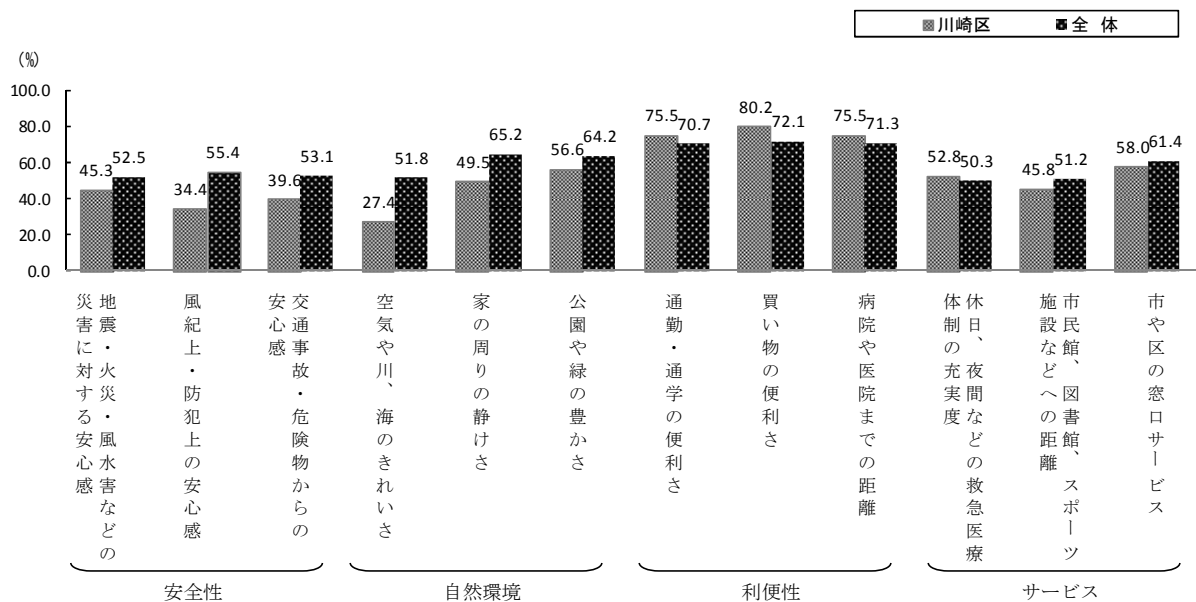
『サービス』では、「休日、夜間等の救急医療体制の充実度」は、男性の 30～39 歳（39.6%）、女性の 18～29 歳（39.2%）で特に低い。「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は、女性の 70 歳以上で特に低い。「市や区の窓口サービス」は、男女ともに 18～29 歳で特に低い。

(第2回アンケート)

図表2-5 生活環境の満足度（＜満足＞、川崎市）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
川崎市	(n=212)	45.3	34.4	39.6	27.4	49.5	56.6	75.5	80.2	75.5	52.8	45.8	58.0
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



川崎市と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」は7.2ポイント、「風紀上・防犯上の安心感」は21.0ポイント、「交通事故・危険物からの安心感」は13.5ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は24.4ポイント、「家の周りの静けさ」は15.7ポイント、「公園や緑の豊かさ」は7.6ポイント下回っている。

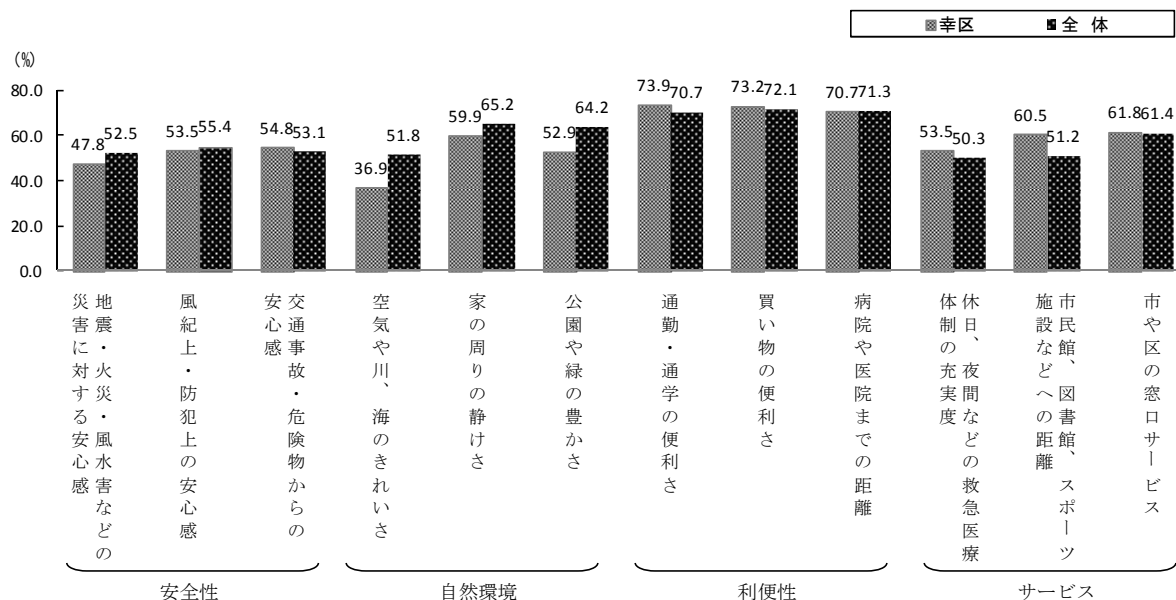
一方、『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「買い物の便利さ」は8.1ポイント上回っている。

また、『サービス』では、特に目立った点は見られない。

図表2-6 生活環境の満足度（＜満足＞、幸区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害に対する安心感など	風紀上・防犯上の安心感	交通安全感・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
幸区	(n=157)	47.8	53.5	54.8	36.9	59.9	52.9	73.9	73.2	70.7	53.5	60.5	61.8
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



幸区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『利便性』で特に目立った点は見られない。

『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「空気や川、海のきれいさ」は14.9ポイント、「公園や緑の豊かさ」は11.3ポイント下回っている。

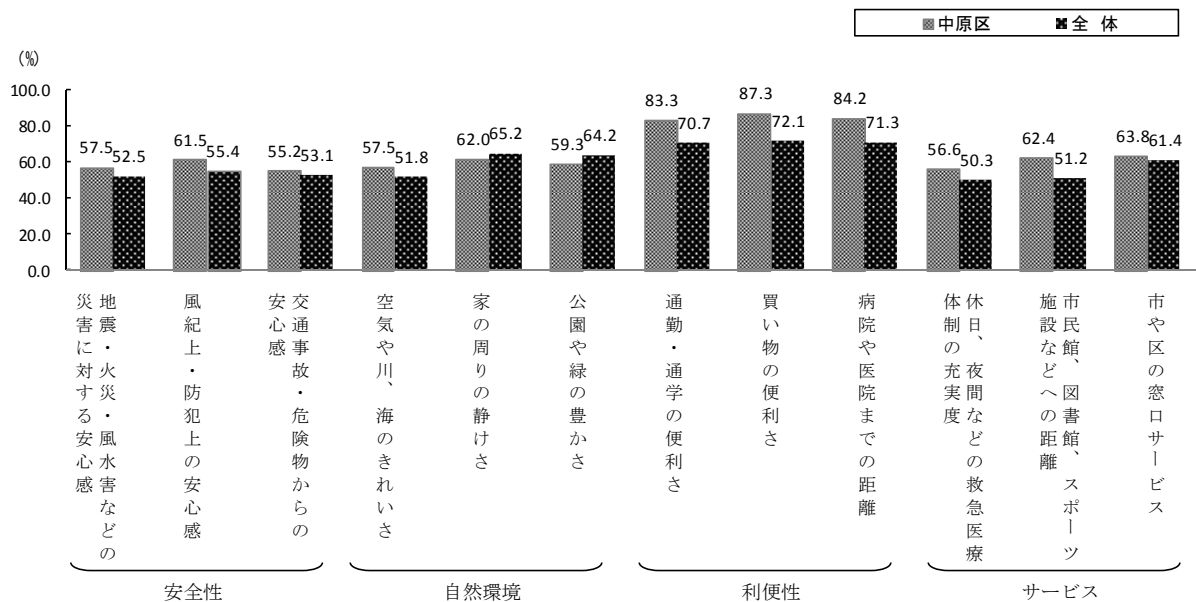
『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は9.3ポイント上回っている。

(第2回アンケート)

図表2-7 生活環境の満足度（＜満足＞、中原区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害などに対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通安全・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
中原区	(n=221)	57.5	61.5	55.2	57.5	62.0	59.3	83.3	87.3	84.2	56.6	62.4	63.8
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



中原区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、「風紀上・防犯上の安心感」が 6.1 ポイント、「通勤・通学の便利さ」が 12.6 ポイント、「買い物の便利さ」が 15.2 ポイント、「病院や医院までの距離」が 12.9 ポイント、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」が 6.3 ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」が 11.2 ポイント上回っている。

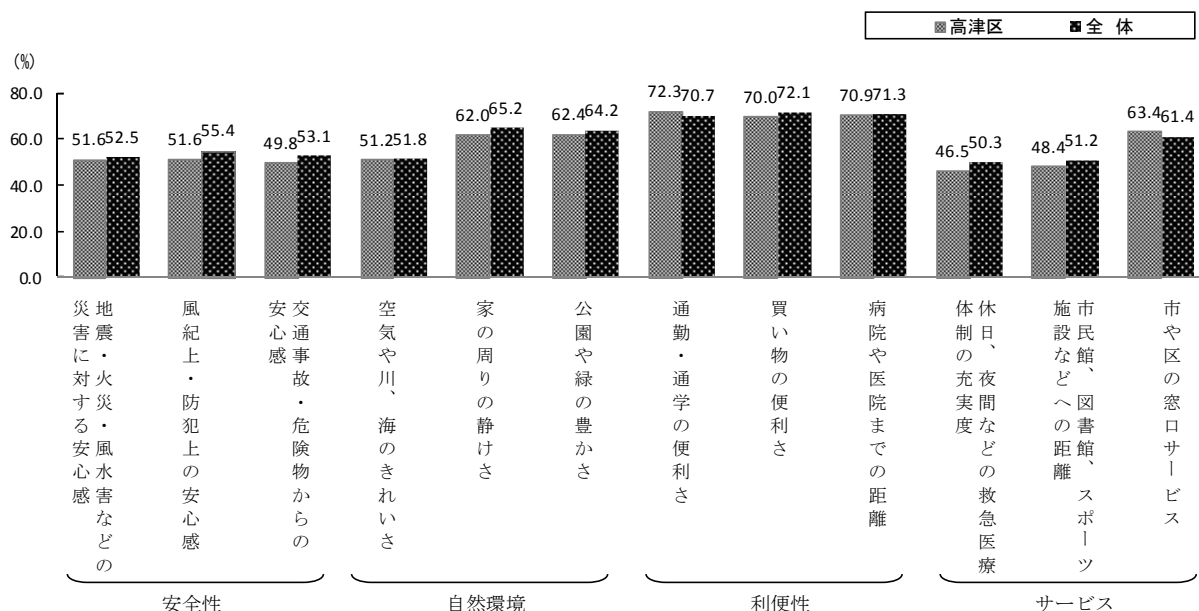
また、『自然環境』で特に目立った点は見られない。

図表2-8 生活環境の満足度（＜満足＞、高津区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

(%)

		の地震・火災・風水害などに対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通安全感・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
高津区	(n=213)	51.6	51.6	49.8	51.2	62.0	62.4	72.3	70.0	70.9	46.5	48.4	63.4
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4

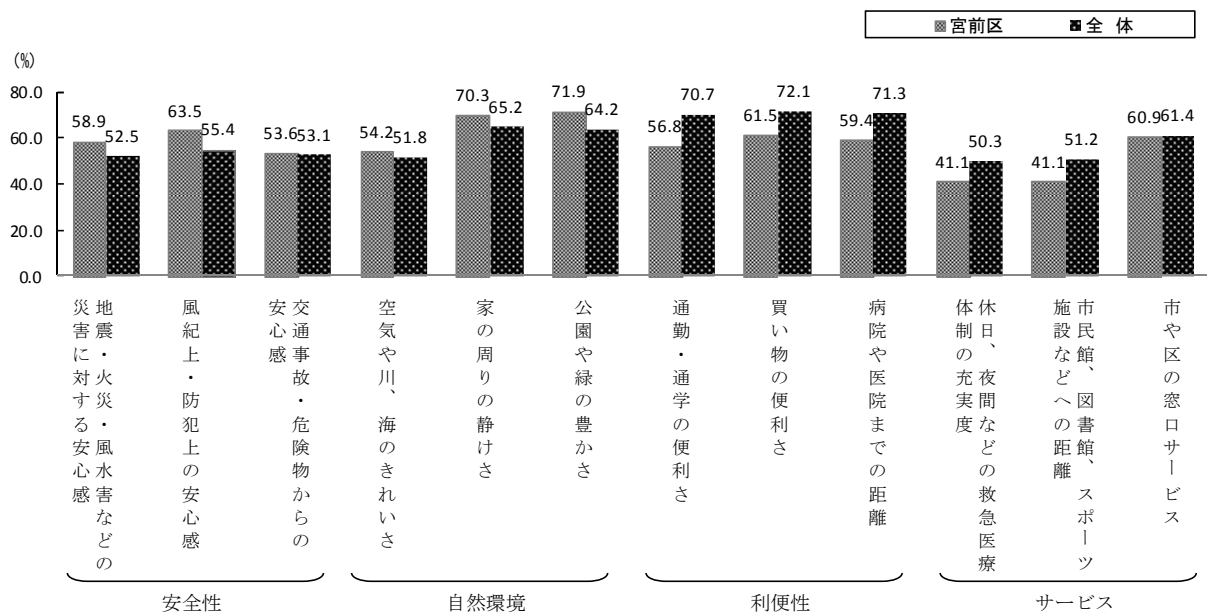


高津区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』、『利便性』、『サービス』のいずれでも特に目立った点は見られない。

図表2-9 生活環境の満足度（＜満足＞、宮前区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通安全感・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
宮前区	(n=192)	58.9	63.5	53.6	54.2	70.3	71.9	56.8	61.5	59.4	41.1	41.1	60.9
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



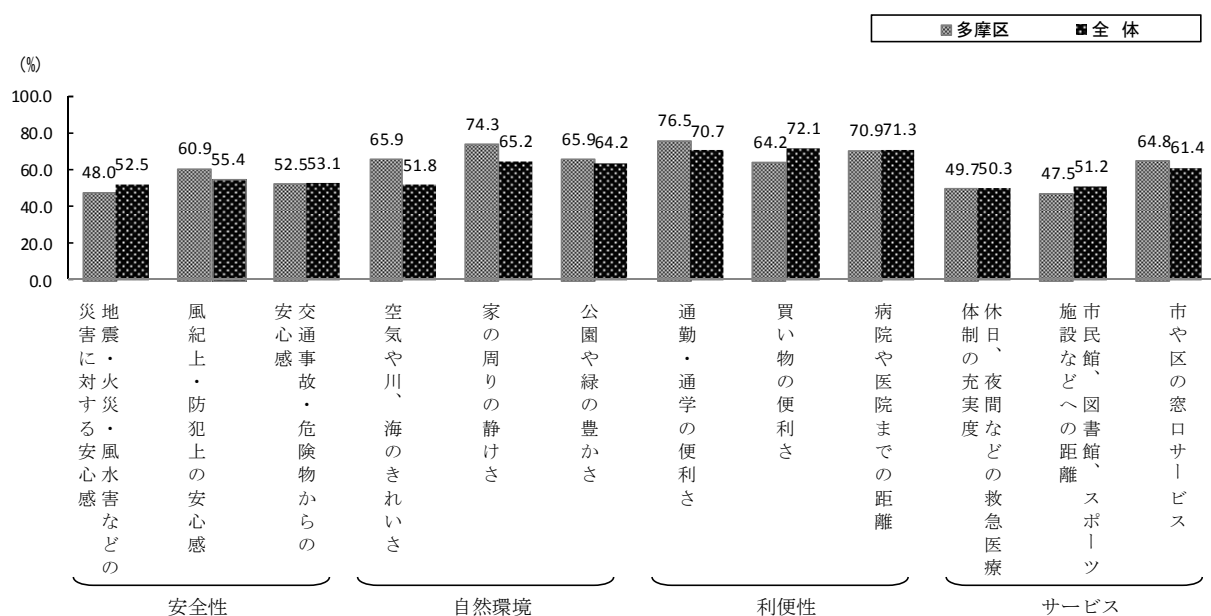
宮前区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「風紀上・防犯上の安心感」が8.1ポイント、「公園や緑の豊かさ」が7.7ポイント上回っている。

一方、『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「通勤・通学の便利さ」が13.9ポイント、「買い物の便利さ」が10.6ポイント、「病院や医院までの距離」が11.9ポイント、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」が9.2ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」が10.1ポイント下回っている。

図表2-10 生活環境の満足度（＜満足＞、多摩区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通安全感・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
多摩区	(n=179)	48.0	60.9	52.5	65.9	74.3	65.9	76.5	64.2	70.9	49.7	47.5	64.8
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



多摩区と市全体の満足度を比較すると、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「空気や川、海のきれいさ」が 14.1 ポイント、「家の周りの静けさ」が 9.1 ポイント上回っている。

『利便性』では、「買い物の便利さ」が 7.9 ポイント下回っている。

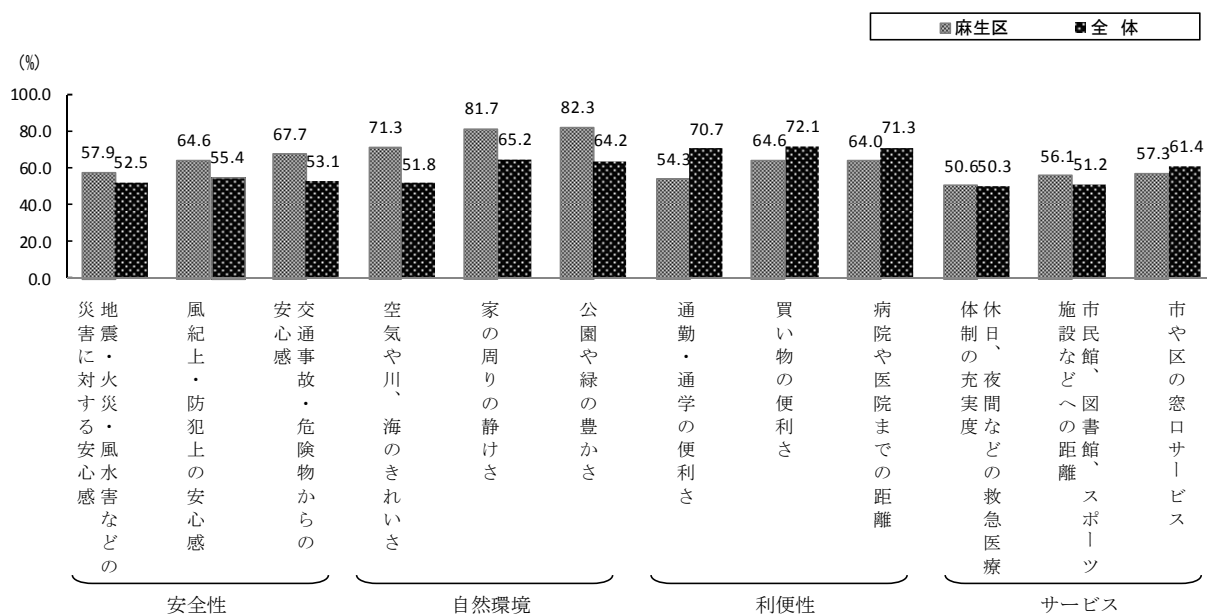
また、『安全性』、『サービス』で特に目立った点は見られない。

(第2回アンケート)

図表2-11 生活環境の満足度（＜満足＞、麻生区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

		の地震・火災・風水害などに対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
麻生区	(n=164)	57.9	64.6	67.7	71.3	81.7	82.3	54.3	64.6	64.0	50.6	56.1	57.3
全 体	(n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4



麻生区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「風紀上・防犯上の安心感」が9.2ポイント、「交通事故・危険物からの安心感」が14.6ポイント、「空気や川、海のきれいさ」が19.5ポイント、「家の周りの静けさ」が16.5ポイント、「公園や緑の豊かさ」が18.1ポイント上回っている。

一方『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、「通勤・通学の便利さ」が16.4ポイント、「買い物の便利さ」が7.5ポイント、「病院や医院までの距離」が7.3ポイント下回っている。

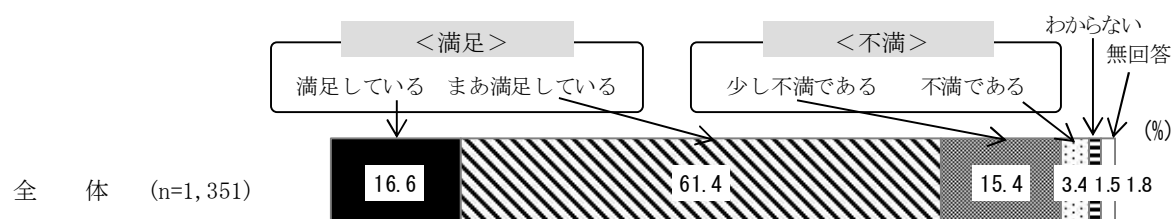
また、『サービス』で特に目立った点は見られない。

2-2 総合的な生活環境の満足度

◎＜満足＞が77.9%

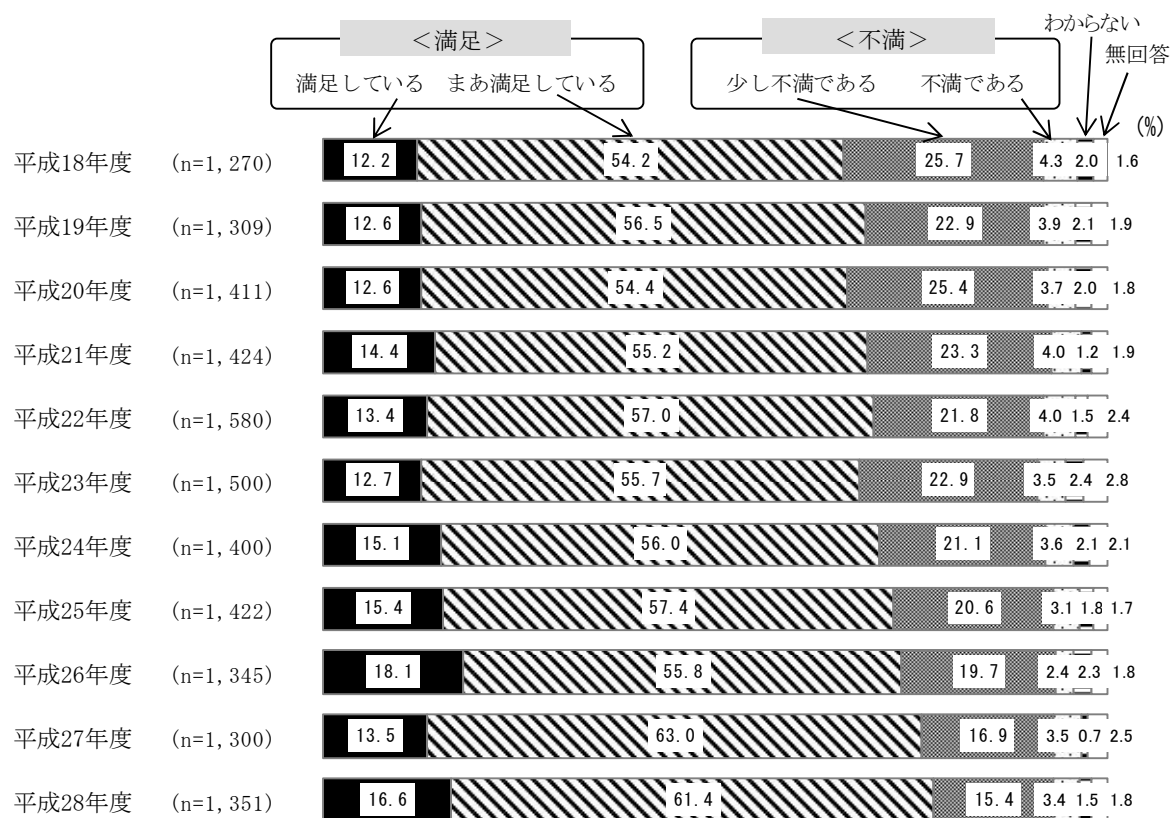
問6 あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

図表2-12 総合的な生活環境の満足度



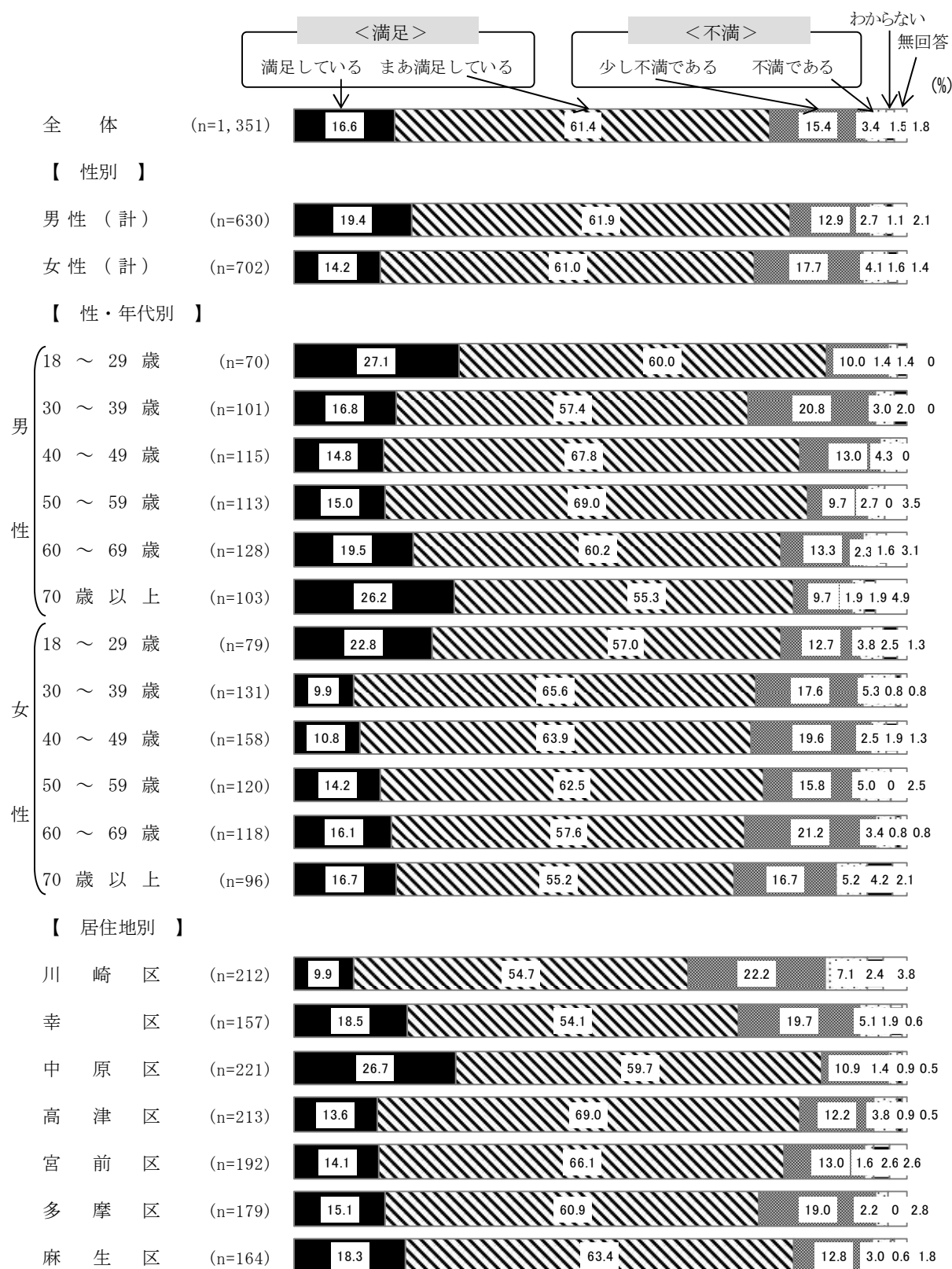
総合的な生活環境の満足度は、「まあ満足している」(61.4%)が最も高く、これに「満足している」(16.6%)を合わせた＜満足＞が77.9%となっている。「少し不満である」(15.4%)と「不満である」(3.4%)を合わせた＜不満＞は18.8%となっている。

図表 2-13 総合的な生活環境の満足度（経年比較）



過去の推移では、＜満足＞は、平成18年度調査以降おおむね増加傾向にあり、5年前（平成23年度）と比較して9.5ポイント、10年前（平成18年度）と比較して11.6ポイント増加している。

図表2-14 総合的な生活環境の満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜満足＞の割合が男性で高く、特に「満足している」の割合が、男性の18～29歳と70歳以上で高い。

居住区別では、＜満足＞の割合、「満足している」の割合共に、中原区が高く、川崎区が低い。

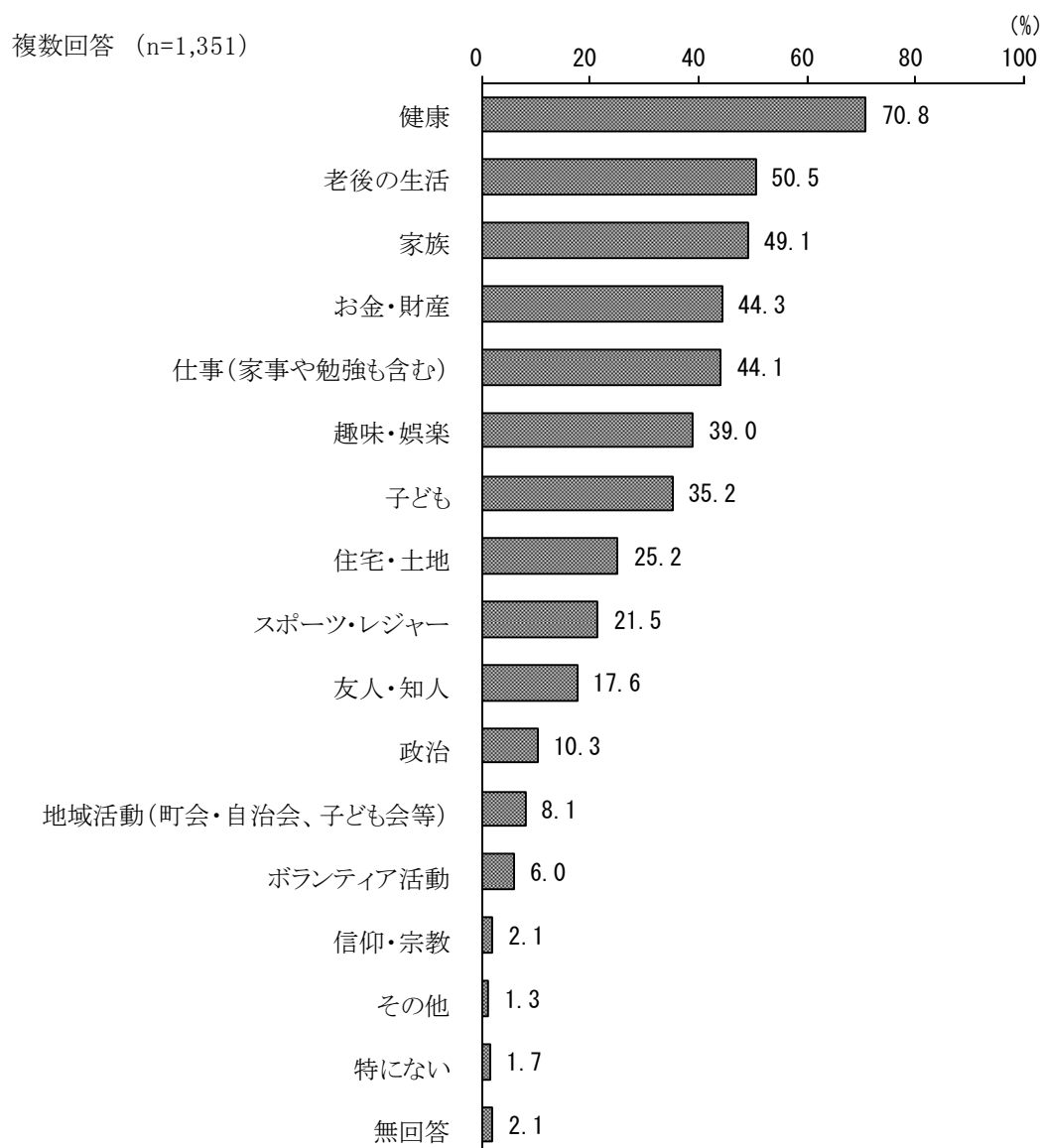
3 関心ごとと行動範囲について

3-1 関心を持っていること

◎「健康」が70.8%

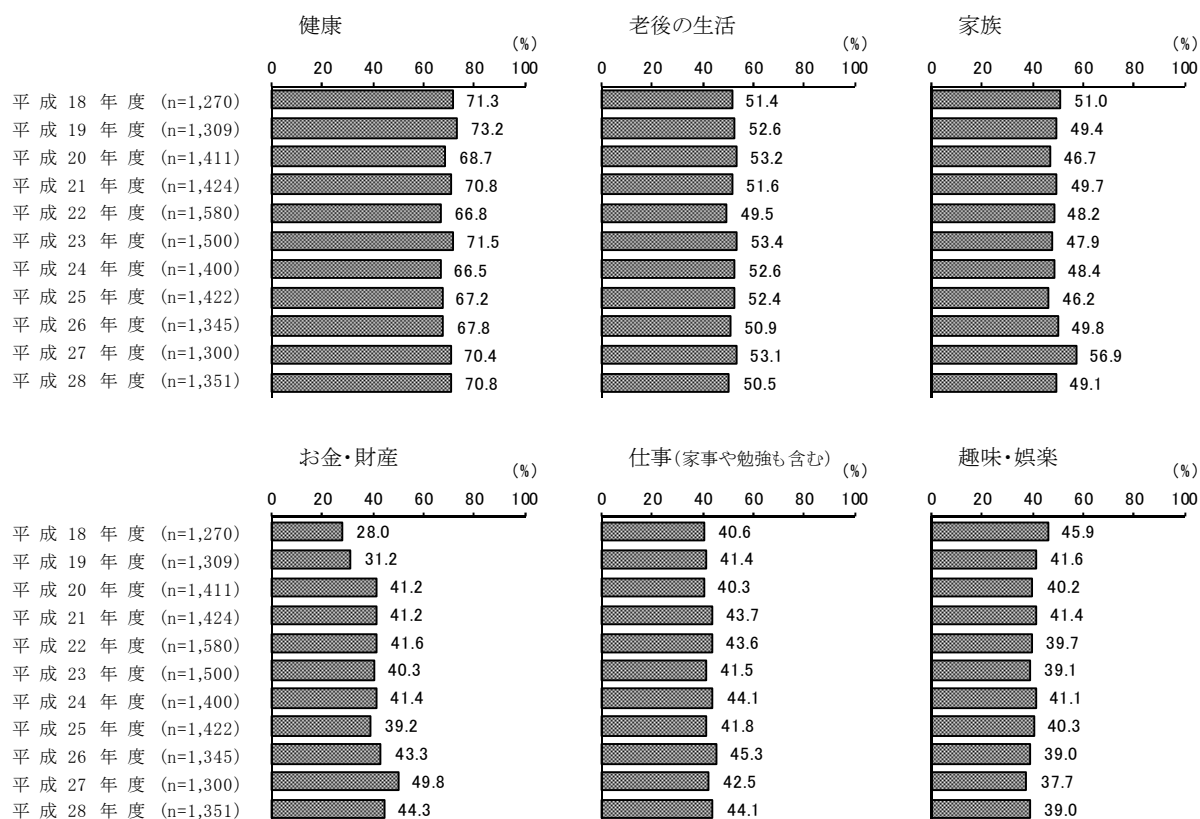
問7 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表3-1 関心を持っていること



関心を持っていることは、「健康」(70.8%)が最も高く、次いで「老後の生活」(50.5%)、「家族」(49.1%)、「お金・財産」(44.3%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(44.1%)の順となっている。

図表3-2 関心を持っていること（経年比較、上位6項目）



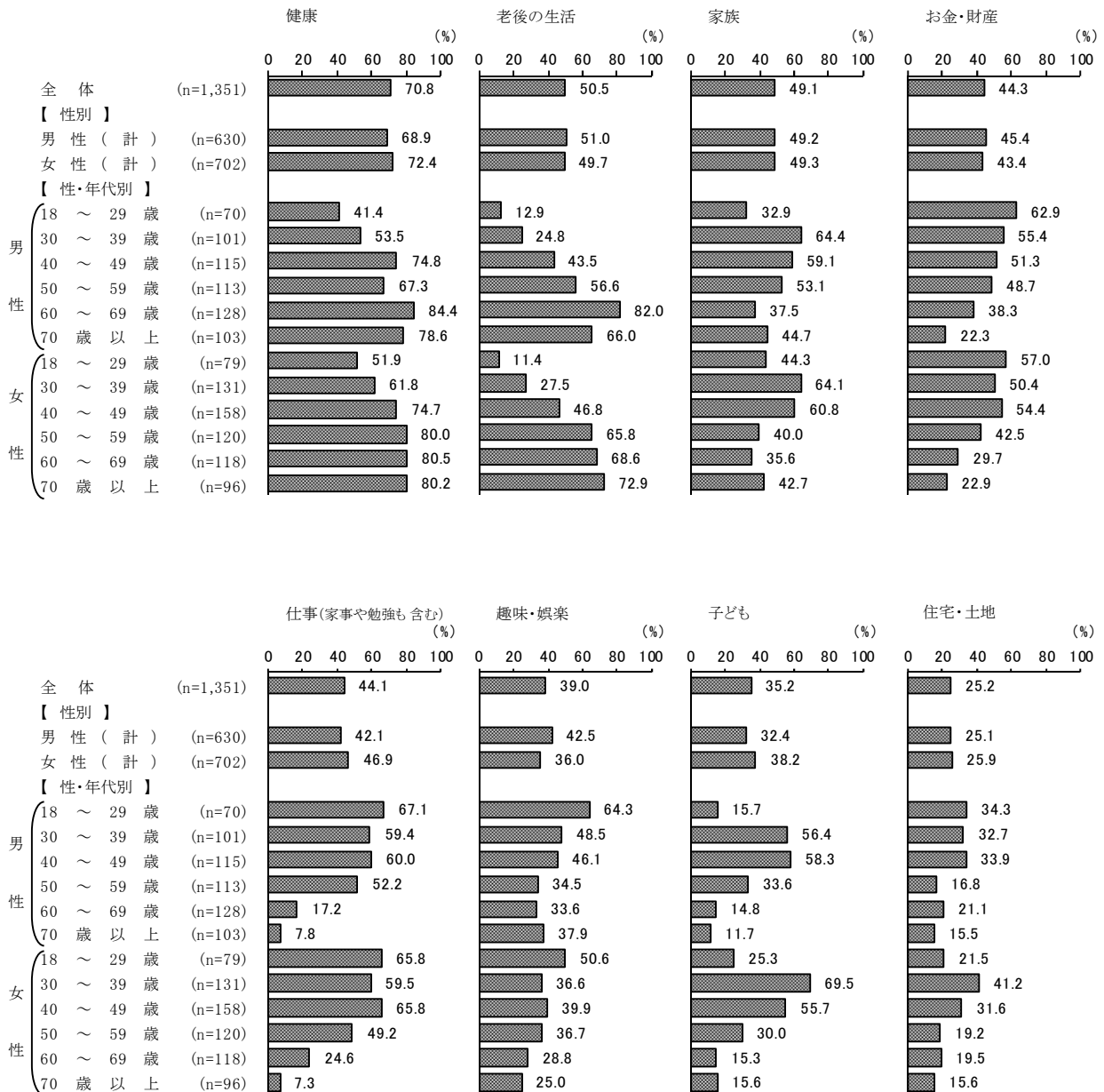
順位												(%)
年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位	
平成18年度 (n=1,270)	健康	71.3	老後の生活	51.4	家族	51.0	趣味・娯楽	45.9	仕事（家事や勉強も含む）	40.6	子ども	35.5
平成19年度 (n=1,309)	健康	73.2	老後の生活	52.6	家族	49.4	趣味・娯楽	41.6	仕事（家事や勉強も含む）	41.4	子ども	34.0
平成20年度 (n=1,411)	健康	68.7	老後の生活	53.2	家族	46.7	お金・財産	41.2	仕事（家事や勉強も含む）	40.3	趣味・娯楽	40.2
平成21年度 (n=1,424)	健康	70.8	老後の生活	51.6	家族	49.7	仕事（家事や勉強も含む）	43.7	趣味・娯楽	41.4	お金・財産	41.2
平成22年度 (n=1,580)	健康	66.8	老後の生活	49.5	家族	48.2	仕事（家事や勉強も含む）	43.6	お金・財産	41.6	趣味・娯楽	39.7
平成23年度 (n=1,500)	健康	71.5	老後の生活	53.4	家族	47.9	仕事（家事や勉強も含む）	41.5	お金・財産	40.3	趣味・娯楽	39.1
平成24年度 (n=1,400)	健康	66.5	老後の生活	52.6	家族	48.4	仕事（家事や勉強も含む）	44.1	お金・財産	41.4	趣味・娯楽	41.1
平成25年度 (n=1,422)	健康	67.2	老後の生活	52.4	家族	46.2	仕事（家事や勉強も含む）	41.8	趣味・娯楽	40.3	お金・財産	39.2
平成26年度 (n=1,345)	健康	67.8	老後の生活	50.9	家族	49.8	仕事（家事や勉強も含む）	45.3	お金・財産	43.3	趣味・娯楽	39.0
平成27年度 (n=1,300)	健康	70.4	家族	56.9	老後の生活	53.1	お金・財産	49.8	仕事（家事や勉強も含む）	42.5	子ども	38.2
平成28年度 (n=1,351)	健康	70.8	老後の生活	50.5	家族	49.1	お金・財産	44.3	仕事（家事や勉強も含む）	44.1	趣味・娯楽	39.0

注：「お金・財産」は平成19年度までは「金・財産」であった。

上位6項目の過去の推移では、平成27年度調査と比較すると、「健康」は1位のままだが、「老後の生活」が3位から2位、「家族」は2位から3位、「お金・財産」は4位のまま、「仕事（家事や勉強も含む）」は5位のまま、6位に「趣味・娯楽」が入ってきている。

(第2回アンケート)

図表3-3 関心を持っていること(性/年齢別、上位8項目)



性/年齢別では、「健康」は、男性は60歳以上、女性は50歳以上の年代で特に高い。

「老後の生活」は、男性は60～69歳(82.0%)が最も高い。女性は50歳代から増加し、70歳以上(72.9%)で最も高い。

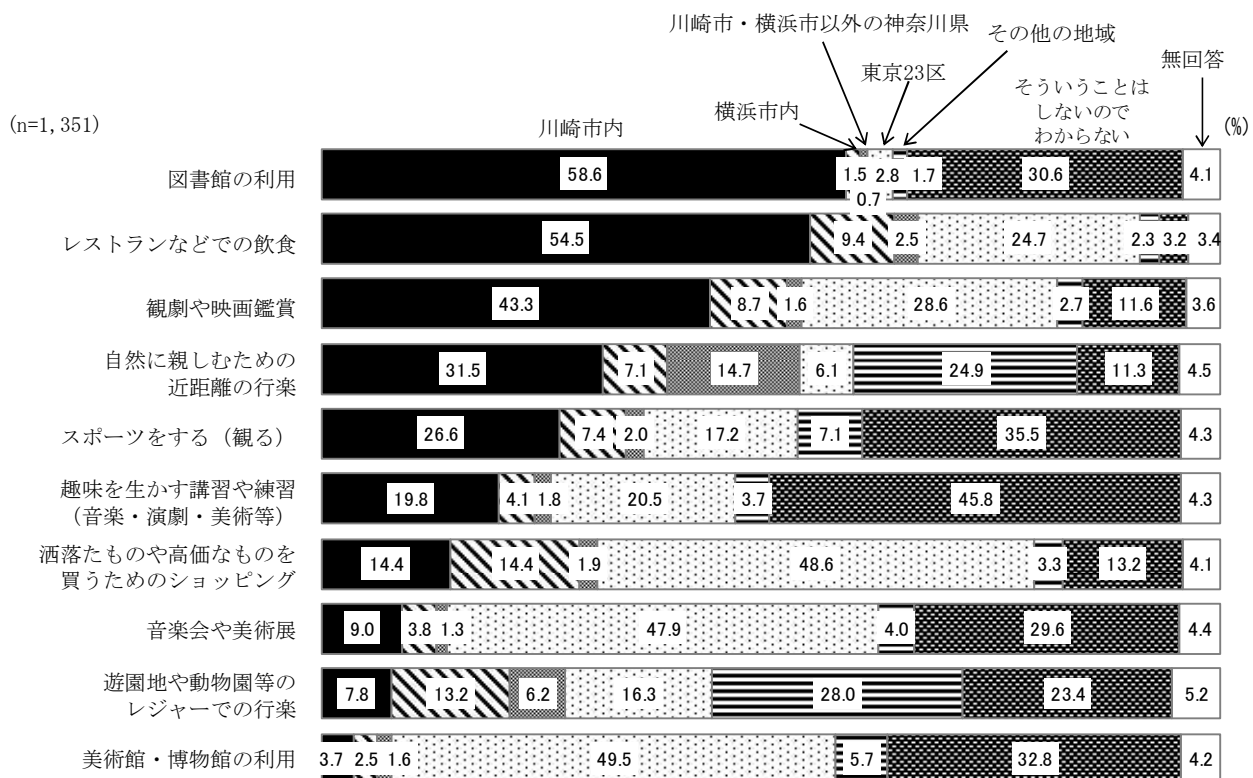
「家族」は、男女共に30～39歳、40～49歳で高い。

3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も多いのは、「図書館の利用」で58.6%

問8 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

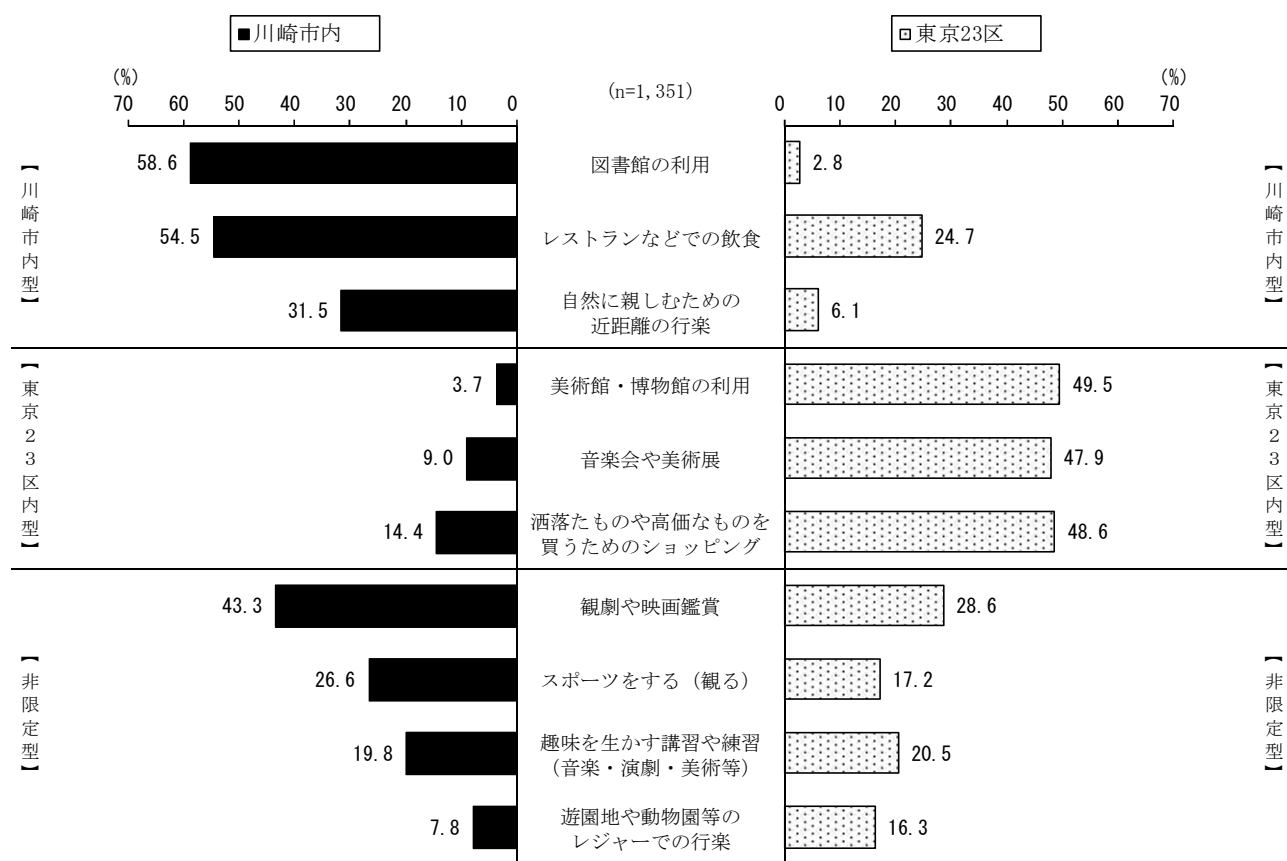
図表3-4 行動範囲



川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」（58.6%）で、次いで「レストランなどでの飲食」（54.5%）、「観劇や映画鑑賞」（43.3%）の順となっている。一方『東京23区』が最も高いのは、「美術館・博物館の利用」（49.5%）で、次いで「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」（48.6%）、「音楽会や美術展」（47.9%）の順となっている。

(第2回アンケート)

図表3-5 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較)



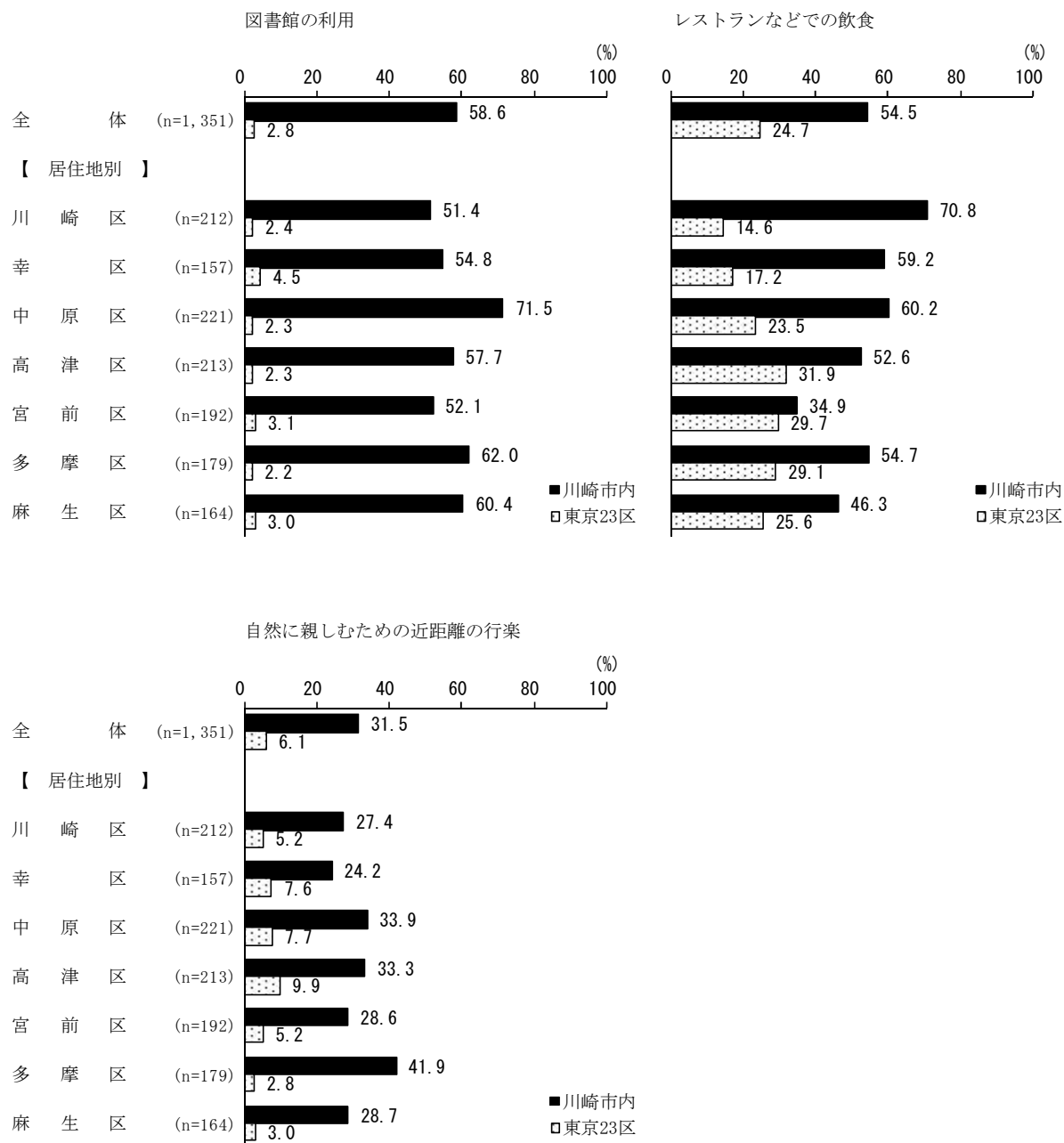
各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下のようになる。

【川崎市内型】・・・ 図書館の利用
レストランなどでの飲食
自然に親しむための近距離の行楽

【東京23区内型】・・・ 美術館・博物館の利用
音楽会や美術展
洒落たものや高価なものを買うためのショッピング

【非限定型】・・・ 観劇や映画鑑賞
スポーツをする(観る)
趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)
遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

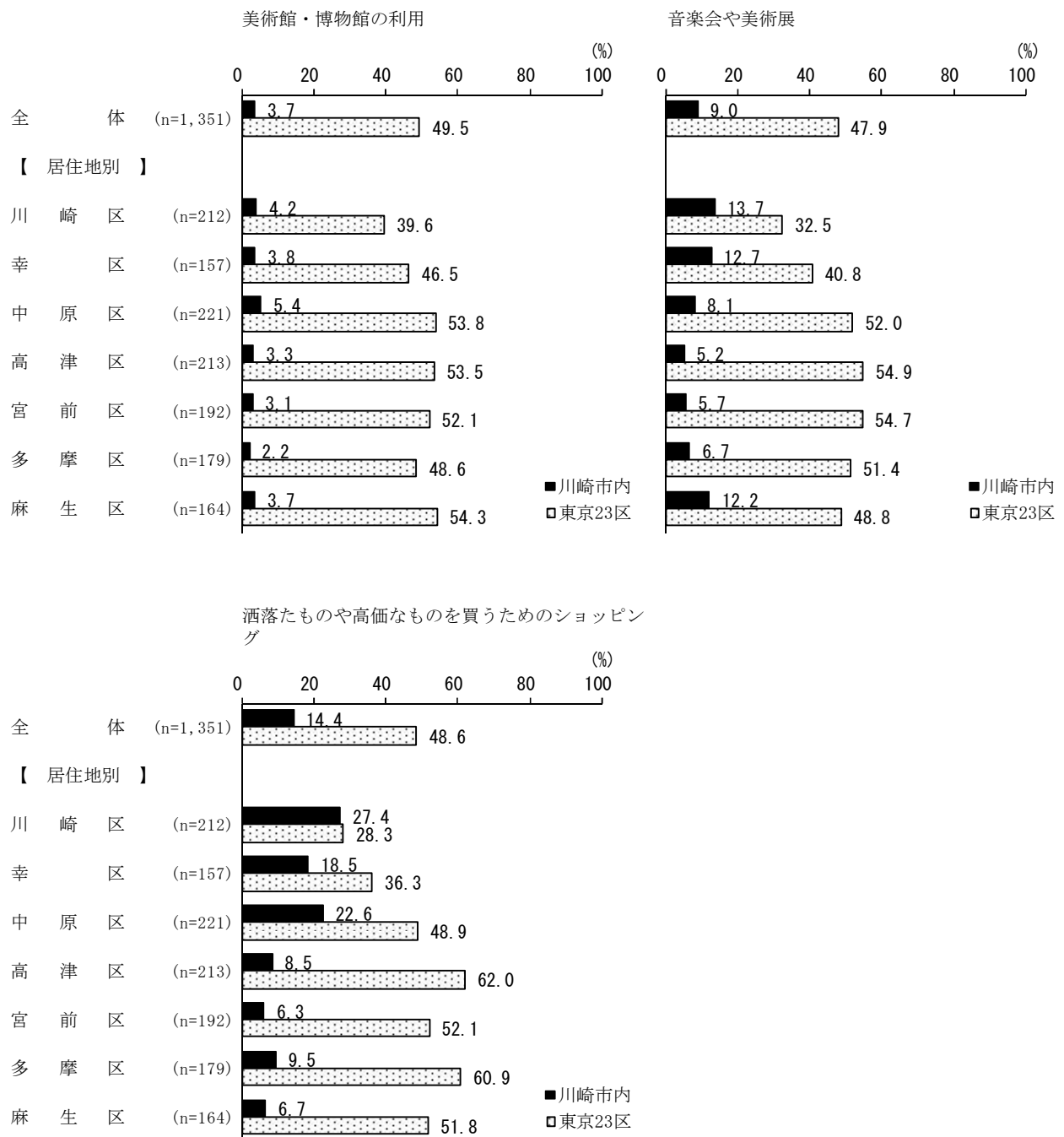
図表3-6 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別)【川崎市内型】



【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住地別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区(71.5%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。「レストランなどでの飲食」は、川崎区(70.8%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(31.9%)が最も高い。「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区(41.9%)が最も高く、『東京23区内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満となっている。

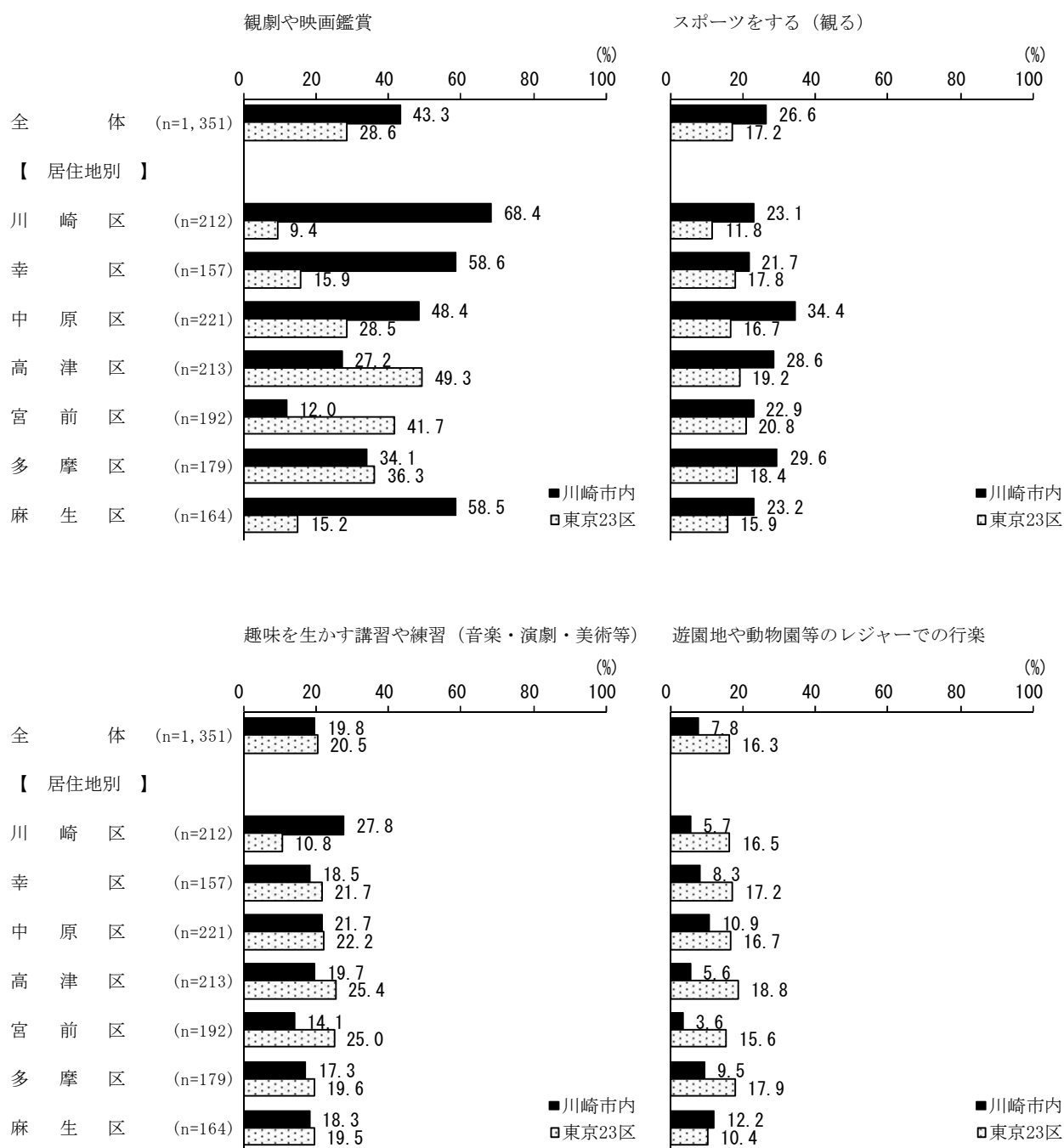
(第2回アンケート)

図表3-7 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別)【東京23区内型】



【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、麻生区（54.3%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。「音楽会や美術展」は、宮前区（54.9%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区（13.7%）が最も高い。「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は、高津区（62.0%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区（27.4%）が最も高い。

図表3-8 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別【非限定型】



『川崎市内』と『東京23区』に限らず平均的な利用があると思われる【非限定型】4項目を、居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」は、川崎区(68.4%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(49.3%)が最も高い。「スポーツをする(観る)」は、中原区(34.4%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、宮前区(20.8%)が最も高い。「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」は、川崎区(27.8%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(25.4%)が最も高い。

「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」は、麻生区(12.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(18.8%)が最も高い。

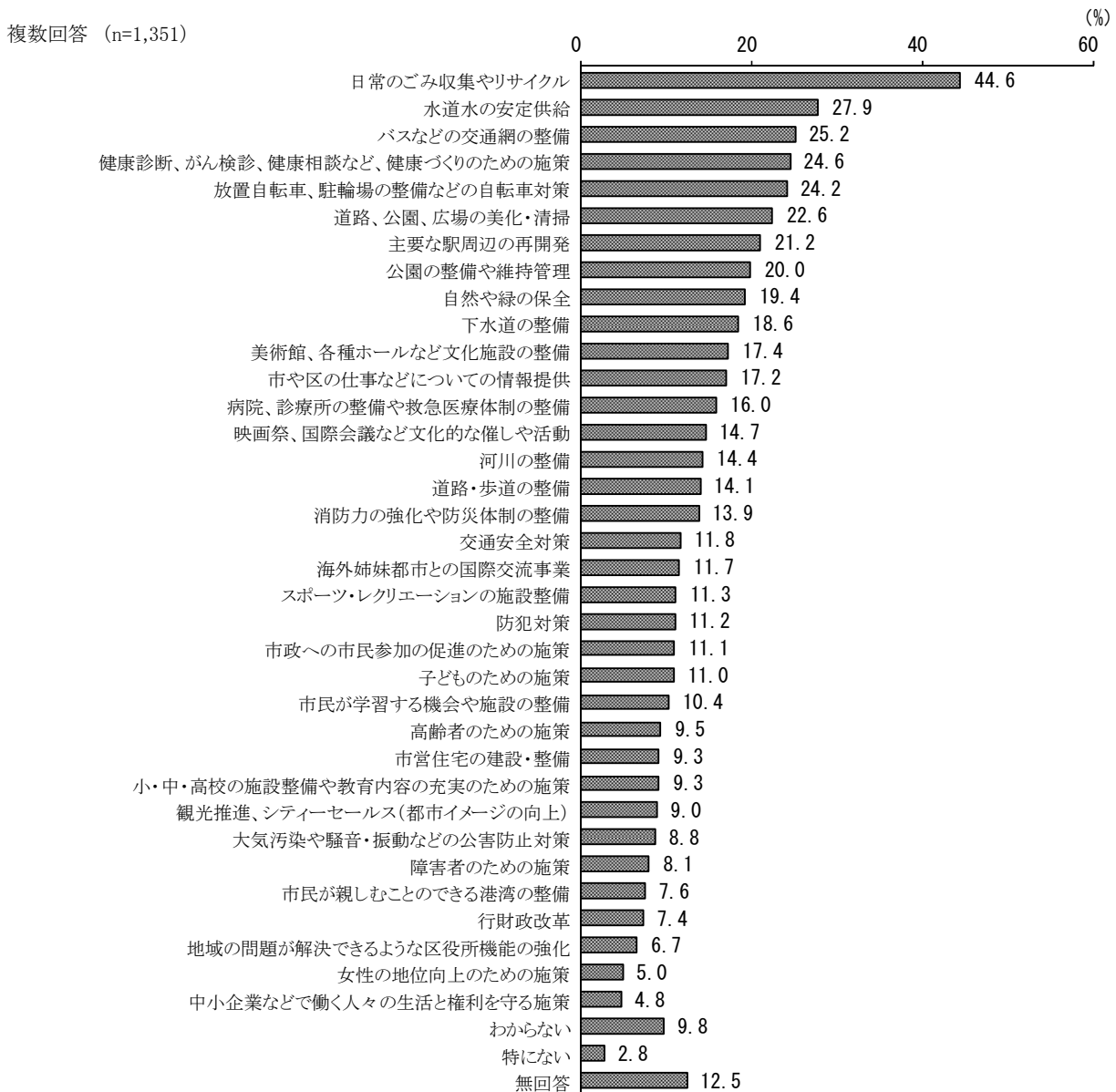
4 市政に対する評価と要望について

4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が44.6%

問9 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、(1)よくやっていると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(44.6%)が最も高く、次いで「水道水の安定供給」(27.9%)、「バスなどの交通網の整備」(25.2%)、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(24.6%)の順となっている。

図表4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと(経年比較)

(%)

	平成28年度 (n=1,351)	平成23年度 (n=1,500)	平成18年度 (n=1,270)
日常のごみ収集やリサイクル	44.6	51.3	54.2
水道水の安定供給	27.9	28.5	33.2
バスなどの交通網の整備	25.2	25.1	23.1
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	24.6	25.1	24.2
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	24.2	22.6	22.7
道路、公園、広場の美化・清掃	22.6	24.3	22.7
主要な駅周辺の再開発	21.2	23.9	30.5
公園の整備や維持管理	20.0	22.7	20.9
自然や緑の保全	19.4	18.9	19.3
下水道の整備	18.6	20.3	31.7
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	17.4	22.3	23.2
市や区の仕事などについての情報提供	17.2	17.5	14.0
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	16.0	14.3	16.6
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	14.7	15.7	17.9
河川の整備	14.4	15.1	18.2
道路・歩道の整備	14.1	14.6	18.2
消防力の強化や防災体制の整備	13.9	15.9	19.8
交通安全対策	11.8	13.4	13.7
海外姉妹都市との国際交流事業	11.7	12.1	13.9
スポーツ・レクリエーションの施設整備	11.3	13.1	17.2
防犯対策	11.2	12.9	10.7
市政への市民参加の促進のための施策	11.1	11.8	10.7
子どものための施策	11.0	10.7	17.3
市民が学習する機会や施設の整備	10.4	10.2	15.5
高齢者のための施策	9.5	9.6	15.0
市営住宅の建設・整備	9.3	10.7	17.9
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	9.3	9.2	12.0
観光推進、シティーセールス(都市イメージの向上)	9.0	11.6	※
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	8.8	9.5	9.7
障害者のための施策	8.1	8.7	11.1
市民が親しむことのできる港湾の整備	7.6	9.5	12.0
行財政改革	7.4	7.4	※
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	6.7	7.0	5.9
女性の地位向上のための施策	5.0	6.7	9.0
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	4.8	5.4	6.5
わからない	9.8	7.7	3.9
特になし	2.8	2.6	1.3
無回答	12.5	12.3	13.7

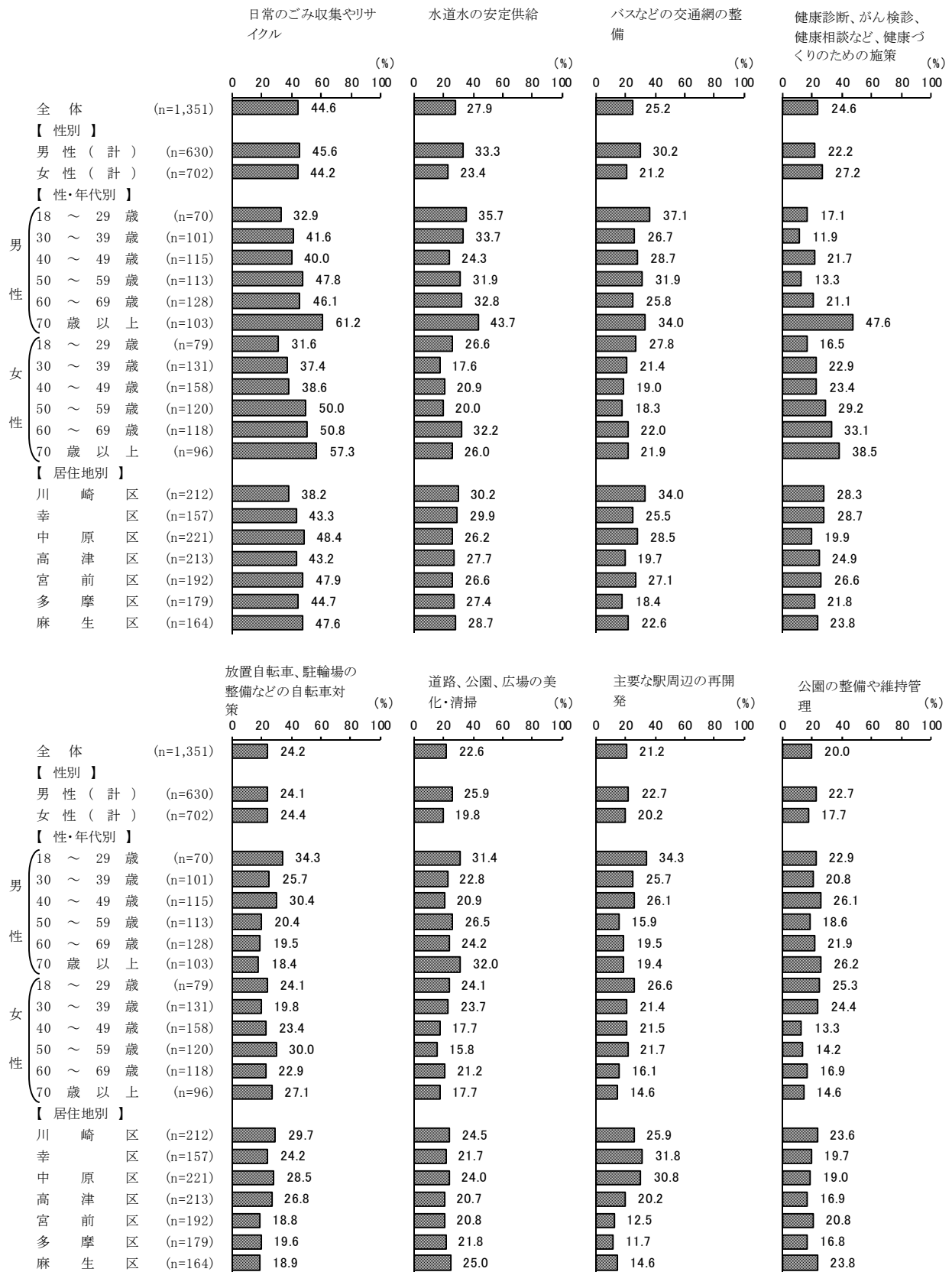
※平成18年度の「水道水の安定供給」は、「飲料水の安定供給」で実施

※平成18年度は、「観光推進、シティーセールス(都市イメージの向上)」、「行財政改革」の選択肢なし

経年比較では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、5年前(平成23年度)と比較して6.7ポイント、10年前(平成18年度)と比較して9.6ポイント減少しているものの、10年間一貫して最も高い。「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」は、5年前(平成23年度)と比較して4.9ポイント、10年前(平成18年度)と比較して5.8ポイント減少している。

(第2回アンケート)

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



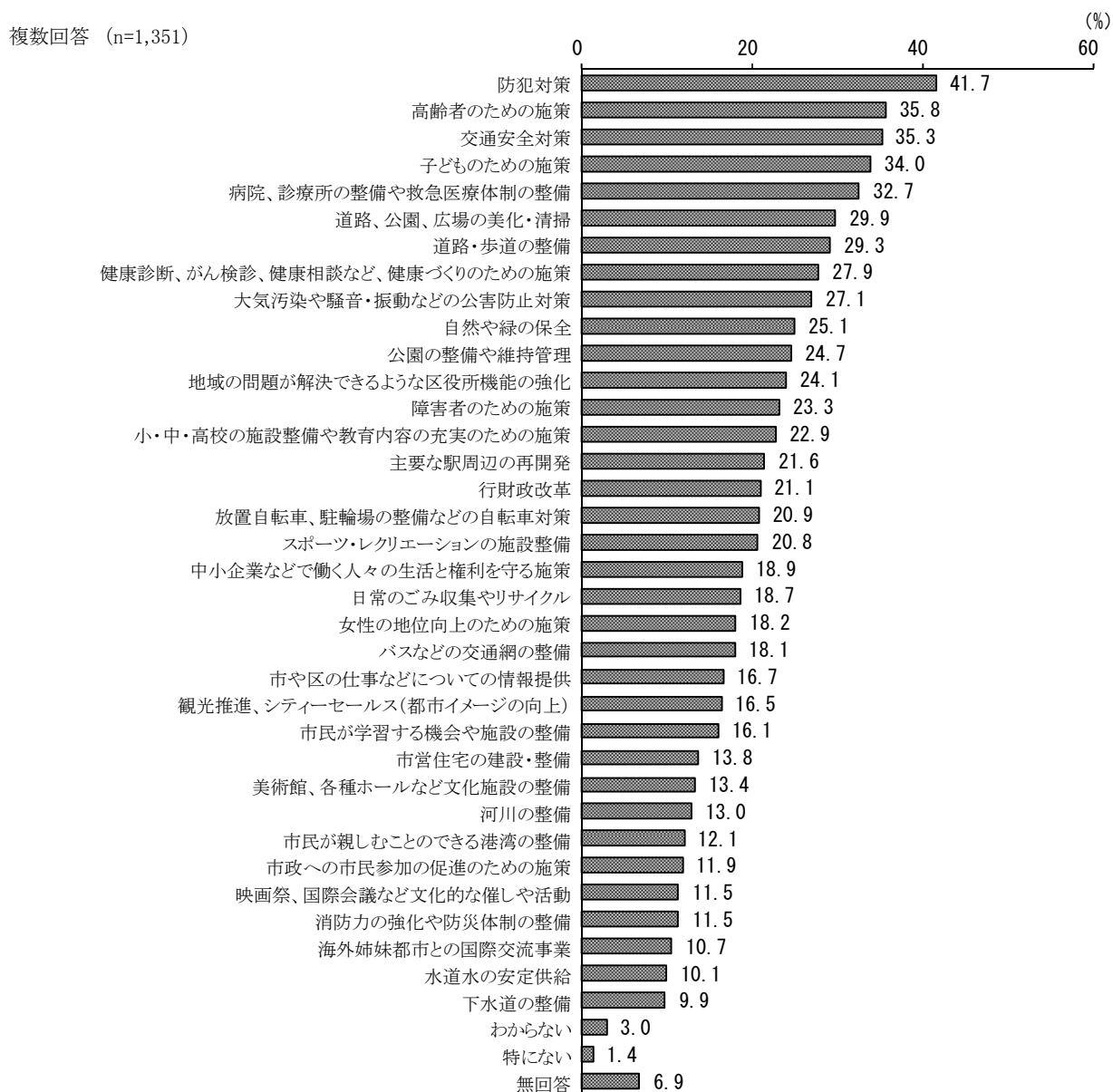
性/年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」は、男女ともに70歳以上で最も高い。「水道水の安定供給」は、男性の70歳以上(43.7%)で高い。「バスなどの交通網の整備」は、男性、特に18~29歳(37.1%)と70歳以上(34.0%)で高い。

4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

◎「防犯対策」が41.7%、「高齢者のための施策」が35.8%

問9 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、(2) 今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-4 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと



市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「防犯対策」(41.7%)が最も高く、次いで「高齢者のための施策」(35.8%)、「交通安全対策」(35.3%)、「子どものための施策」(34.0%)の順となっている。

(第2回アンケート)

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（経年比較）

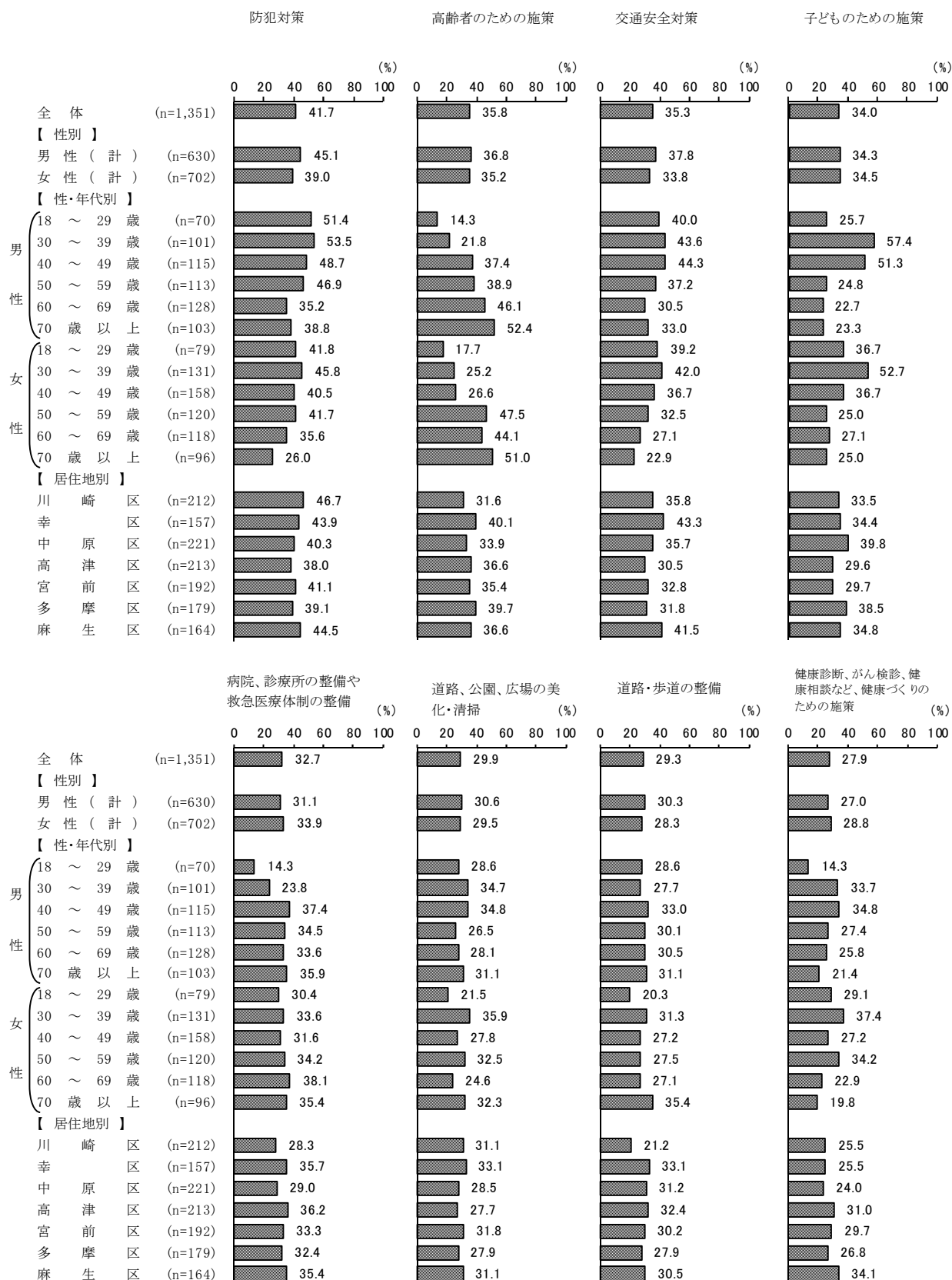
	(%)		
	平成28年度 (n=1, 351)	平成23年度 (n=1, 500)	平成18年度 (n=1, 270)
防犯対策	41.7	43.9	53.3
高齢者のための施策	35.8	38.5	52.9
交通安全対策	35.3	37.2	38.4
子どものための施策	34.0	35.4	38.0
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	32.7	42.1	51.9
道路、公園、広場の美化・清掃	29.9	32.7	39.0
道路・歩道の整備	29.3	34.3	37.3
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	27.9	29.8	40.0
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	27.1	33.3	41.7
自然や緑の保全	25.1	33.1	40.6
公園の整備や維持管理	24.7	27.7	31.7
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	24.1	31.3	35.3
障害者のための施策	23.3	26.9	39.0
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	22.9	25.9	33.4
主要な駅周辺の再開発	21.6	21.6	23.6
行財政改革	21.1	30.5	※
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	20.9	36.0	39.8
スポーツ・レクリエーションの施設整備	20.8	21.5	29.6
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	18.9	22.4	28.4
日常のごみ収集やリサイクル	18.7	18.3	25.1
女性の地位向上のための施策	18.2	17.1	21.7
バスなどの交通網の整備	18.1	21.4	27.6
市や区の仕事などについての情報提供	16.7	19.8	23.1
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	16.5	18.1	※
市民が学習する機会や施設の整備	16.1	18.5	27.3
市営住宅の建設・整備	13.8	16.9	17.2
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	13.4	14.5	16.2
河川の整備	13.0	17.3	26.4
市民が親しむことのできる港湾の整備	12.1	14.0	18.3
市政への市民参加の促進のための施策	11.9	15.5	19.8
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	11.5	14.0	14.3
消防力の強化や防災体制の整備	11.5	16.0	26.2
海外姉妹都市との国際交流事業	10.7	9.9	11.4
水道水の安定供給	10.1	16.3	18.5
下水道の整備	9.9	12.5	11.7
わからない	3.0	2.1	0.3
特になし	1.4	1.3	1.2
無回答	6.9	6.4	6.3

※平成18年度の「水道水の安定供給」は、「飲料水の安定供給」で実施

※平成18年度は、「観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）」、「行財政改革」の選択肢なし

経年比較では、全体として減少傾向が見られるが、5年前（平成23年度）と比較して、特に「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」で9.4ポイント、「自然や緑の保全」で8.0ポイント、「行財政改革」で9.4ポイント、「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」で15.1ポイント減少している。

図表4-6 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（性／年齢別・居住区別、上位8項目）



性／年齢別では、「防犯対策」は、男女共に30～39歳、18～29歳の順で高い。「高齢者のための施策」は、男女共に70歳以上で最も高く、「子どものための施策」は、男女共に30～39歳で最も高い。

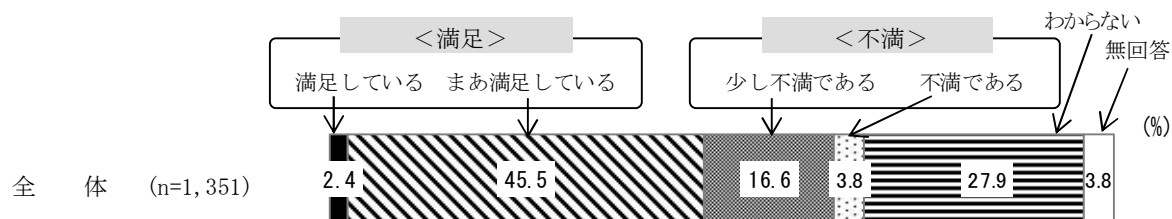
居住区別では、「交通安全対策」は幸区（43.3%）で、「子どものための施策」は中原区（39.8%）で、それぞれ高い。

4－3 施策や事業の総合的な満足度

◎＜満足＞が47.9%

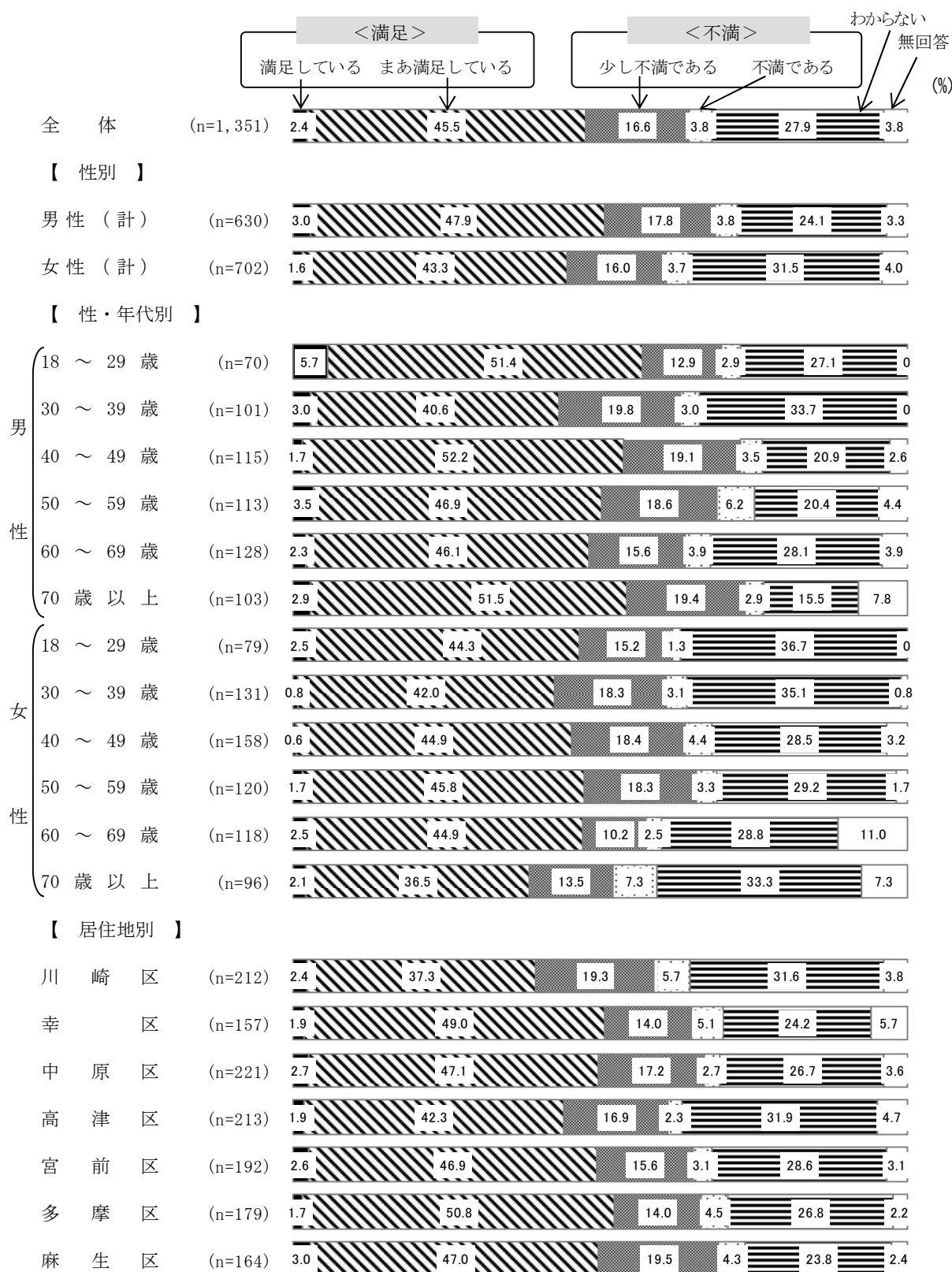
問10 あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。
(○は1つ)

図表4－7 施策や事業の総合的な満足度



施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(2.4%)と「まあ満足している」(45.5%)を合わせた＜満足＞が47.9%となっている。一方、「少し不満である」(16.6%)と「不満である」(3.8%)を合わせた＜不満＞は20.4%となっている。

図表4-8 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜満足＞は男性の18～29歳（57.1%）、70歳以上（54.4%）の順で高い。一方、＜不満＞は、男性の50～59歳（24.8%）、男性の30～39歳及び女性の40～49歳（共に22.8%）の順で高い。

居住区別では、＜満足＞は、多摩区（52.5%）、幸区（51.0%）麻生区（50.0%）の順で高い。一方、＜不満＞は、川崎区（25.0%）、麻生区（23.8%）の順で高い。

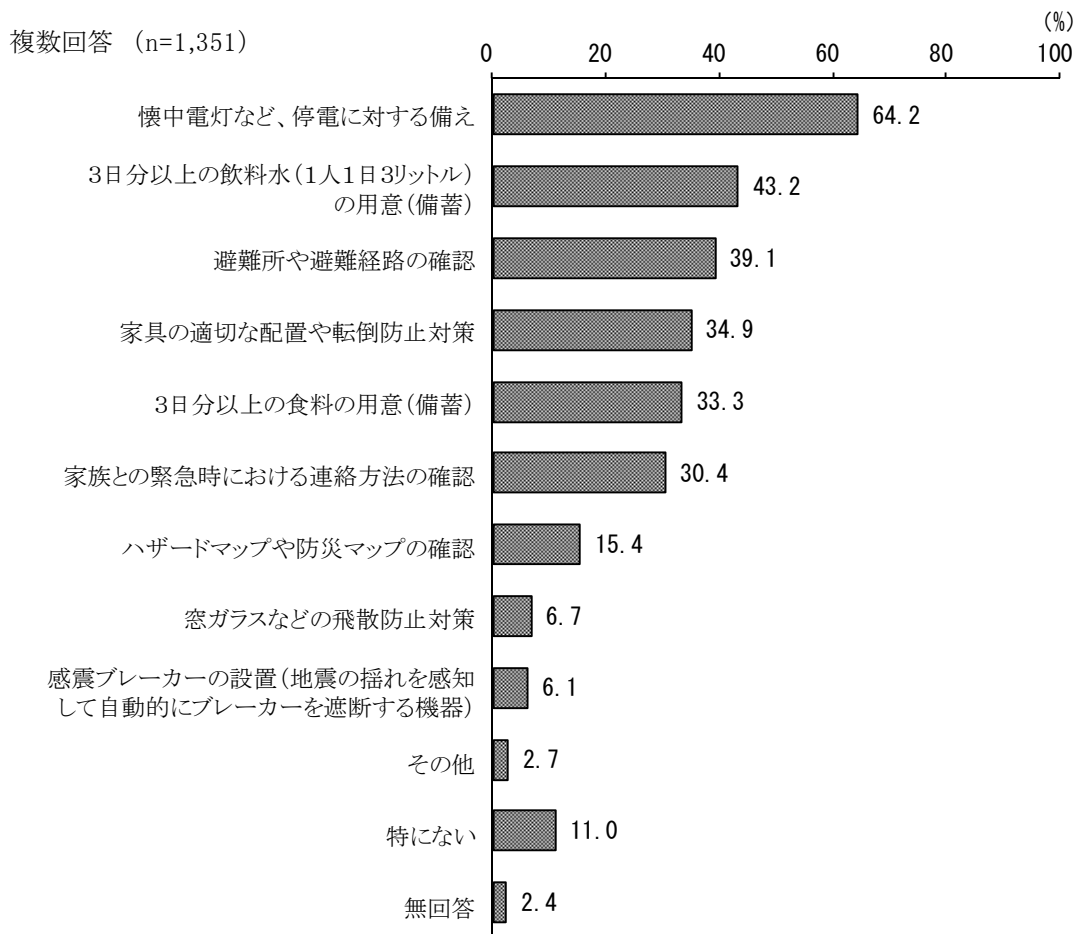
5 市民の防災意識について

5-1 大地震など大規模な災害に備えるための家庭内の取組

◎「懐中電灯など、停電に対する備え」が64.2%

問11 現在、大地震などの大規模な災害に備えるため、あなたの家庭内で行っている取組は何ですか。(〇はいくつでも)

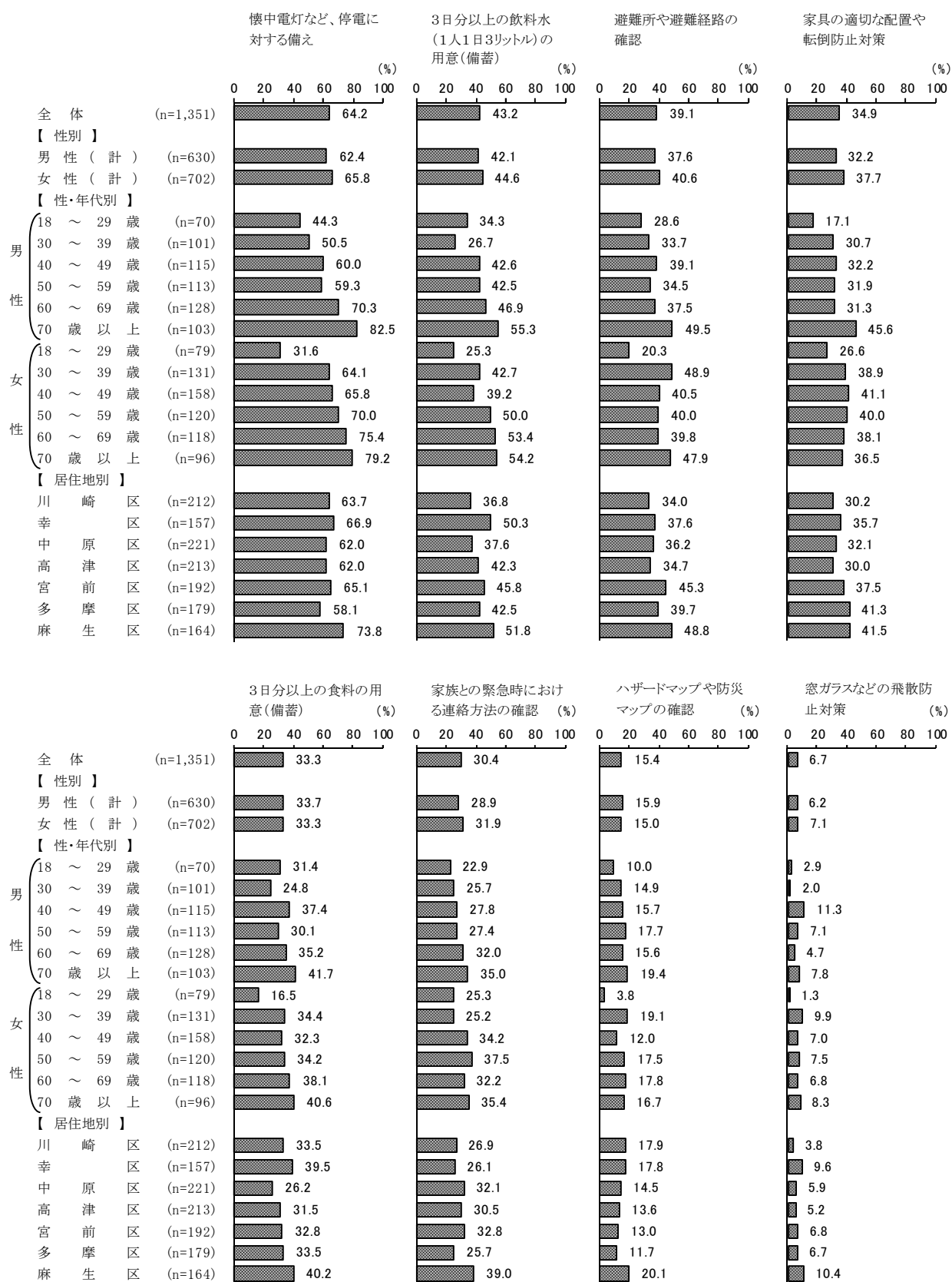
図表5-1 大地震など大規模な災害に備えるための家庭内の取組



大地震など大規模な災害に備えるための家庭内の取組は、「懐中電灯など、停電に対する備え」(64.2%)が最も高く、次いで「3日分以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)」(43.2%)、「避難所や避難経路の確認」(39.1%)の順となっている。

図表5-2 大地震など大規模な災害に備えるための家庭内の取組

(性／年齢別・居住区別、上位8項目)



性／年齢別では、「懐中電灯など、停電に対する備え」は、男女ともに高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上（男性：82.5%、女性：79.2%）が高くなっている。

居住区別では、上位8項目すべてで、麻生区で最も高い

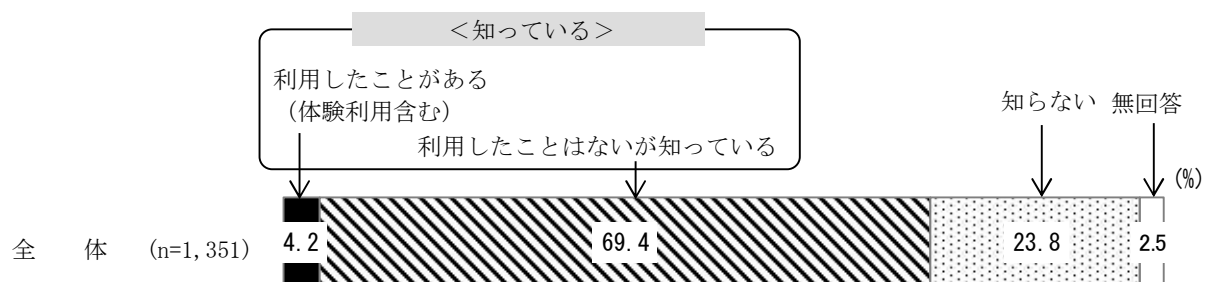
5-2 「災害用伝言ダイヤル」の認知・利用経験

◎「知っている」が73.6%、「利用したことがある（体験利用含む）」が4.2%

問12 固定電話や携帯電話等の通信事業者では、災害時に家族や知人との間での安否確認や避難場所の連絡などをスムーズに行うため、次のようなサービスを提供しています。あなたは「災害用伝言ダイヤル」を知っていますか。また、利用したことがありますか。

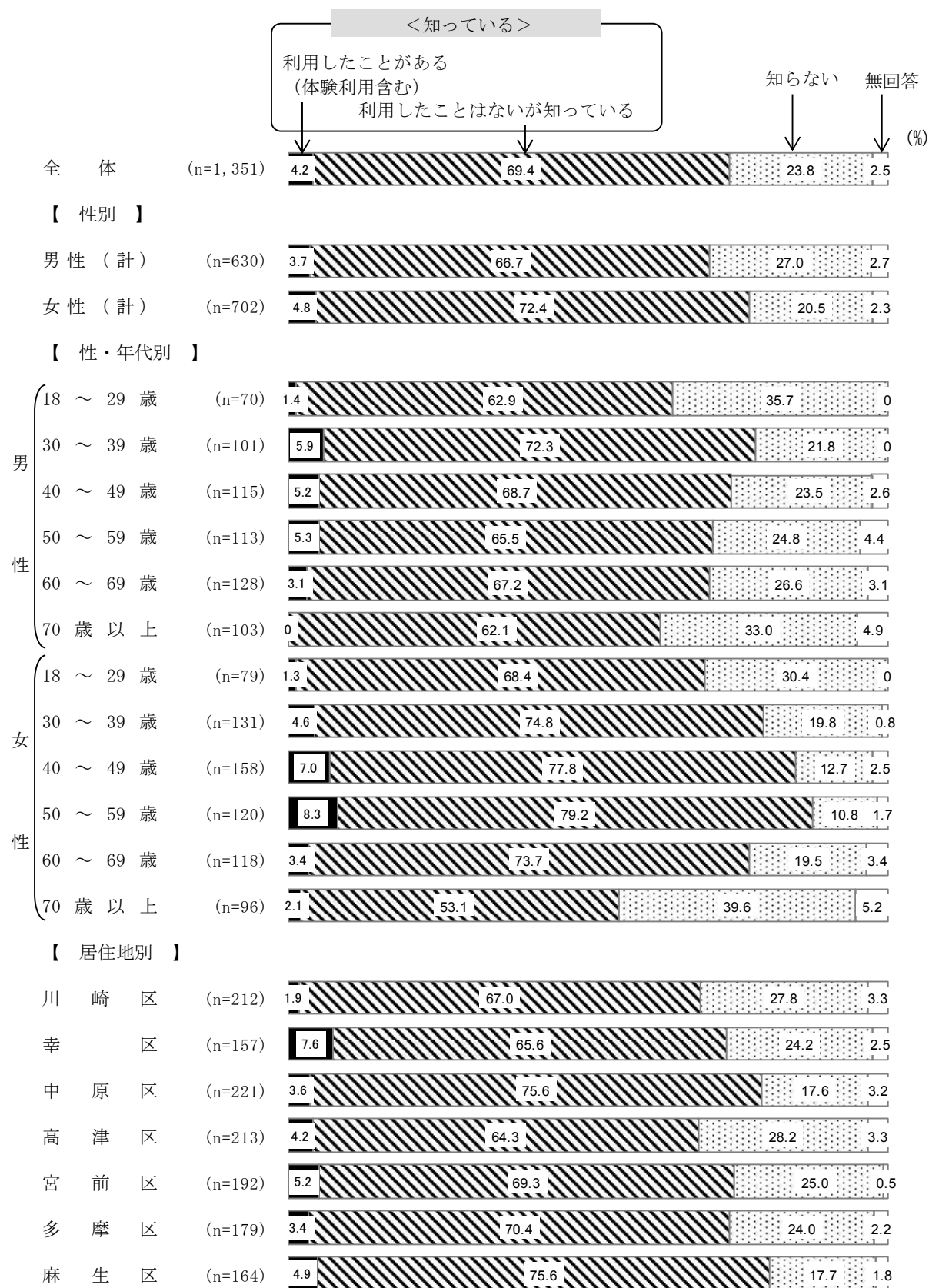
(○は1つ)

図表5-3 「災害用伝言ダイヤル」の認知・利用経験



「災害用伝言ダイヤル」は、「利用したことがある（体験利用含む）」が4.2%、「利用したことはないが知っている」（69.4%）を合わせた「知っている」が73.6%となっている。

図表5-4 「災害用伝言ダイヤル」の認知・利用経験（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、女性、特に40～49歳（84.8%）と50～59歳（87.5%）で、「知っている」の割合が高い。

また、男女とも70歳以上の「知っている」の割合が低い。

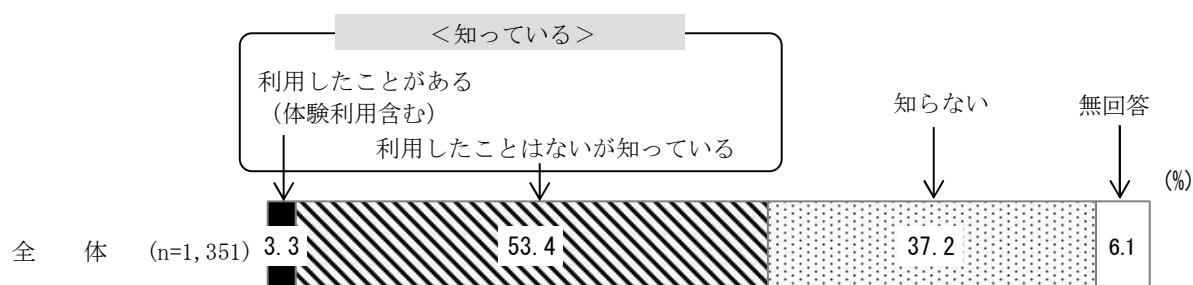
居住区別では、中原区、麻生区で「知っている」の割合が高い。

5-3 「災害用伝言版」の認知・利用経験

◎「知っている」が56.7%、「利用したことがある（体験利用含む）」が3.3%

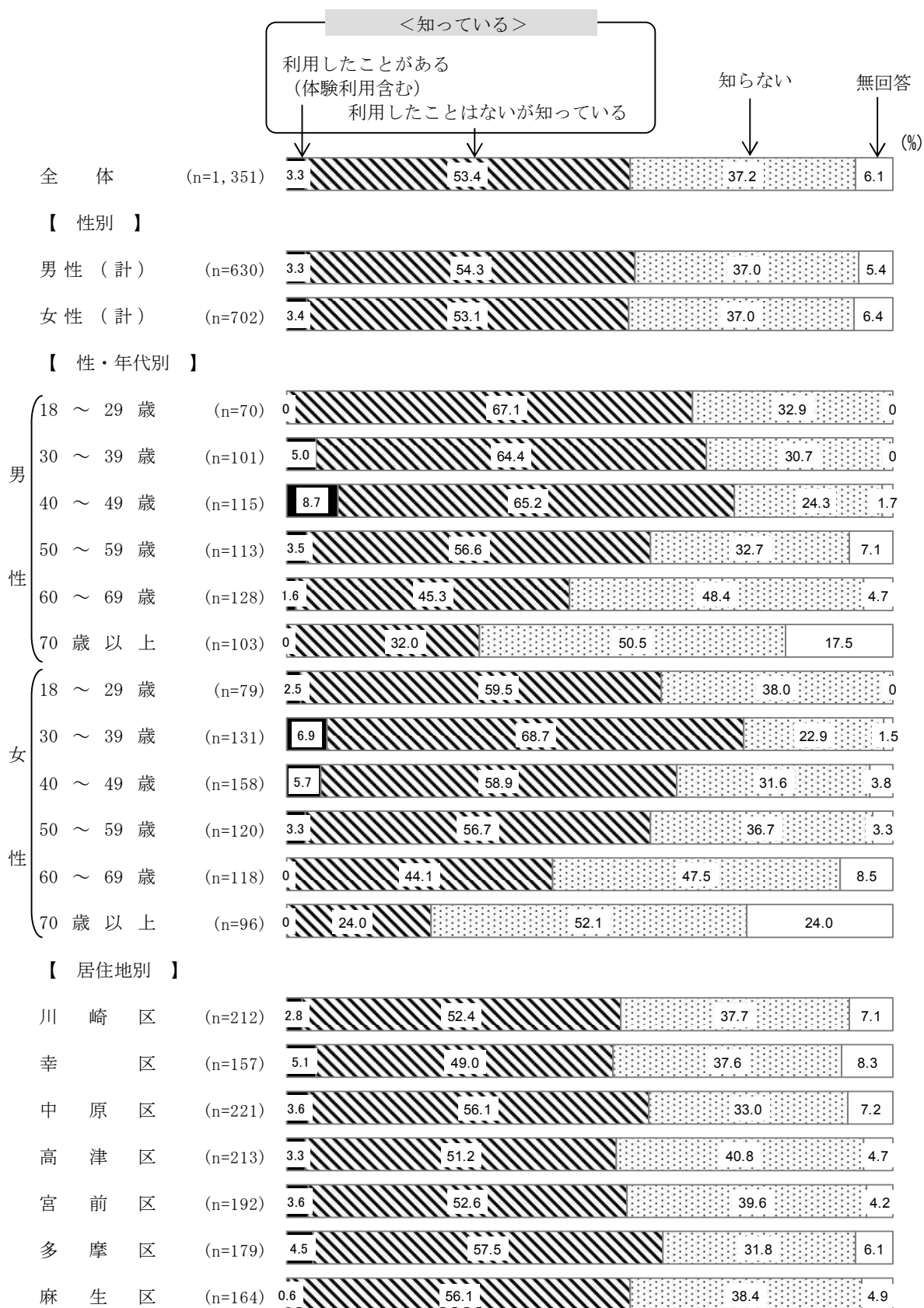
問12 固定電話や携帯電話等の通信事業者では、災害時に家族や知人との間での安否確認や避難場所の連絡などをスムーズに行うため、次のようなサービスを提供しています。あなたは「災害用伝言板」を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）

図表5-5 「災害用伝言版」の認知・利用経験



「災害用伝言版」は、「利用したことがある（体験利用含む）」が3.3%、「利用したことはないが知っている」（53.4%）を合わせた「知っている」が56.7%となっている。

図表5-6 「災害用伝言版」の認知・利用経験(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男女共に、30～39歳と40～49歳で、「知っている」の割合が高い。
また、男女とも70歳以上の「知っている」の割合が特に低い。

居住区別では、特に目立った点は見られない。

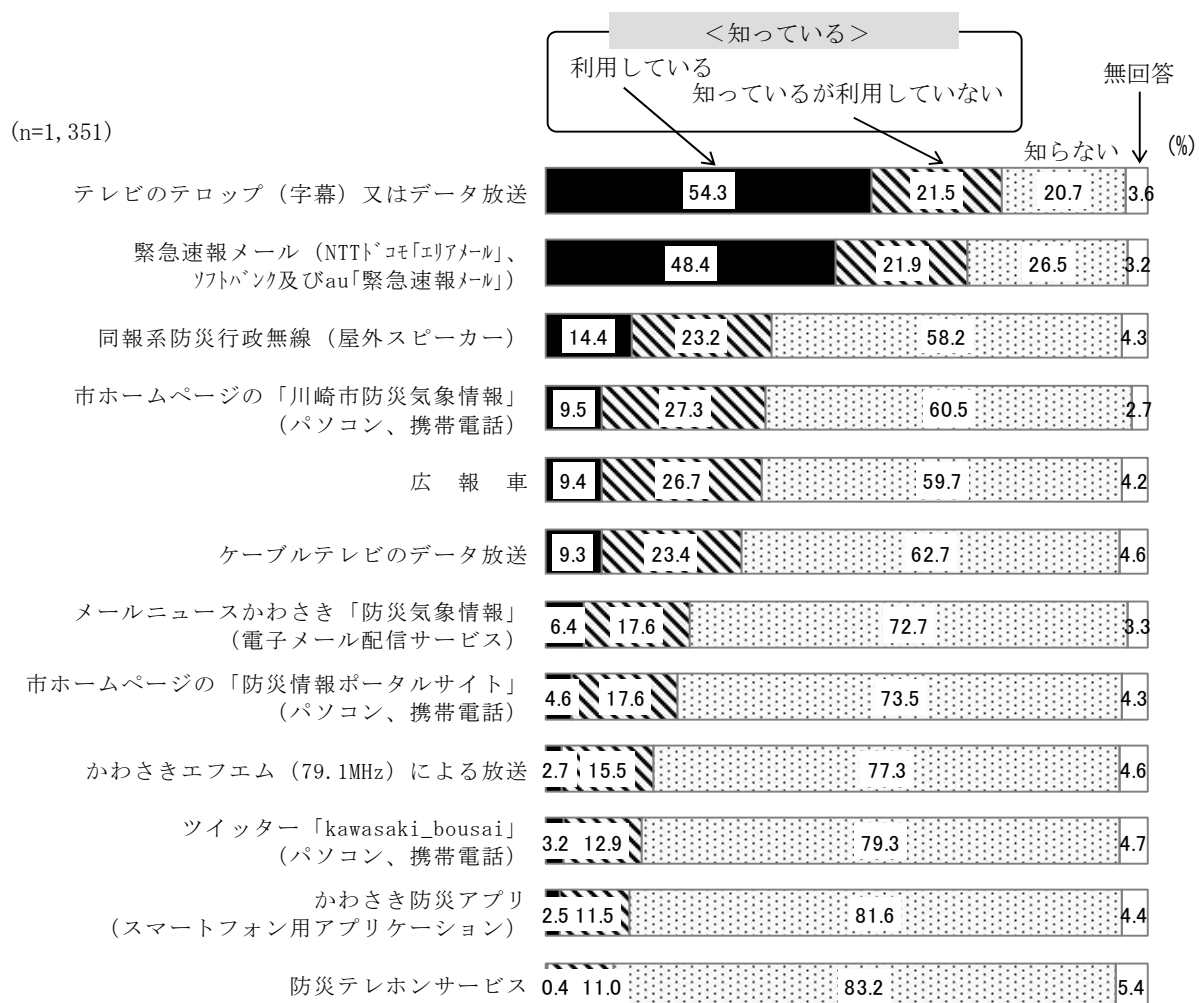
5-4 川崎市の災害情報の入手手段の認知・利用経験

◎「テレビのテロップ（字幕）又はデータ放送」を

「知っている」が75.8%、「利用したことがある」が54.3%

問13 本市では、災害に関する情報を様々な手段を用いて提供しています。あなたは次の情報入手方法について知っていますか。また、現在利用していますか。（○はそれぞれ1つずつ）

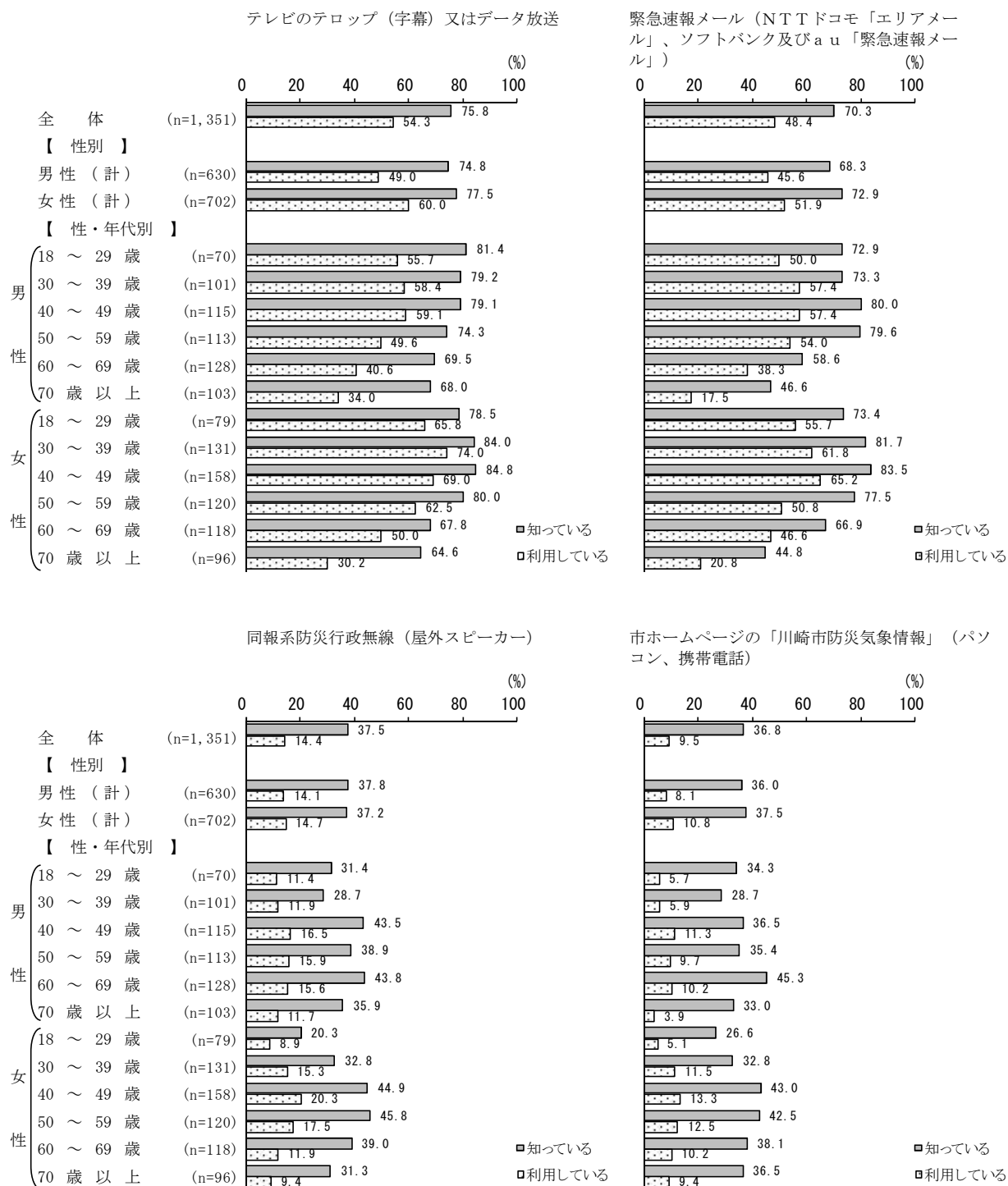
図表5-7 川崎市の災害情報の入手手段の認知・利用経験



川崎市の災害情報の入手手段として、「知っている」では、「テレビのテロップ（字幕）又はデータ放送」（75.8%）が最も高く、次いで「緊急速報メール（NTTドコモ「エリアメール」、ソフトバンク及びau「緊急速報メール」）」（70.3%）、「同報系防災行政無線（屋外スピーカー）」（37.5%）となっている。

また、「利用している」でも、「テレビのテロップ（字幕）又はデータ放送」（54.3%）が最も高く、次いで「緊急速報メール（NTTドコモ「エリアメール」、ソフトバンク及びau「緊急速報メール」）」（48.4%）、「同報系防災行政無線（屋外スピーカー）」（14.4%）となっている。

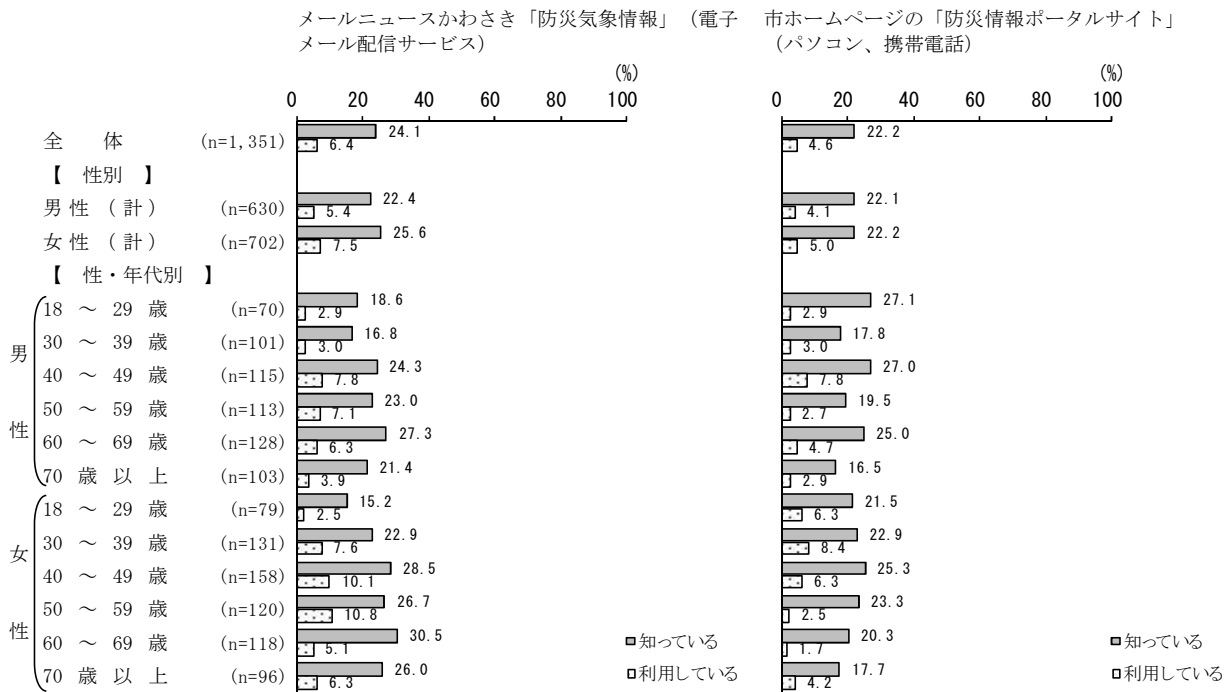
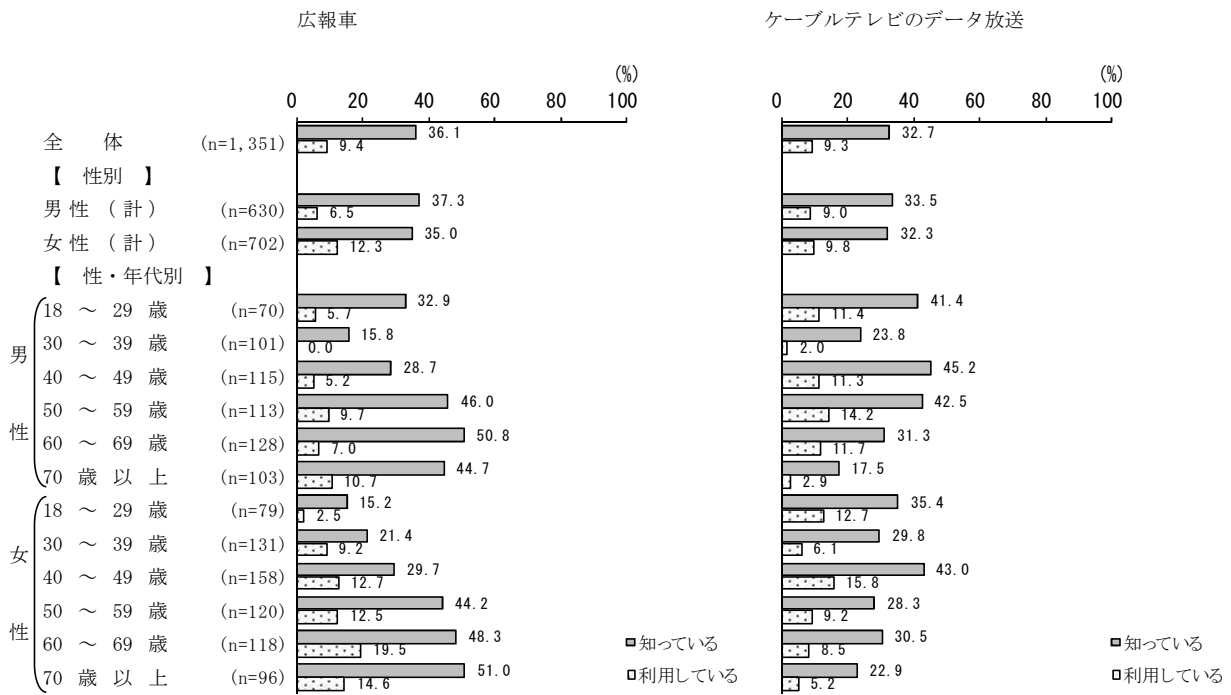
図表5-8 川崎市の災害情報の入手手段の認知・利用経験(性/年齢別、上位8項目)



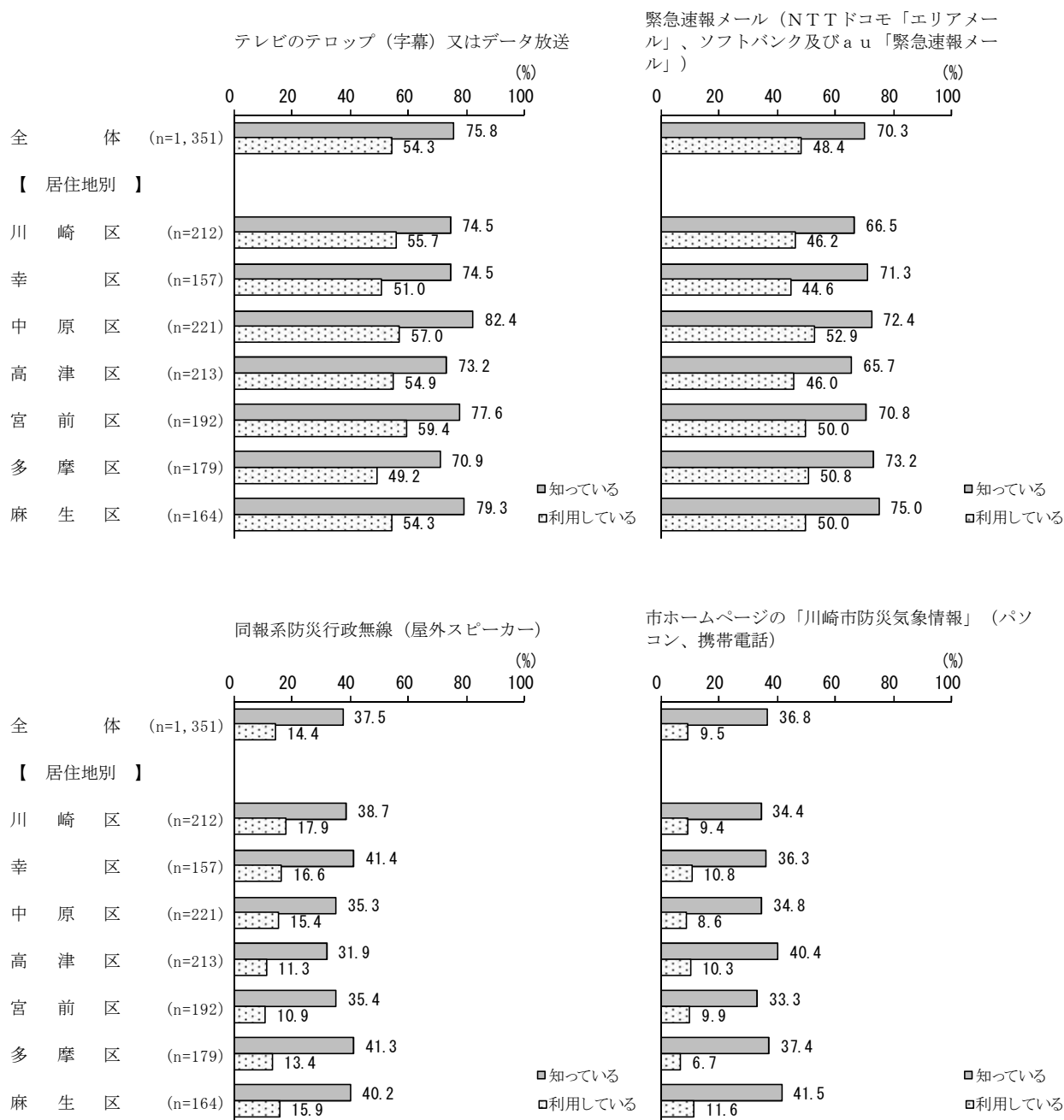
知っている手段を性/年齢別で見ると、「テレビのテロップ(字幕)又はデータ放送」は、女性の30~39歳(84.0%)、40~49歳(84.8%)で高い。「緊急速報メール」は、男性の40~49歳(80.0%)、50~59歳(79.6%)で高く、女性の30~39歳(81.7%)、40~49歳(83.5%)、50~59歳(77.5%)で高い。

利用している手段を性/年齢別で見ると、「テレビのテロップ(字幕)又はデータ放送」は、女性の18~29歳(65.8%)、30~39歳(74.0%)、40~49歳(69.0%)で高い。「緊急速報メール」は、女性の30~39歳(61.8%)、40~49歳(65.2%)で高い。

(第2回アンケート)



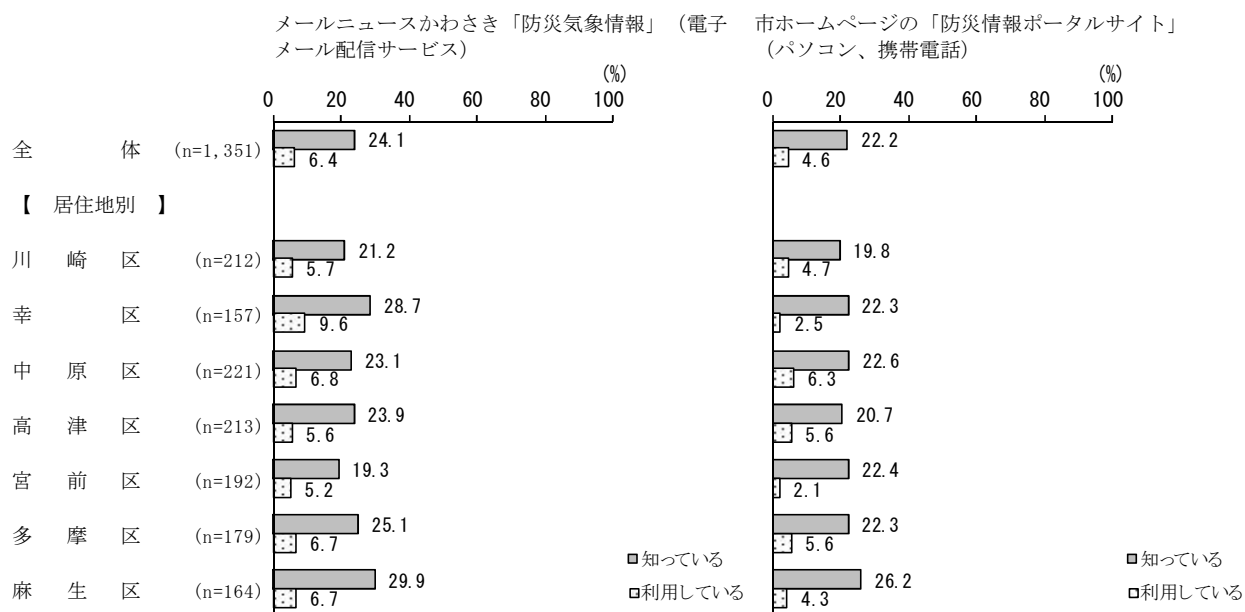
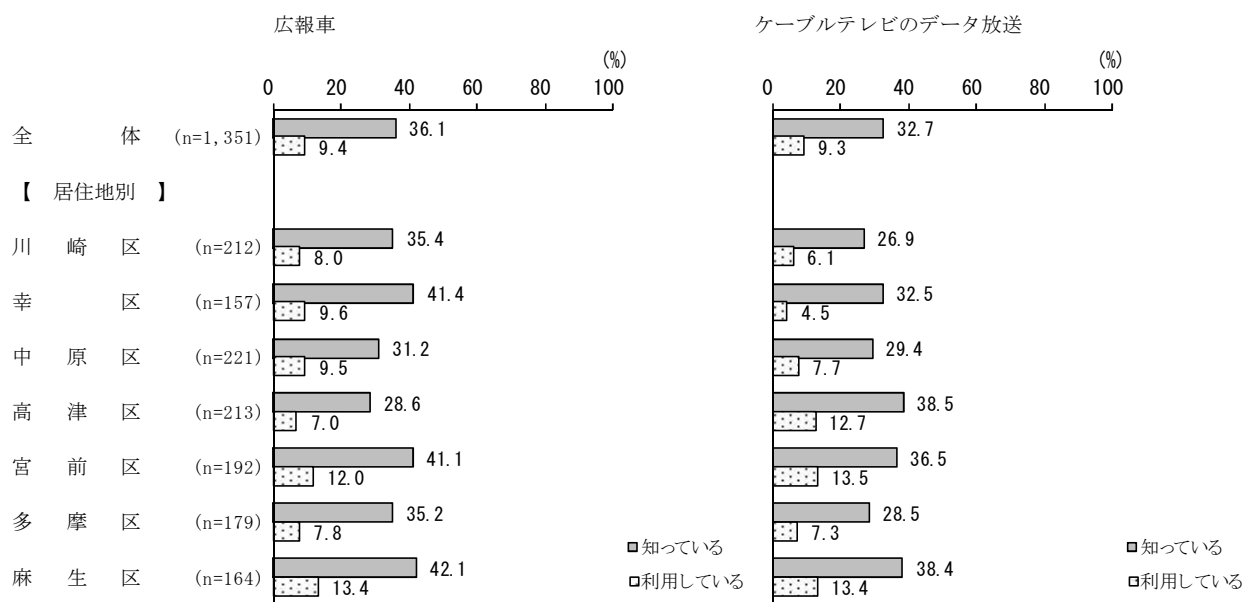
図表5-9 川崎市の災害情報の入手手段の認知・利用経験（居住区別、上位8項目）



知っている手段を居住区別で見ると、「テレビのテロップ（字幕）又はデータ放送」は、中原区（82.4%）で高い。

利用している手段を居住区別で見ると、特に目立った点は見られない。

(第2回アンケート)



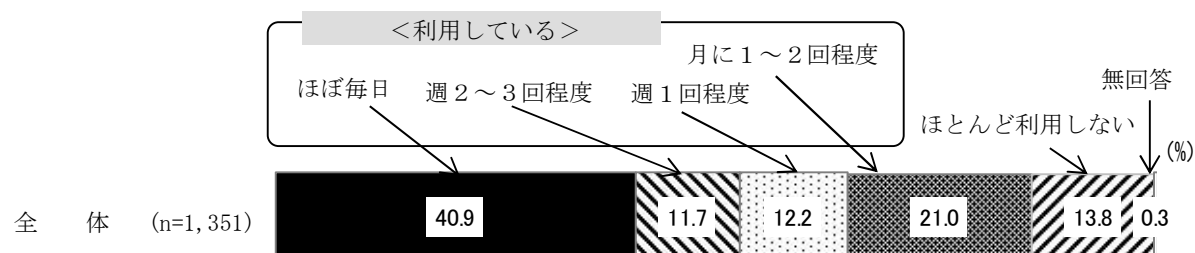
6 川崎市の都市交通について

6-1 鉄道の利用頻度

◎「ほぼ毎日」が40.9%

問16 あなたは普段、どの程度鉄道を利用していますか。(○は1つ)

図表6-1 鉄道の利用頻度

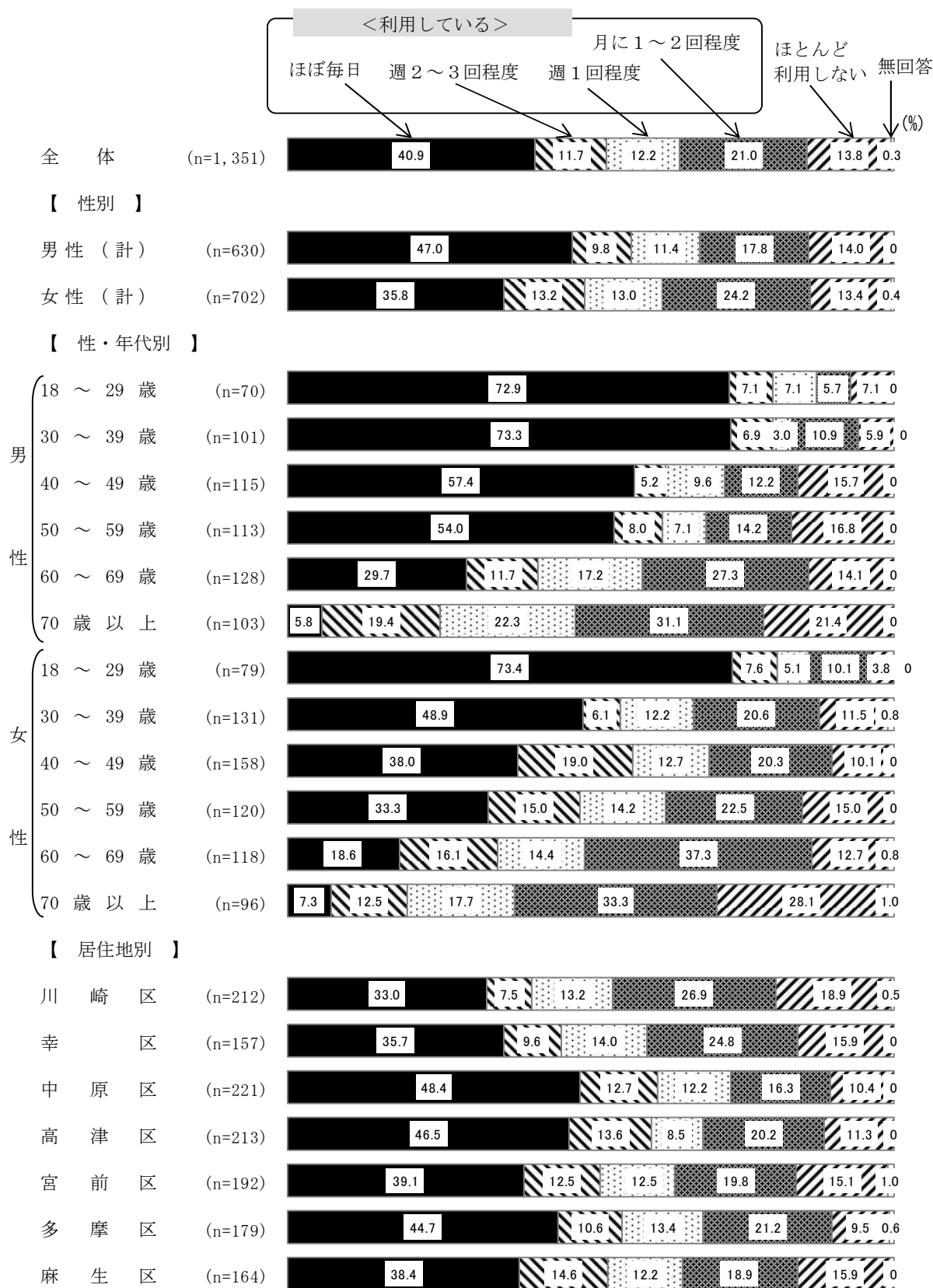


鉄道の利用頻度は、「ほぼ毎日」が40.9%と最も多く、次いで「月に1～2回程度」が21.0%、「週1回程度」が12.2%、「週2～3回程度」が11.7%となっている。

なお、これらをあわせた<利用している>は85.8%となっている。一方、「ほとんど利用しない」は13.8%となっている。

(第2回アンケート)

図表6-2 鉄道の利用頻度 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用している」は、男性の30～39歳（94.1%）、女性の18～29歳（96.2%）で高い。

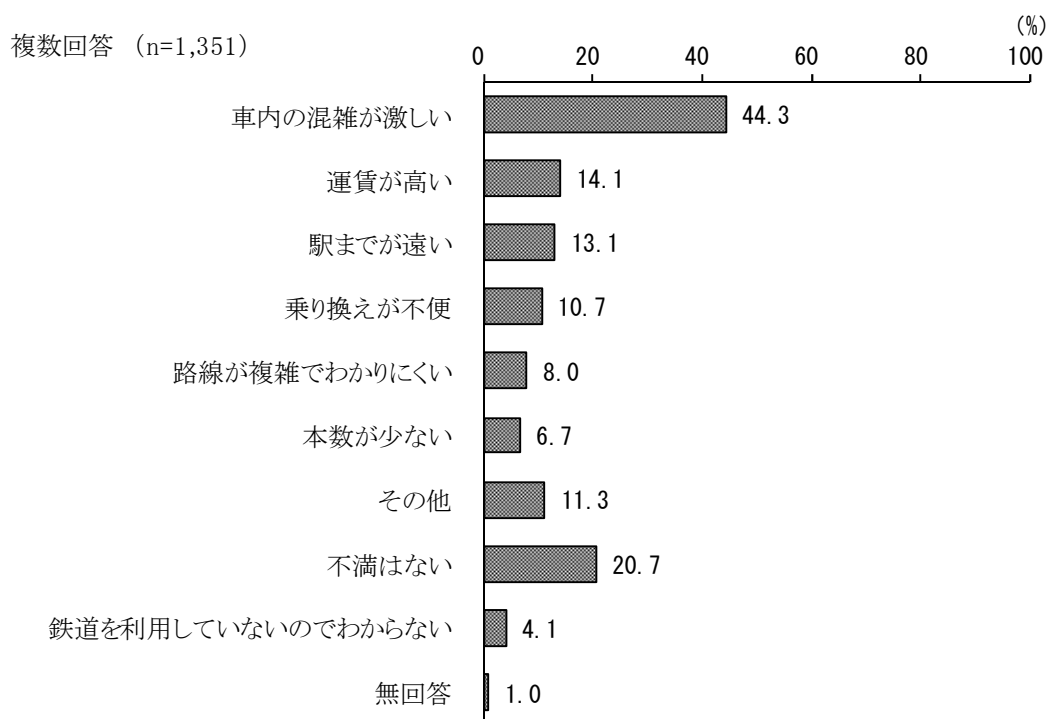
居住区別では、「利用している」は、多摩区（89.9%）で高い。

6－2 鉄道利用の不満点

◎「車内の混雑が激しい」が44.3%

問17 鉄道利用において、あなたが不満と感じている点は次のうちどれですか。(○は2つまで)

図表6－3 鉄道利用の不満点

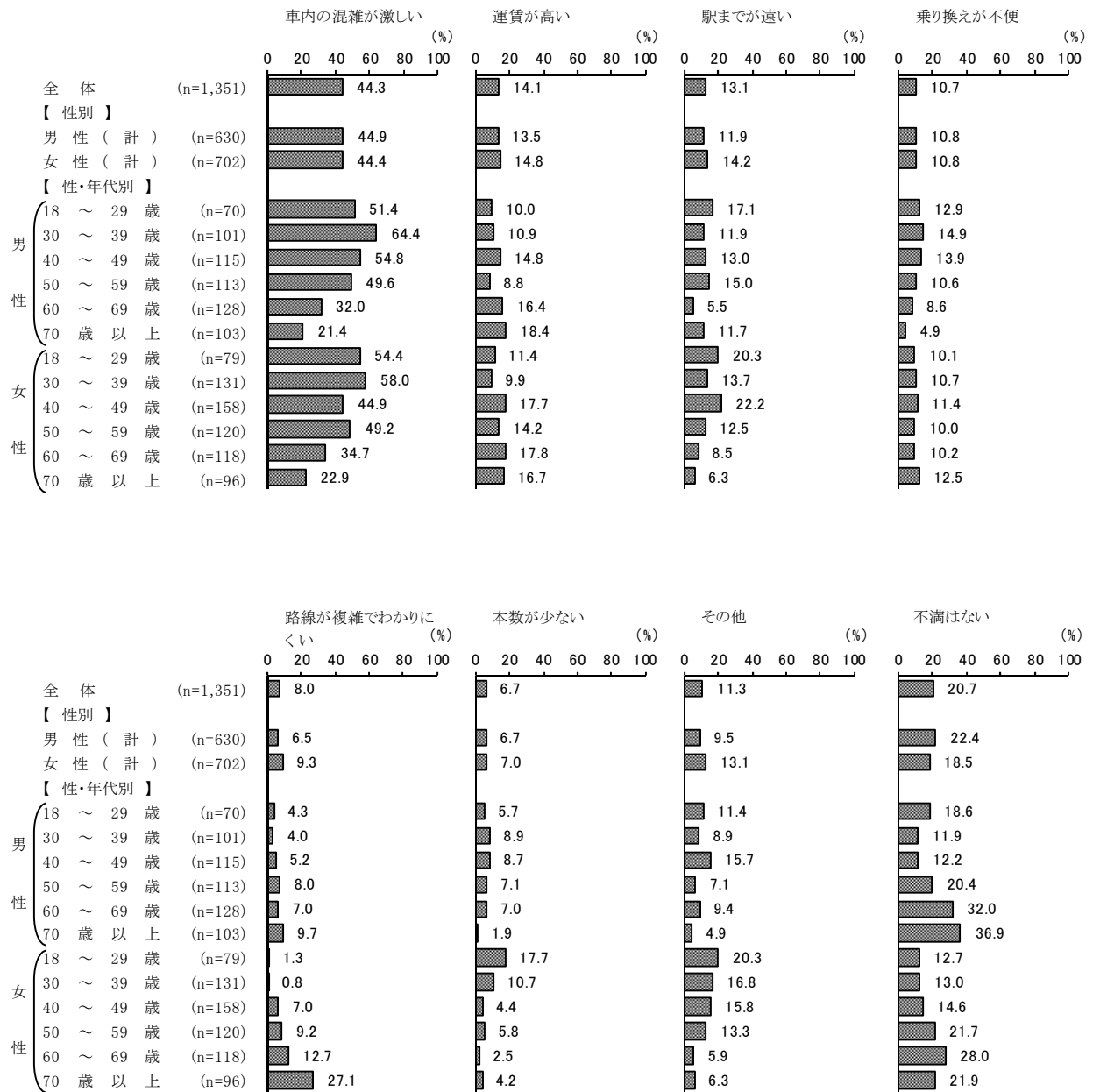


鉄道利用において不満と感じている点は、「車内の混雑が激しい」(44.3%)が4割台と最も多くなっている。次いで、「運賃が高い」(14.1%)、「駅までが遠い」(13.1%)、「乗り換えが不便」(10.7%)の順となっている。

一方で、「不満はない」の回答も20.7%と約2割見られた。

図表6-4 鉄道利用の不満点（性／年齢別）

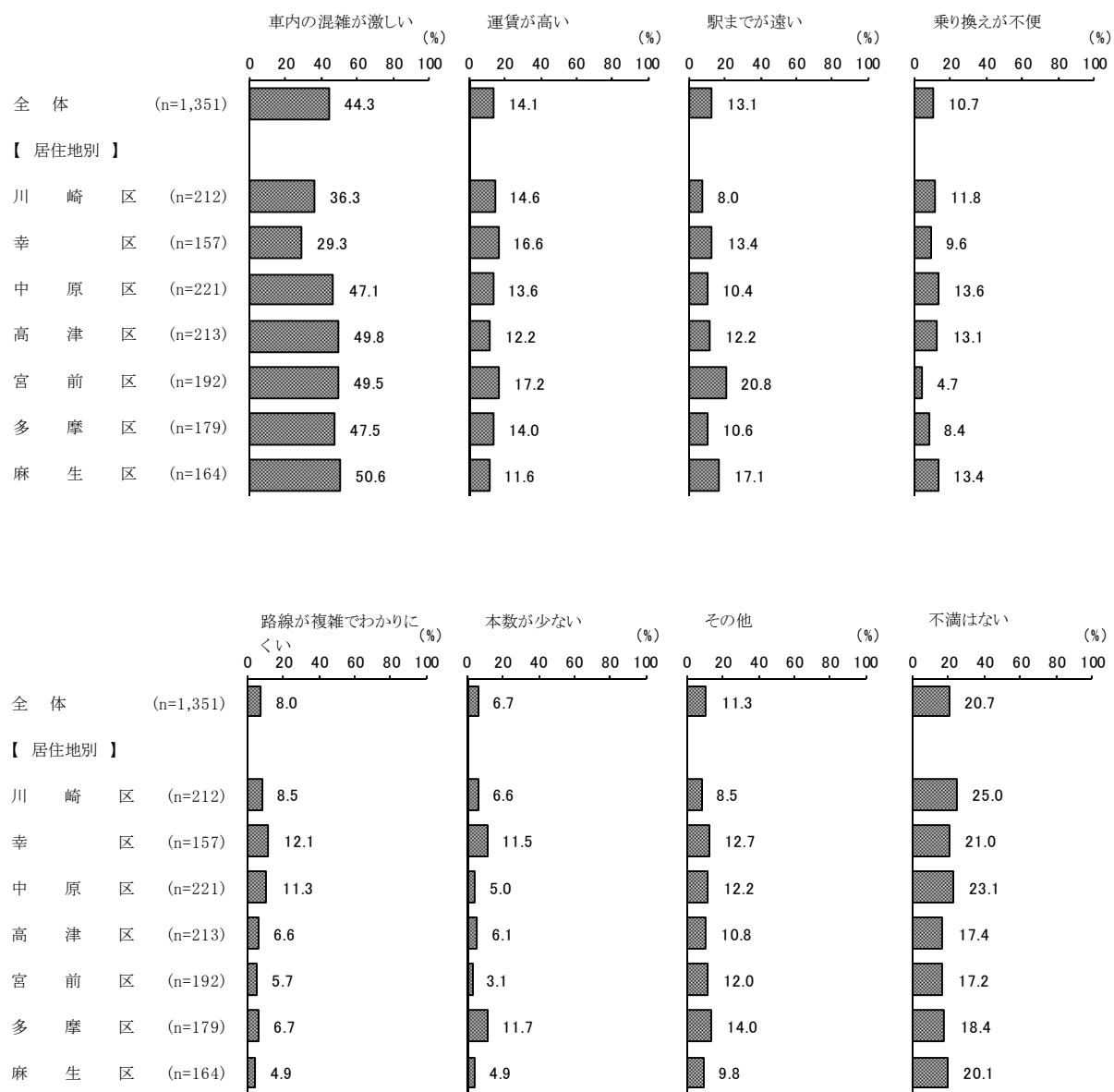
* 「利用していないのでわからない」を除く8項目



性／年齢別では、「車内の混雑が激しい」は、男性の30～39歳（64.4%）、40～49歳（54.8%）で高く、女性の30～39歳（58.0%）で高い。

図表6－5 鉄道利用の不満点（居住区別）

* 「利用していないのでわからない」を除く8項目



居住区別では、「車内の混雑が激しい」は、川崎区、幸区以外の5区で高い。

6-3 バスの利用頻度

◎＜利用している＞が45.0%

問18 あなたは普段、どの程度バスを利用していますか。(○は1つ)

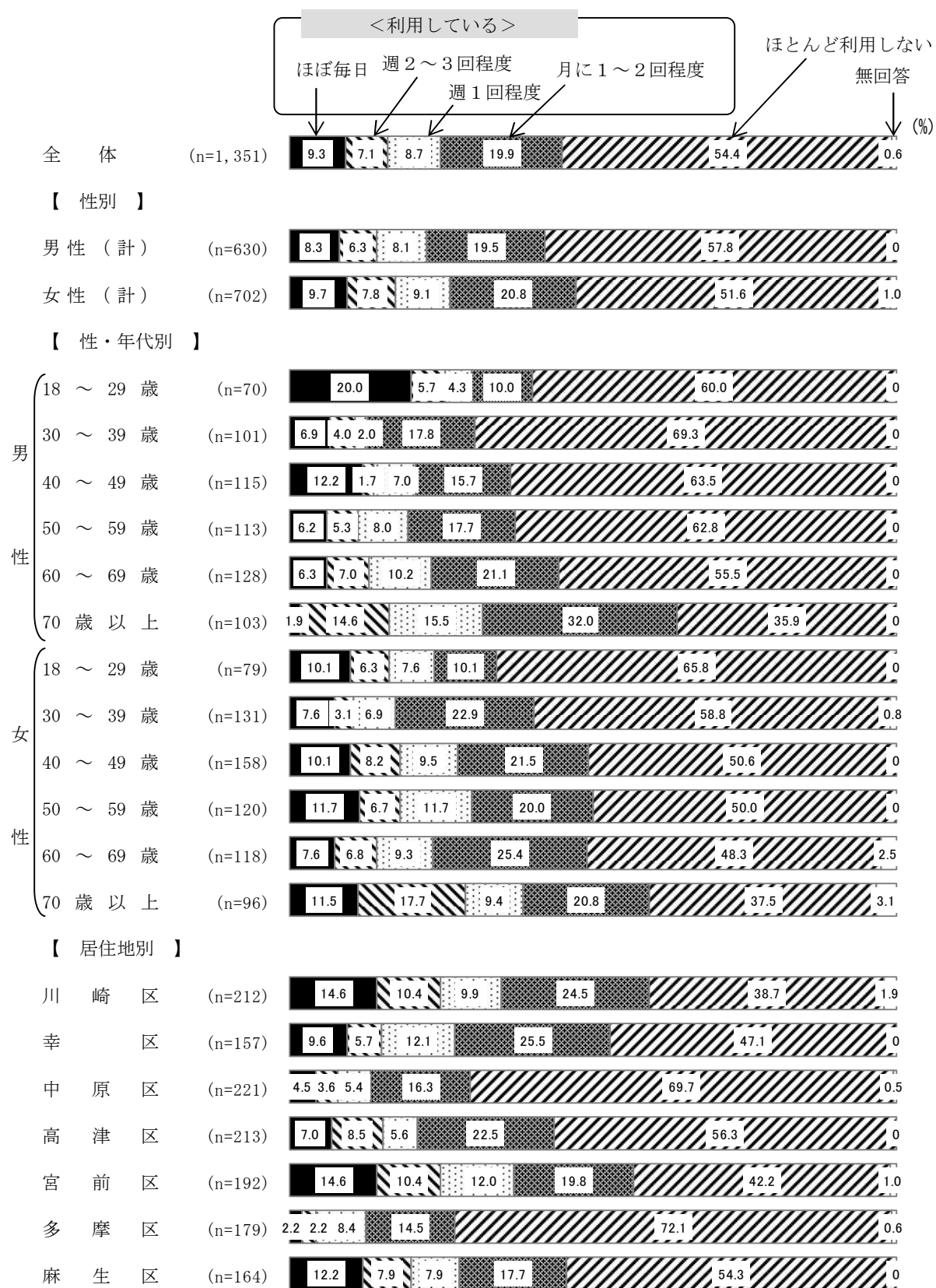
図表6-6 バスの利用頻度



バスの利用頻度は、「月に1～2回程度」が19.9%、「ほぼ毎日」が9.3%、「週1回程度」が8.7%、「週2～3回程度」が7.1%となっている。

なお、これらを合わせた＜利用している＞は45.0%となっている。一方、「ほとんど利用しない」は54.4%となっている。

図表6-7 バスの利用頻度(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用している」は、男女共に70歳以上で高い。(男性：64.1%、女性：59.4%)

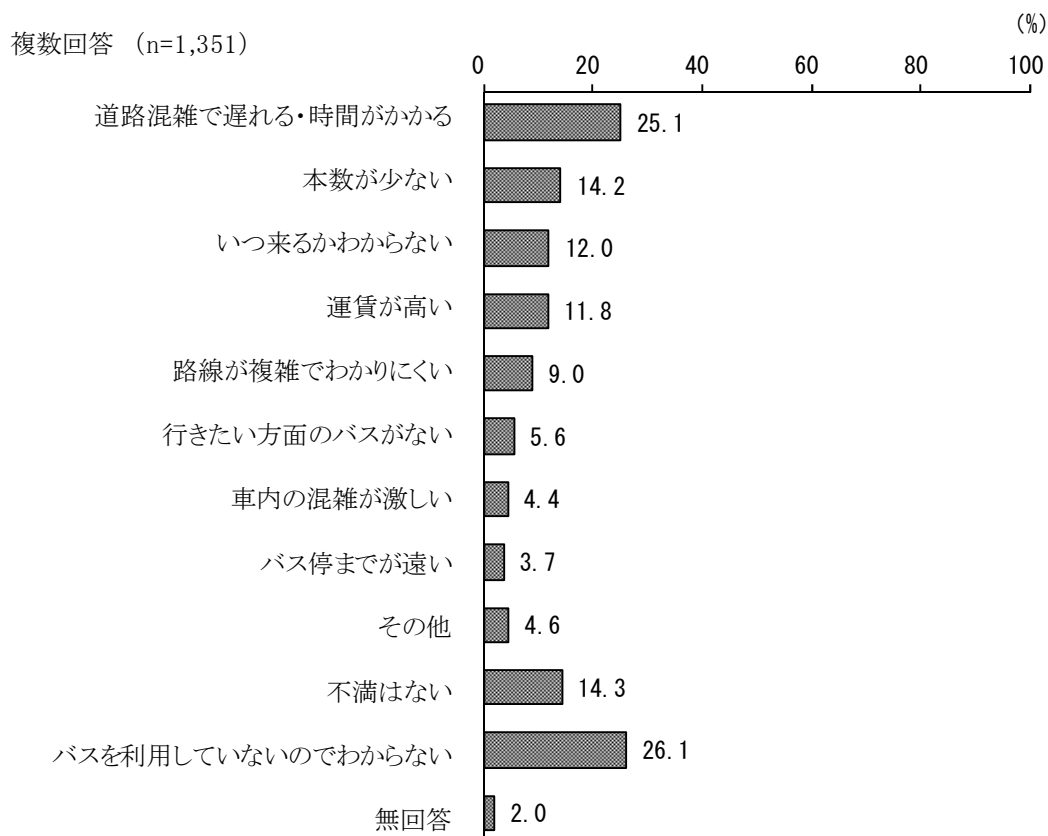
居住区別では、「利用している」は、川崎区(59.4%)、宮前区(56.8%)で高い。

6-4 バス利用の不満点

◎「道路混雑で遅れる・時間がかかる」が25.1%

問19 バス利用において、あなたが不満と感じている点は次のうちどれですか。(○は2つまで)

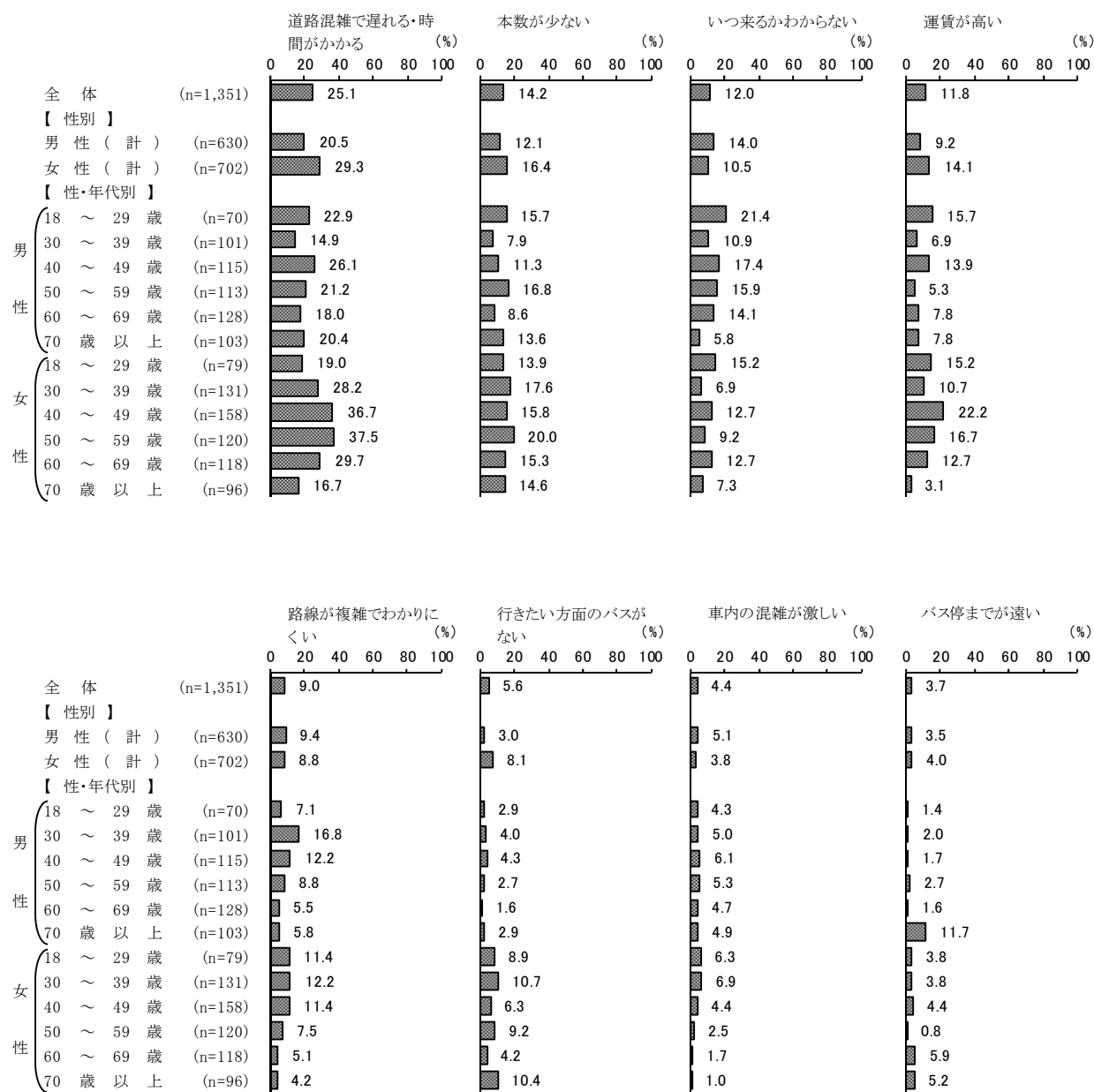
図表6-8 バス利用の不満点



バス利用において不満と感じている点は、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」が25.1%と最も高くなっている。次いで、「本数が少ない」(14.2%)、「いつ来るかわからない」(12.0%)、「運賃が高い」(11.8%)の順となっている。

図表6-9 バス利用の不満点(性/年齢別)

* 「その他」「不満はない」「利用していないのでわからない」を除く8項目

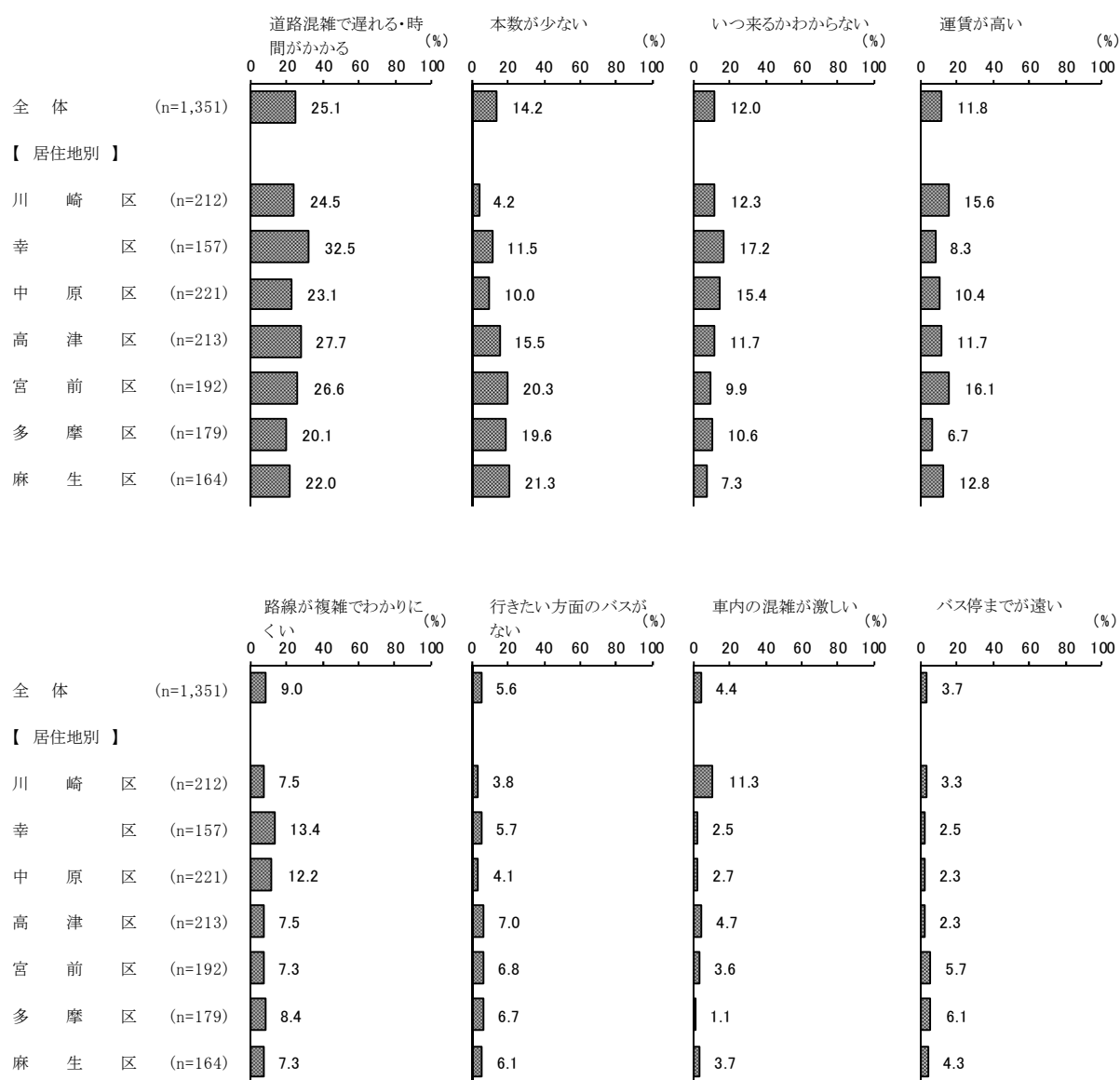


性/年齢別では、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」は、女性の40～49歳(36.7%)、50～59歳(37.5%)で高い。

(第2回アンケート)

図表6-10 バス利用の不満点(居住区別)

*「その他」「不満はない」「利用していないのでわからない」を除く8項目



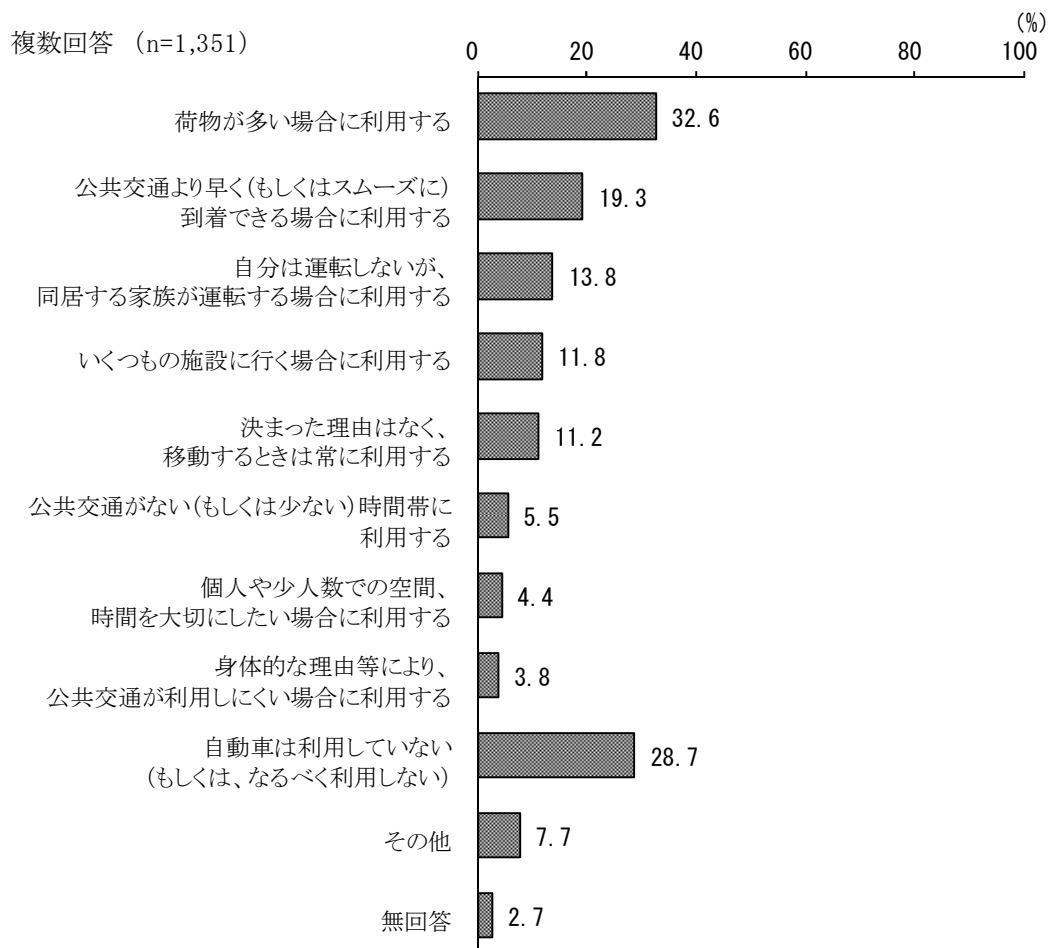
居住区別では、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」は、幸区(32.5%)で高い。

6-5 どのような場合に自動車を利用するか

◎「荷物が多い場合に利用する」が32.6%

問20 あなたはどのような場合に（理由で）、自動車を利用していますか。（○は2つまで）

図表6-11 どのような場合に自動車を利用するか



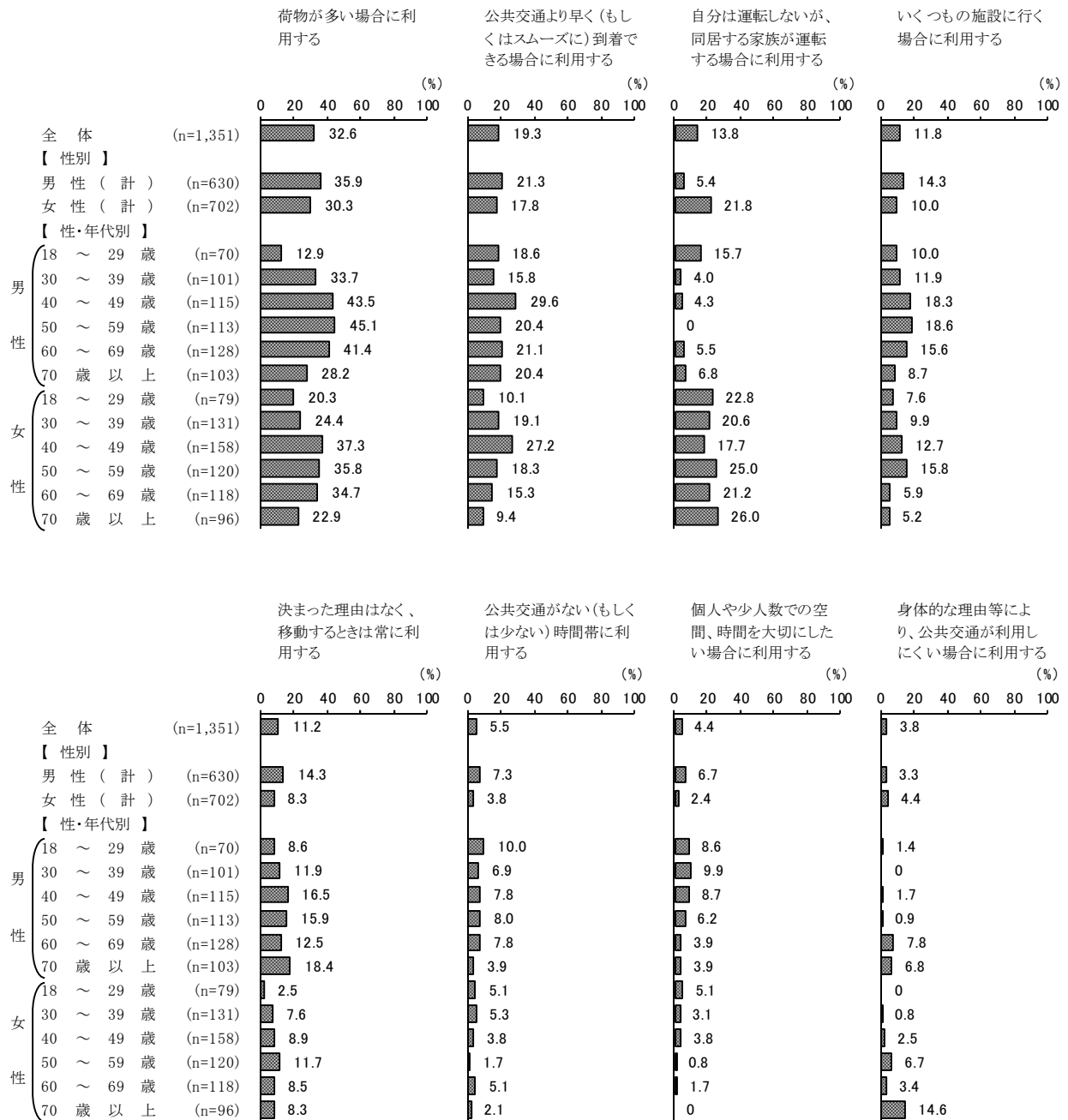
どのような場合に自動車を利用するかについては、「荷物が多い場合に利用する」が32.6%と最も高くなっている。次いで、「公共交通より早く(もしくはスムーズに)到着できる場合に利用する」(19.3%)、「自分は運転しないが、同居する家族が運転する場合に利用する」(13.8%)の順となっている。

一方、「自動車は利用していない(もしくは、なるべく利用しない)」(28.7%)は3割弱見られた。

(第2回アンケート)

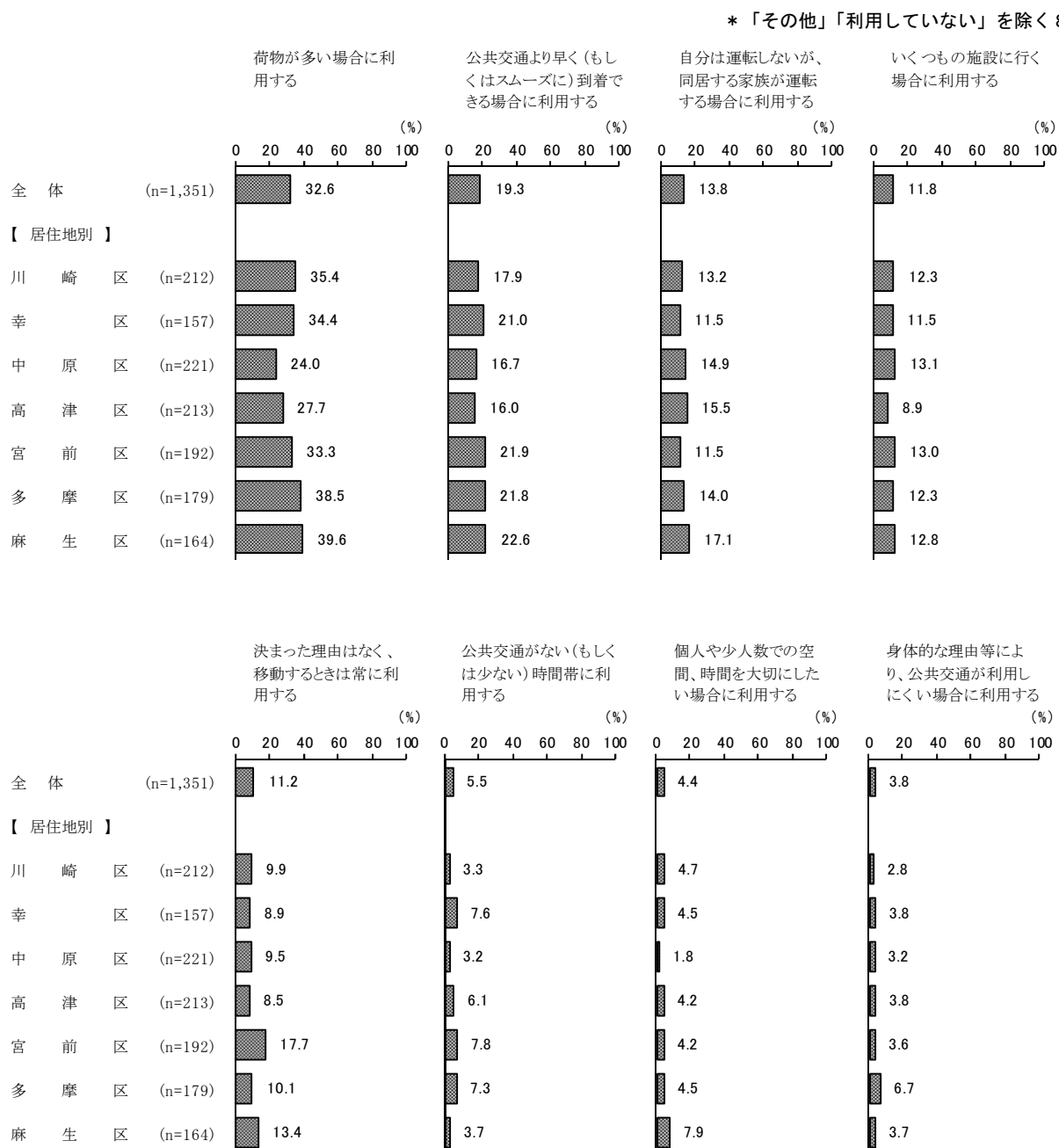
図表6-12 どのような場合に自動車を利用するか(性/年齢別)

* 「その他」「利用していない」を除く8項目



性/年齢別では、「荷物が多い場合に利用する」は、男性の40～49歳(43.5%)、50～59歳(45.1%)、60～69歳(41.4%)で高い。

図表6-13 どのような場合に自動車を利用するか(居住区別)



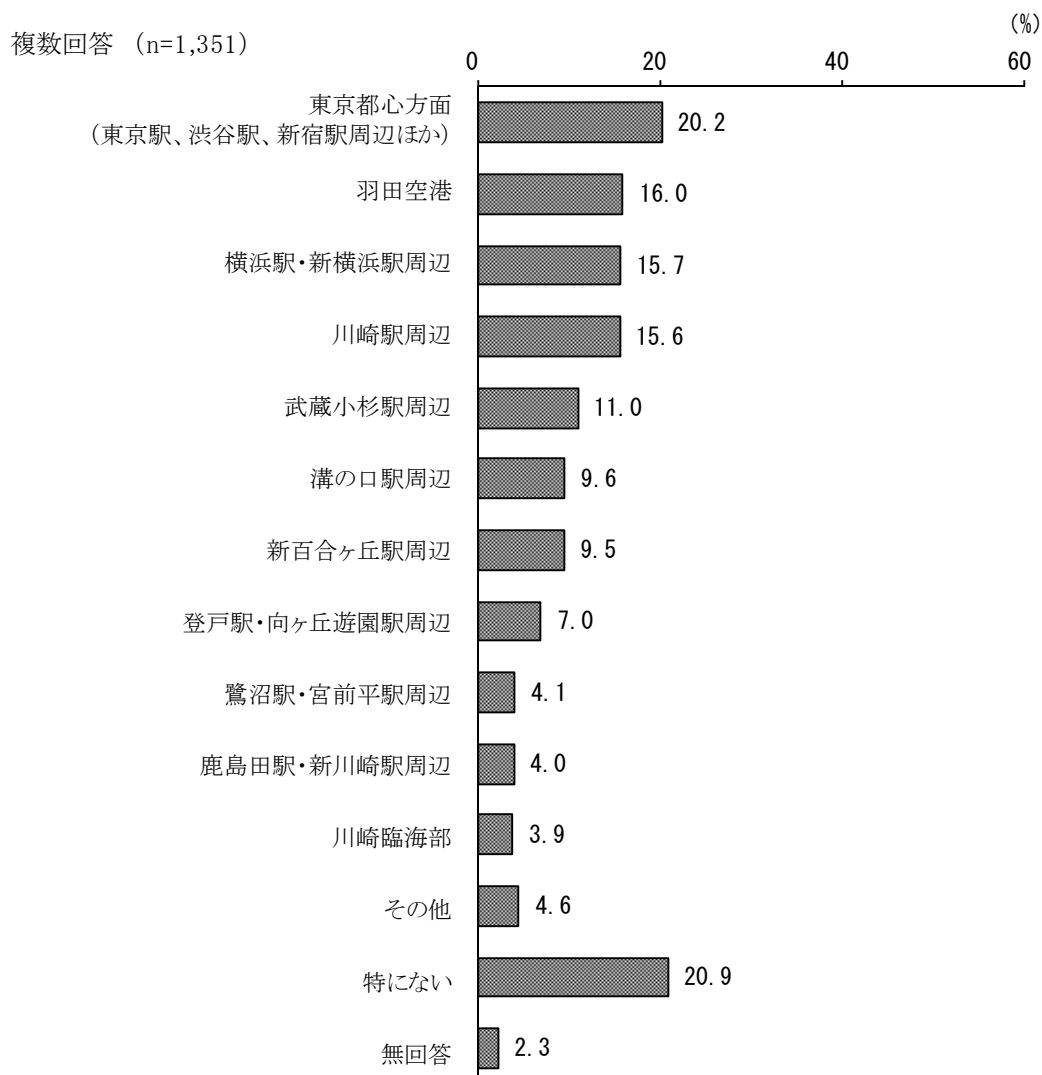
居住区別では、「荷物が多い場合に利用する」は、多摩区(38.5%)、麻生区(39.6%)で高い。

6-6 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所

◎「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」が20.2%

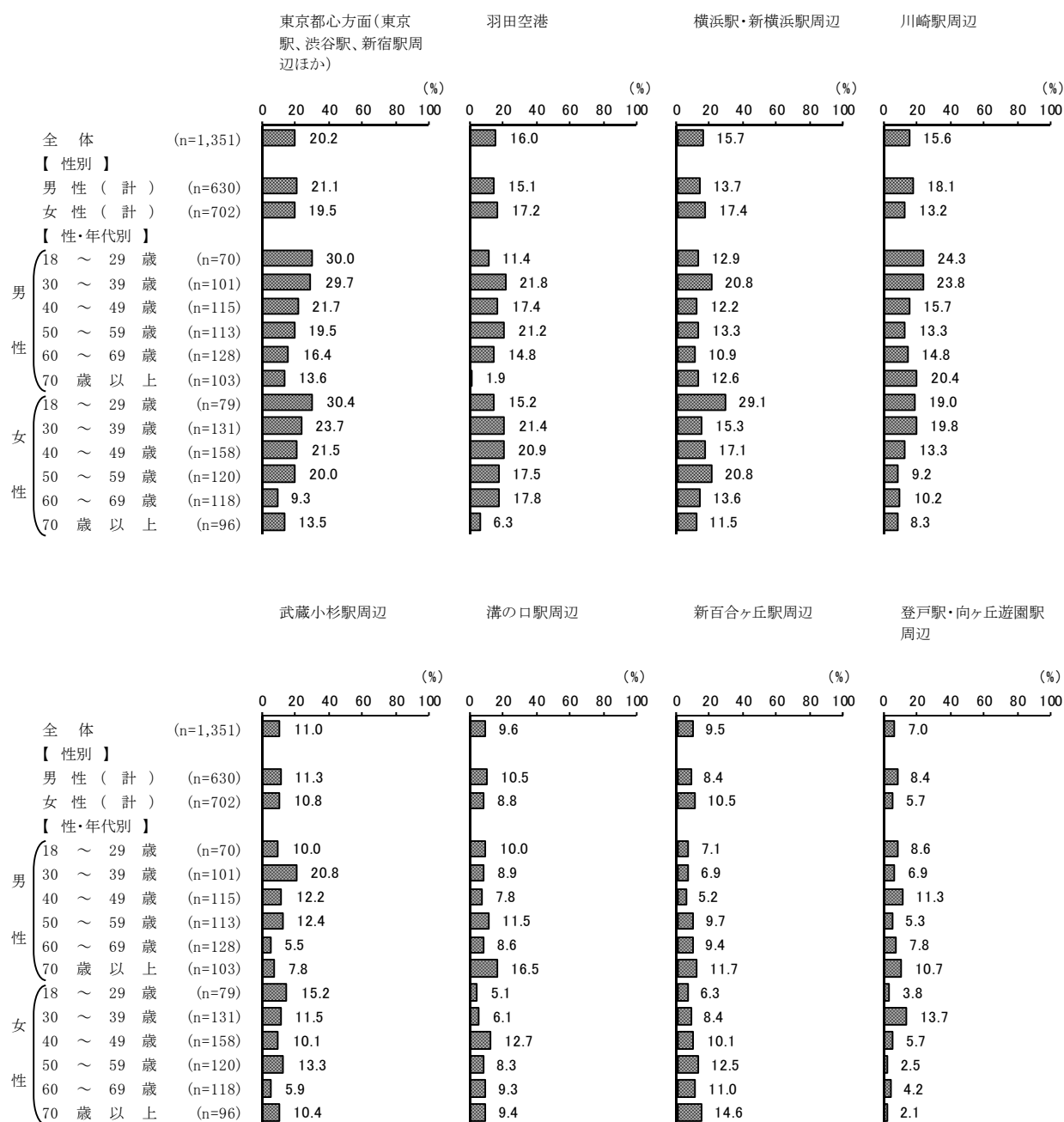
問2-1 自宅から目的地への交通利便性を考えた時、今よりもアクセスが向上する（行きやすくなる）と思う場所はどこですか。※鉄道・バス・自動車など、あなたが普段利用する交通手段でお考えください。（○は2つまで）

図表6-14 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所



今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所は、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」が20.2%と最も多くなっている。次いで、「羽田空港」（16.0%）、「横浜駅・新横浜駅周辺」（15.7%）、「川崎駅周辺」（15.6%）の順となっている。

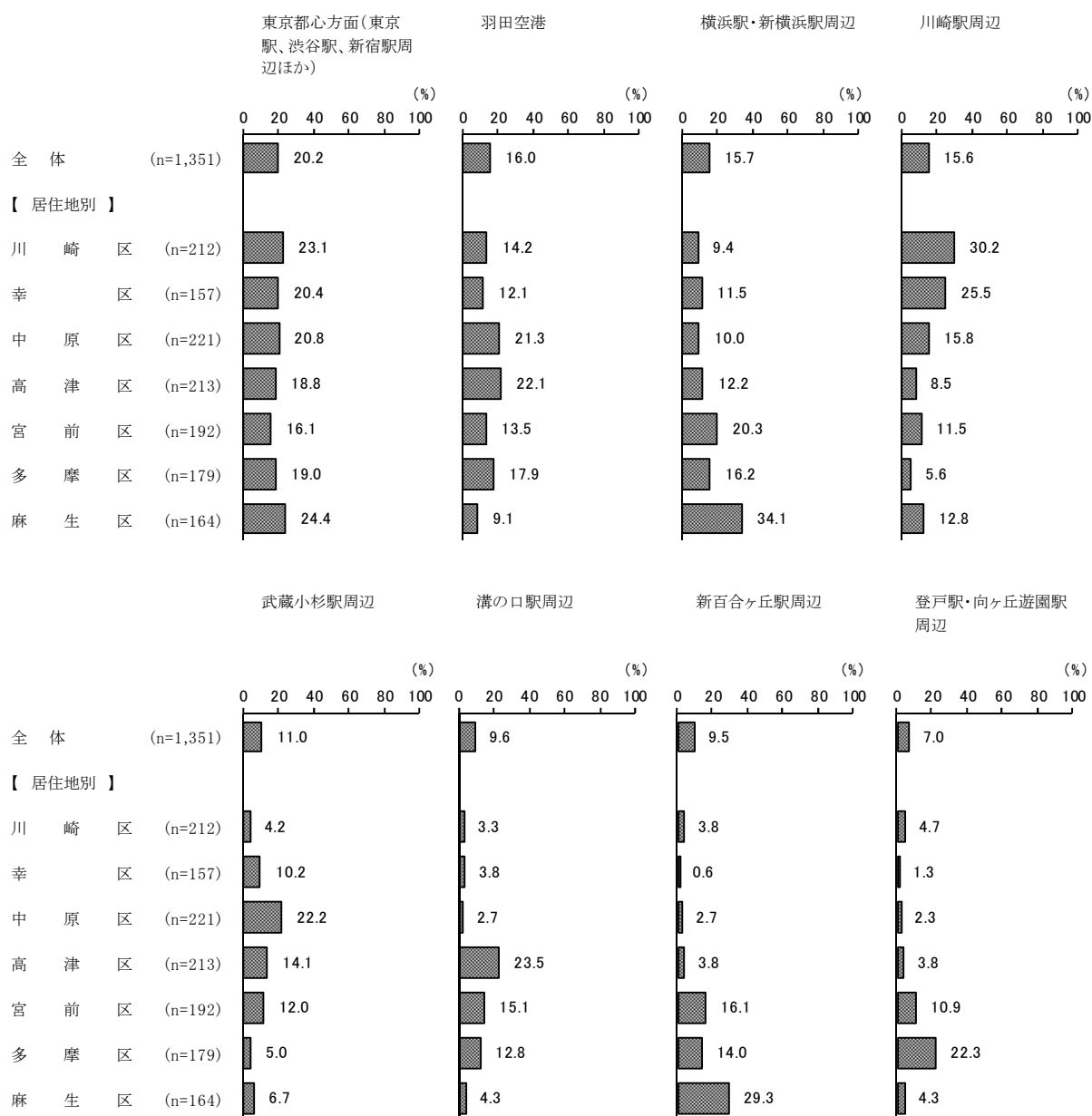
図表6-15 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」は、男性の18～29歳（30.0%）、30～39歳（29.7%）で高く、女性の18～29歳（30.4%）で高い。

(第2回アンケート)

図表6-16 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所（居住区別、上位8項目）



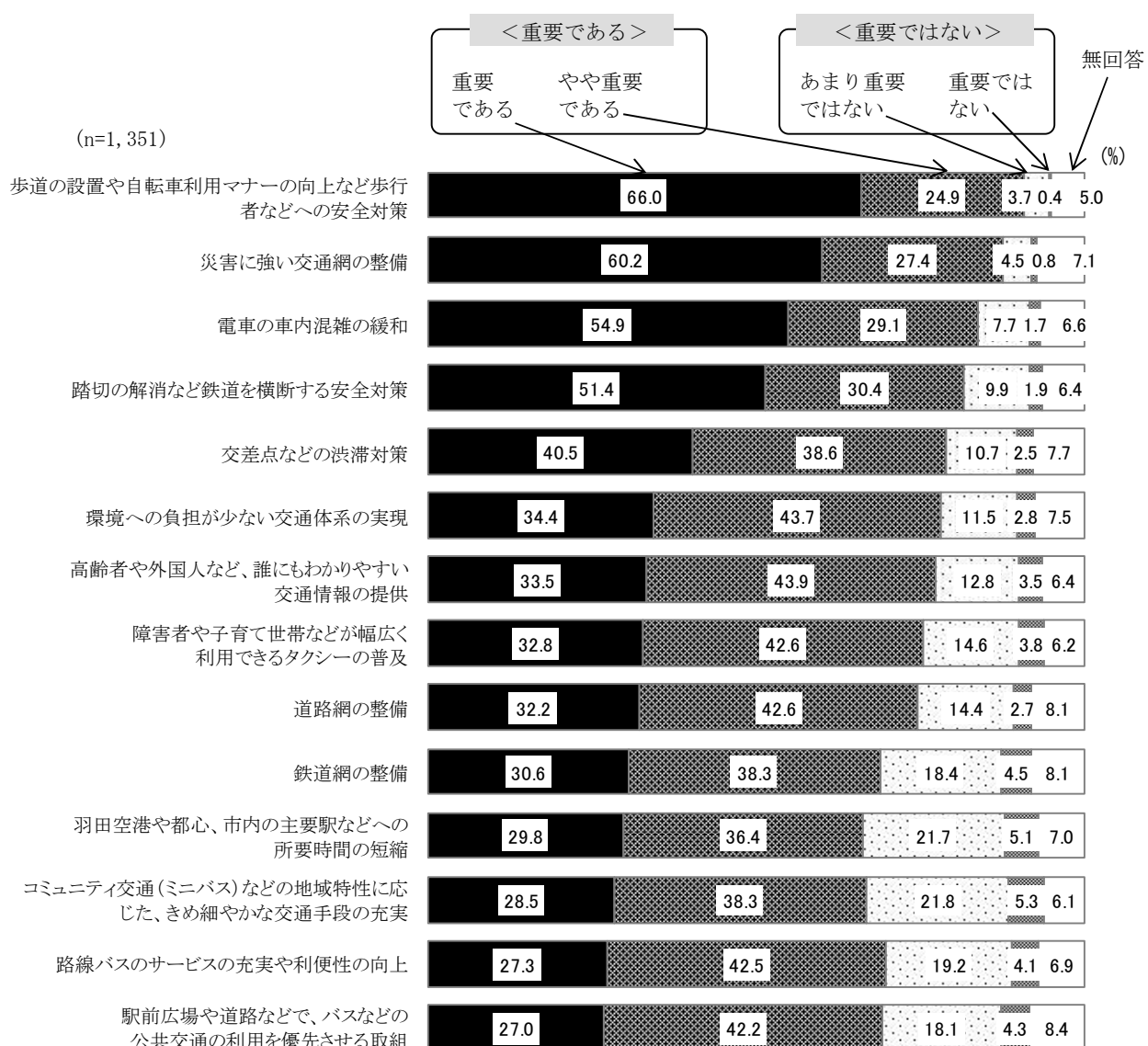
居住区別では、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」は、麻生区（24.4%）、川崎区（23.1%）で高い。

6-7 市の交通政策について

◎＜重要である＞は、「歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策」が90.9%

問22 あなたは、今後の交通政策において、次の取組について、それぞれどの程度重要だと考えますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表6-17 市の交通政策について

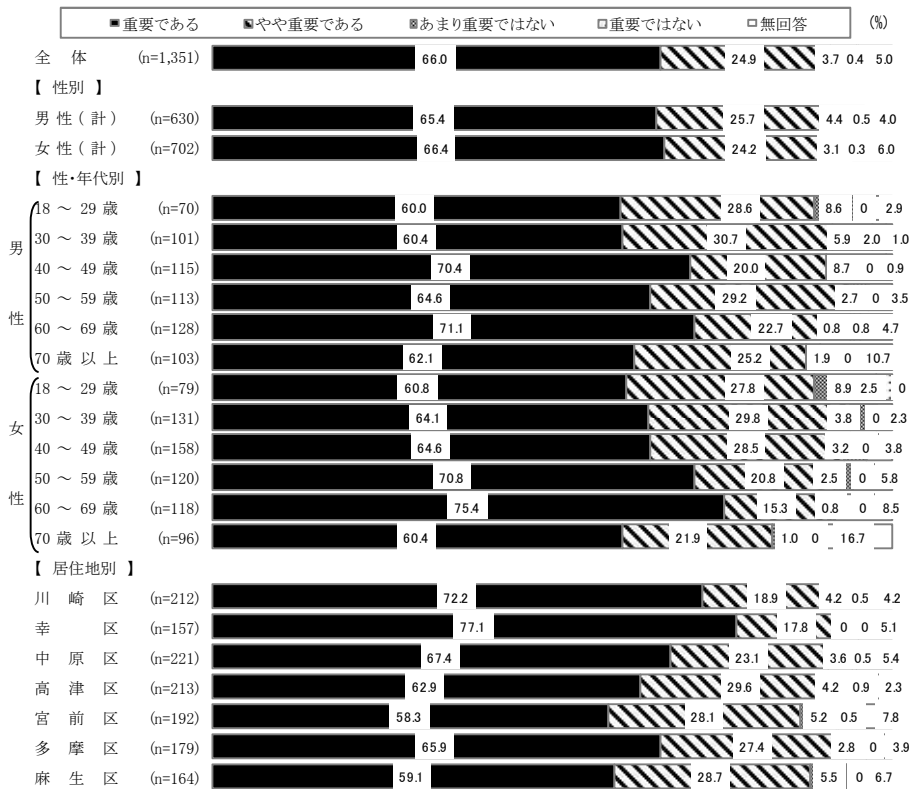


市の交通政策については、「重要である」と「やや重要である」を合わせた＜重要である＞は、「歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策を推進する」(90.9%)が最も多く、次いで「災害に強い交通網の整備」(87.6%)の順となっている。

(第2回アンケート)

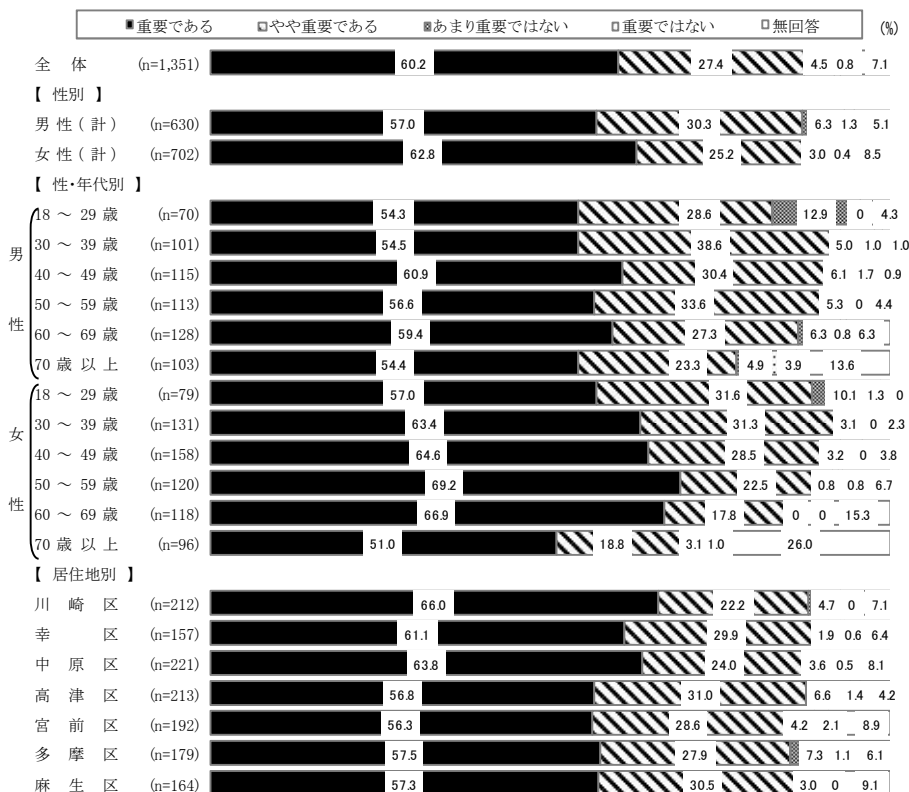
図表6-18 市の交通政策について(性/年齢別・居住区別)

歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策



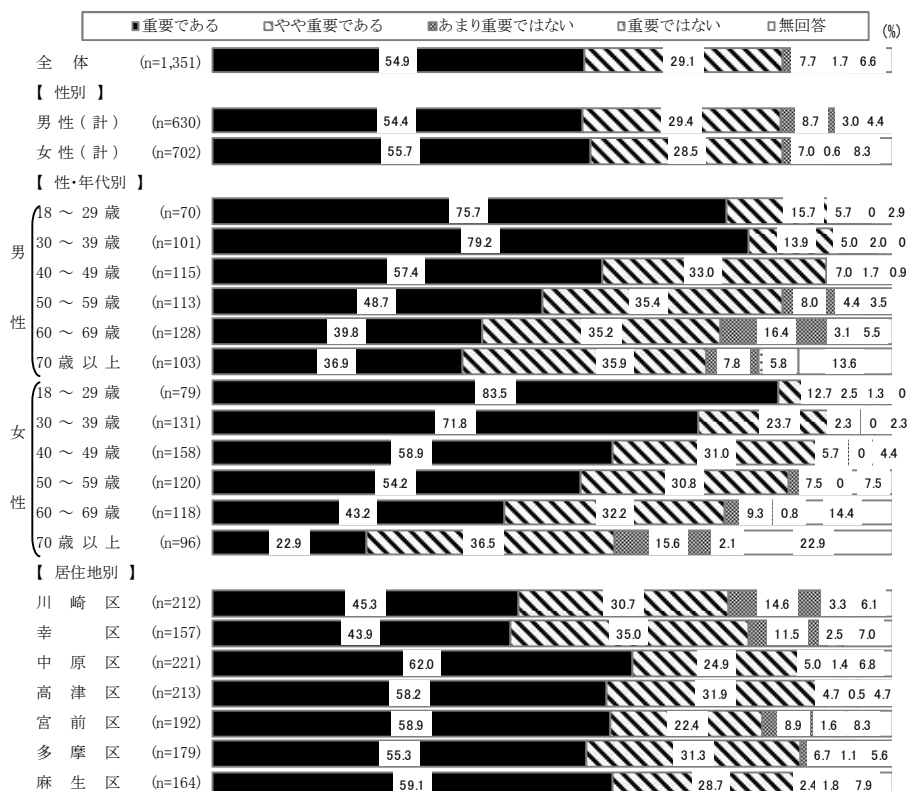
性/年齢別では、女性の60～69歳(75.4%)で「重要である」が高い。
居住区別では、幸区(77.1%)で「重要である」が高い。

災害に強い交通網の整備



性/年齢別では、女性の50～59歳(69.2%)で「重要である」が高い。
居住区別では、川崎区(66.0%)で「重要である」が高い。

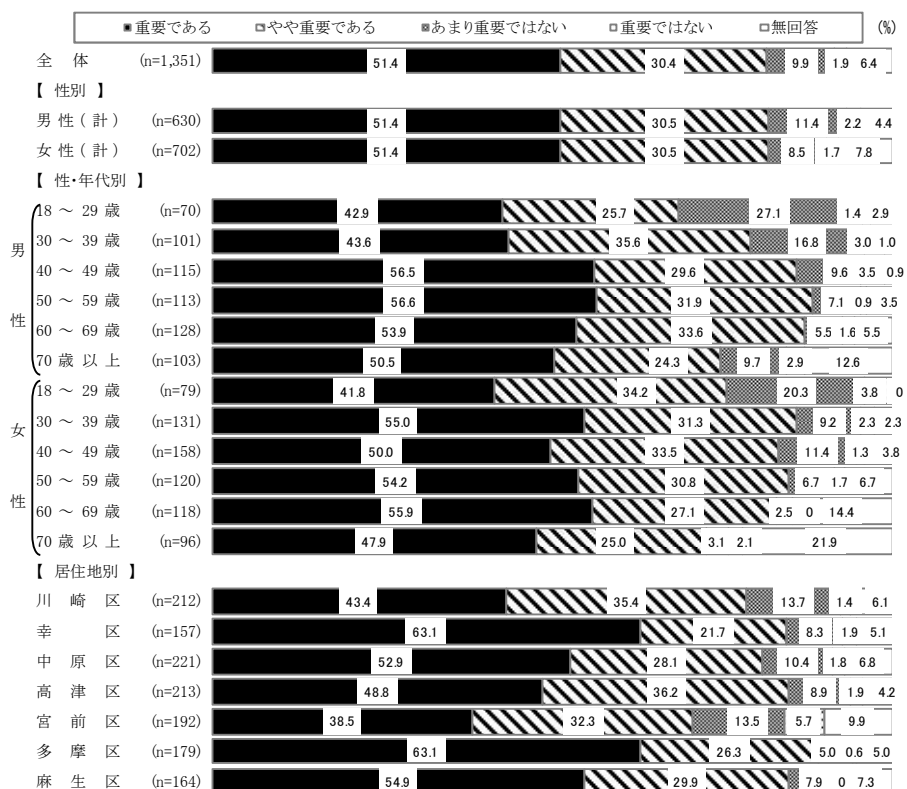
電車の車内混雑の緩和



性／年齢別では、男女共に18～29歳、30～39歳で「重要である」が高い。

居住区別では、中原区(62.0%)で「重要である」が高い。

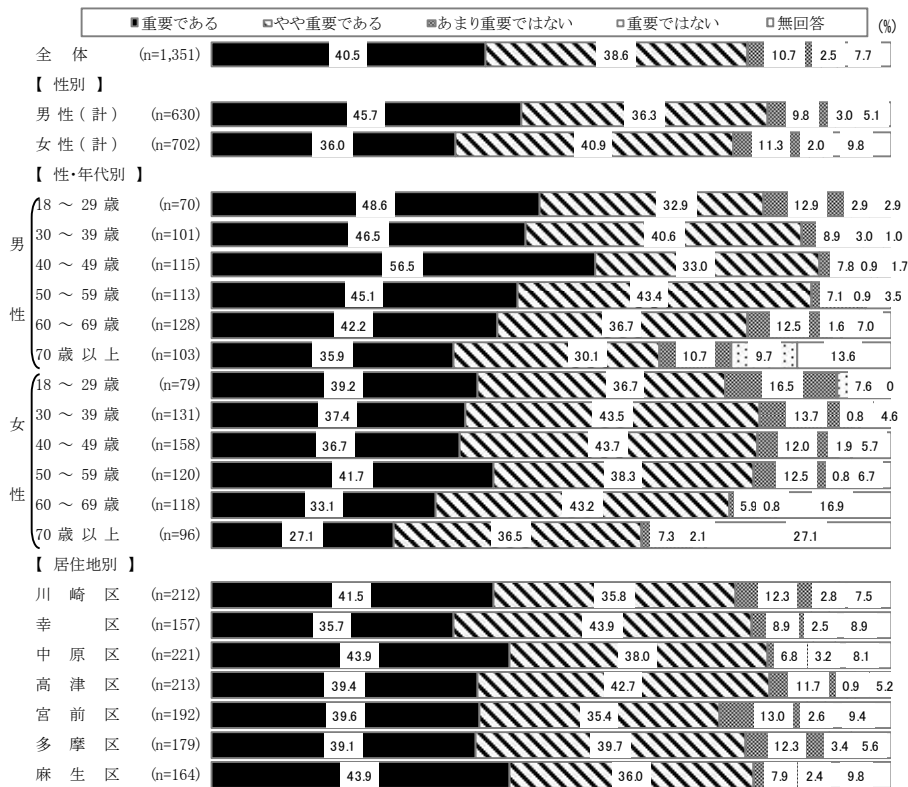
踏切の解消など鉄道を横断する安全対策



性／年齢別では、50～59歳、60～69歳で男女共に、「重要である」が高い。居住区別では、幸区(63.1%)、多摩区(63.1%)で「重要である」が高い。

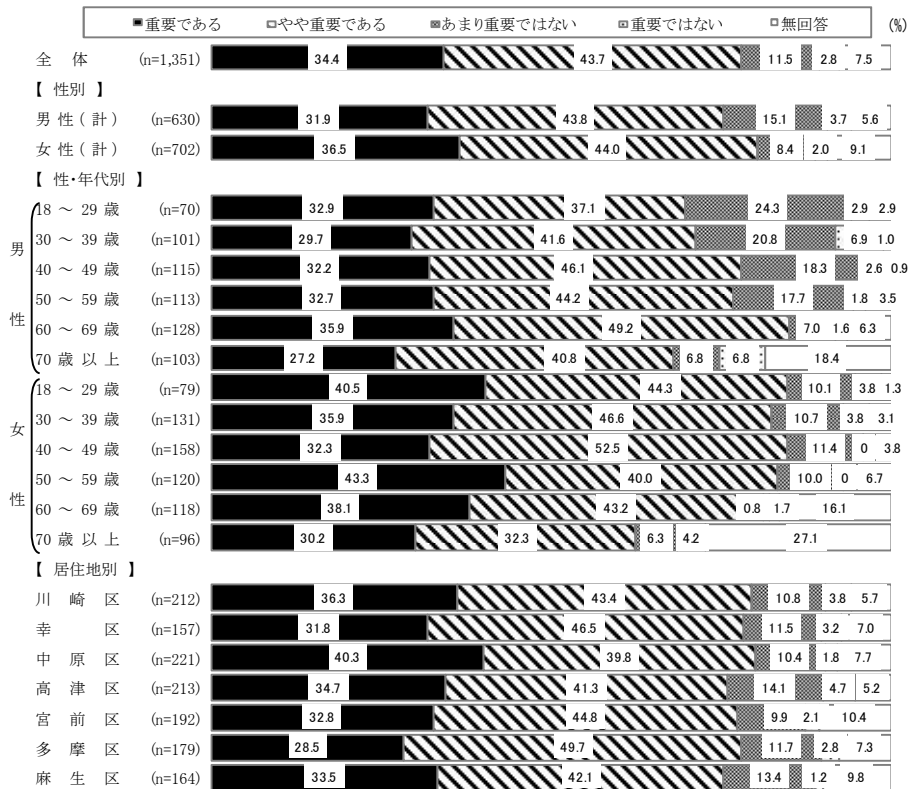
(第2回アンケート)

交差点などの渋滞対策



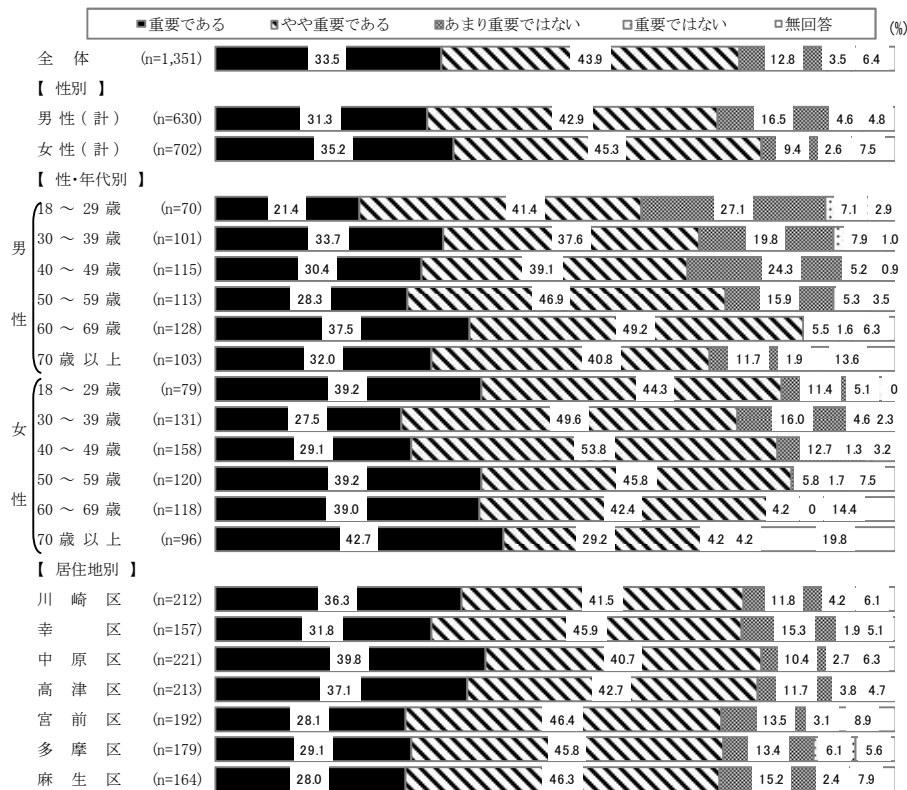
性／年齢別では、男性の40～49歳（56.5%）で「重要である」が高い。居住区別では、中原区（43.9%）、麻生区（43.9%）で「重要である」が高い。

環境への負担が少ない交通体系の実現



性／年齢別では、女性の50～59歳（43.3%）で「重要である」が高い。居住区別では、中原区（40.3%）で「重要である」が高い。

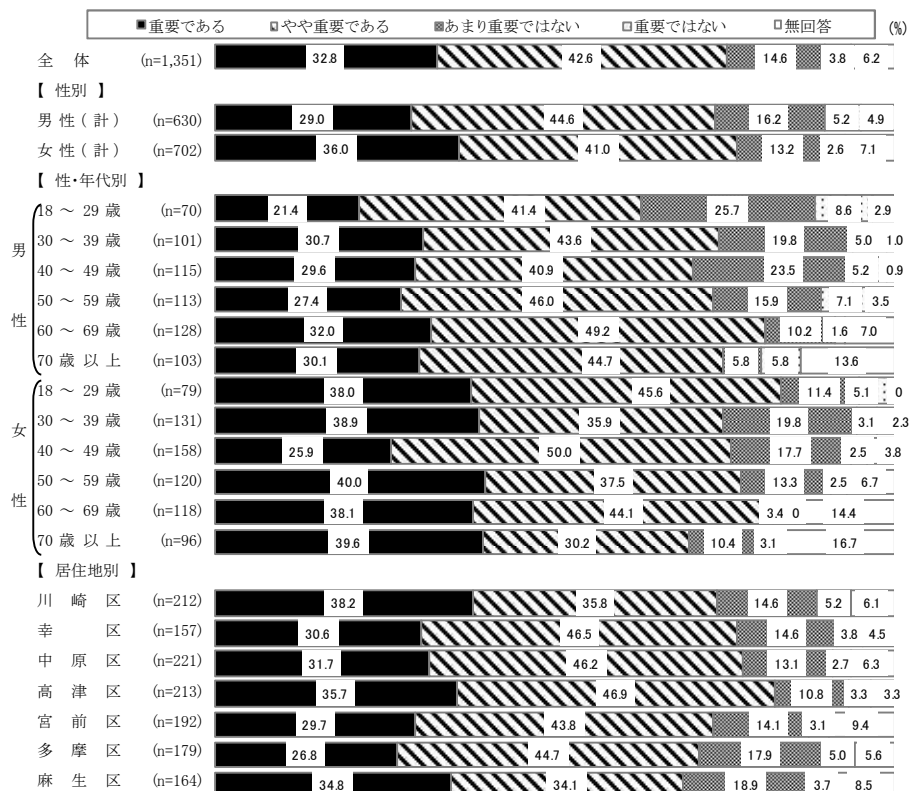
高齢者や外国人など、誰にもわかりやすい交通情報の提供



性／年齢別では、女性の70歳以上(42.7%)で「重要である」が高い。

居住区別では、中原区(39.8%)で「重要である」が高い。

障害者や子育て世帯などが幅広く利用できるタクシーの普及

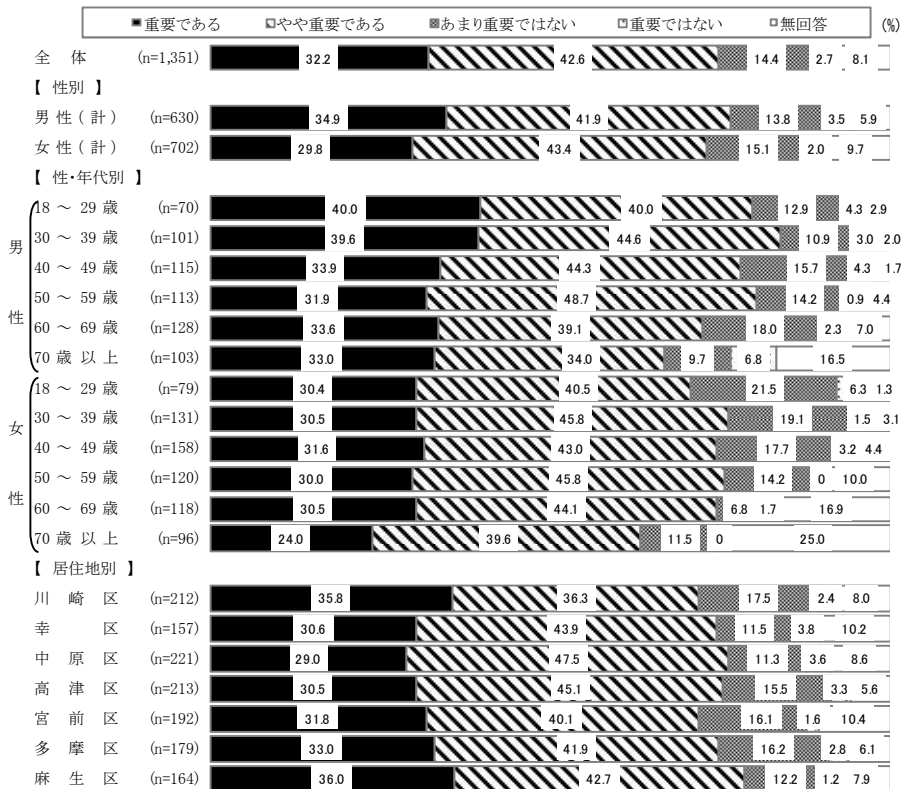


性／年齢別では、女性の50～59歳(40.0%)で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区(38.2%)で「重要である」が高い。

(第2回アンケート)

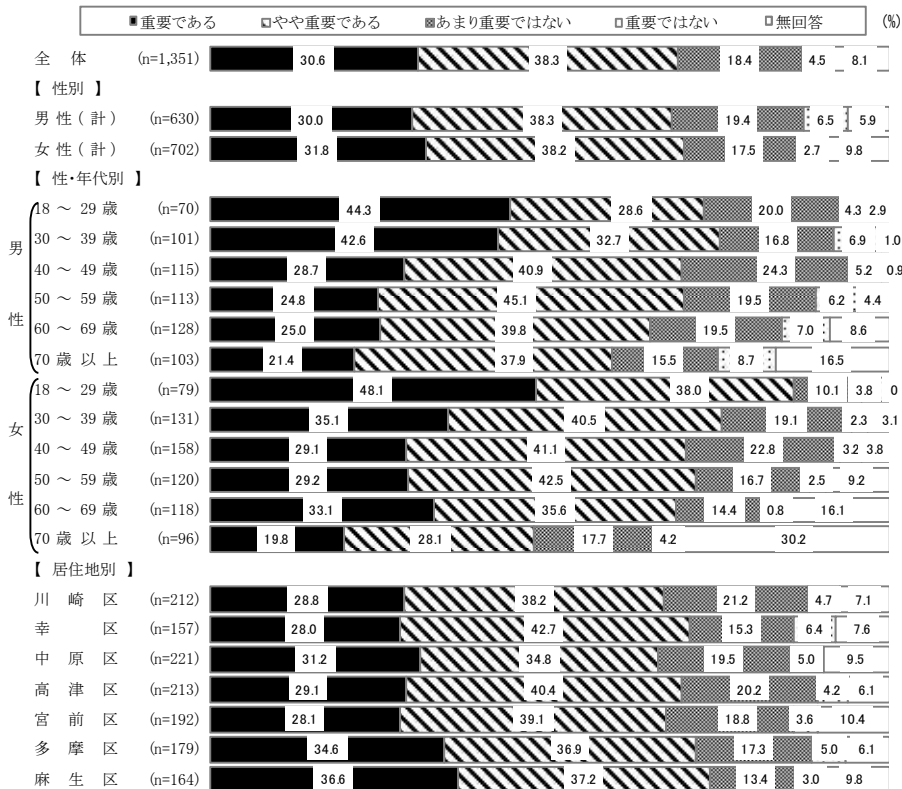
道路網の整備



性／年齢別では、男性の18～29歳(40.0%)、30～39歳(39.6%)で「重要である」が高い。

居住区別では、麻生区(36.0%)、川崎区(35.8%)で「重要である」が高い。

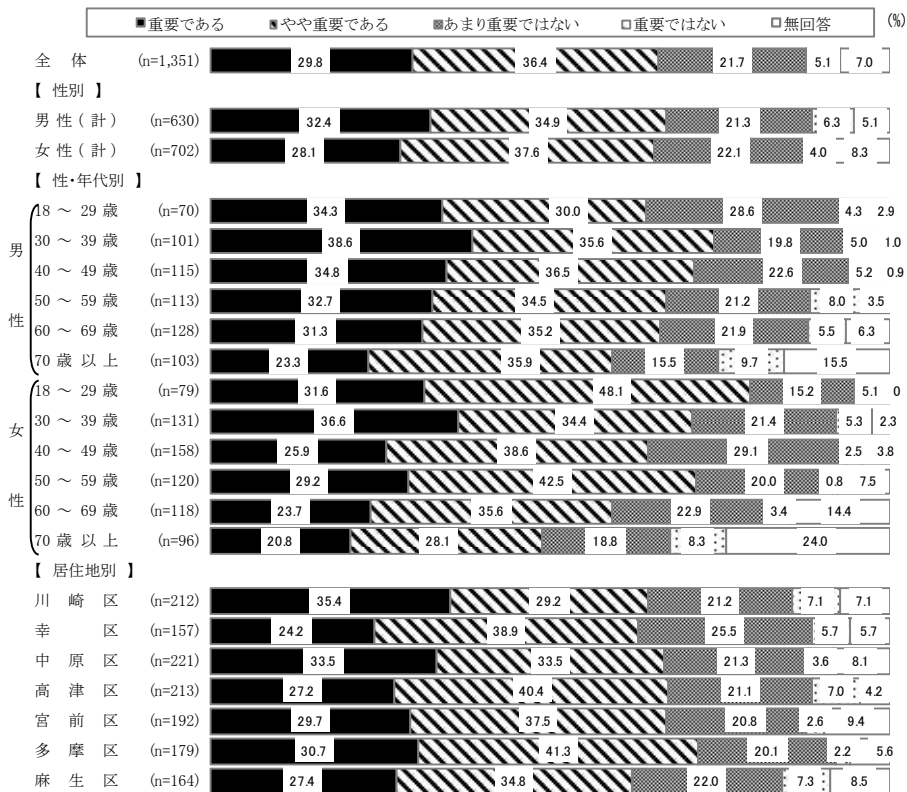
鉄道網の整備



性／年齢別では、男女共に18～29歳で「重要である」が高い。

居住区別では、麻生区(36.6%)で「重要である」が高い。

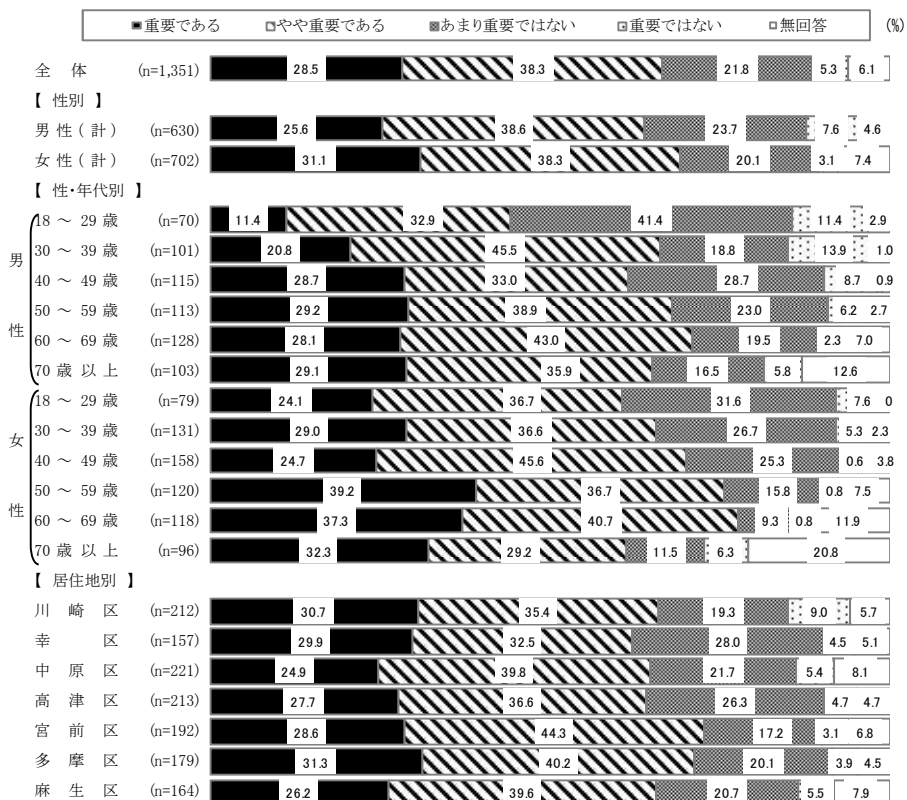
羽田空港や都心、市内の主要駅などへの所要時間の短縮



性／年齢別では、男女共に 30～39 歳で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区 (35.4%) で「重要である」が高い。

コミュニティ交通(ミニバス)などの地域特性に応じた、きめ細やかな交通手段の充実

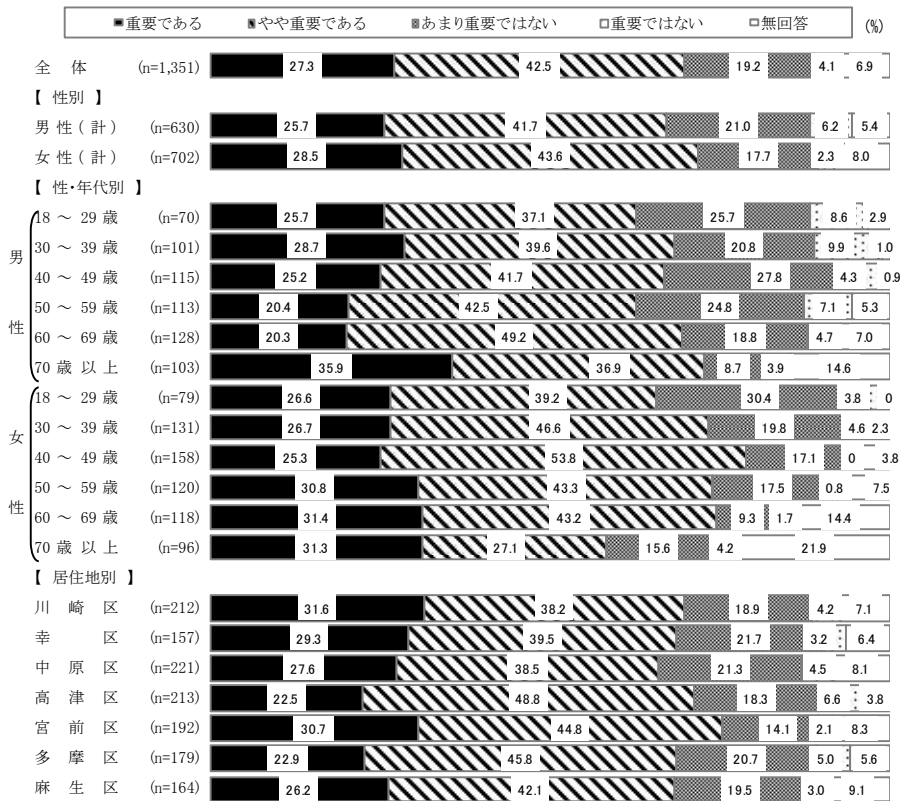


性／年齢別では、女性の 50～59 歳 (39.2%) で「重要である」が高い。

居住区別では、多摩区 (31.3%) で「重要である」が高い。

(第2回アンケート)

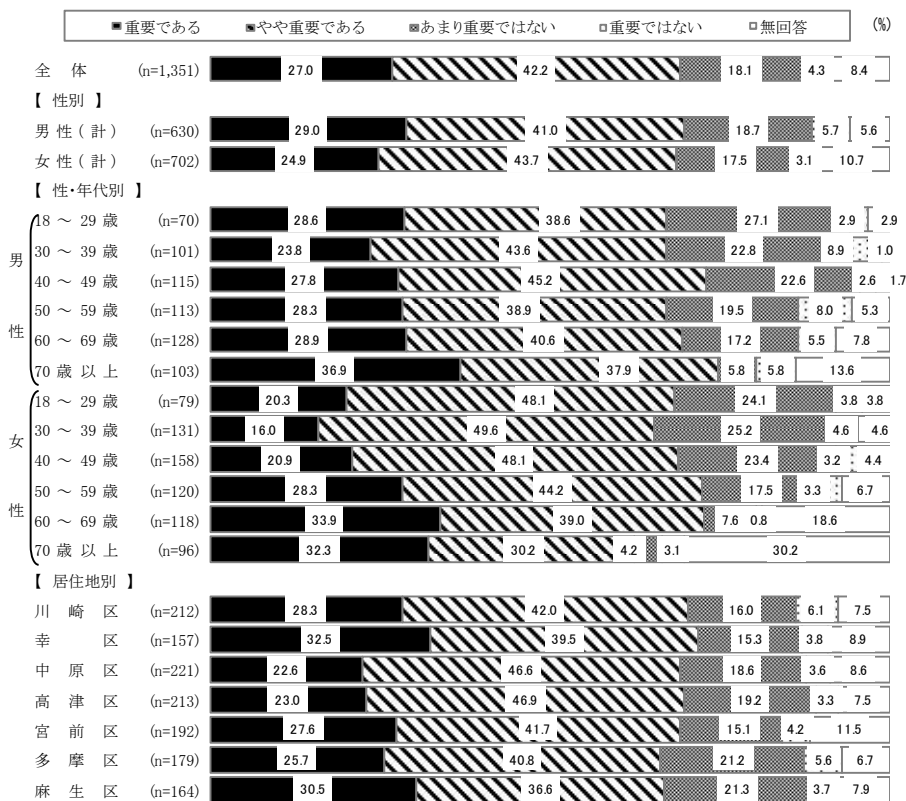
路線バスのサービスの充実や利便性の向上



性／年齢別では、男性の70歳以上(35.9%)で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区(31.6%)で「重要である」が高い。

駅前広場や道路などで、バスなどの公共交通の利用を優先させる取組



性／年齢別では、男性の70歳以上(36.9%)で「重要である」が高い。

居住区別では、幸区(32.5%)で「重要である」が高い。

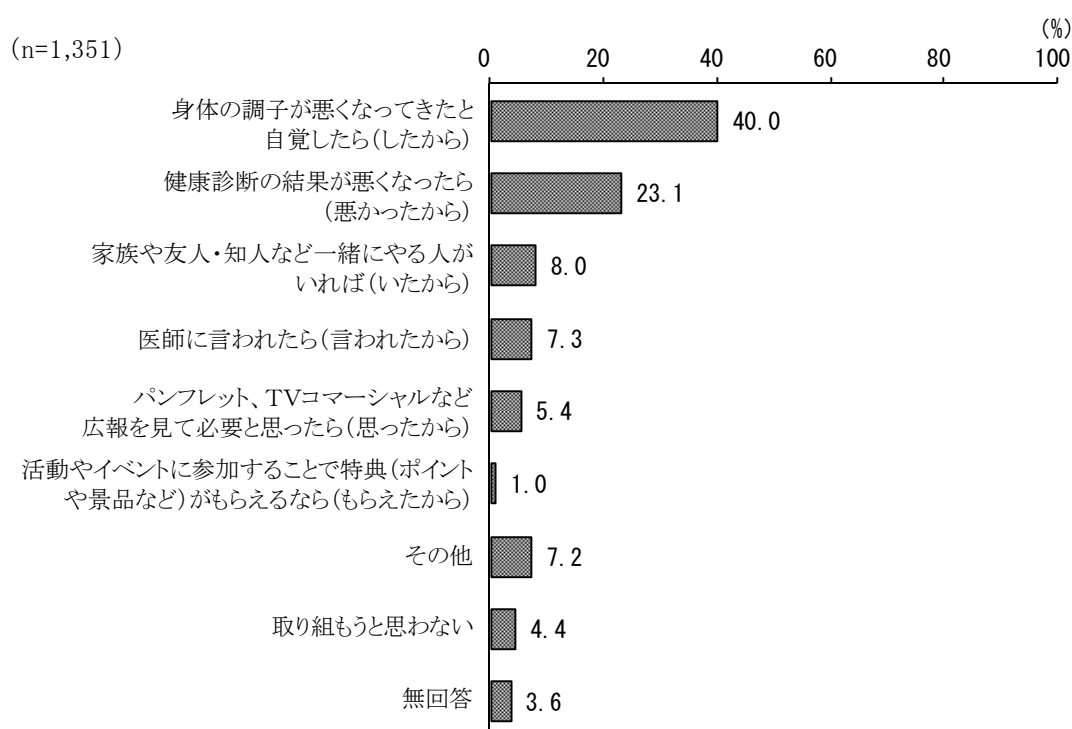
7 介護予防の取組について

7-1 介護予防の取組へのきっかけ

◎「身体の調子が悪くなってきたと自覚したら（したから）」が40.0%

問23 あなたは、あなた自身が健康であるために、どのようなきっかけによって、介護予防（例えば、バランスの良い食事、体操などの軽い運動、地域での様々な活動等）に取り組もうと思えますか（取り組み始めましたか）。最もあてはまるものを1つだけお選びください。（○は1つだけ）

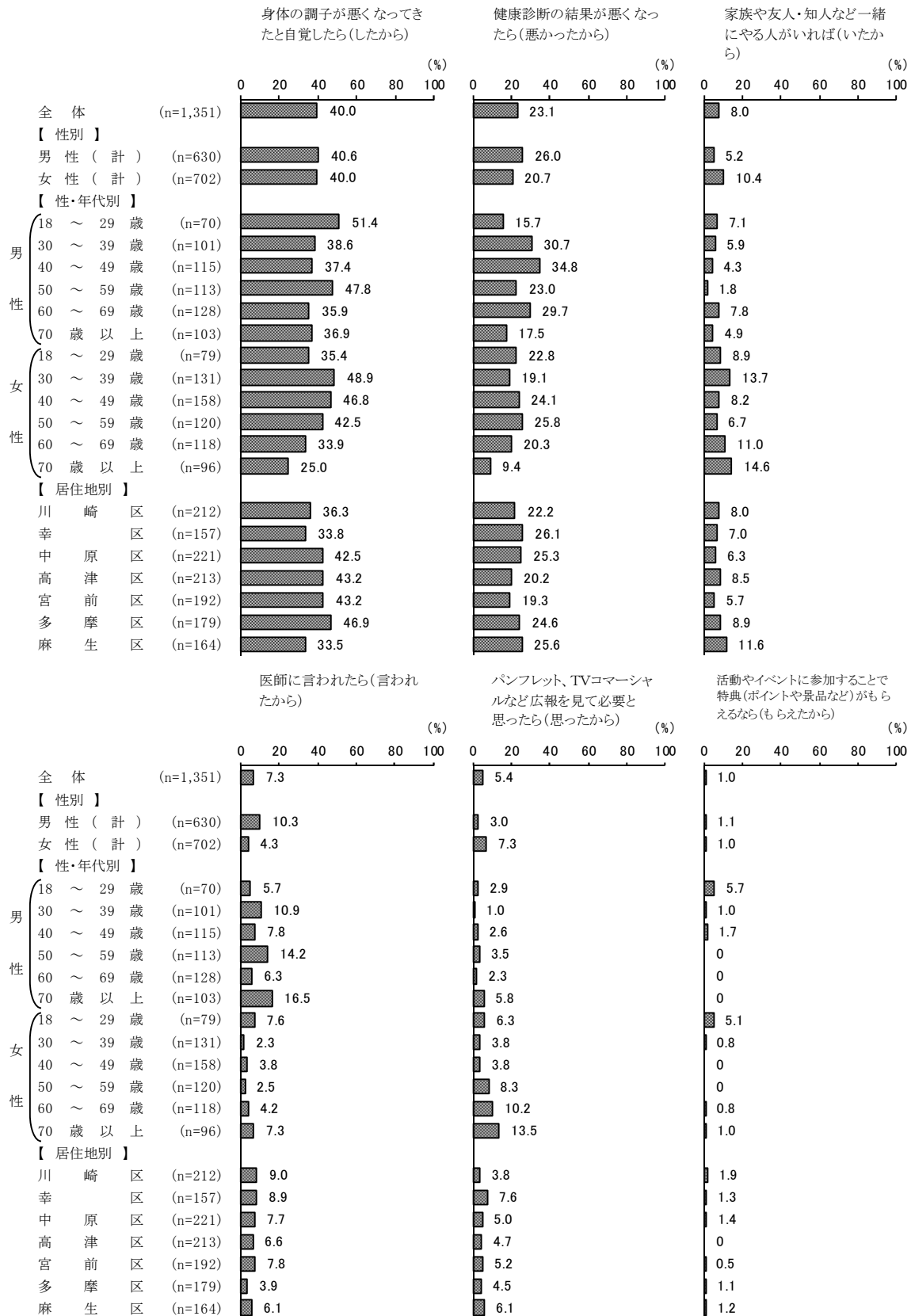
図表7-1 介護予防の取組へのきっかけ



介護予防の取組へのきっかけは、「身体の調子が悪くなってきたと自覚したら（したから）」（40.0%）が最も高く、次いで「健康診断の結果が悪くなった（悪かったから）」（23.1%）の順となっている。

(第2回アンケート)

図表7-2 介護予防の取組へのきっかけ(性/年齢別・居住区別、上位6項目)



性/年齢別では、「身体が調子が悪くなってきたと自覚したら(したから)」は、男性の18～29歳(51.4%)で高く、女性の30～39歳(48.9%)で高い。「健康診断の結果が悪くなった(悪かったから)」は、男性の40～49歳(34.8%)で高い。

居住区別では、「身体が調子が悪くなってきたと自覚したら(したから)」は、多摩区(46.9%)で高い。

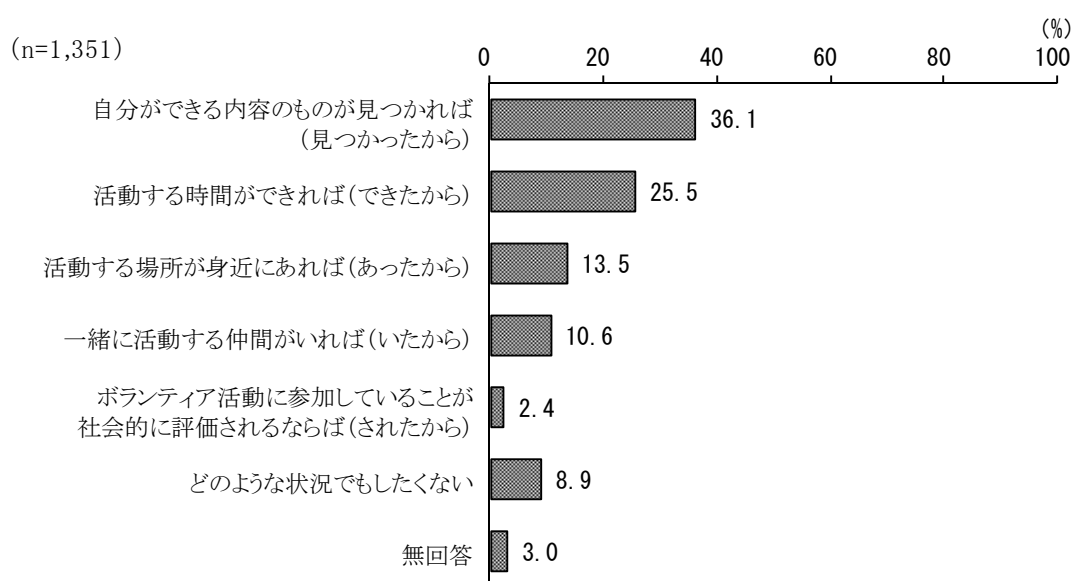
8 ボランティアについて

8-1 ボランティア活動を始めるときの状況

◎「自分ができる内容のものが見つければ（見つかったから）」が36.1%

問24 あなたは、どのような状況になれば、ボランティア活動をしたいと思いますか。（どのような状況によって、ボランティア活動を始めましたか）最もあてはまるものを1つだけお選びください。（○は1つだけ）

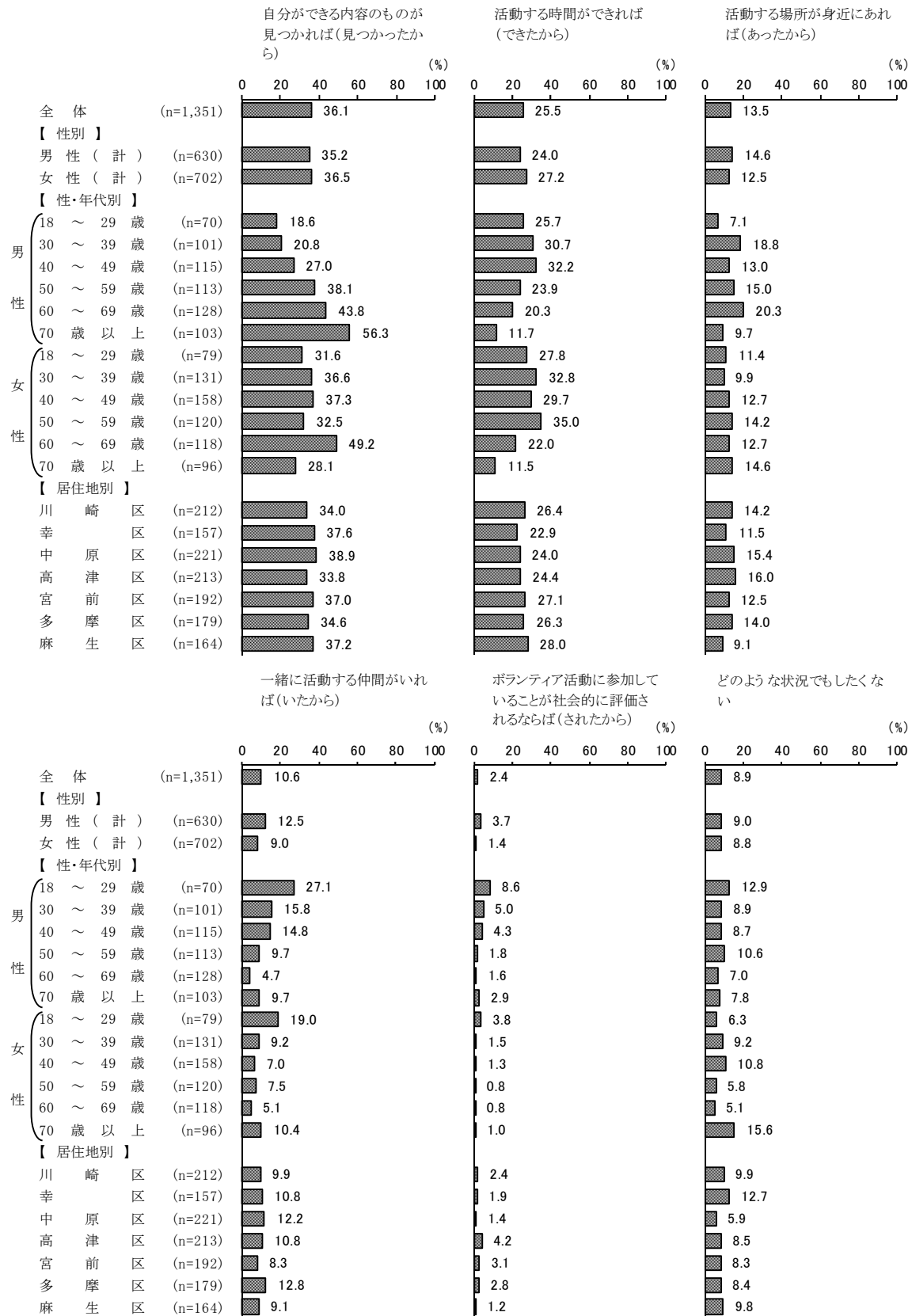
図表8-1 ボランティア活動を始めるときの状況



ボランティア活動を始めるときの状況は、「自分ができる内容のものが見つければ（見つかったから）」（36.1%）が最も高く、次いで「活動する時間ができれば（できたから）」（25.5%）の順となっている。

(第2回アンケート)

図表8-2 ボランティア活動を始めるための状況(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「自分ができる内容のものが見つければ(見つかったから)」は、男性の70歳以上(56.3%)、女性の60～69歳(49.2%)で高い。「活動する時間ができれば(できたから)」は、女性の30～39歳(32.8%)、50～59歳(35.0%)で高い。

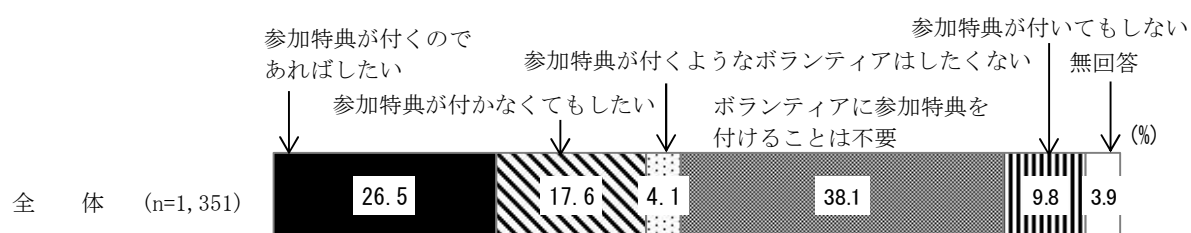
居住区別では、特に目立った点は見られない。

8-2 ボランティア活動の参加特典について

◎「ボランティアに参加特典を付けることは不要」が38.1%

問25 あなたは、ボランティア活動をすることによって参加特典が付くのであれば、ボランティアをしたいと思いますか。なお、参加特典とは、少額の現金やクーポン券、商品またはこれらと引き換えができるポイントのことを言います。最もあてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つだけ)

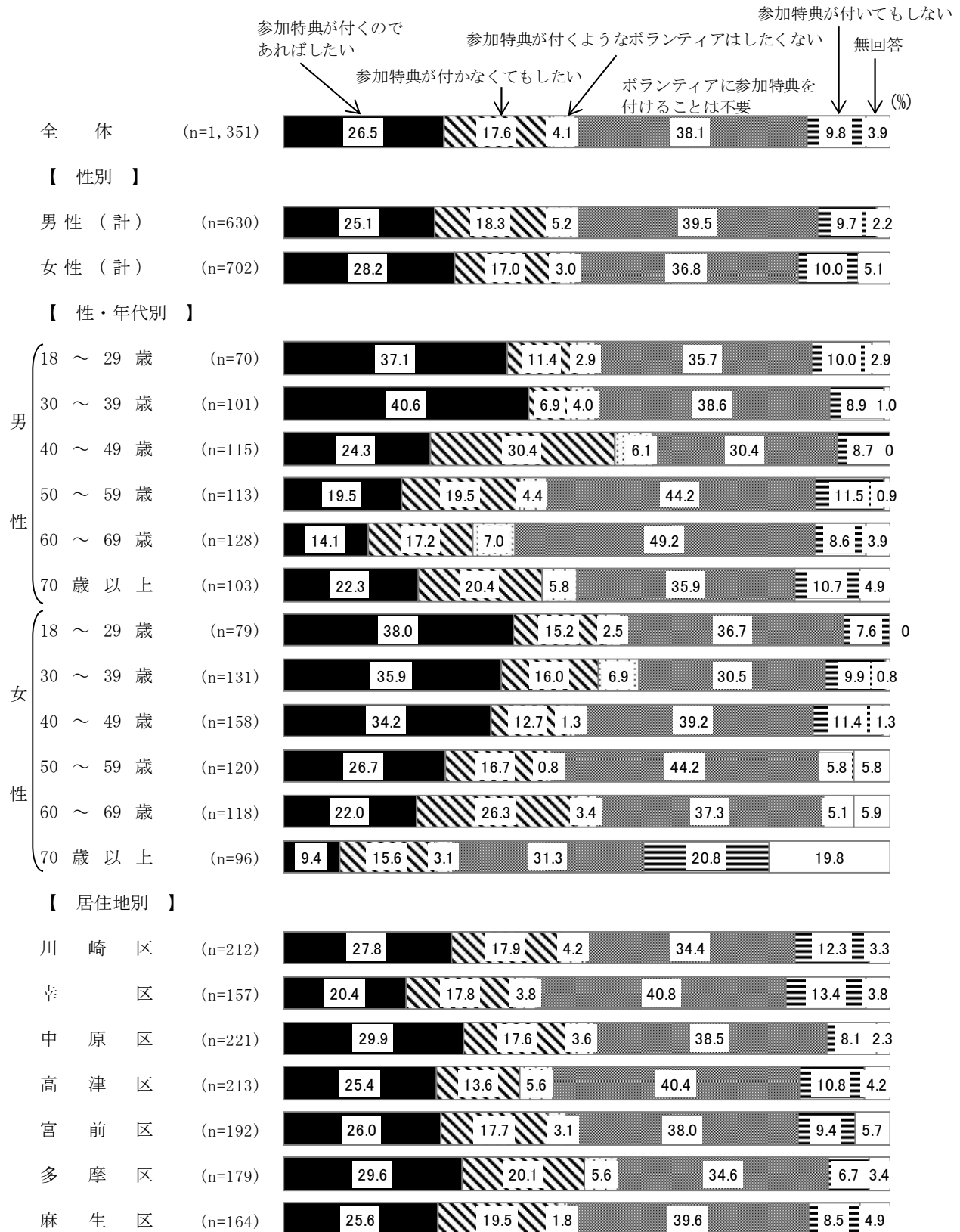
図表8-3 ボランティア活動の参加特典について



ボランティア活動の参加特典については、「ボランティアに参加特典を付けることは不要」(38.1%) が最も高く、次いで「参加特典が付くのであればしたい」(26.5%)、「参加特典が付かなくてもしたい」(17.6%) の順となっている。

(第2回アンケート)

図表8-4 ボランティア活動の参加特典について(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「ボランティアに参加特典を付けることは不要」は、男性の60～69歳(49.2%)で高い。「参加特典が付くのであればしたい」は、男性の18～29歳(37.1%)、30～39歳(40.6%)で高く、女性の18～29歳(38.0%)、30～39歳(35.9%)、40～49歳(34.2%)で高い。

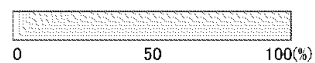
居住区別では、特に目立った点は見られない。

IV 調査票

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

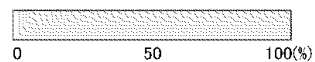


S1

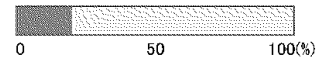
あなたの性別をお知らせください。

- 1 ☐ 男性
- 2 ☐ 女性

次へ



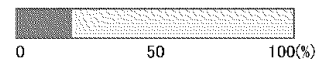
※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



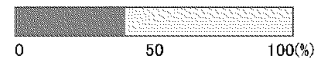
S2
あなたの年齢をお知らせください。

歳

次へ



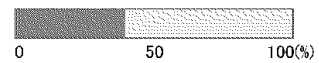
※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



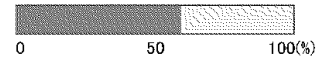
S3
あなたが現在お住まいの都道府県はどちらですか。

 --

次へ

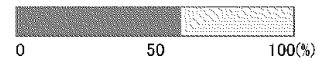


※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



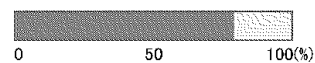
S4
あなたの現在お住まいの市区町村はどちらですか。

次へ



Page 5

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

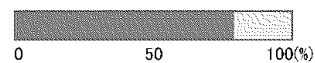


S5

あなたが現在お住まいの区はどちらですか。

- 1 ☐ 川崎区
- 2 ☐ 幸区
- 3 ☐ 中原区
- 4 ☐ 高津区
- 5 ☐ 宮前区
- 6 ☐ 多摩区
- 7 ☐ 麻生区
- 8 ☐ 川崎市以外

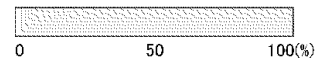
次へ



アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

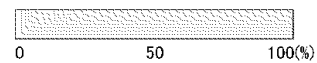


【ご協力のお願い】
皆様には、日頃より市政に対するご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。
この度、川崎市では、広く皆様のご意見をお聴きし、
今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的にアンケート調査を実施することといたしました。
お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、お名前や個別の回答内容が公表されることは
ございません。
お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い
申し上げます。

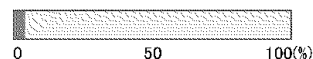
平成28年8月 川崎市

【調査主体】川崎市
【調査実施会社】株式会社マーケティング・リサーチ・サービス

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



■はじめに、「町内会・自治会活動の活性化」について、お伺いいたします。
以下の説明をよくお読みください。

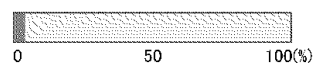
町内会・自治会は、特定の地域に住む人によって構成され、地域特性や地域の課題に応じて、自主的・自律的に活動している「任意団体」で、地域コミュニティの核となる組織であり、地域課題の解決にも重要な役割を果たしています。
一方で、町内会・自治会は加入率の低下、活動の担い手の固定化・高齢化といった課題を抱えていることから、その活動を活性化させることが急務となっています。
そこで、町内会・自治会活動の活性化に向けた方策を検討する際の参考とするため、次の問いにお答えください。

Q1

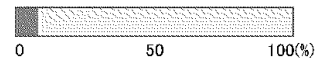
あなたは、町内会・自治会に加入していますか。

- 1 ☐ 加入しており、役員等(会長・副会長等の役員のほか、区域ごとの班などの長や、部会等のメンバーを含む)をしている
- 2 ☐ 加入しているが、役員等はしていない
- 3 ☐ 加入していない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

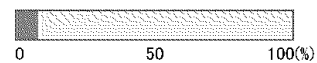


Q2

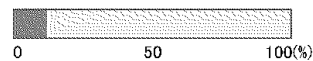
あなたが、町内会・自治会に加入した主なきっかけを教えてください。

- 1 ☐ 親の代から加入していたから
- 2 ☐ 引っ越しを契機に町内会・自治会の勧誘を受けて
- 3 ☐ 以前から住んでいるが、町内会・自治会から継続的に加入の勧誘を受けて
- 4 ☐ こども会への参加等、こどもを通じてつながりができたことをきっかけにして
- 5 ☐ イベントに参加したことをきっかけにして
- 6 ☐ 友人や知人に誘われて
- 7 ☐ 自発的に町内会・自治会役員等に連絡して
- 8 ☐ その他(具体的に:)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

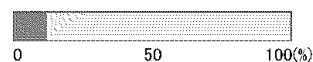


Q3

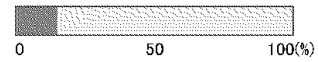
町内会・自治会の加入率は低下傾向にありますが、地域住民が、町内会・自治会に加入しない主な理由は何だと思いますか。町内会・自治会に加入していない人は個人的な理由を、加入している人は考えられる一般的な理由を選択してください。(3つまで)

- 1 ☐ 加入するきっかけがないから
- 2 ☐ 加入の仕方がわからないから
- 3 ☐ 加入しなくても日常生活に支障がないから
- 4 ☐ 加入するメリットがないから
- 5 ☐ 町内会・自治会が何を行っている組織なのか分からないから
- 6 ☐ 仕事や子育て、介護等で忙しく時間がないから
- 7 ☐ 趣味や他の市民活動等で忙しく時間がないから
- 8 ☐ 町内会・自治会の地域活動に関心がないから
- 9 ☐ 隣近所とのつきあいがわずらわしいから
- 10 ☐ 輪番制の役員等に就くのがわずらわしいから
- 11 ☐ 会費の支払に負担を感じるから
- 12 ☐ その他加入しない理由がある(具体的に:)
- 13 ☐ 特にない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

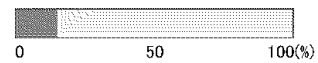


Q4

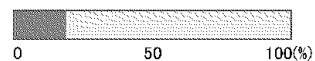
町内会・自治会はさまざまな活動を行っていますが、
あなたは町内会・自治会の活動にどの程度参加していますか。

- 1 ☐ よく参加している
- 2 ☐ たまには参加している
- 3 ☐ あまり参加していない
- 4 ☐ 全く参加したことはない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

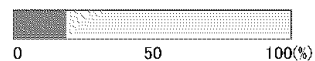


Q5

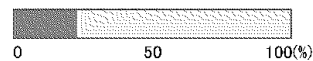
町内会・自治会はさまざまな活動を行っていますが、
地域住民が町内会・自治会活動に参加しない主な理由は何だと思いませんか。
活動に参加していない人は個人的な理由を、
活動に参加している人は考えられる一般的な理由を選択してください。(3つまで)

- 1 ☐ 仕事で忙しいから
- 2 ☐ 子育てで忙しいから
- 3 ☐ 家族の介護で忙しいから
- 4 ☐ 活動についての情報が得られないから
- 5 ☐ 積極的な関心や興味がないから
- 6 ☐ 一緒に活動する仲間がいないから
- 7 ☐ 人間関係がわずらわしいから
- 8 ☐ 参加しにくい雰囲気があるから
- 9 ☐ その他参加しない理由がある(具体的に:)
- 10 ☐ 特にない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

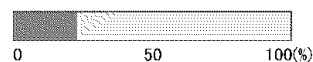


Q6

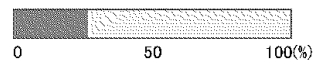
地域においては、次のようなさまざまな活動が、
町内会・自治会などによって行われています。
これらの活動のうち、あなたが、参加できると思う活動はどの活動ですか。(いくつでも)

- 1 ☐ 防犯や交通安全・防災訓練などの安全なまちづくり活動
- 2 ☐ 新聞紙などの資源回収やごみの分別、リサイクル等の環境活動
- 3 ☐ 身近な生活道路や公園の清掃活動
- 4 ☐ 身近な水辺や緑地などの環境保全活動
- 5 ☐ 市政だより等、広報物の回覧及び配布活動
- 6 ☐ 子育て支援活動、青少年の健全育成活動
- 7 ☐ 高齢者・障害者・子ども等の見守り、交流活動
- 8 ☐ 地域の祭りや盆踊りなどのレクリエーション・親睦活動
- 9 ☐ 美しいまちなみづくりや建物についてのルールづくりなどの活動
- 10 ☐ その他の活動(具体的に:)
- 11 ☐ 参加しやすい活動はない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

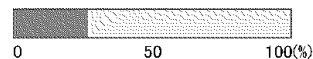


Q7

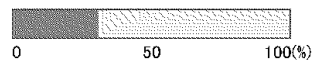
あなたが、今より積極的に町内会・自治会活動に関わるようになるには、
町内会・自治会がどのようなことを行うとよいと思いますか。(3つまで)

- 1 ☐ 自分に興味のある活動を増やす
- 2 ☐ 自分が参加できるような時間帯の活動を増やす
- 3 ☐ 気軽に企画や運営に参加できるような環境を整える
- 4 ☐ 地域で活動する団体などが町内会・自治会会館等を利用しやすいようにする
- 5 ☐ 活動の内容など町内会・自治会に関する情報を積極的に発信する
- 6 ☐ 情報発信や連絡調整にインターネットや電子メールを活用する
- 7 ☐ 市民活動団体や学校など地域で活動する様々な団体等と連携する
- 8 ☐ その他行ったらよいと思うことがある (具体的に:)
- 9 ☐ 今より積極的に関わるようになるような策はない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

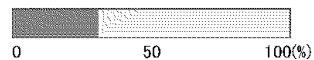


Q8

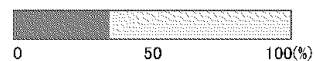
Q7にて「自分に興味のある活動を増やす」とお答えいただきましたが、
具体的にはどのような活動が増えると思いますか。

A text input field with a vertical line on the left and a small icon on the right.

次へ

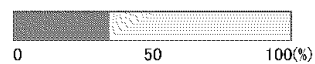


※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

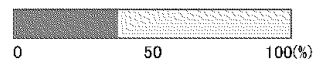


Q9
Q7にて「自分が参加できるような時間帯の活動を増やす」とお答えいただきましたが、
具体的にはいつごろ活動を行うとよいと思いますか。
例)平日〇時～〇時・休日〇時～〇時等

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



■ここからは、「働く場における女性の活躍推進及び働き方に関する意識」についてお伺いします。

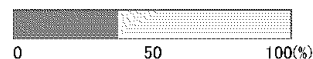
平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が成立し、豊かで活力ある社会の実現のためには、自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性の個性と能力が十分に発揮されることが重要となっています。このような働く場における女性の活躍推進に向けた一層の取組が必要とされている状況を受けて、市民の女性活躍に関する認識や働き方等へのニーズを把握し、今後の施策を検討する際の参考とするため、次の問いにお答えください。

Q10

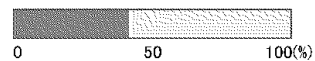
あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、または、したいことは何ですか。(いくつでも)
※現在就業していない方も、過去に働いていた時や、今後働く場合を想定してお答えください。

- 1 ☐ 専門知識が生かせる
- 2 ☐ 性格・能力が適している
- 3 ☐ 仕事にやりがいがある
- 4 ☐ 能力本位で実績が評価される
- 5 ☐ 業種に将来性がある
- 6 ☐ 給与の条件が良い
- 7 ☐ 勤務時間・勤務場所の条件が良い
- 8 ☐ 職場の雰囲気が良い
- 9 ☐ 育児や介護への理解や制度が整っている
- 10 ☐ その他(具体的に:)
- 11 ☐ 特にない
- 12 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

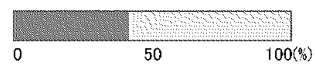


Q11

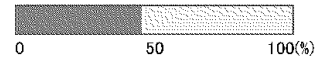
あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。
(いくつでも)

- 1 ☐ やりがいのある仕事ができる
- 2 ☐ 賃金が上がる
- 3 ☐ 能力が認められた結果である
- 4 ☐ 家族から評価される
- 5 ☐ 自分自身で決められる事柄が多くなる
- 6 ☐ やるべき仕事が増える
- 7 ☐ 責任が重くなる
- 8 ☐ やっかみが出て足を引っ張られる
- 9 ☐ 仕事と家庭の両立が困難になる
- 10 ☐ その他(具体的に: _____)
- 11 ☐ 特にない
- 12 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

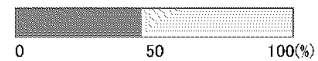


Q12

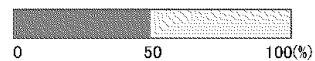
あなたは、ここ数年の間に働く場において、
女性が活躍する機会が広がってきたと思いますか。

- 1 ☐ 広がってきた
- 2 ☐ どちらかというと広がってきた
- 3 ☐ どちらかというと広がっていない
- 4 ☐ 広がっていない
- 5 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

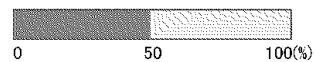


Q13

働く場において、女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- 1 ☐ 働く女性が増えてきた
- 2 ☐ 女性の経営者や管理職が増えてきた
- 3 ☐ 育児や家事に積極的な男性が増えてきた
- 4 ☐ 女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた
- 5 ☐ 女性の採用・就業に関するイベントやセミナー等が開催されるようになってきた
- 6 ☐ 育児休業や休暇等の制度が普及してきた
- 7 ☐ その他(具体的に:)
- 8 ☐ 特にない
- 9 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

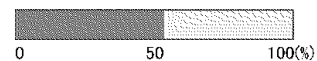


Q14

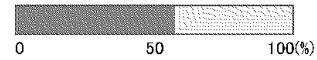
働く場において、女性が活躍する機会が広がるために必要なことは何だと思えますか。
(いくつでも)

- 1 ☐ 働きやすい勤務条件や職場環境
- 2 ☐ 夫など家族の理解と協力
- 3 ☐ 保育サービスの充実
- 4 ☐ 上司や同僚の理解と協力
- 5 ☐ やりがいのある仕事
- 6 ☐ 職場における女性の管理職への登用
- 7 ☐ 女性自身の働く意欲の向上
- 8 ☐ 祖父母など近くの親戚の協力
- 9 ☐ その他(具体的に:)
- 10 ☐ 特にない
- 11 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

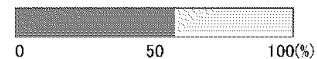


Q15

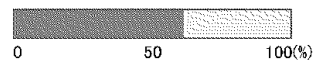
いったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、
あなたがいいと思うものは何ですか。(いくつでも)

- 1 ☐ 知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
- 2 ☐ 仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する
- 3 ☐ 知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- 4 ☐ 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- 5 ☐ 家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する
(ヘルパー、保育補助、家事代行など)
- 6 ☐ 経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
- 7 ☐ 経験を生かして起業又はNPO法人の立ち上げを行う
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など)
- 8 ☐ 家事以外で活動する必要はない
- 9 ☐ その他(具体的に: _____)
- 10 ☐ 特にない
- 11 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

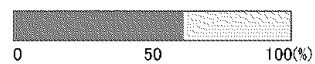


Q16

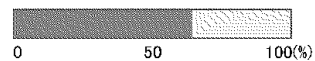
あなたは、男性が家事・育児・介護を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。(いくつでも)

- 1 ☐ 男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である
- 2 ☐ 家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる
- 3 ☐ 男性自身も充実感が得られる
- 4 ☐ 子どもにいい影響を与える
- 5 ☐ 仕事と両立させることは、現実として難しい
- 6 ☐ 家事・育児・介護は女性の方が向いている
- 7 ☐ 妻が家事・育児・介護をしていないと誤解される
- 8 ☐ 周囲から冷たい目で見られる
- 9 ☐ 男性は、家事・育児・介護を行うべきではない
- 10 ☐ その他(具体的に: _____)
- 11 ☐ 特にない
- 12 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

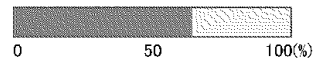


Q17

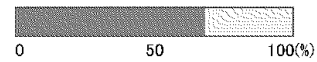
あなたは、男性が家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。(いくつでも)

- 1 ☐ 上司や同僚等の職場の理解
- 2 ☐ 男性自身の意識・学校教育や社会教育の場での啓発
- 3 ☐ 仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度
- 4 ☐ 仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度を利用することへの理解
- 5 ☐ 家族、親戚の理解
- 6 ☐ 男性が家事・育児・介護に参加する必要はないと思う
- 7 ☐ その他(具体的に:)
- 8 ☐ 特にない
- 9 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

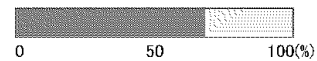


Q18

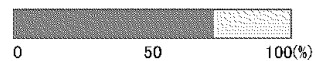
あなたは、政治・経済・地域における女性の参加が進み、
女性のリーダーが増えるなどどのような影響があると思いますか。(いくつでも)

- 1 ☐ 多様な視点が加わるにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
- 2 ☐ 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
- 3 ☐ 女性の声が反映されやすくなる
- 4 ☐ 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 5 ☐ 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
- 6 ☐ 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 7 ☐ 男性の育児・介護・家事などへの参加が増える
- 8 ☐ 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障をきたすことが多くなる
- 9 ☐ 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 10 ☐ 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、
家計負担及び公的負担が増大する
- 11 ☐ その他(具体的に:)
- 12 ☐ 特にない
- 13 ☐ わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



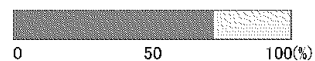
■あなたご自身のことについて、お伺いします。

Q19

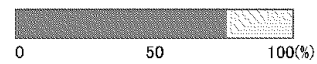
あなたは現在、ご結婚されていますか。

- 1 ☐ 未婚
- 2 ☐ 既婚(事実婚、離死別含む)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

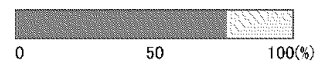


Q20

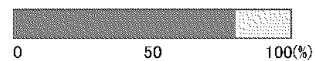
現在同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。

- 1 ☐ 1人
- 2 ☐ 2人
- 3 ☐ 3人
- 4 ☐ 4人
- 5 ☐ 5人
- 6 ☐ 6人
- 7 ☐ 7人以上

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

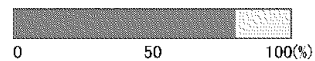


Q21

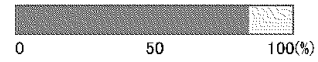
次にあげる中で、現在同居している方で、あてはまる方はいらっしゃいますか。(いくつでも)
(あなた自身を含めないでお答えください)

- 1 ☐ 親(配偶者の親を含む)
- 2 ☐ 配偶者(事実婚を含む)
- 3 ☐ 子ども(乳児)
- 4 ☐ 子ども(未就学児)
- 5 ☐ 子ども(小学生)
- 6 ☐ 子ども(中学生)
- 7 ☐ 子ども(高校生以上)
- 8 ☐ 婿・嫁(子の配偶者)
- 9 ☐ 兄弟姉妹
- 10 ☐ 孫
- 11 ☐ その他(具体的に:)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

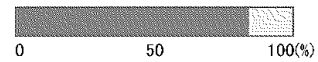


Q22

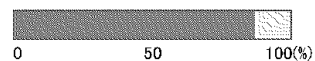
あなたのお仕事は、この中のどれですか。

- 1 ☐ 自営業者
- 2 ☐ 家族従業(家業手伝い)
- 3 ☐ 勤め(全日)※正社員
- 4 ☐ 勤め(契約社員、派遣社員、パートタイム、アルバイト等)
- 5 ☐ 内職
- 6 ☐ 主婦・主夫(家事専業)
- 7 ☐ 学生
- 8 ☐ 無職(収入が年金のみの方を含む)
- 9 ☐ その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

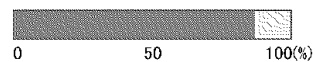


Q23

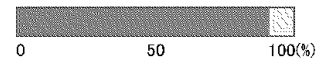
お仕事の内容を具体的にお聞かせください。

- 1 ☐ 農林漁業
- 2 ☐ 商工サービス業
- 3 ☐ 自由業
- 4 ☐ 経営・管理職
- 5 ☐ 専門・技術職
- 6 ☐ 事務職
- 7 ☐ 技能・労務職
- 8 ☐ 販売サービス業
- 9 ☐ その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

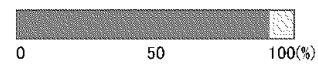


Q24

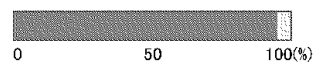
あなたのお勤め先あるいは通学先があるのは、どちらですか。

- 1 ☐ 川崎市内(お住いと同じ区)
- 2 ☐ 川崎市内(お住いと別の区)
- 3 ☐ 横浜市
- 4 ☐ 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)
- 5 ☐ 東京都(23区内)
- 6 ☐ 東京都(23区外)
- 7 ☐ その他
- 8 ☐ 通勤・通学していない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

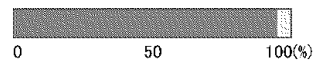


Q25

あなたの現在のお住いは、この中のどれにあたりますか。

- 1 ☐ 持ち家(一戸建)
- 2 ☐ 持ち家(マンション・集合住宅等)
- 3 ☐ 借家(一戸建)
- 4 ☐ 借家(マンション・集合住宅、公営住宅)
- 5 ☐ 借家(民間アパート、間借、下宿)
- 6 ☐ 社宅・寮・公務員住宅
- 7 ☐ その他

送信



(第2回アンケート)

「かわさき市民アンケート」 平成28年11月

I D

お忙しいところ大変にお手数をおかけしますが、調査の趣旨を
ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

パスワード

ご記入にあたってのお願い

- ◇ この調査には、郵便の宛名のご本人様にご回答ください。
- ◇ 質問にしたがって、回答欄のあてはまる番号に○をつけてください。
○をつける数は、「1つだけ」のものと「いくつでも」のものがあります。
- ◇ 右上にある「I D」「パスワード」は、重複回答の確認や集計を匿名で行うためのものです。
お名前を書きいただく必要はありません。

調査は下記の調査実施会社に委託しております。

調査に関するご質問等は、調査担当課又は調査実施会社までお問い合わせください。

調査担当課 川崎市 総務企画局 都市政策部 企画調整課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2148（直通）F A X 044-200-3919

調査実施会社 株式会社マーケティング・リサーチ・サービス

この下の問1からお答えください。

問1～問10の「定住状況」、「生活環境の評価」、「関心ごとと行動範囲」、「市政に対する評価と要望」は、
昭和50年度から継続的に調査し、市政運営や政策立案などの参考にしています。

■定住状況について

問1. あなたは、今のところにお住いになって、何年に
なりますか。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 1年未満
3. 1～3年未満
4. 3～5年未満
5. 5～10年未満
6. 10～20年未満
7. 20年以上

次のページの 問2 に進んでください。

問2. あなたは、これから今のお住いになリたいですか。(○は1つ)

1. これからも住んでいたい
2. できれば市内の他の区へ移りたい
3. できれば市外へ移りたい
4. わからない

問5へ

問3. 問2で、「2. できれば市内の他の区へ移りたい」または「3. できれば市外へ移りたい」と答えた方への質問
あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学が不便だから
2. 買い物不便だから
3. 住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)
4. 住環境がよくないから(日照、騒音、治安など)
5. 医療環境がよくないから
6. 保育環境がよくないから
7. 介護環境がよくないから
8. 子供の教育のため
9. その他 (具体的に) _____

問4. あなたは、どこに住みたいと思いますか。
(○は1つ)

1. 川崎区
2. 幸区
3. 中原区
4. 高津区
5. 宮前区
6. 多摩区
7. 麻生区
8. 横浜市
9. 神奈川県(川崎市・横浜市を除く)
10. 東京23区
11. 23区以外の東京都
12. その他の道府県

右上の問5へお進みください

■生活環境の評価について

問5. お住いの周りの生活環境についてうかがいます。

あなたは、次にあげる項目について

どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

回答方向

満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
--------	----------	---------	-------	-------

回答例 →	1	2	3	4	5
(1) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	1	2	3	4	5
(2) 風紀上・防犯上の安心感	1	2	3	4	5
(3) 交通事故・危険物からの安心感	1	2	3	4	5
(4) 空気や川、海のきれいさ	1	2	3	4	5
(5) 家の周りの静けさ	1	2	3	4	5
(6) 公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(7) 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
(8) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(9) 病院や医院までの距離	1	2	3	4	5
(10) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度	1	2	3	4	5
(11) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	1	2	3	4	5
(12) 市や区の窓口サービス	1	2	3	4	5

次のページの 問6 に進んでください。

(第2回アンケート)

問6. あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、
今住んでいる地域にどの程度満足していますか。
(○は1つ)

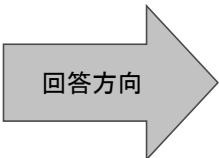
1. 満足している
2. まあ満足している
3. 少し不満である
4. 不満である
5. わからない

■関心ごとと行動範囲について

問7. あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 子ども
2. 家族
3. 友人・知人
4. 住宅・土地
5. お金・財産
6. 健康
7. 仕事(家事や勉強も含む)
8. 老後の生活
9. 趣味・娯楽
10. スポーツ・レジャー
11. 信仰・宗教
12. 政治
13. ボランティア活動
14. 地域活動(町会・自治会、子ども会等)
15. その他
16. 特にない

問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどを
される場合、主にどこに行かれますか。
(○はそれぞれ1つずつ)



回答方向

川崎市 内	横浜市 内	川崎市・横浜市 以外の神奈川県	東京23区	その他の地域	そういうことはしないので わからない
----------	----------	--------------------	-------	--------	-----------------------

※○は、横向きに
それぞれ1つずつ

(1) 自然に親しむための 近距離の行楽	1	2	3	4	5	6
(2) 遊園地や動物園 等のレジャーでの 行楽	1	2	3	4	5	6
(3) 観劇や映画鑑賞	1	2	3	4	5	6
(4) 音楽会や美術展	1	2	3	4	5	6
(5) 趣味を生かす 講習や練習 (音楽・演劇・美術等)	1	2	3	4	5	6
(6) 図書館の利用	1	2	3	4	5	6
(7) 美術館・博物館 の利用	1	2	3	4	5	6
(8) レストランなどで の飲食	1	2	3	4	5	6
(9) 洒落たものや 高価なものを買う ためのショッピング	1	2	3	4	5	6
(10) スポーツをする (観る)	1	2	3	4	5	6

次のページの 問9 に進んでください。

■市政に対する評価と要望について

問9. 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、

(1) よくやっていると思われるものはどれですか。

(2) また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。

(○はそれぞれいくつでも)

回答方向

(1)

よくやっている
と思われるもの

(2)

今後特に
力を入れて
ほしいもの

1. 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1
2. 行財政改革	2	2
3. 市や区の仕事などについての情報提供	3	3
4. 市政への市民参加の促進のための施策	4	4
5. 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	5	5
6. 防犯対策	6	6
7. 交通安全対策	7	7
8. 美術館、各種ホールなど文化施設の整備	8	8
9. 映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	9	9
10. 女性の地位向上のための施策	10	10
11. 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	11	11
12. 観光推進、シティーセールス(都市イメージの向上)	12	12
13. 道路、公園、広場の美化・清掃	13	13
14. 公園の整備や維持管理	14	14
15. 自然や緑の保全	15	15
16. 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16	16
17. 日常のごみ収集やリサイクル	17	17
18. 子どものための施策	18	18
19. 高齢者のための施策	19	19
20. 障害者のための施策	20	20
21. 病院、診療所の整備や 救急医療体制 の整備	21	21
22. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	22	22
23. 市営住宅の建設・整備	23	23
24. 主要な駅周辺の再開発	24	24
25. 河川の整備	25	25
26. 下水道の整備	26	26
27. 道路・歩道の整備	27	27
28. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	28	28
29. 市民が親しむことのできる港湾の整備	29	29
30. 水道水の安定供給	30	30
31. バスなどの交通網の整備	31	31
32. 消防力の強化や防災体制の整備	32	32
33. 市民が学習する機会や施設の整備	33	33
34. スポーツ・レクリエーションの施設整備	34	34
35. 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	35	35
36. わからない	36	36
37. 特にない	37	37

次のページの 問10 に進んでください。

(第2回アンケート)

問10. あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。

(○は1つ)

1. 満足している
2. まあ満足している
3. 少し不満である
4. 不満である
5. わからない

■市民の防災意識について

市民のみなさんの防災意識を調査し、各種防災計画等を見直すための基礎データや、防災に関する普及・啓発事業を実施する際の参考資料とさせていただくために、次の問にお答えください。

問11. 現在、大地震などの大規模な災害に備えるため、あなたの家庭内で行っている取組は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 3日以上以上の食料の用意(備蓄)
2. 3日以上以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)
3. 避難所や避難経路の確認
4. 家具の適切な配置や転倒防止対策
5. 窓ガラスなどの飛散防止対策
6. 懐中電灯など、停電に対する備え
7. 感震ブレーカーの設置(地震の揺れを感知して自動的にブレーカーを遮断する機器)
8. 家族との緊急時における連絡方法の確認
9. ハザードマップや防災マップの確認
10. その他 (具体的に→) _____
11. 特にない

問12. 固定電話や携帯電話等の通信事業者では、

災害時に家族や知人との間での安否確認や

避難場所の連絡などをスムーズに行うため、

次のようなサービスを提供しています。

あなたは「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」

を知っていますか。また、利用したことがありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	利用したことがある (体験含む)	利用している 利用していないが	知らない
災害用伝言ダイヤル (電話番号171)	1	2	3
災害用伝言板 (インターネット)	1	2	3

次のページの 問13 に進んでください。

問13. 本市では、災害に関する情報を様々な手段を用いて提供しています。

あなたは次の情報入手方法について知っていますか。また、現在利用していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	利用 している	知 っている が利用 してい ない	知 ら ない
回答方向			

1. 市ホームページの「川崎市防災気象情報」 ※1 (パソコン、携帯電話)	1	2	3
2. メールニュースかわさき「防災気象情報」 ※2 (電子メール配信サービス)	1	2	3
3. 同報系防災行政無線 (屋外スピーカー)	1	2	3
4. 防災テレホンサービス ※3	1	2	3
5. 緊急速報メール(NTTドコモ「エリアメール」、ソフトバンク及びau「緊急速報メール」)	1	2	3
6. テレビのテロップ(字幕) 又はデータ放送	1	2	3
7. ケーブルテレビのデータ放送	1	2	3
8. かわさきエフエム(79.1MHz) による放送	1	2	3
9. 市ホームページの「防災情報ポータルサイト」 ※4 (パソコン、携帯電話)	1	2	3
10. ツイッター「kawasaki_bousai」 (パソコン、携帯電話)	1	2	3
11. かわさき防災アプリ (スマートフォン用 アプリケーション)	1	2	3
12. 広報車	1	2	3

※1: 市ホームページ「川崎市防災気象情報」

URL <http://www.micosfit.jp/kawasakicity/>

天気予報、気象情報、震度情報、雨量・河川水位
などを掲載しています。

※2: メールニュースかわさき「防災気象情報」

URL <http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/50-8-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

災害に関する緊急情報、震度情報、気象情報、
大気汚染情報などをメールで配信しています。

※3: 防災テレホンサービス

[フリーダイヤル] 0120-910-174

[県外、携帯電話、PHSからは]

044-245-8870 (通話料がかかります)

同報系防災行政無線で放送した内容を、
電話で確認することができます。

※4: 市ホームページ「防災情報ポータルサイト」

URL <http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/index.shtml>

災害に関する緊急情報、避難情報、啓発情報、
気象情報などを掲載しています。

次のページの 問14に進んでください。

■川崎市の都市交通について

川崎市では、少子高齢化の進展などの社会経済環境の変化に対応した交通環境の整備を目指し、「川崎市総合都市交通計画」に位置付ける施策などについて見直しを進めているところです。
今後の交通政策の参考とするために、次の問にお答えください。

問14. あなたは、最寄駅まで主にどのような交通手段をご利用になりますか。

(○は1つ)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 原付・バイク
4. バス
5. タクシー
6. 自動車(送迎を含む)

問15. 問14で選択した交通手段を利用した場合、最寄駅までの所要時間はおよそ何分ですか。

(○は1つ)

1. 10分未満
2. 10分以上15分未満
3. 15分以上20分未満
4. 20分以上30分未満
5. 30分以上

問16. あなたは普段、どの程度鉄道を利用していますか。

(○は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月に1～2回程度
5. ほとんど利用しない

問17. 鉄道利用において、あなたが不満と感じている点は

次のうちどれですか。(○は2つまで)

1. 運賃が高い
2. 乗り換えが不便
3. 駅までが遠い
4. 路線が複雑でわかりにくい
5. 車内の混雑が激しい
6. 本数が少ない
7. その他(具体的に→) _____
8. 不満はない
9. 鉄道を利用していないのでわからない

問18. あなたは普段、どの程度バスを利用していますか。

(○は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月に1～2回程度
5. ほとんど利用しない

問19. バス利用において、あなたが不満と感じている点は

次のうちどれですか。(○は2つまで)

1. 運賃が高い
2. 道路混雑で遅れる・時間がかかる
3. バス停までが遠い
(バス停までの所要時間:徒歩 _____ 分)
4. 路線が複雑でわかりにくい
5. 車内の混雑が激しい
6. いつ来るかわからない
7. 本数が少ない
8. 行きたい方面のバスがない
(行きたい方面(具体的に→): _____)
9. その他(具体的に→) _____
10. 不満はない
11. バスを利用していないのでわからない

次のページの 問20に進んでください。

問20. あなたはどのような場合に(理由で)、
自動車を利用していますか。

(○は2つまで)

1. 公共交通がない(もしくは少ない)時間帯に利用する
2. 公共交通より早く(もしくはスムーズに)到着できる場合に利用する
3. 身体的な理由等により、公共交通が利用しにくい場合に利用する
4. いくつかの施設に行く場合に利用する
5. 荷物が多い場合に利用する
6. 個人や少人数での空間、時間を大切にしたい場合に利用する
7. 決まった理由はなく、移動するときは常に利用する
8. 自分は運転しないが、同居する家族が運転する場合に利用する
9. 自動車は利用していない(もしくは、なるべく利用しない)
10. その他 (具体的に→) _____

問21. 自宅から目的地への交通利便性を考えた時、
今よりもアクセスが向上する(行きやすくなる)と
良いと思う場所はどこですか。

※鉄道・バス・自動車など、あなたが普段利用する
交通手段でお考えください。 (○は2つまで)

1. 川崎駅周辺
2. 鹿島田駅・新川崎駅周辺
3. 武蔵小杉駅周辺
4. 溝の口駅周辺
5. 鷺沼駅・宮前平駅周辺
6. 登戸駅・向ヶ丘遊園駅周辺
7. 新百合ヶ丘駅周辺
8. 川崎臨海部
9. 東京都心方面(東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか)
10. 横浜駅・新横浜駅周辺
11. 羽田空港
12. その他 (具体的に→) _____
13. 特になし

問22. あなたは、今後の交通政策において、次の取組

について、それぞれどの程度重要だと考えますか。

(①から⑭には、
○はそれぞれ1つずつ)

回答方向

重要 である	やや 重要 である	あまり 重要 ではない	重要 ではない
-----------	-----------------	-------------------	------------

① 駅前広場や道路などで、 バスなどの公共交通の利用 を優先させる取組	4	3	2	1
② 電車の車内混雑の緩和	4	3	2	1
③ 鉄道網の整備	4	3	2	1
④ 交差点などの渋滞対策	4	3	2	1
⑤ 道路網の整備	4	3	2	1
⑥ 羽田空港や都心、市内の 主要駅などへの所要時間の短縮	4	3	2	1
⑦ 歩道の設置や自転車利用 マナーの向上など歩行者など への安全対策	4	3	2	1
⑧ 踏切の解消など鉄道を横断 する安全対策	4	3	2	1
⑨ 災害に強い交通網の整備	4	3	2	1
⑩ 路線バスのサービスの充実 や利便性の向上	4	3	2	1
⑪ コミュニティ交通(ミニバス) などの地域特性に応じた、 きめ細やかな交通手段の充実	4	3	2	1
⑫ 障害者や子育て世帯などが 幅広く利用できるタクシーの普及	4	3	2	1
⑬ 高齢者や外国人など、誰にも わかりやすい交通情報の提供	4	3	2	1
⑭ 環境への負担が少ない 交通体系の実現	4	3	2	1
⑮ その他で、『重要である「4」』と 考える取組を、具体的にご記入 ください。※①～⑭の取組以外 でお答えください。	(具体的に→)			

次のページの 問23に進んでください。

■介護予防の取組について

川崎市では、市民のみなさんが、ご自身の健康を長く維持するための活動に取り組みやすい環境を整える施策を検討しています。

市民のみなさんのご意見を正しく把握するため、以下の質問にお答えください。

- 問23. あなたは、あなた自身が健康でいるために、
- どのようなきっかけによって、介護予防(例えば、バランスの良い食事、体操などの軽い運動、地域での様々な活動等)に取り組もうと思いますか(取り組み始めましたか)。
- 最もあてはまるものを1つだけお選びください。
- (○は1つだけ)
1. 身体の調子が悪くなってきたと自覚したら(したから)
 2. 健康診断の結果が悪くなったら(悪かったから)
 3. 医師に言われたら(言われたから)
 4. パンフレット、TVコマーシャルなど広報を見て必要と思った(思ったから)
 5. 活動やイベントに参加することで特典(ポイントや景品など)がもらえるなら(もらえたから)
 6. 家族や友人・知人など一緒にやる人がいれば(いたから)
 7. その他 (具体的に→) _____
 8. 取り組もうと思わない

■ボランティアについて

川崎市では、市民のみなさんがボランティアに取り組みやすい環境を整える施策を検討しています。市民のみなさんのご意見を正しく把握するため、以下の質問にお答えください。

- 問24. あなたは、どのような状況になれば、ボランティア活動をしたいと思いますか。(どのような状況によって、ボランティア活動を始めましたか)
- 最もあてはまるものを1つだけお選びください。
- (○は1つだけ)

1. 自分ができる内容のものが見つければ(見つかったから)
2. 活動する時間ができれば(できたから)
3. 活動する場所が身近にあれば(あったから)
4. 一緒に活動する仲間がいれば(いたから)
5. ボランティア活動に参加していることが社会的に評価されるならば(されたから)
6. どのような状況でもしたくない

- 問25. あなたは、ボランティア活動することによって参加特典が付くのであれば、ボランティアをしたいと思いますか。なお、参加特典とは、少額の現金やクーポン券、商品またはこれらと引き換えができるポイントのことを言います。
- 最もあてはまるものを1つだけお選びください。
- (○は1つだけ)

1. 参加特典が付くのであればしたい
2. 参加特典が付かなくてもしたい
3. 参加特典が付くようなボランティアはしたくない
4. ボランティアに参加特典を付けることは不要
5. 参加特典が付いてもしない

次のページの 問26に進んでください。

■あなたご自身について

問26. あなたの性別をお答えください。

(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

問27. あなたの年齢をお答えください。

(○は1つ)

1. 18～19歳
2. 20～24歳
3. 25～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳
6. 40～44歳
7. 45～49歳
8. 50～54歳
9. 55～59歳
10. 60～64歳
11. 65～69歳
12. 70～74歳
13. 75歳以上

問28. あなたの職業をお答えください。

(○は1つ)

1. 自営業主
2. 家族従業(家業手伝い)
3. 勤め(全日)
4. 勤め(パートタイム)
5. 内職
6. 主婦・主夫(家事専業)
7. 学生
8. 無職(収入が年金のみの方を含む)
9. その他

1と答えた方は問29へ

2と答えた方は問29へ

3と答えた方は問30へ

4と答えた方は問30へ

5～9と答えた方は問31へ

問29. 問28で、「1. 自営業主」または
「2. 家族従業(家業手伝い)」と答えた方への質問

お仕事の内容を具体的にお聞かせください。

(○は1つ)

1. 農林漁業
2. 商工サービス業
3. 自由業

問30. 問28で、「3. 勤め(全日)」または
「4. 勤め(パートタイム)」と答えた方への質問

お仕事の内容を具体的にお聞かせください。

(○は1つ)

4. 専門・技術職
5. 経営・管理職
6. 事務職
7. 販売・サービス職
8. 技能・労務職

下の問31へお進みください

問31. お勤め先あるいは通学先はどちらですか。

(○は1つ)

1. 川崎市内(お住いと同じ区)
2. 川崎市内(お住いと別の区)
3. 横浜市
4. 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)
5. 東京都(23区内)
6. 東京都(23区以外)
7. その他
8. 通勤・通学していない

次のページの 問32に進んでください。

(第2回アンケート)

問32. あなたがお持ちの運転免許は、次のうちどれですか。

(○はいくつでも)

1. 自動車
2. 自動二輪
3. 原付のみ
4. 運転免許を持っていない

問33. あなたの世帯でお持ちの交通用具は、

次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 自転車
2. 原付
3. バイク(原付を含まない)
4. 自動車
5. その他 (具体的に→) _____
6. いずれも持っていない

問34. あなたの現在のお住いは、この中のどれに当たりますか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)
2. 持ち家(マンション・集合住宅等)
3. 借家(一戸建)
4. 借家(マンション・集合住宅等、公営住宅)
5. 借家(民間アパート、間借、下宿)
6. 社宅・寮・公務員住宅
7. その他

問35. 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人
7. 7人以上

問36. ご家族に中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない

問37. 65歳以上の方は同居していらっしゃいますか。

(ご自分が65歳以上の方は1に丸を付けてください。)

(○は1つ)

1. いる
2. いない

問38. あなたが現在お住いの区はどちらですか。

(○は1つ)

1. 川崎区
2. 宮前区
3. 多摩区
4. 麻生区
5. 幸区
6. 中原区
7. 高津区

問39. 最後に、川崎市の市政について、

ご意見やご要望などがございましたら、
どんなことでもご自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、返信用封筒に入れ、

11月28日(月)までに、切手を貼らずにご投函ください。

早めにご投函いただければ幸いです。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

平成 28 年度
かわさき市民アンケート
報告書
平成 29 年 3 月発行

調査主体 川崎市総務企画局都市政策部企画調整課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地
電話 044-200-2148 (直通)

調査実施 株式会社マーケティングリサーチサービス
〒112-0012 東京都文京区大塚 5 丁目 9 番 2 号
新大塚プラザビル
電話 03-5976-0711 (代表)